平成 28 年度

佐賀大学授業アンケート・授業改善に関する報告書

平成 29 年 12 月

佐賀大学教育委員会
教育質保証専門委員会

はじめに

平成18年10月1日から施行された「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に基づき、学部・大学院の全授業科目で授業評価アンケートが実施されるようになってから平成28年度で11年目を迎えます。本年度の実施率は、医学部を除く学部が99.7%、医学部は97.1%であり、医学研究科を除く研究科では99.7%、医学研究科では100%でした。この数値はアンケート実施開始時から比べると大きく増加しており、授業評価アンケートの実施が当たり前のようになってきたことを意味します。

また、本学は平成18年度より授業評価結果を用いた授業改善を実施するために、各学部等に組織別授業評価を行うことを義務付けてきました。各学部等は、評価の高かった科目の選考や授業改善への取り組み状況、次年度へ向けた授業改善の目標などを教育委員会に報告するようになっています。また、各教員には授業点検・改善報告書の提出が義務づけられ、その作成率も100%でした。

さらに、平成27年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」とし、授業アンケートそのものの改善も図っております。

本学では、平成23年度にポートフォリオ学習支援統合システムを導入し、その際に教員の教育改善を支援する仕組みとして簡易版ティーチング・ポートフォリオ（ＴＰ）作成機能も組み込みました。平成27年度には、簡易版TP作成率100%を達成し、授業の１回目で教員は自身の教育理念や教育方法について説明することにいたしました。平成28年度からは、本学のすべての教員公募要領において、教育業績評価に標準版ティーチング・ポートフォリオを活用することを明記しています。このように全学的な教育改善システムは整って参りましたので、今後は、各部局および教員が、これらの仕組みを十分に活用し、さらなる教育改善に結びつけることを希望します。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

国立大学法人 佐賀大学教育委員会委員長

兒玉　浩明

目 次

はじめに ……… 1

目次 ……… 2

Ⅰ.経過 ……… 3

Ⅱ.実施状況 ……… 4

Ⅲ.授業評価アンケートの結果と分析

Ⅲ-（１）学部別の結果と分析 ……… 20

Ⅲ-（２）教育学部の結果と分析 ……… 39

Ⅲ-（３）文化教育学部の結果と分析 ……… 48

Ⅲ-（４）学校教育学研究科・教育学研究科の結果と分析 ……… 57

Ⅲ-（５）経済学部・経済学研究科の結果と分析 ……… 74

Ⅲ-（６）理工学部・工学系研究科の結果と分析 ……… 95

Ⅲ-（７）農学部・農学研究科の結果と分析 ………105

Ⅲ-（８）全学教育機構の結果と分析 ………122

Ⅲ-（９）芸術地域デザイン学部の結果と分析 ………137

Ⅲ-（10）地域デザイン研究科の結果と分析 ………143

おわりに ………149

資料１　佐賀大学学生による授業評価実施要領 ………150

資料２　授業評価結果を用いた授業改善実施要領 ………152

資料３　学生による授業アンケート様式 ………153

資料４　共通様式以外のアンケート様式 ………155

資料５　項目の基礎集計表 ………158

Ⅰ. 経 過

佐賀大学では平成 12 年度前学期の「学生による授業評価」の試行的実施を経て、同年度の大学教育委員会で承認された「授業評価実施要領」に基づき平成 13 年度より本格導入に至っている。さらに佐賀医科大学との統合後には、佐賀大学大学教育委員会（平成 15 年 11 月 26 日開催）で「学生に対する授業評価システムに対応する専門委員会」の設置が承認され、継続的に実施する体制が整えられた。法人化後の平成 17 年度には「授業評価実施要領」を一部改訂し、従来の教員による選択的実施を改め、講義科目（演習、実験、少人数ゼミを除く）を対象に共通アンケートによる 100%の実施を目標に活動を続けてきた。また、翌平成 18 年度後学期より全ての授業科目（大学院も含む）を対象に授業評価を実施することが定められた「佐賀大学学生による授業評価実施要領」（以下、授業評価実施要領とする）（平成 18 年 10 月 1 日施行）（資料１）が新たに制定された。これにより佐賀大学の全ての授業科目において基本的に共通アンケートもしくは独自アンケートによって学生の意見を聴く機会が設けられていると言える。また、アンケート結果の教員へのフィードバックについても全学平均や学部平均との比較をレーダーチャートに示し、自らの授業改善に活かせるような工夫が施された。さらに、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」（平成 18 年 12 月 22 日施行）（資料２）が制定され、この授業評価アンケート結果に基づき、各教員は自らの授業の改善点について授業点検・評価報告書を提出することが義務づけられた。平成 22 年度後学期からはそれまでの共通アンケート用紙に変わり、LiveCampus を利用した共通アンケート形式が導入され、ウェブ上でアンケートが実施された。一方、この授業評価アンケートと並行に学生対象アンケートも実施され、佐賀大学の教育目的、施設、教育システム全般にわたって広く学生の声を取り入れようとする試みも行われた。さらには教員対象アンケートや卒業生対象アンケートも実施され、佐賀大学における教育活動を多面的に分析する準備を整備しつつある。

平成 27 年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」とした。

本報告では平成 28 年度に実施した授業評価アンケートの結果および授業評価結果を用いた授業改善実施要領に基づいた佐賀大学の授業改善への取り組みについて述べる。なお、医学部および e ラーニングで受講するネット授業については、授業形態の差異に配慮し、本報告書では扱っていない。

Ⅱ. 実施状況

平成28年度に佐賀大学で行われた授業アンケートは、本学の統合型オンラインコミュニケーションシステムLiveCampus上の共通アンケートシステムを用いて行った。また、科目によっては共通様式を用いない授業アンケートの実施も認めている。そこで、授業アンケートの結果を述べる前にアンケートの実施方法及び実施状況について示す。

本年度に実施した授業評価アンケートは以下の３つに大別される。

１） 授業アンケートシステム（資料３）

２） 個別授業アンケート

３） 医学部授業評価アンケート（資料４）

このうち本報告書では授業アンケートシステムの結果について取り扱う。医学部は統合前の佐賀医科大学時代から先進的な FD 活動を展開しており、授業評価アンケートも科目種毎に分けて通年で実施し、詳しい分析が行われているので本報告では扱わない。ネット授業は授業形態が異なるため質問内容が異なっているため別項とし、概要をまとめ分析を行った。

次に、本年度の授業アンケートの実施率について述べる。表1に部局毎の実施率をまとめた。共通アンケートシステムを用いていない授業アンケート（つまり、独自形式アンケート）の実施率も示している。独自形式アンケートは受講者が極端に少ない場合や複数の教員が担当している場合など、Web上の選択回答形式の共通アンケートにはそぐわない場合に実施する授業アンケートと位置づけられている。科目としては少人数での実験、教育実習、ゼミなどが該当すると考えられる。実施率の高い部局は、学部では医学部、理工学部、全学教育機構、研究科では医学系研究科、工学系研究科であった（平成28年度開設の学部･研究科を除く。）。学部での実施率は医学部の97.1%が最も大きく、科目数では 136 科目に達する。また、大学院では医学研究科の実施率が100%に達している。共通アンケートシステムの導入によりアンケートの実施に教員の関与が無くなったため、例年報告している「個別授業評価に係わる情報が一切無い授業科目名」について、平成22年度より掲載していない。

（１）学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

教育学部、学校教育学研究科、文化教育学部、教育学研究科

平成 28 年度は新組織への移行期間であり、読み替え科目や同時開講科目、過年度生のための開講科目などが多数存在するため、高い評価を得ている授業科目を統一的な基準の元で選定することは困難であり、選定は行わなかった。

経済学部、経済学研究科

経済学部・経済学研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず、その選考基準も作成していない。

理工学部、工学系研究科

(1) 学士課程

数理科学科

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学科

満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

知能情報システム学科

D-1（学生の満足度）の高い科目

機能物質化学科

卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。

機械システム工学科

特に実施していない

電気電子工学科

平成 28 年度のアンケート回答数が 30 以上の専門科目を対象として、以下の 4 項目について平均評価が 1 位、2 位の科目を選出した。B-3（教員の意欲や熱意）、C-1（目標の達成度）、C-4（学生自身が考えることを促す配慮）、D-1（満足度）の 4 項目である。前期科目と後期科目のそれぞれについて、1 位、2 位の科目を選出した。選出した科目の授業参観を実施するので、前年度のアンケート結果を使って評価の高い科目を選出している。

都市工学科

授業評価アンケートの回収率が低いため特に実施していない。

（2）博士前期課程

数理科学専攻

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学専攻

満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

知能情報システム学専攻

D-1（学生の満足度）の高い科目

循環物質化学専攻

修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実習・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。

機械システム工学専攻

特に実施していない

電気電子工学専攻

専攻内で学生から高い評価を得ている授業科目の選考は行っていない。

都市工学専攻

授業評価アンケートの回収率が低いため特に実施していない。

先端融合工学専攻

特に実施していない。

（3）博士後期課程

博士後期課程は各講座毎では学生の人数が少なく、講義の履修者数も少ないため、講座毎の組織別授業評価は行っていない。

また、理工学部、工学系研究科全体として、授業アンケートが WEB 入力になってからアンケートの入力率が低いため、授業アンケートが学生からの高い評価の基準としてあてにならないという学科、専攻が 2 学科、2 専攻ある。結果として選考自体が行われていない学科、専攻が 3 学科、5 専攻ある。アンケートの回収率の向上が望まれる。

農学部、農学研究科

昨年度までの報告でも述べたとおりであるが、学部内・学科内における各学科の内容（必須科目・非必須科目の違いを含む）や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは現状では困難である。しかし、現状で入手できる資料を用いて基準を精査することは重要である。まずは、選考基準として、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問した、アンケートの質問事項B～Dで高い評価を得ている科目が挙げられる。次に、講義だけでなく、自学によって高度な知識や見識を身に付けたり、知的好奇心が満たされたりすることから得られる満足感を評価する必要があると考えられることから、授業時間外学習が確保されている科目も選考基準として挙げられる。また、学生によるアンケート入力率が高い科目も選考基準の一つとして考慮すべきであろう。

全学教育機構

全学教育機構では、この項目に対する明確な選考基準の確定に至っていないが、佐賀大学教育功績等表彰（２号表彰）の選考時には授業アンケート結果も利用している。

芸術地域デザイン学部

特になし

（２）授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

教育学部、学校教育学研究科、文化教育学部、教育学研究科

平成 28 年度は教育学部、学校教育学研究科、文化教育学部、教育学研究科の 4 組織に対する組織別授業評価を実施した。本年度も昨年度までと同様に、すべての課程・専攻を横断的に眺めることによって、学部と研究科がもっている特徴と改善点を浮き彫りにした。昨年度に挙げられた改善点に基づき優れた点と改善を要する点を報告する。

【優れた点】

1) シラバスの記載内容改善について

昨年度と今年度におけるシラバス点検実施率は 100 %であるが、昨年度の改善点としてシラバスの改善・充実が挙げられた。今年度実施されたシラバス・チェックにおいても、修正点が皆無というわけではなかったが、前回と比べると確実に減っており，シラバスの記載内容がより適切で充実したものとなった。これは継続的にシラバス・チェックが実施されているため、教員がシラバスの記載内容に以前よりも気を配るようになったためと考えられる。

2) 授業点検・改善報告書の入力について

学生による授業評価アンケートを受けて、教員が授業点検・改善を実施し、その旨、報告を行うことが求められているが、報告書の入力率が教育学部および学校教育学研究科において 100%を達成した。

3) ティーチング・ポートフォリオ作成率について

平成 27 年度は 98.0 %に留まっていたが､メールや教授会でのアナウンスにより本年度は 100 %を達成した。

【改善を要する点】

1) 学生による授業評価アンケートの回答率について

改善すべき点は、今年度も授業評価アンケートの学生の回答率が低く、結果の統計として意味が減じる傾向にあることである。

経済学部

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は、第 1 に、4 年間の学習成果を測定することを目的とした「コア科目群確認試験」を平成 28 年 11 月 30 日に同年度卒業予定者を対象として実施したことである。経済学部では、専門教育を伝統的な経済学・経営学・法学の体系として教育すると同時に、そのような専門教育の入門科目を低学年次に受けさせ、高学年次では自らの進路希望に添ったコア科目群を履修させることによって、専門教育と総合教

育のバランスのとれた教育を行っている。こうした学習成果の最終的な測定を 4 年次後学期に実施し、4 年演習の担当教員が測定結果を確認し、それを 4 年演習でのチューター指導において反映させることができた。「コア科目群確認試験」の実施により、学部改組時の計画を、改善点を残すとはいえひとまず達成できたことは、優れた点として評価できる。

第 2 に、学部全体・各学科を合わせて計 9 回の FD 活動を平成 28 年度に実施したことである。たとえば学部全体の FD 活動では「経済学部改組について」、「就職支援について」、「アクティブ・ラーニングについて」をテーマとして、ほぼ全ての教員の参加の下で FD 会議が開催され、活発な意見交換および情報の共有化が行われた。

第 3 に、簡易版・標準版ティーチング・ポートフォリオ作成率の増加ならびに更新率 100%の維持である。平成 27 年度においては標準版 TP の作成率は 14%であったのに対して、平成 28 年度は作成率が 18%に上昇した。また簡易版 TP の作成率についても 100%を維持することができた。更新については、複数名の更新対象者を計画的に更新ワークショップへ参加者を派遣することにより、簡易版 TP および標準版 TP の更新率 100%を維持することができた。

改善すべき点としては、学部改組から 4 年が経過したことをふまえ、学部改組の成果の検証についてのより活発な FD 活動等が求められることである。これに付随して、上記の優れた点として学習成果の測定を目的とした「コア科目群確認試験」の実施が挙げられたが、同試験についても、平成 28 年度の同試験の結果をふまえた FD 活動等により、試験問題の範囲や難易度等について各教員間での調整や情報共有を行い、同試験がよりよく 4 年間の学習成果を測定できるものとなるように改善していく必要がある。

経済学研究科

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は、第 1 に学部でも取り上げた FD 活動と TP 作成率の増加である。FD 活動および TP 作成は学部および研究科の全教員が参加しており、学部のみならず研究科においても、授業改善の促進につながっているといえよう。学部専門科目およびゼミにおける指導方法は、研究科においても相通ずるものがあり、FD 活動および TP 作成の効果は研究科の授業改善に資するものとなっている。

第 2 に、修士論文執筆を促進する取り組みとして総合セミナーを実施し、教員が論文執筆の基本的な考え方を講義するとともに、修士 2 年次生全員に修士論文の中間報告をさせ、教員含む参加者全員でその内容について討論を行っている点である。平成 26 年度までは金融・経済政策専攻と企業経営専攻の各専攻で個別に行われていたが、平成 27 年度からは総合セミナーの実施体制が変更され、中間報告および討論に両専攻の全受講生が参加可能と

なっている。こうした変更により、中間報告および討論の機会が拡充し、他分野の研究に触れる場が確保された。各受講生にとって、総合セミナーにおける中間報告や多様な研究背景をもつ教員・受講生からの助言・批判が、修士論文の完成へ向けての大きなはずみとなったといえよう。

改善すべき点としては、 経済学研究科は平成 27 年度入学生の修了をもって廃止され、新研究科が平成28年度より開始されたため、円滑に新研究科への移行を整備することである。

理工学部

（1）学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学科

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学科

（優れた点）

・e ラーニングや紙での独自アンケート・コミュニケーションカード・小テスト時の自由記述欄などで学生の意見を吸い上げ、授業改善を行っている。

・一部科目では、毎回の小テスト・宿題により講義内容の理解度・出席率を高めるとともに、採点結果を返却し復習に役立たせた。

・学習アドバイザ（プログラミング系・数学系）による学習支援を行っている。成績不振の学生を優先して指定しており、成績に反映させている。

・プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習（問題数 200 題程度、回答し正解した問題総数が半期で約 1000 題ほど､1 人平均で年間 30 問ぐらい解いている）。

・e ラーニングシステムを活用することで課題提出の管理を向上させた。

・一部演習の電子化により、フィードバックが多少改善された。

・毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答案は自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映される。

・「Moodle 版大福帳」を活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次回の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学

生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解状況が分かる。

・ PowerPoint スライドで授業をしているが、一部を空欄にして学生に書き取りをさせる方法は、学生の評判も良い。居眠りを減らす効果もある。

・提示資料を講義終了後にホームページにアップロードしたことで、講義中にノートを取る学生が多くいるなど、意欲を高める効果があったと考える。

・授業の難易度が多少高くても、意味のある内容であることをきちんと説明すれば、学生は納得もするし、ついてもきている。

（改善を要する点）

・数学科目では、なかなか学習到達目標の達成を実感させるのが難しいが、内容を精査し、講義順序も再検討して「わかった」ことを実感させられるように講義設計を見直したい。

・時間外学習の課題を与えているが、その進行状況の把握が十分ではなかった。 時間外の学習に関する改善方法を検討する。

・学習到達目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生にシラバスや到達目標をしっかりと意識させ、学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行っていきたい。

・学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

・学生の学力低下や学習意欲の低下が目立つため、できるだけ学生に作業を行わせ、手を動かすことを通じて授業内容を理解させることに努めたい。

・自学自習があまり行われなかった。自学自習を促す方法としてレポート課題などを再検討する。

・グループ学習・アクティブ・ラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。

・講義の難易度が上がると学生の興味が薄れる傾向にある。これを克服すべく、改善が必要と考える。

機能物質化学科

実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、平成 19 年度より独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。平成 23 年度からは教育改善委員会を新たに設置

し、要改善の科目については、次年度の授業改善を担当教員に報告してもらい、教育改善委員会でその妥当性についてチェックしている。

機械システム工学科

学期ごとに提出するFDレポートにおいて各教員が各講義の改善点をあげ､改善に取り組んでいる。またFD委員がFDレポートを取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては改善を行うようにしている。

電気電子工学科

学生による授業評価の高い授業を選出し、その授業を公開してもらって学科教員が参観している。参観した教員はその授業の良い点などを書いた報告書をFD委員に提出し、FD委員は総評を作成して学科に公開している。これによって、学科の全教員に対して、評価の高い授業の授業方法を参考にして自身の授業を改善する機会を提供している。

都市工学科

学科内で教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

なお、JABEEを実施している４学科に関しては、JABEEの基準に従い、定期的に教育の改善に関する会議を開催し、逐次、教育改善を進めているはずである。

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学専攻

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学専攻

概ね良好であるため維持したい。

循環物質化学専攻

母体とする機能物質化学科と同様に、分野別教員会議や教育FD委員会において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械システム工学専攻

専攻として組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の

授業改善目標を設定している。

電気電子工学専攻

授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

都市工学専攻

専攻内で教育システム委員会を開催し、学部から大学院までの体系的な教育方法の検討などを行っている。

先端融合工学専攻

先端融合工学専攻では、平成26年度より電気系、機械系、化学系の学生が融合して実験や演習を行う科目としてプロジェクトスタディを開設し、各系の学生が3人一組になって、各系の研究内容を体験するという、他専攻にはない科目を継続して実施している。昨年度の授業アンケートの結果から、この科目の改善点として、満足度の向上を掲げた。その結果、優れた点として、学生自身が考えることを促すための配慮がありましたかという質問に対して、高い評価(4.222(全体平均3.939))を得ており、教員各位の工夫が見受けられた。しかしながら、満足度(3.667(全体平均4.136))に関しては、昨年度と同様、他の講義科目に比べて低いため、さらなる改善が必要である。授業評価アンケートの回答率(45%)も向上させる必要がある。

(3) 博士後期課程

優れた点　授業アンケートの回答があった科目に関しては、よい評価を得ている。

改善すべき点　授業アンケートの回答率が低い。

農学部、農学研究科

出席率に関しては、出席率80%以上の学生が前後期通じて89.7%～96.6%となり、前年度に引き続き高い値を示した。授業時間外学習に関しては、全くしていないと回答した学生は、平均すると前年度とほぼ同じような少ない割合であり、各教員が予習復習の重要性を説明している結果がでていると考えられる。また、教員の授業に対する意欲や熱意に関する満足度も去年に引き続き良好であり、授業に全体として満足できたとする割合も高かったことは評価できると考えられる。しかし、一方で、シラバスの活用度に関しては、平均して前年度から特に向上していないことから、授業内でシラバスの積極的活用をより一層促すなどの改善を行う必要があると考えられる。なお、今年度は、授業内容について学生自身が考えることを促す配慮があったとする割合が前年度より増加しており、これは、各教員がアクティブ・ラーニングの積極的導入を意識している結果だと考えられる。今後は、この割合を、より高めていくことが望まれる。

全学教育機構

優れた点：

　インターフェース科目では、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れており、アンケート項目 C-4「この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか」でも高い評価を得ている。また、インターフェース科目での満足度（項目 D-1）は。概ね評定平均 4 以上であり、学生の満足度は高い。

さらに、平成 27～28 年度にかけて 5 名の教員が標準版 TP を作成した。また，平成 27 年度に改善すべき点としてあげた「授業点検・改善報告書」の作成に組織的に取り組み，本年度は作成率 100％を達成することができた。

改善すべき点：

授業改善に対する取り組みとして、シラバス組織的な点検、教員会議における FD 講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA 実施報告書の作成、および授業点検・改善報告書のオンライン入力を行った。これらの取り組みにも関わらず、項目 A-2「授業時間外学習時間」や A-3「シラバスの活用」については、学生からの評価は低い。

芸術地域デザイン学部

特になし

（３）次年度の授業改善目標（学部・研究科等別）

教育学部、学校教育学研究科、文化教育学部、教育学研究科

次年度の改善目標は、まず第一にシラバス・チェックの作業負担の軽減である。

昨今の大学教員の勤務状況を鑑みるに、教育・研究に加えて、大学運営に伴う事務作業の量が著しく増大している。とりわけ年度末の時期には、その傾向が顕著である。そこに更に学部改組に伴う膨大な仕事が加わり、教員は肉体的にも精神的にも疲弊しきっている。シラバス・チェックが慣例化しほぼ 100 パーセントの実施率を達成している一方で、一人の教員が同時に 2〜4 つの部局で授業を担当しているため、教務関連の負担は大幅に増えている。4 つの部局が混在する状況は来年度も続く見込みであるが、文化教育学部と教育学研究科の授業は殆どが閉講する予定であることから、両部局はシラバス・チェックの対象外とし、教育学部と学校教育学研究科の授業改善に注力するべきである。

第二の改善目標は、学生による授業評価アンケートの回答率の向上である。この目標は例年挙げられているが、大きな改善が見られない。全学的な取り組みに対応するとともに学部内でも何らかの措置を検討する必要があろう。

第三の改善目標は、ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップの受講促進である。今年度末までに、簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成・更新率 100 パーセントは達成したが、標準版ティーチング・ポートフォリオの作成・更新率 11 パーセントは達成できなかった。来年度は簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成・更新率 100 パーセントを維持するとともに、標準版ティーチング・ポートフォリオの作成・更新率 12 パーセントを達成するよう教員の参加を促す必要があろう。

経済学部、経済学研究科

第 1 に、上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善を要する点の改善を目標とする。第 2 に、授業評価アンケートの入力率向上に取り組むとともに、学生および教員に対してラーニング・ポートフォリオのより積極的な活用を促す。第 3 に、標準版ティーチング・ポートフォリオの作成率向上を図りたい。

理工学部

（1）学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授

業改善目標をもれなく設定している。

物理科学科

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行っている。カリキュラム編成とともに授業改善も検討している。

知能情報システム学科

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

機能物質化学科

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、学科全体で継続的に行う。

機械システム工学科

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEEグループ会議で検討を行う。

電気電子工学科

今年度から授業参観を授業評価の高い授業を参観する形にしたので、具体的に参考になる優れた授業方法を見つけて来年度以降も蓄積してゆき、学科内に周知するようにする。

都市工学科

前年度に掲げた目標である「授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む」は実施できている。今後も授業の改善を継続的に行う。また、定期的に教育システム委員会を開催することにより教員間で教育内容等の情報共有を図り、授業内容の改善に努める。

（2）博士前期課程

数理科学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授
業改善目標をもれなく設定している。

物理科学専攻

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行っている。カリキュラム編成とともに授業改善も検討している。

知能情報システム学専攻

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

循環物質化学専攻

母体とする機能物質化学科と同様に、分野別教員会議や教育FD委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。

機械システム工学専攻

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEEグループ会議で検討を行う。

電気電子工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

都市工学専攻

前年度に掲げた目標である「授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む」は実施できている。今後も授業の改善を継続的に行う。また、定期的に教育システム委員会を開催することにより教員間で教育内容等の情報共有を図り、授業内容の改善に努める。

先端融合工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

（3）博士後期課程

授業評価アンケートに基づいて授業改善を進める。

独自アンケートを実施した科目数

（1）学士課程

理工学部

数理科学科：なし

物理科学科：４科目

知能情報システム学科：なし

機能物質化学科：前年度と同様、授業評価アンケートの独自質問項目を設定した科目が３科目、独自形式のアンケートを実施した科目が４科目であった。

機械システム工学科：なし

電気電子工学科：なし

都市工学科：なし

（2）博士前期課程

数理科学専攻：なし

物理科学専攻：３科目

知能情報システム学専攻：なし

循環物質化学専攻：前年度と同様、授業評価アンケートの独自質問項目を設定した科目が３科目あった。

機械システム工学専攻：なし

電気電子工学専攻：なし

都市工学専攻：１０科目

先端融合工学専攻：なし

（3）博士後期課程

なし

農学部

「（２）授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上に取り組み、学習管理を支援するラーニング・ポートフォリオの活用を促す。また、該当する科目について、ルーブリック評価の導入を図る。

全学教育機構

引き続き、これまでの実績や教員の退職や異動などの状況を踏まえて、インターフェース科目を継続実施できるよう必要に応じて見直しを行う。また、標準版ティーチング・ポートフォリオを活用した教育改善活動を開始する。

芸術地域デザイン学部

特になし

表１　部局別の授業評価アンケート回答率（独自形式アンケートは除く）

	平成28年度前学期			平成28年度後学期		
	回答	対象数	回答率	回答数	対象数	回答率
教育学部	46	46	100%	41	46	89.1%
文化教育学部	275	352	78.1%	292	399	73.2%
経済学部	110	140	78.6%	144	189	76.2%
芸術地域デザイン学部	8	8	100%	30	30	100%
理工学部	218	228	95.6%	233	252	92.5%
農学部	99	111	89.2%	97	103	94.2%
全学教育機構	368	402	91.5%	349	379	92.1%
全体	1,124	1,287	87.3%	1,186	1,398	84.8%
学校教育学研究科	18	19	94.7%	27	34	79.4%
教育学研究科	11	33	33.3%	24	52	46.2%
地域デザイン研究科	33	45	73.3%	27	39	69.2%
工学系研究科	141	184	76.6%	122	153	79.7%
農学研究科	41	60	68.3%	62	110	56.4%
全体	244	341	71.6%	262	388	67.5%

通年の講義については後期に含めている。

受講者が一人でも回答していれば回答している科目数とする。

表2　医学部の授業評価アンケート実施率（独自形式アンケートは除く）

	平成28年度		
	実施数	対象数	実施率
医学部	136	140	97.1%
医学系研究科	107	107	100%

表3　部局別の独自形式アンケート実施科目数

	前学期	後学期
経済学部	2	3
理工学部	0	2
全学教育機構	1	1
工学系研究科	0	2
全体	3	8

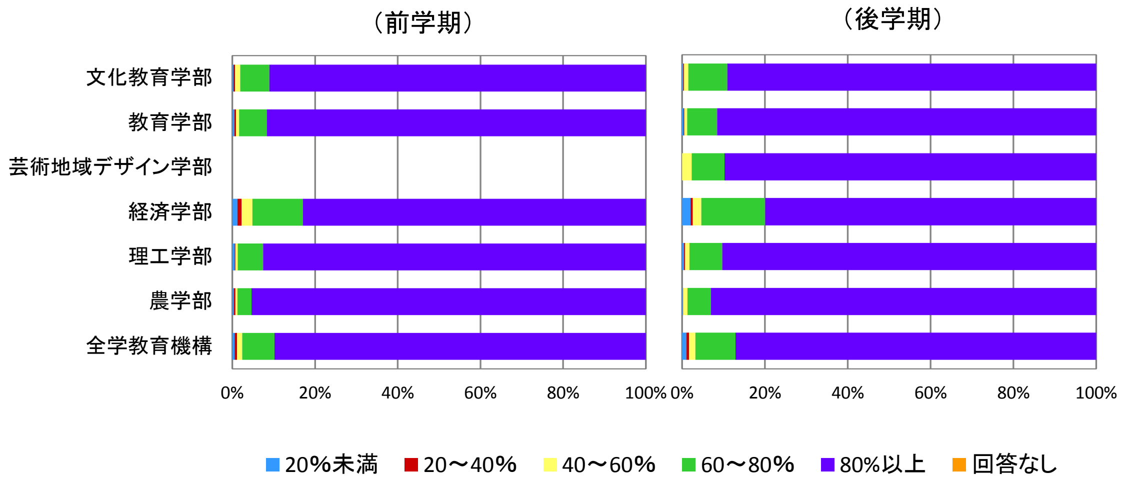
Ⅲ 授業評価アンケートの結果と分析

平成 28 年度に佐賀大学では 4 種類の授業評価アンケートを実施した．独自形式アンケートに関しては統計処理を行うのに適していないため，ここでは共通アンケート様式による授業評価アンケートのみを取り扱うものとする．研究科別分析については，研究科で回答した学生数に隔たりが大きく，その回答傾向も偏っていることがこれまでの調査から見られたため，昨年度に引き続き本年度も実施しなかった．

Ⅲ-（１）学部別の結果と解析

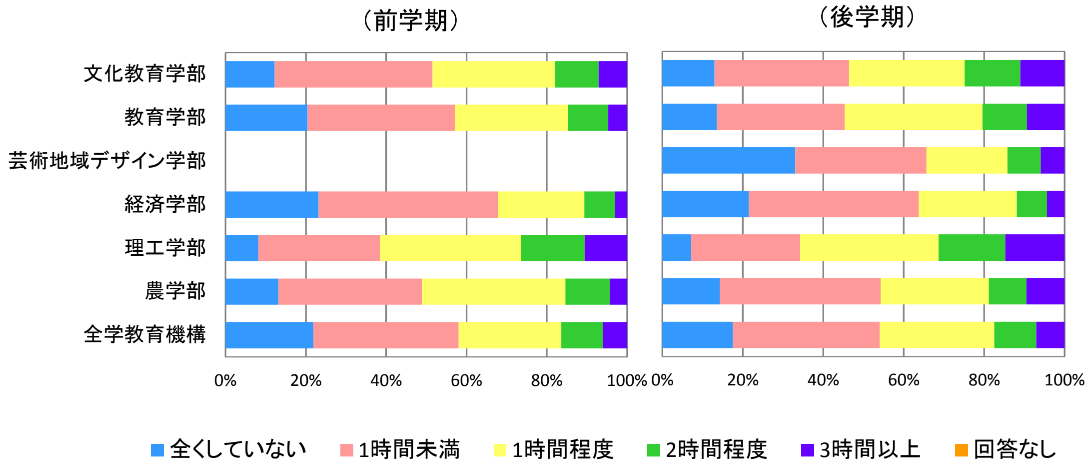
A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか



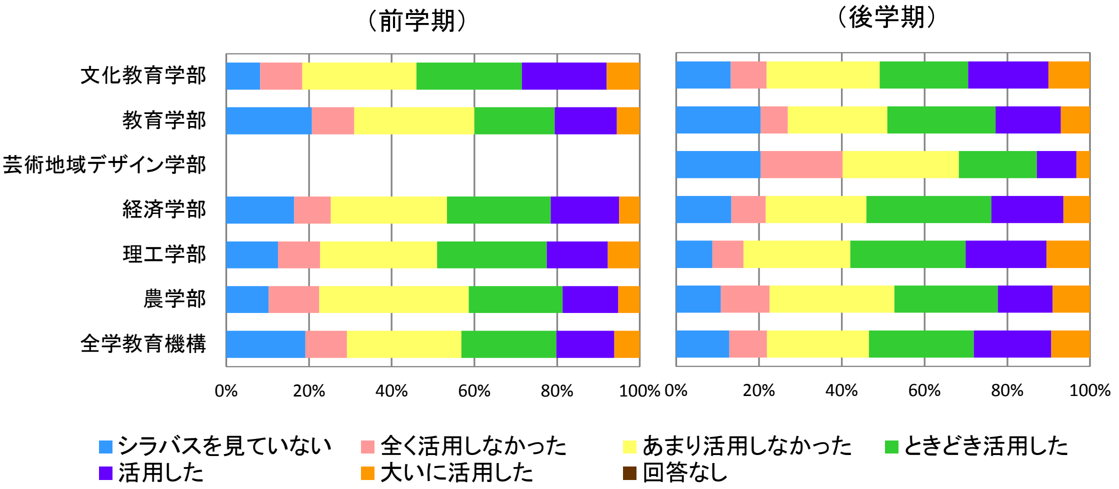
前学期と後学期でほぼ同じ傾向を示している．やや経済学部の出席率が低い傾向にあるが，いずれの学部とも良好な出席状況であると言える．これらは昨年度と同じ傾向である．

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



前学期と後学期でほぼ同じ傾向を示している．多少ではあるが、文化教育学部は前学期に比べ後学期の方が学習時間の増加が見られる。全授業のシラバスにおいて授業時間外学習を明示しているにも関わらず，依然として授業時間外学習を「全くしていない」と回答する学生がいる．特に、芸術地域デザイン学部の割合が高く、今後は、授業時間外学習の増加を図るため、さらなる工夫が求められる。

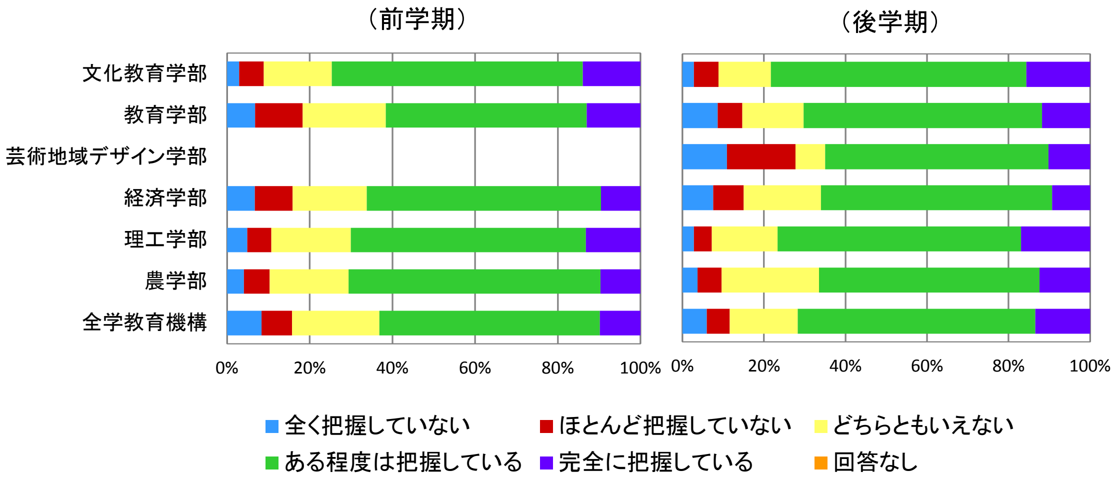
A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



「大いに活用した」，「活用した」，「ときどき活用した」と回答している学生が 40 から 50％に留まっている．一方，約 20％の学生が「シラバスを見ていない」，「全く活用しなかった」と回答しており，全体としては，科目の選択や予習・復習におけるシラバスの活用状況は芳しくない．特に、芸術地域デザイン学部のシラバスの活用状況が芳しくない。ただし，若干ではあるが，前期に比べて後期の方が，全体的に「大いに活用した」，「活用した」，「ときどき活用した」と回答した学生の割合が高くなっている．この点については，昨年度より改善が見られる．

特に前期科目の授業の第１回目において，授業担当者が，今まで以上にシラバスの説明を丁寧に行ったり，普段の授業において学生にシラバスを読ませるような工夫が必要と思われる．

A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

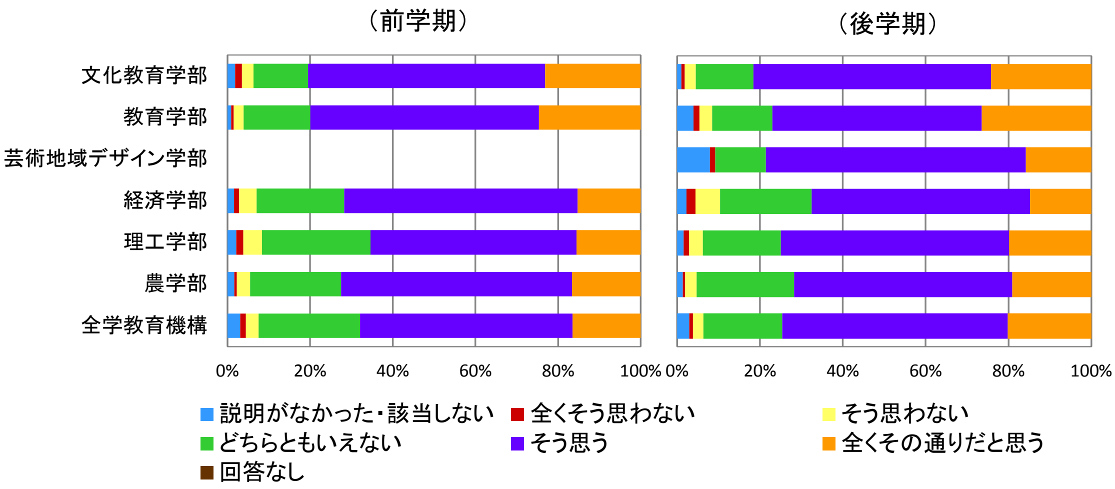


授業の学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」,「ある程度は把握している」と回答している学生は 70%程度であり，前学期と後学期でほぼ同じ傾向を示している．これについては，昨年度と同じ傾向である．

学生が主体的に学んでいくためには，学生自身が学習教育目標や成績評価基準を把握することが重要なので，「ある程度は把握している」,「完全に把握している」という割合を 100%に近づけるようにすべきである．シラバスの組織的な点検を通じて，シラバスでは学習目標や成績評価基準を可能な限り具体的に記載し，授業でも詳しく説明するといった取り組みをさらに推し進める必要がある．

B.　教員の対応

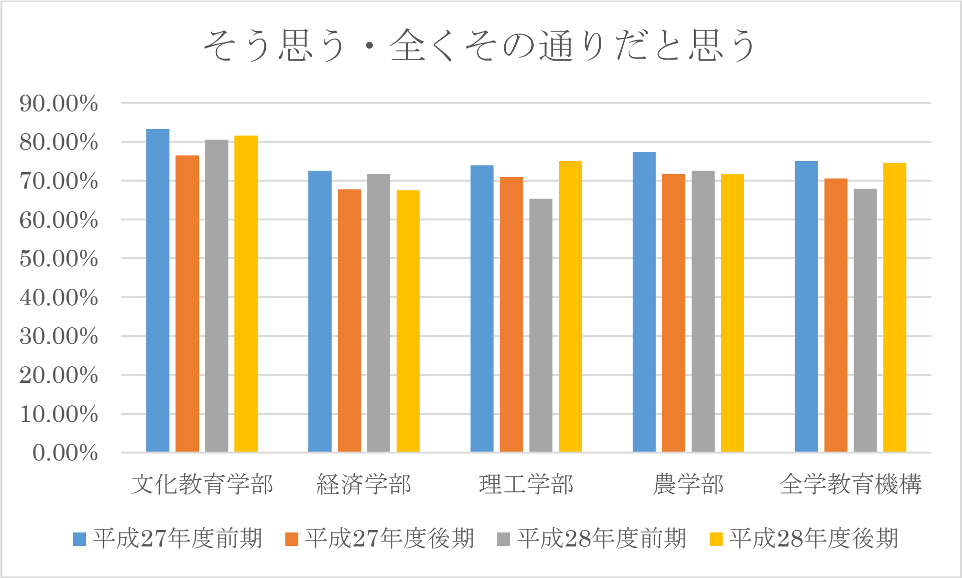
B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

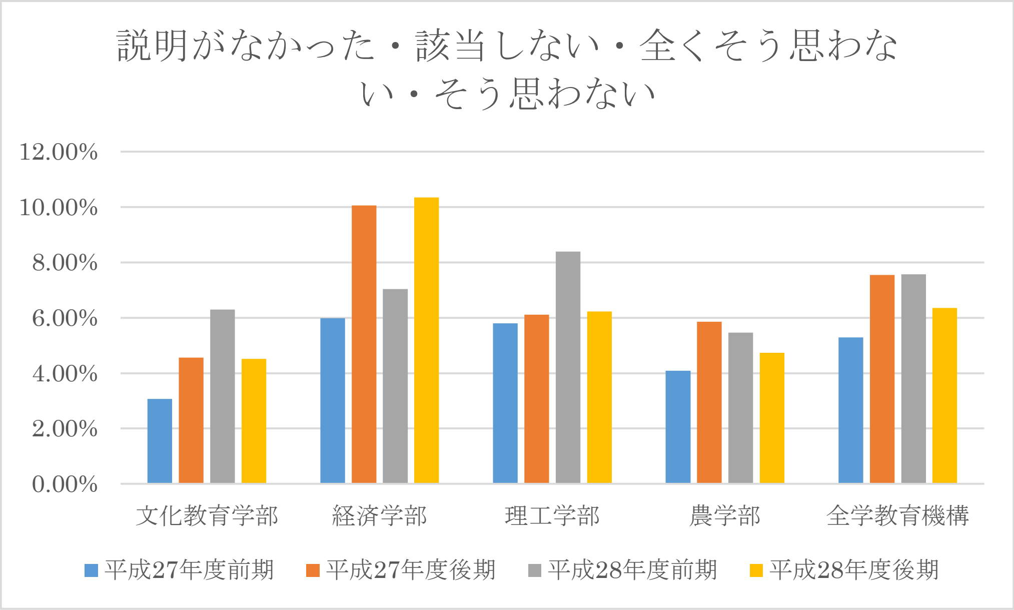


前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない．約 70～80%の学生が,「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており，教育理念に基づいた教育方針や成績評価方法等の説明は，概ね好評であると判断される．特に文化教育学部，教育学部，芸術地域デザイ

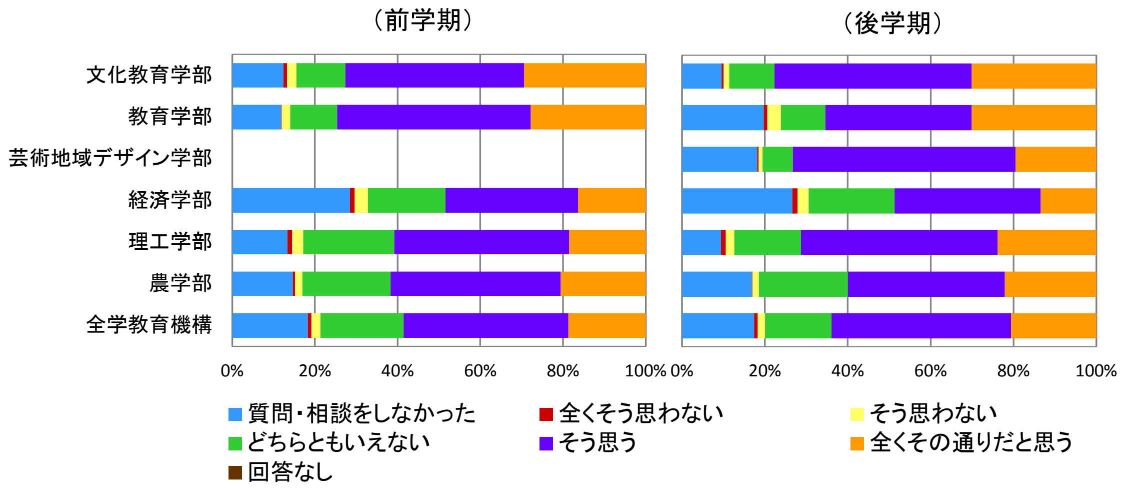
ン学部では，その割合がやや高い．一方で，いずれの学部，機構においても「そうは思わない」,「全くそう思わない」という否定的な回答も 10%程度ある．これらを 0%にすることは難しいと思われるが，引き続き，教員には自身の教育理念や教育方法を学生に伝えてもらいたい．

なお，本項目は昨年度より追加されたものであり，参考までに，以下に，昨年度との比較を示す．今のところ，特に大きな傾向はないが，経済学部の後期において，否定的な回答がやや増える傾向にある．



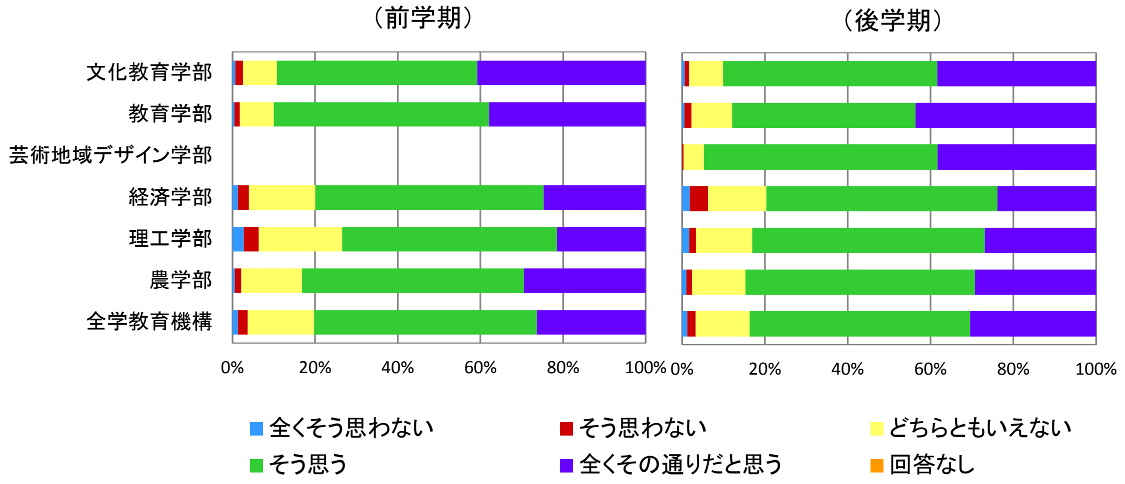


B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

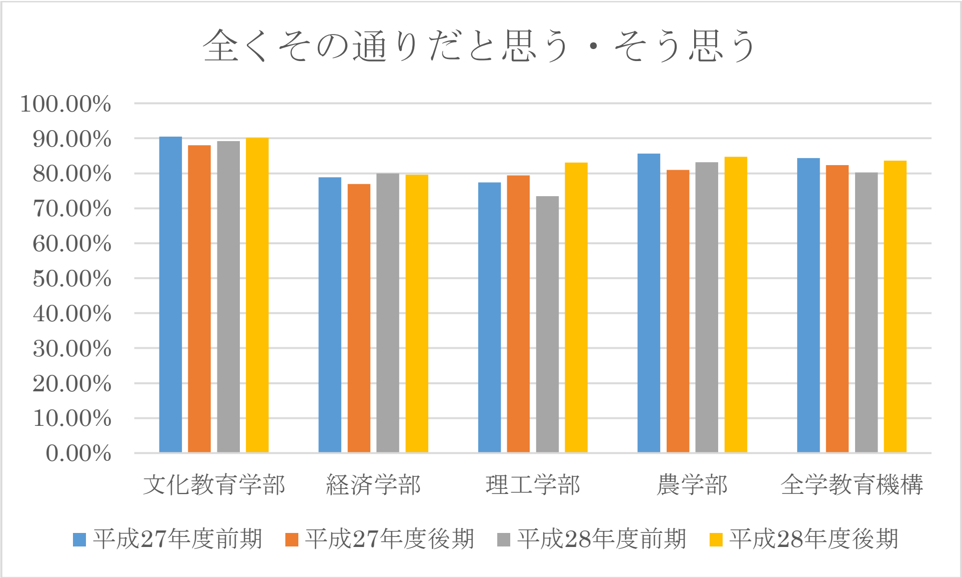


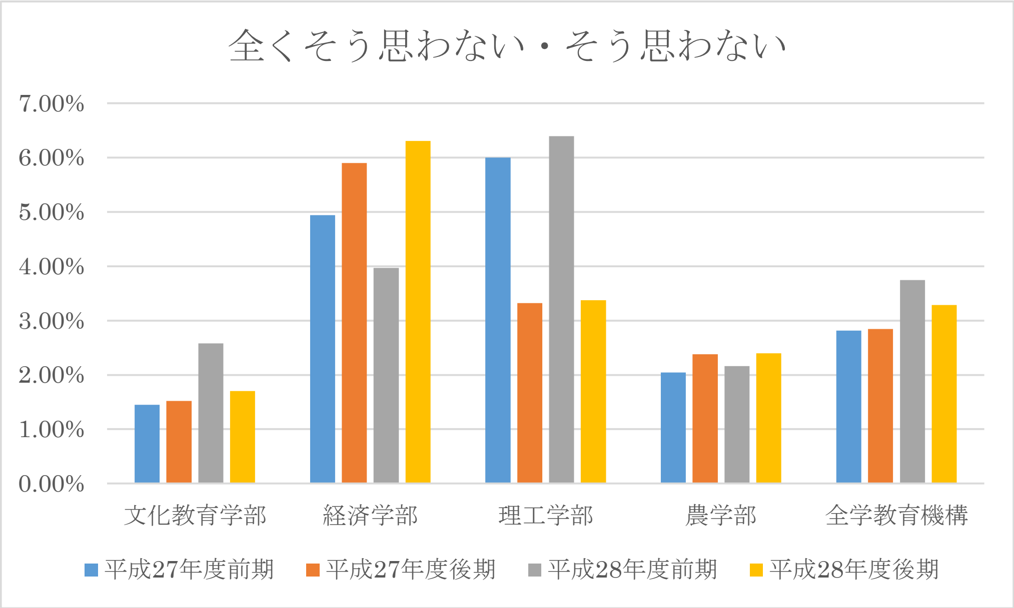
前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない．「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答をみると，文化教育学部と芸術地域デザイン学部が高く，70%以上の学生が肯定的に回答している．逆に，経済学部では，肯定的な回答が約 50%に留まっており，「質問・相談しなかった」という割合が高い．それ以外の学部と機構は「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が約 60%であり，概ね適切な対応が取られていると判断される．以上のような，本項目の傾向は昨年度と同様である．

B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



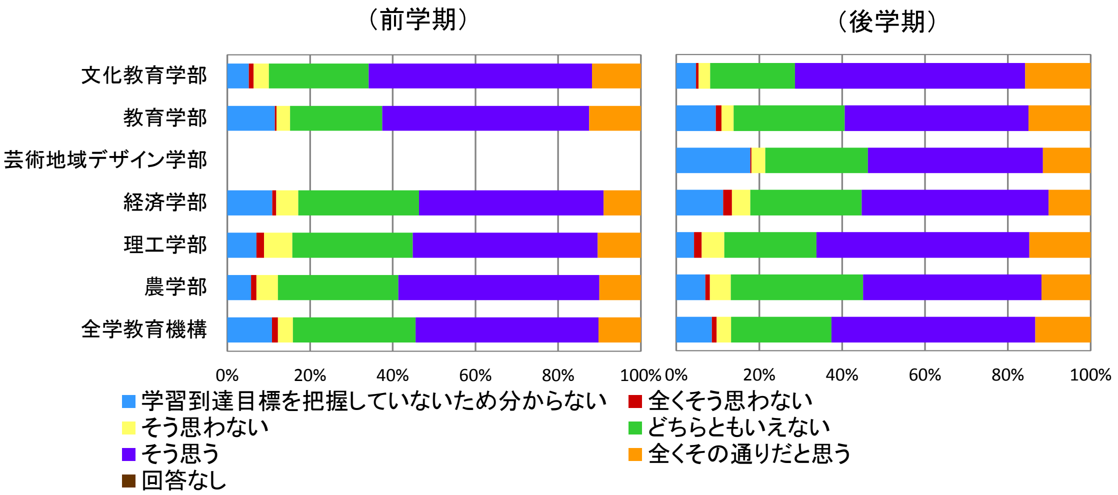
「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が 80%前後で，「そう思わない」，「全くそう思わない」の回答は 5%程度に留まっており，教員の授業に対する意欲や熱意が学生へ伝わっていると思われる．特に芸術地域デザイン学部では，90%以上の学生が肯定的に回答している．肯定的な回答については，前学期と後学期で回答の傾向に差は見られないが，否定的な回答については，経済学部で後期が，理工学部で前期が高い傾向にある．


全くその通りだと思う・そう思う
100.00%
90.00%
80.00%
70.00%
60.00%
50.00%
40.00%
30.00%
20.00%
10.00%
0.00%
文化教育学部
経済学部
理工学部
農学部
全学教育機構
平成27年度前期
平成27年度後期
平成28年度前期
平成28年度後期


全くそう思わない・そう思わない
7.00%
6.00%
5.00%
4.00%
3.00%
2.00%
1.00%
0.00%
文化教育学部
経済学部
理工学部
農学部
全学教育機構
平成27年度前期
平成27年度後期
平成28年度前期
平成28年度後期

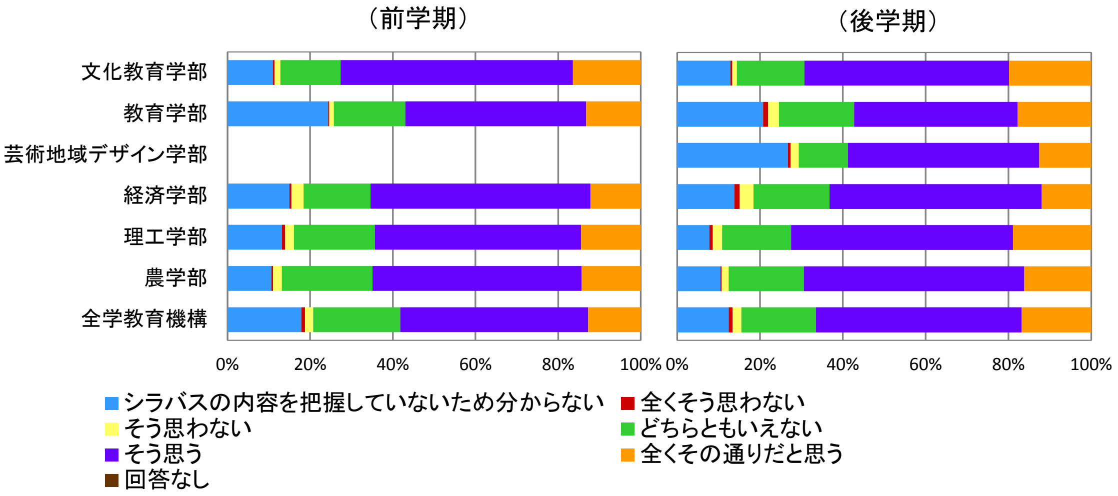
C.　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか



前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない．約 60%の学生が，「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している。本項目の結果は，昨年度の結果とほぼ同じであり，この項目は，A-4「この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか」と関連する．今後は，「何を学んだか」ではなく，「何を身に付けたか」が重要視されるため，これまで以上に学生に学習到達目標を意識させた上で，可能な限り学習成果を可視化して，学生が身についた能力を自覚できるような取り組みが望まれる．

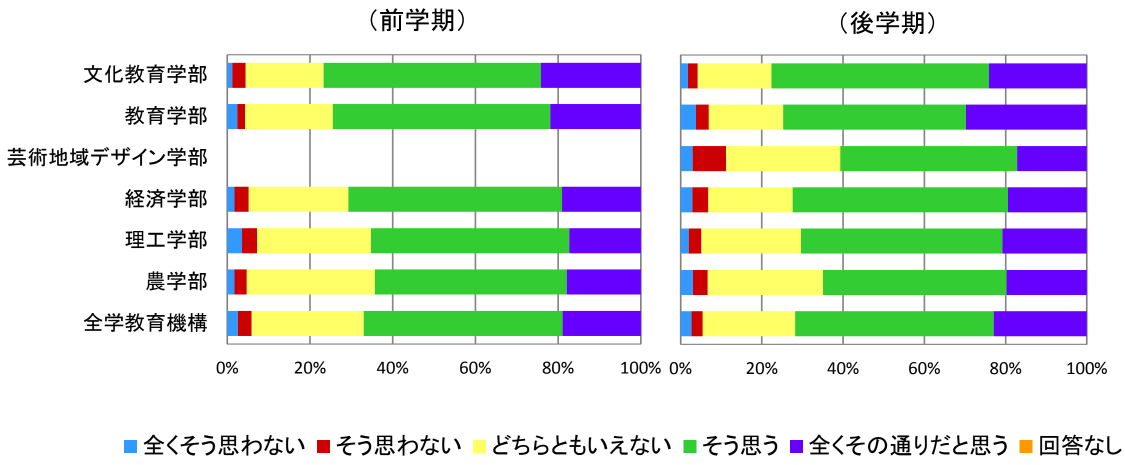
C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



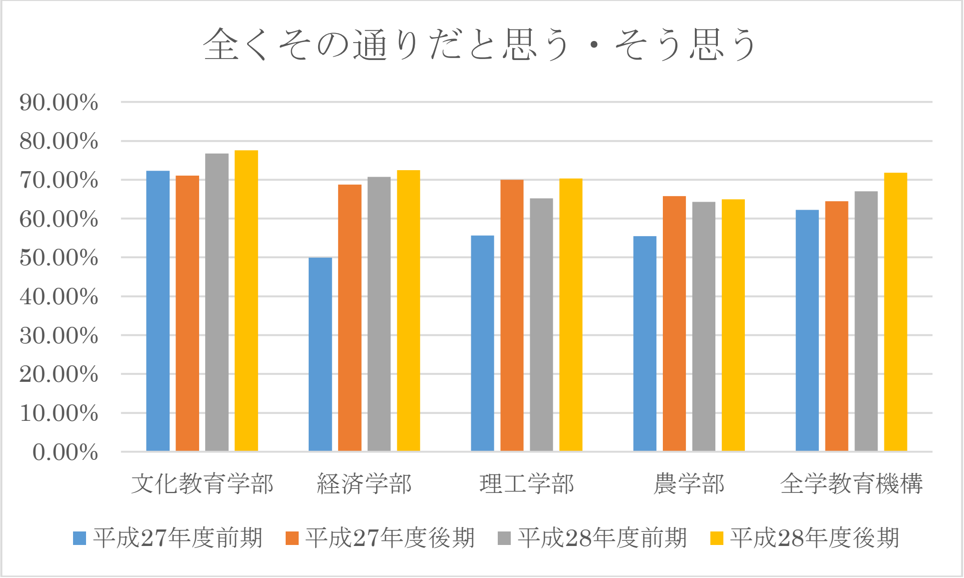
教育学部，芸術地域デザイン学部についてはやや低い傾向にあるものの，「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が，すべての学部と機構で 60%以上であることから概ねシラバスに基づいた授業が行われていると判断できる．ただし，「シラバスの内容を把握していないため分からない」と回答している学生も 20%を超えている部局もあ

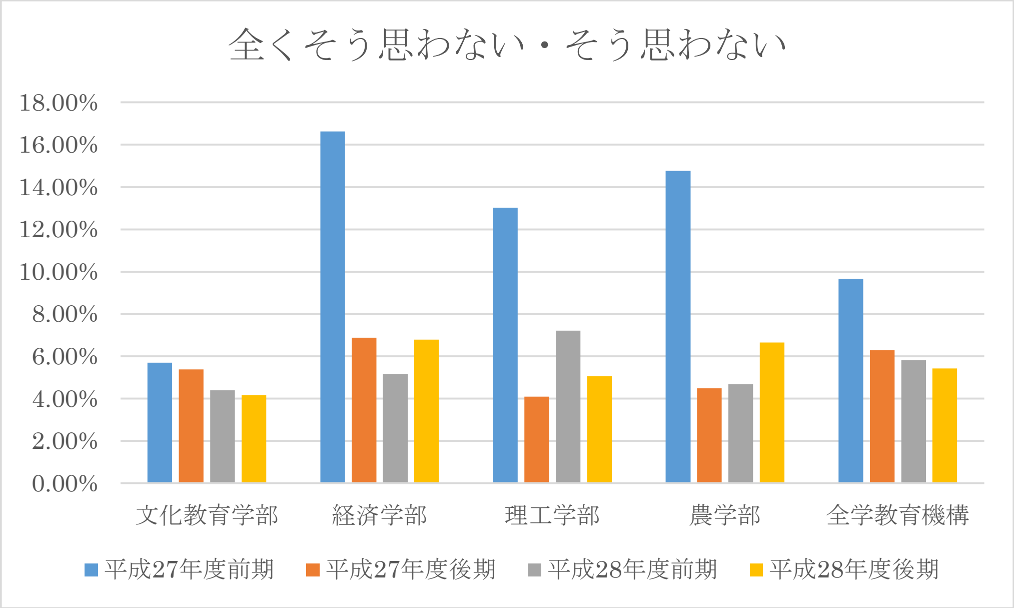
り，まずは，シラバスの活用をさらに推進する必要があるだろう．

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

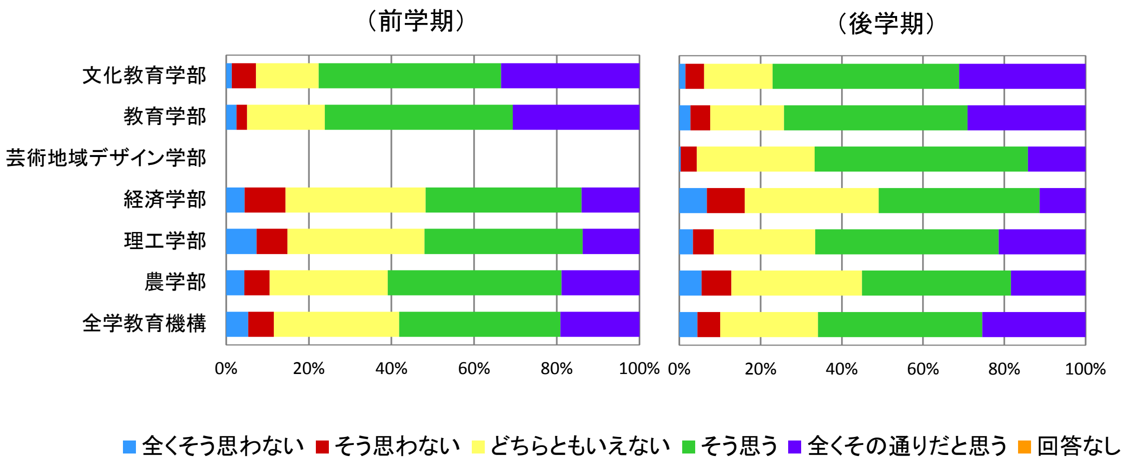


前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない．約 60～70%の学生が，「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており，教材（教科書，配布資料）や ITC 環境（LiveCampus，講義配信システム，各授業の講義用 Web ページ，ネット授業，e ラーニングなど）の使用に関しては，概ね好評であると判断される．全体的に、前年度より「全くその通りだと思う」「そう思う」が増えている。



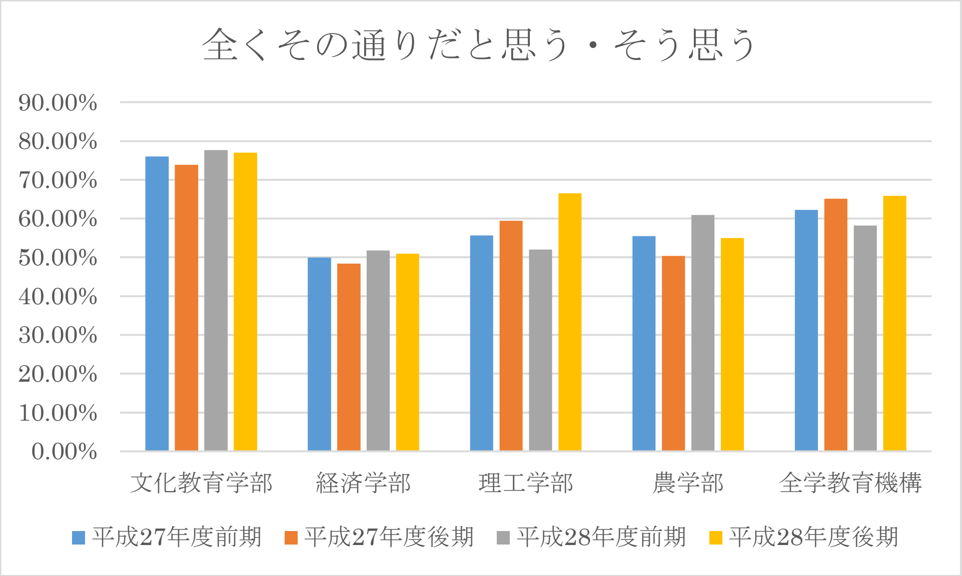


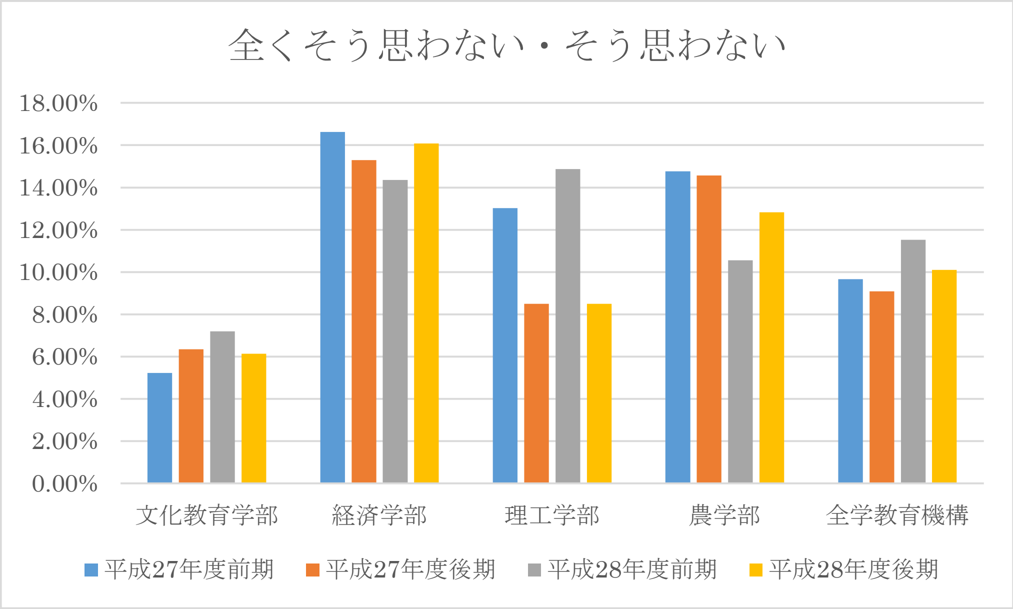
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



本項目は，アクティブ・ラーニングの全学的な導入を踏まえて昨年度から授業アンケートに追加されたものである．文化教育学部では，70%以上の学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており，次いで全学教育機構（旧教養教育運営機構）と芸術地域デザイン学科において，60%以上の学生が同様に回答している．これらの学部・機構ではアクティブ・ラーニングを意識した授業展開が図られていると思われる．全体的には，前学期と後学期で回答の傾向にあまり差は見られないが，理工学部では，後期において肯

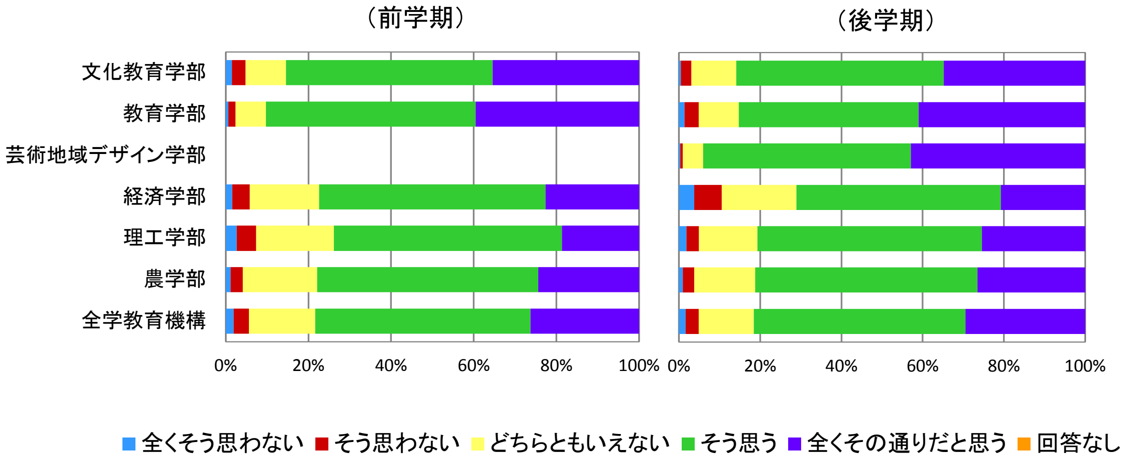
定的な多く，否定的な回答が少ない傾向にある．今後，全学的なアクティブ・ラーニングの導入により，さらに肯定的に回答する割合が増えていくことが期待される．



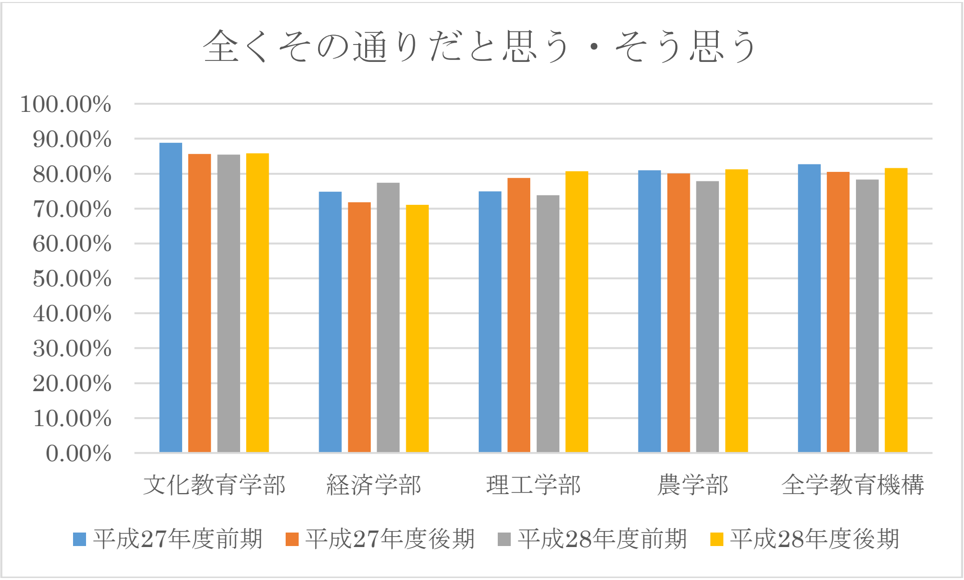


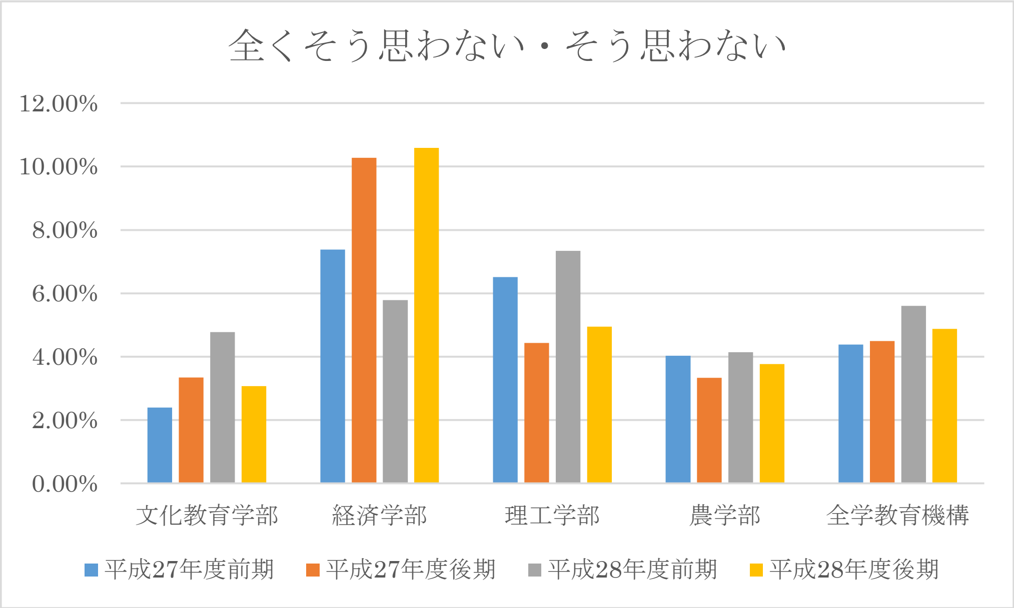
D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生は，芸術地域デザイン学部が 94%と最も高く，次いで，文化教育学部と教育学部で 80～90%程度，全学教育機構と農学部で約 80%，その次に，理工学部，経済学部となっている．どの部局も肯定的に回答している学生の割合が 70%を超えており，おおむね満足のいく授業が行われていると判断される．





今回は、満足度と他の項目との相関も確認した。以下に表を見る際の注意点を記す。

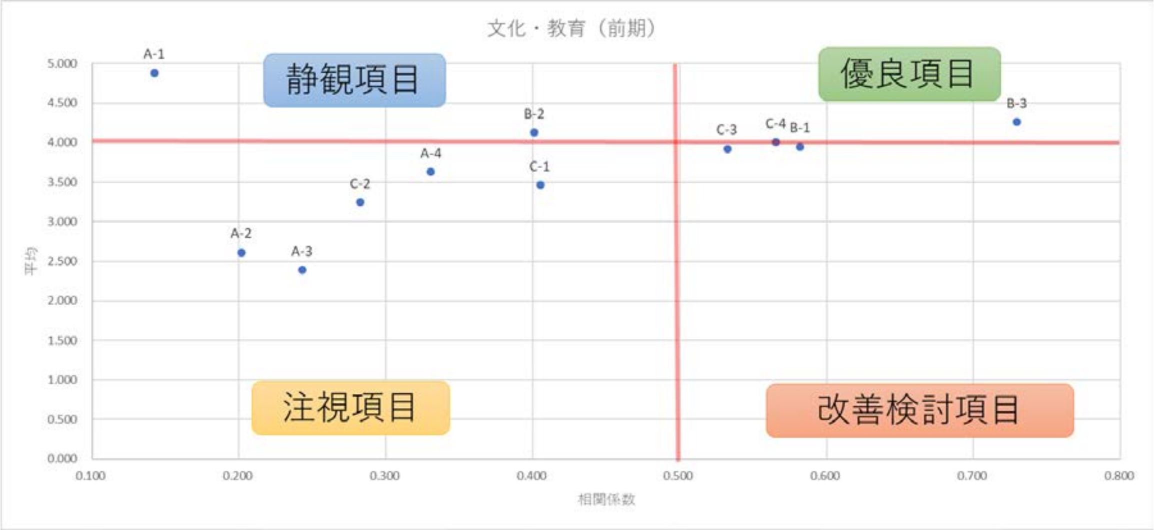
- 文化教育学部と教育学部については、両学部の回答総数を利用した。
- 各項目の「全くその通りだと思う」を5点、「そう思う」を4点、「どちらともいえない」を3点、「そう思わない」を2点、「全くそうは思わない」を1点として計算した。その他の項目についても、同様に5段階評価を行った。
  - アンケート項目 A-3「この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか」の「シラバスを見ていない」は0点として計算した。
  - アンケート項目 B-1「教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか」の「説明がなかった・該当しない」は0点として計算した。
  - アンケート項目 B-2「担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか」の「質問・相談をしなかった」については、計算対象とはしなかった。
  - アンケート項目 C-1「この授業の学習到達目標を達成できましたか」の「学習到達目標を把握していないため分からない」は0点として計算した。
  - アンケート項目 C-2「授業の内容はシラバスに基づいていましたか」の「シラバスの内容を把握していないため分からない」は0点として計算した。
- 表において相関係数が0.5を超えているところにピンク色で色付けした。

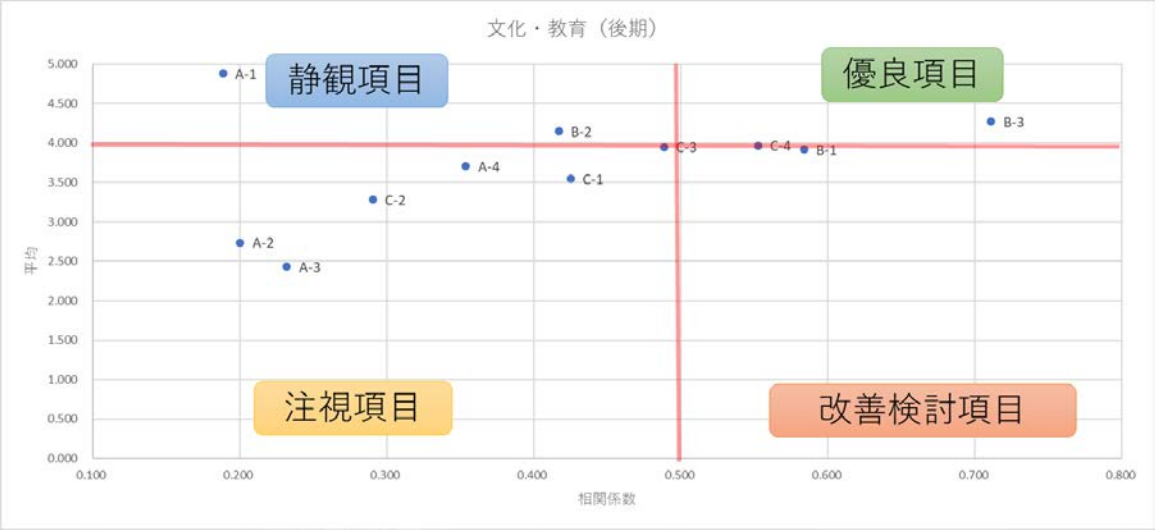
		A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4
		出席率	時間外学習	シラバス活用	目標や基準の把握	理念に基づいた説明	質問や相談の対応	教員の意欲や熱意	到達目標の達成	シラバスに基づく授業	教材やICT環境	主体的・対話的な学び
文化・教育（前期）	相関係数	0.142	0.202	0.243	0.331	0.582	0.401	0.729	0.405	0.283	0.532	0.566
	アンケート平均	4.884	2.613	2.393	3.631	3.951	4.127	4.262	3.462	3.247	3.925	4.009
文化・教育（後期）	相関係数	0.189	0.200	0.232	0.354	0.584	0.417	0.711	0.425	0.291	0.489	0.552
	アンケート平均	4.882	2.737	2.434	3.704	3.920	4.146	4.274	3.545	3.282	3.948	3.967
芸術地域（後期）	相関係数	0.201	0.221	0.153	0.240	0.400	0.333	0.573	0.321	0.210	0.286	0.479
	アンケート平均	4.875	2.215	1.871	3.366	3.680	4.113	4.327	3.079	2.878	3.637	3.762
経済（前期）	相関係数	0.324	0.179	0.284	0.353	0.674	0.362	0.736	0.458	0.325	0.563	0.551
	アンケート平均	4.745	2.226	2.314	3.532	3.755	3.828	3.994	3.228	3.287	3.829	3.469
経済（後期）	相関係数	0.203	0.222	0.252	0.379	0.720	0.428	0.743	0.478	0.363	0.645	0.545
	アンケート平均	4.707	2.310	2.493	3.528	3.652	3.774	3.953	3.229	3.278	3.821	3.394
理工（前期）	相関係数	0.199	0.232	0.308	0.388	0.631	0.438	0.677	0.536	0.359	0.533	0.556
	アンケート平均	4.899	2.903	2.441	3.677	3.666	3.858	3.858	3.339	3.356	3.718	3.435
理工（後期）	相関係数	0.189	0.232	0.280	0.364	0.564	0.448	0.668	0.469	0.388	0.557	0.527
	アンケート平均	4.874	3.047	2.735	3.835	3.841	4.001	4.049	3.591	3.641	3.841	3.760
農（前期）	相関係数	0.125	0.158	0.203	0.357	0.576	0.443	0.707	0.498	0.315	0.465	0.494
	アンケート平均	4.930	2.576	2.325	3.659	3.797	3.930	4.099	3.436	3.445	3.758	3.648
農（後期）	相関係数	0.141	0.253	0.242	0.347	0.638	0.425	0.741	0.481	0.327	0.527	0.562
	アンケート平均	4.913	2.599	2.452	3.656	3.828	3.965	4.106	3.385	3.521	3.750	3.551
全学（前期）	相関係数	0.198	0.167	0.242	0.327	0.587	0.415	0.687	0.440	0.299	0.511	0.524
	アンケート平均	4.857	2.426	2.212	3.659	3.693	3.898	4.014	3.258	3.136	3.776	3.604
全学（後期）	相関係数	0.211	0.220	0.264	0.366	0.597	0.427	0.696	0.457	0.348	0.542	0.539
	アンケート平均	4.812	2.530	2.561	3.675	3.817	3.980	4.095	3.444	3.419	3.866	3.768

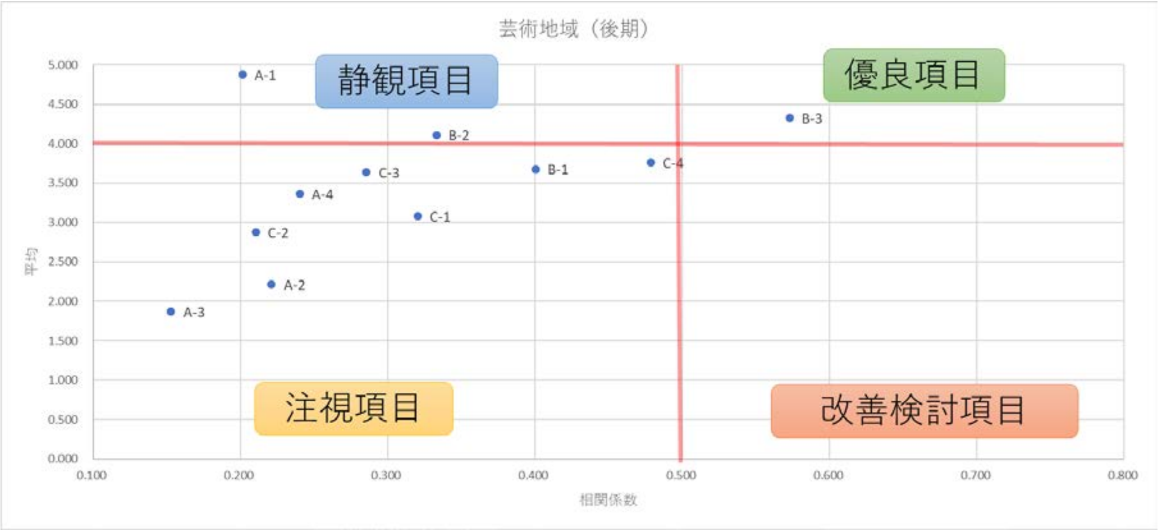
表によれば、学生の満足度と相関が比較的強い項目はB1「理念に基づいた説明」、B3「教員の意欲や熱意」、C3「教材やICT環境」、C4「主体的・対話的な学び」の4項目である。

また、表に基づいた散布図を以下に示す。なお、相関係数が0.5およびアンケート評点が4のところに赤線を引き、相関係数0.5以上でかつアンケート評点が4未満の領域（第4象限）を改善へむけた検討が望まれる領域（改善検討項目）、相関係数が0.5以上かつアンケート評点が4以上の領域（第1象限）を特に改善が必要ない領域（優良項目）、相関係数が0.5未満かつアンケート評点が4未満の領域（第3象限）をすぐに対応する必要はないが注意すべき領域（注視項目）、相関係数が0.5未満かつアンケート評点が4以上の領域（第2象限）を様子見の領域（静観領域）として4つの領域に分類した。

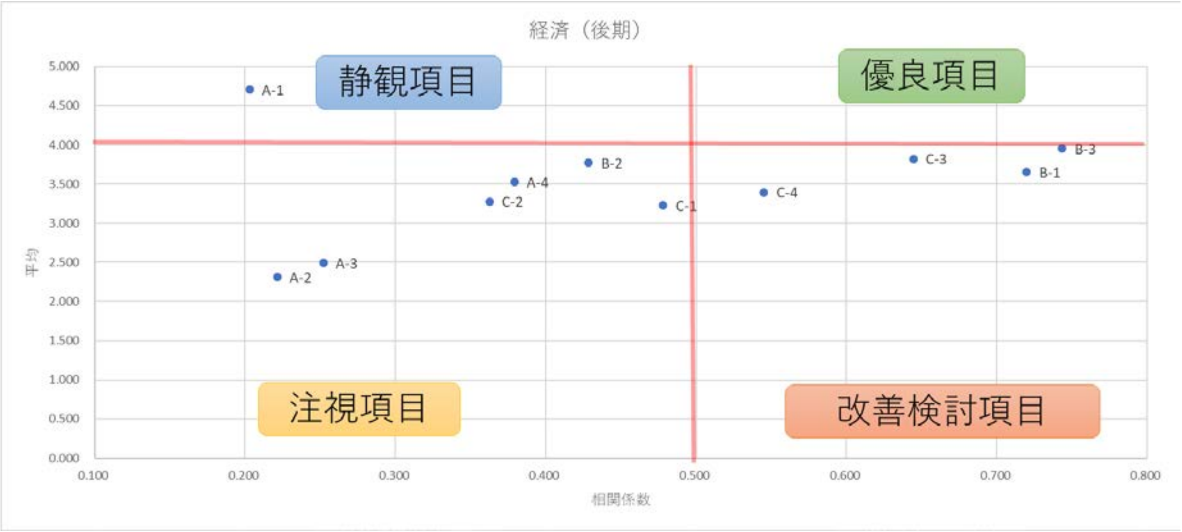
これによれば、検討が望まれる項目はB1「理念に基づいた説明」、C3「教材やICT環境」、C4「主体的・対話的な学び」の3項目である。

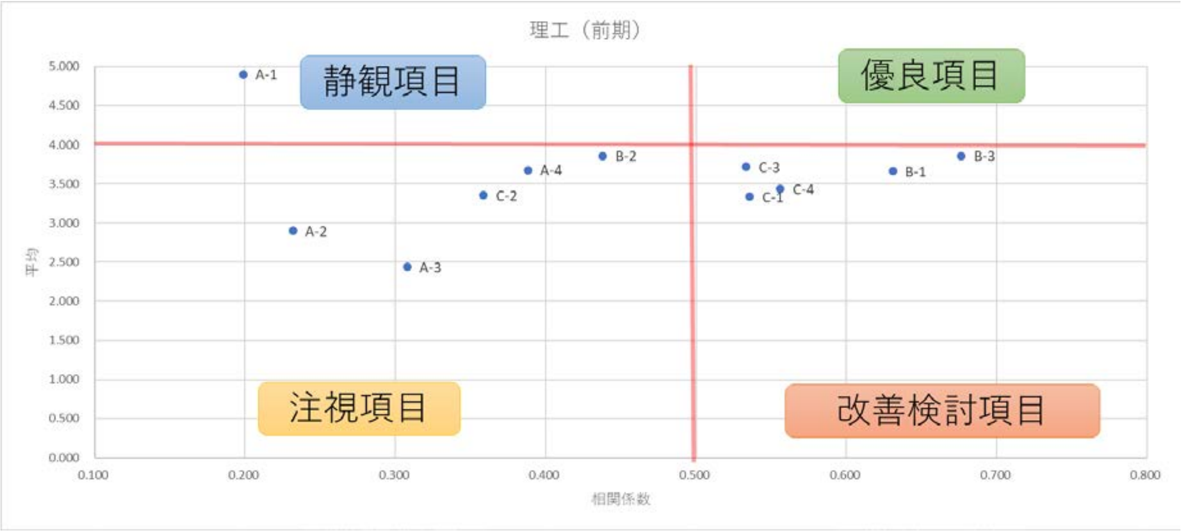

文化・教育（前期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
平均
相関係数
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800

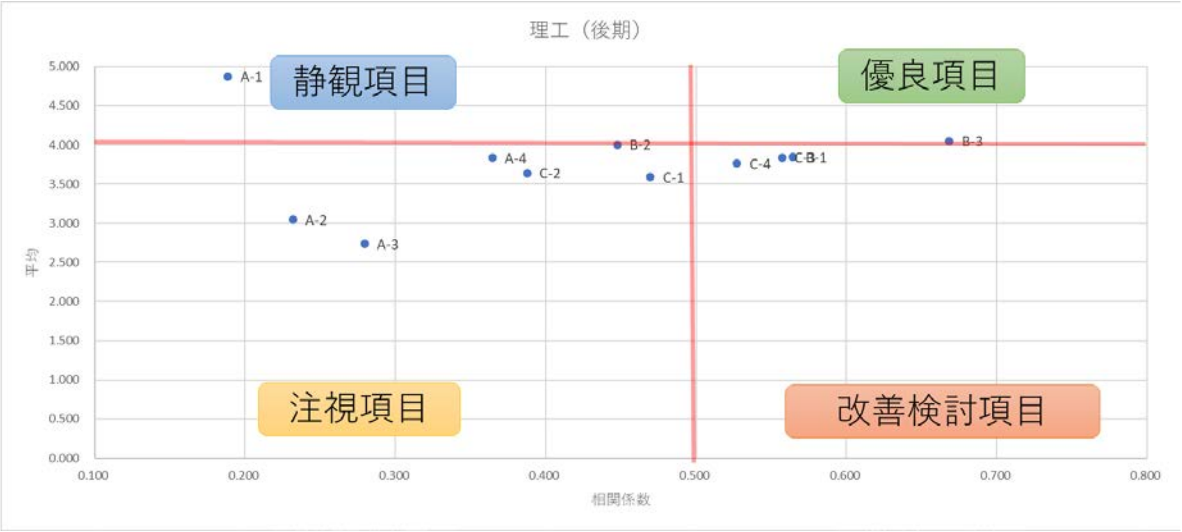

文化・教育（後期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
平均
相関係数
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800

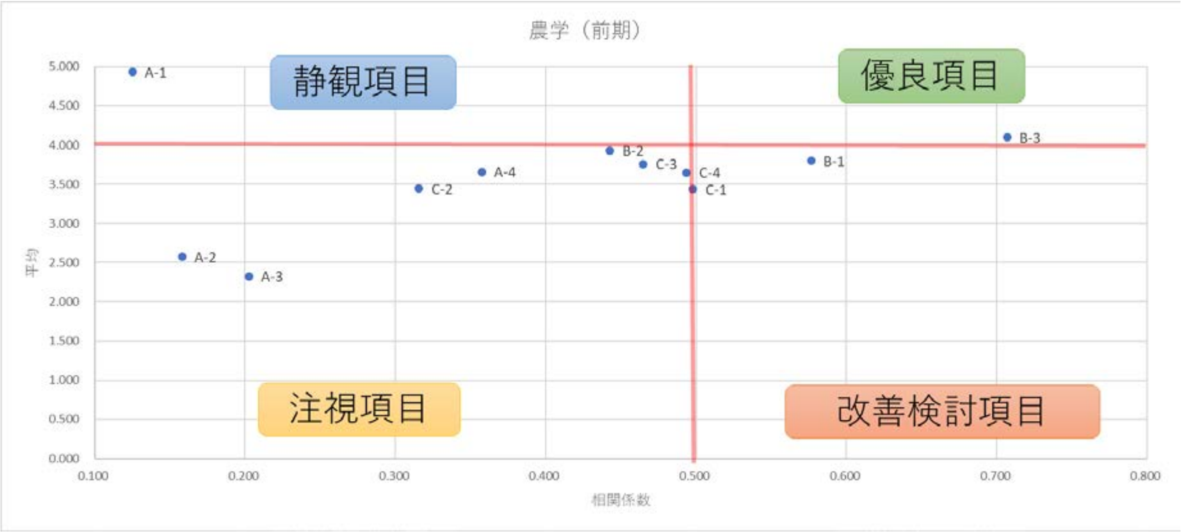

芸術地域（後期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
A-1
B-2
B-3
C-3
B-1
C-4
A-4
C-1
C-2
A-2
A-3
平均
相関係数
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800

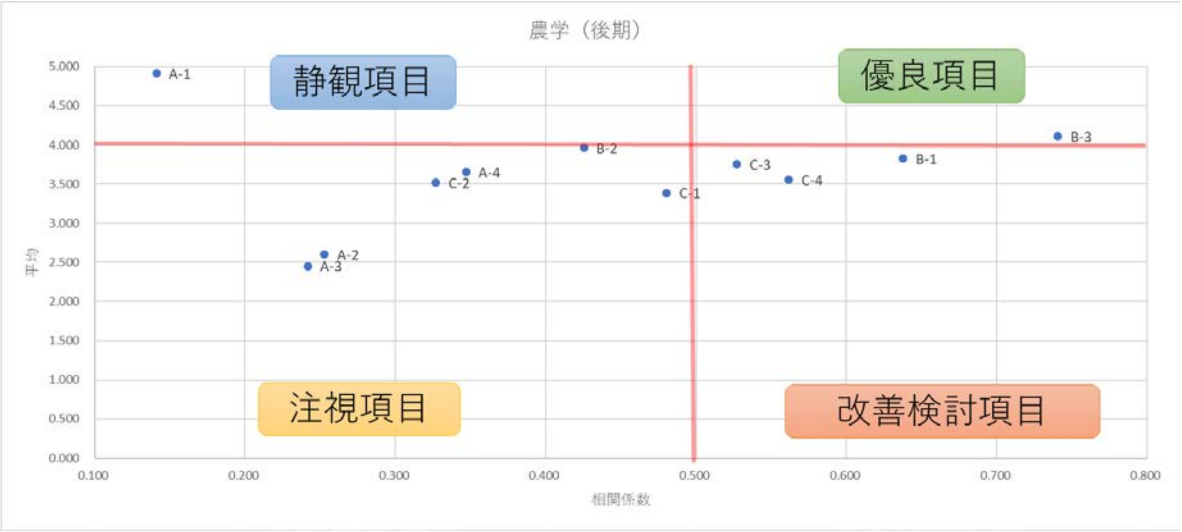
経済（前期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
A-1
B-2
B-3
C-3
B-1
A-4
C-4
C-2
C-1
A-3
A-2
平均
相関係数
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800

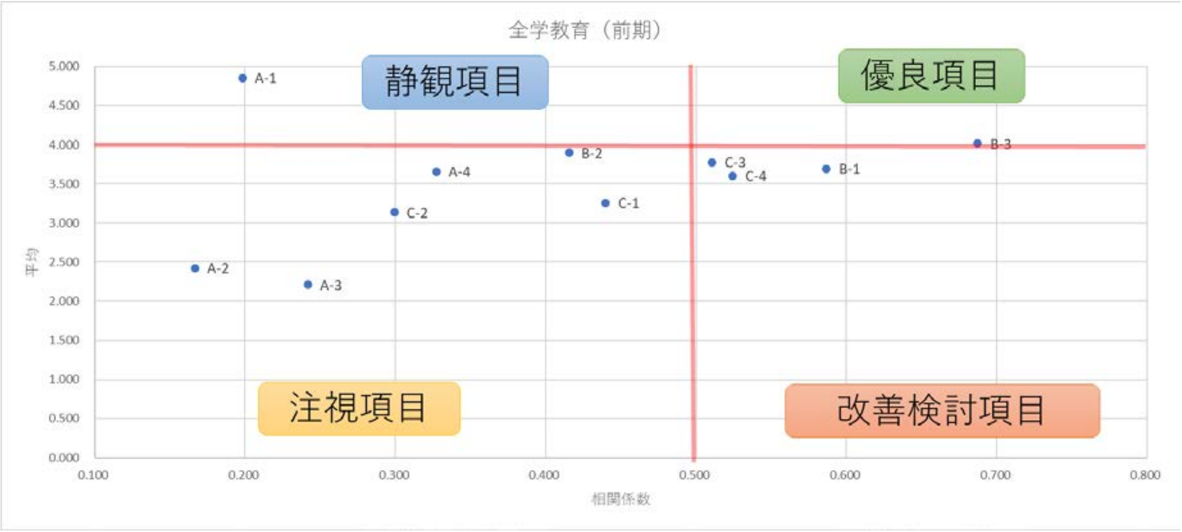

経済（後期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4
平均
相関係数
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800

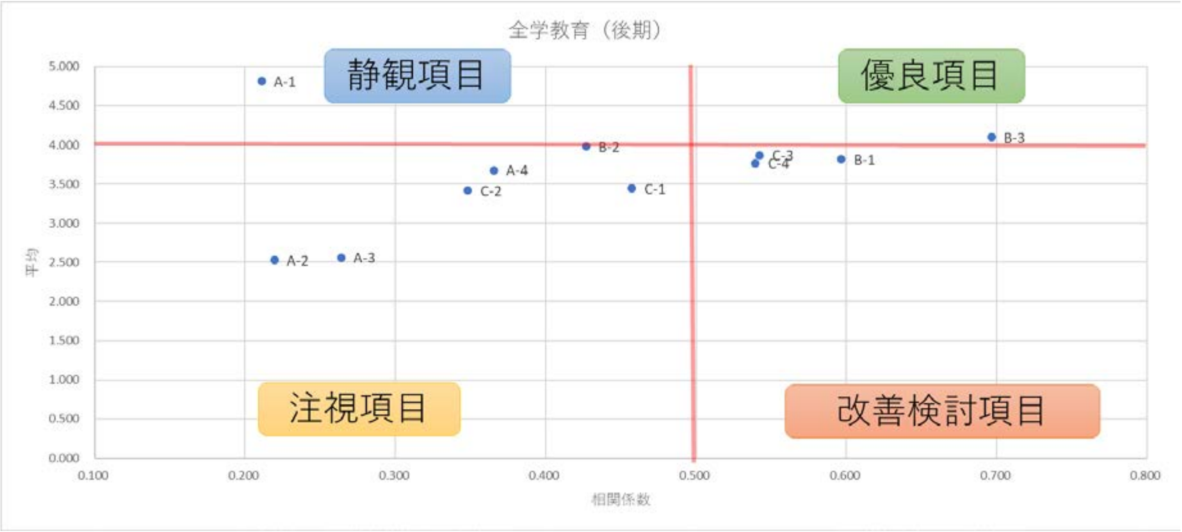

理工（前期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4
平均
相関係数
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800


理工（後期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
平均
相関係数
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800
A-1
A-2
A-3
A-4
B-2
B-3
C-1
C-2
C-4
B-1


農学（前期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
平均
相関係数
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4


農学（後期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4
平均
相関係数
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800


全学教育（前期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4
平均
相関係数
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800



全学教育（後期）
静観項目
優良項目
注視項目
改善検討項目
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4
平均
相関係数
5.000
4.500
4.000
3.500
3.000
2.500
2.000
1.500
1.000
0.500
0.000
0.100
0.200
0.300
0.400
0.500
0.600
0.700
0.800

佐賀大学教育学部

平成 28 年度「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

平成 29 年 7 月

佐賀大学教育学部 FD 委員会

概要

教育学部は平成 28 年度に文化教育学部から名称変更したばかりであり、今回の授業評価アンケートの対象となったのは平成 28 年度入学の 1 年生の授業のみである。このように新カリキュラムとなって 1 年目の段階で分析できることは限定的である。次頁以下に示す評価内容を全体として見た場合、比較的良好な結果を得たと解釈できるが、今後の学年進行に伴ってどのように変化していくのか注意して観察する必要がある。

また、佐賀大学では学生による授業評価がウェブ入力方式になり、今年度で 7 年目を迎えることになった。その変更に伴って、学生による回答率が手書きアンケート方式時代と比べて著しい低下を示し、その傾向がその後変わることなく続いてきた。今回の教育学部の回答率は文化教育学部時代よりも良好であるが、これは回答者が 1 年生であるために入力を真面目に行ったためであろう。現に後期は前期と比較して大幅に回答率が低下している。こちらも今後の学年進行に伴ってどのように変化していくのか注意して観察する必要がある。教員による指導の徹底とは言うものの、やはり学生の自主的な入力に期待しているので、何らかの対策なしには文化教育学部時代からの大幅な回答率の向上は見込めないであろう。今後の検討課題である。

アンケートの質問項目は、学生の受講態度についての自己評価に関するものと授業担当教員に対する評価に分かれる。学生自身の評価では、予習・復習の時間、授業の目的の把握、成績基準の把握、授業内容の理解、内容への興味、満足度などが項目として挙げられている。一方、教員への評価では、教材やＩＣＴ環境活用の適切性、シラバスの有効活用、適切な授業の進み方、質問への適切な対応などが項目に挙がっている。

以下の報告は、授業アンケートの各質問項目についての結果のデータとそれにもとづく分析とコメントである。

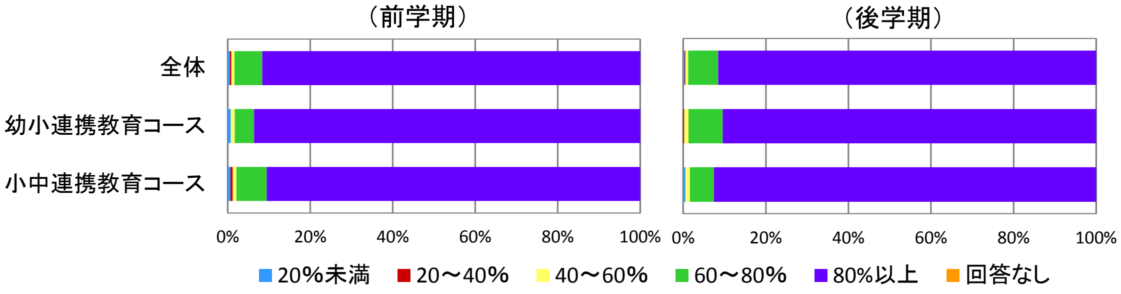
教育学部組織別授業評価分析

分析の仕方

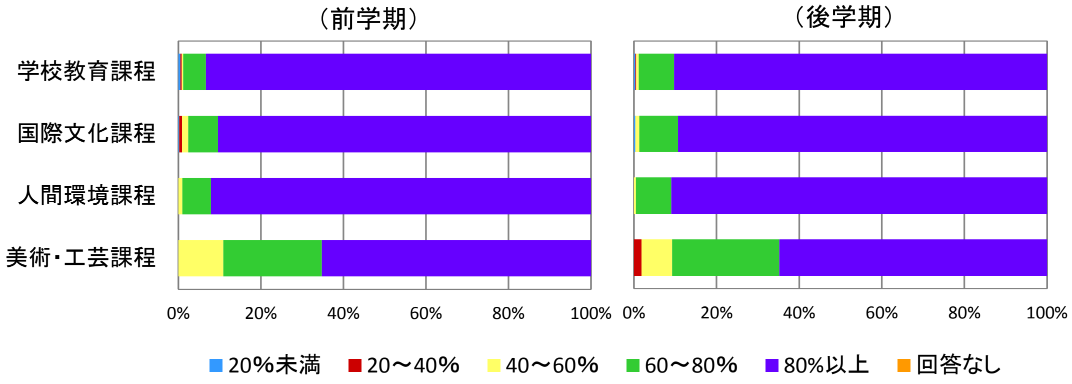
教育学部には、幼少連携教育コースと小中連携教育コースがある。本分析ではこれらのコースのアンケート結果を比較して、コースごとの特徴の抽出を試みた。コースごとの差異が認められない場合はすべてのコースに見られる特徴を述べた。また前学期と後学期についても、差異が認められる場合にかぎってその違いについて言及している。更には必要に応じて、同年度の文化教育学部のデータとの比較も試みた。

A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか

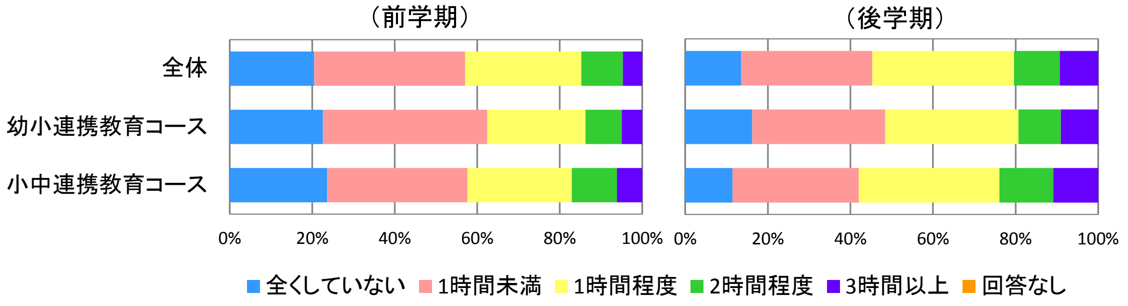


【参考】文化教育学部のアンケート結果（H28）

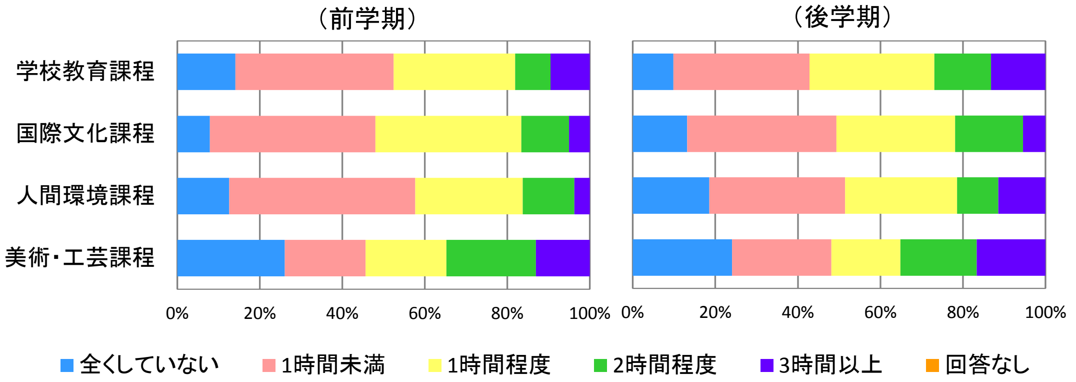


前・後期ともに出席率は高い。コースによる差は見られず、文化教育学部における美術・工芸課程のように目立って出席率の低いコースはない。1 年生のみの結果であるため、今後学年が進んでも同様の出席率を維持する必要がある。

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか

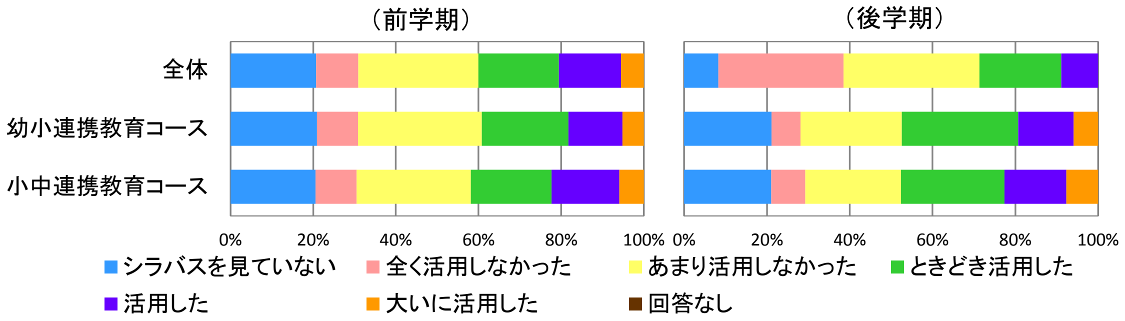


【参考】文化教育学部のアンケート結果（H28）

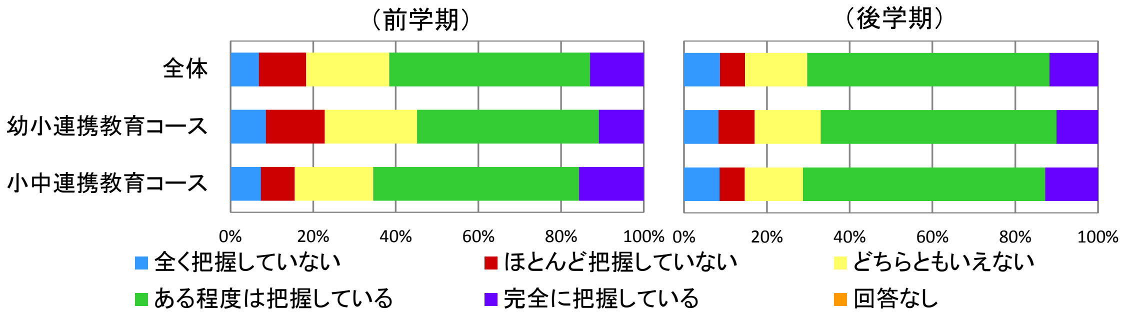


「授業時間外学習をまったくしていない」と答えている学生が、前期にはコース共通で20％強、後期には幼少連携コースで約 15%、小中連携コースで約 10%存在する。また、1 時間未満という回答も多く、問題を感じるが、1 年前期にはオリエンテーション的な内容を持つ科目が存在したことが推測され、後期には改善が見られている点は評価できる。学年が進んで授業内容が高度化することにより、授業時間外学習が増加するのか注目していきたい。文化教育学部の学校教育課程が比較対象として適当であろう。

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

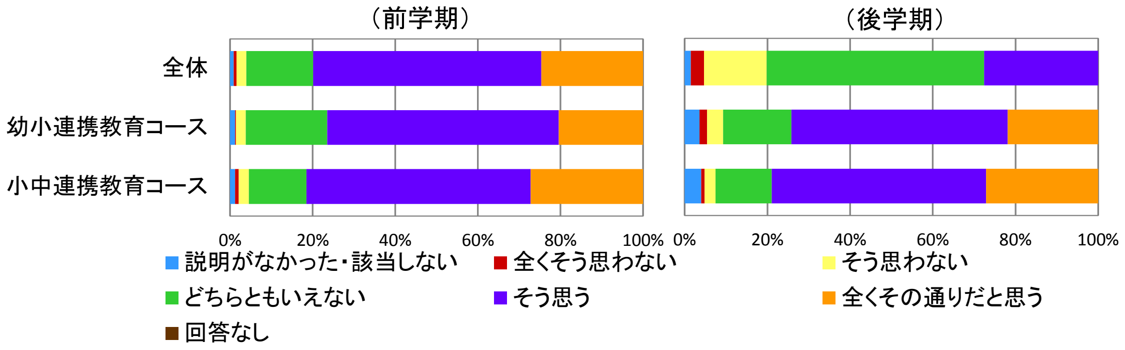


A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



B.　教員の対応

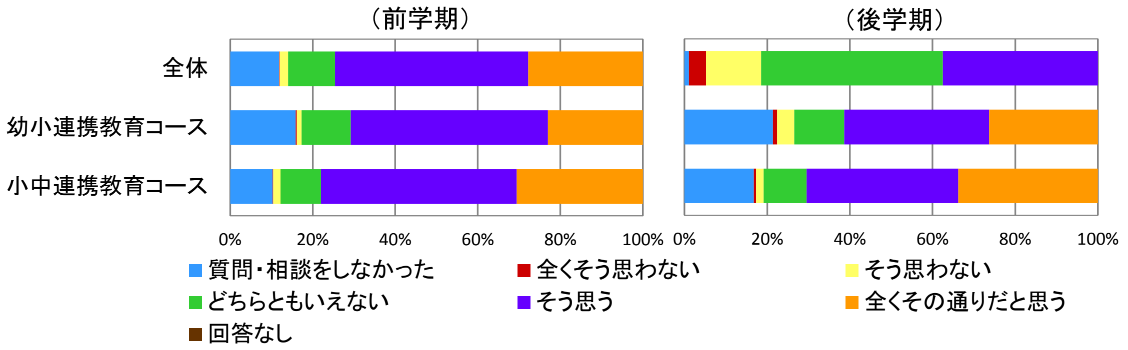
B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



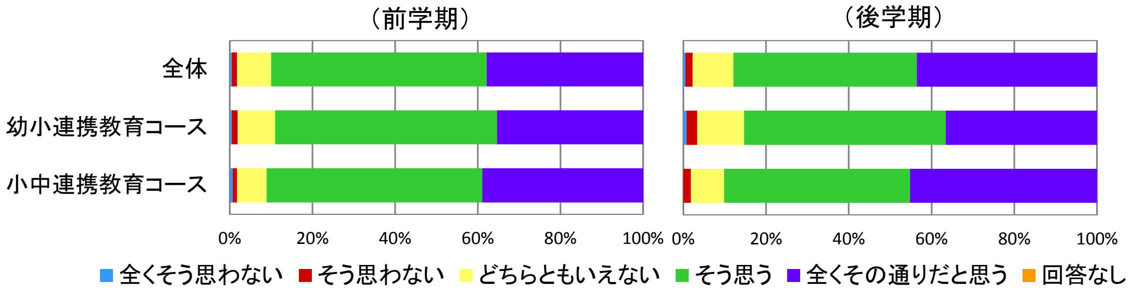
A-3 では、前・後期ともに「シラバスを見ていない」という回答が 20%あり、「全く活用しなかった」「あまり活用しなかった」を合わせると前期が 60%、後期が 50%に達する。教員が多大な労力を掛けて作成・チェックを行ったシラバスがあまり活用されていないことは残念ではある。しかし、教育学部は免許取得のための必須科目が多く、履修する科目がほぼ決まっているため、シラバスを見て履修科目を選択することが少ない。また、A-4、B-1 に見られるように、学習到達目標や成績評価基準を「把握している」、教育方法や成績評価方法等の説明が「有益」とする学生の割合は高い。授業中にシラバス内容を丁寧に説明し

ている教員も多く、学生が WEB 上のシラバス活用を意識していない場合も多いと思われる。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



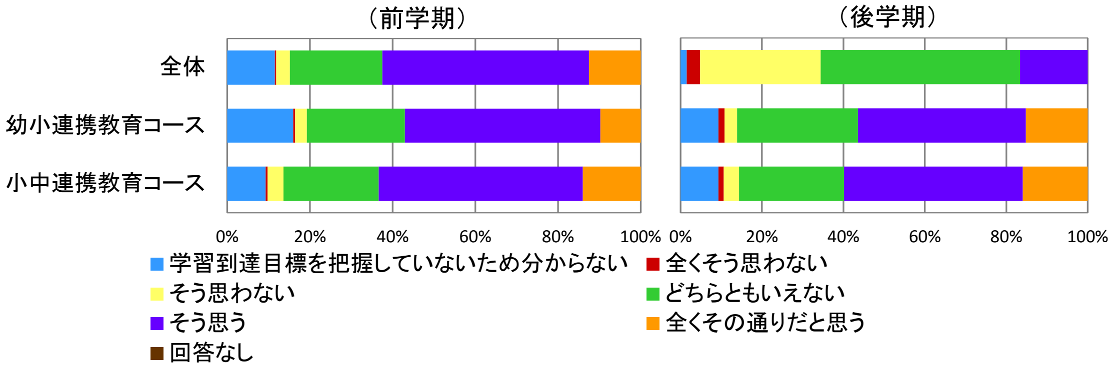
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



B-2 では、担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれたと「思う」割合が、B-3 では、教員の授業に対する意欲や熱意が感じられたと「思う」割合が、それぞれ高く、担当教員の受講生への対応や授業への取り組み姿勢は高く評価されているといえる。あえて問題点を挙げるなら、B-2 において「質問・相談をしなかった」学生が一定数存在し、後期に増えていることであろう。

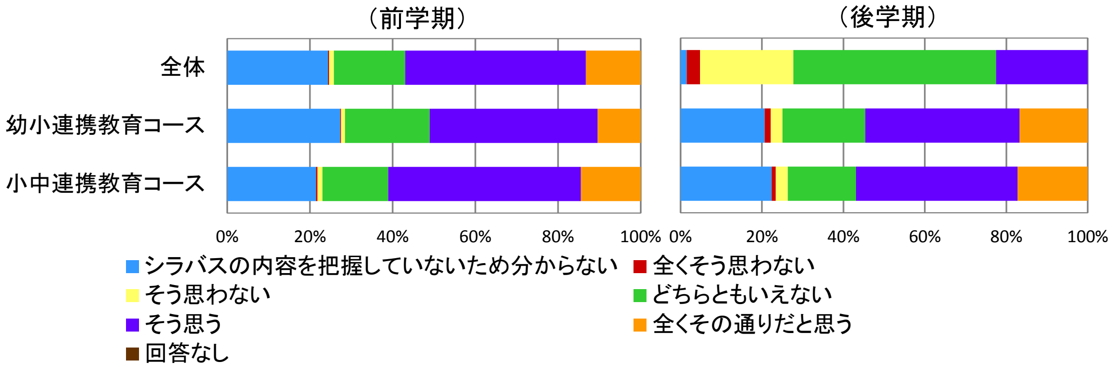
C.　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか



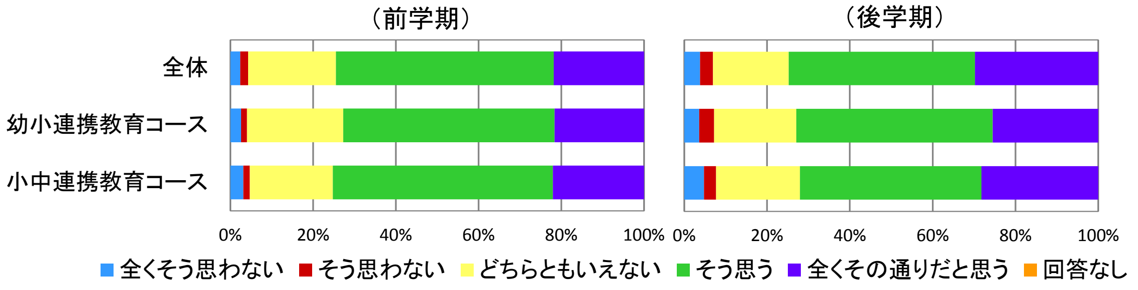
授業の学習到達目標を達成できたと「思う」割合が高く、「全くそう思わない」「そう思わない」学生は少ない。あえて問題点を挙げるなら、「学習到達目標を把握していない･･･」学生が一定数存在していることであるが、後期には若干改善されている。

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



授業内容がシラバスを完全に踏襲する必要はないと考えるが、「シラバスの内容を把握していないため分からない」が 20%以上存在することに留意すべきである。

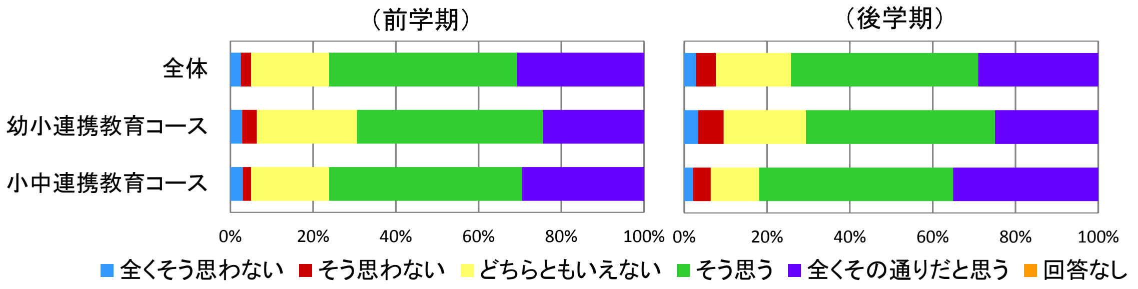
C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



用

Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）が授業の理解に役立ったと「思う」割合が、高く、教材やＩＣＴ環境は高く評価されているといえる。一方、後期にわずかであるが「思わない」割合が増えており、今後の変化に注意する必要がある。

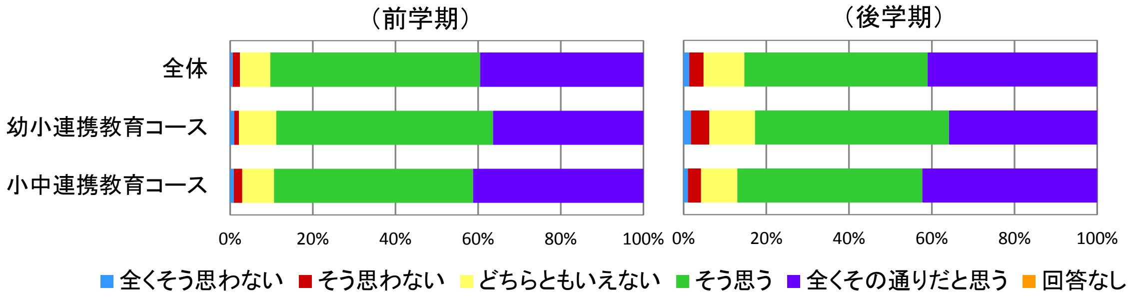
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったと「思う」割合が高く、「全くそう思わない」「そう思わない」学生は少ない。一方、後期にわずかであるが「思わない」割合が増えており、今後の変化に注意する必要がある。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



前・後期ともにコースによる差は見られず、満足度は高い。1 年生のみの結果であるため、今後学年が進んでも同様の満足度を維持する必要がある。

佐賀大学文化教育学部

平成 28 年度「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

平成 29 年 9 月

佐賀大学文化教育学部 FD 委員会

概要

アンケートの回答方法がウェブ入力方式になり、一昨年からは全学的に記名式に改めることとなったが、この改善点は回答率の向上には至っていない。

ウェブ入力方式になったことは回答率を低下させ、アンケート自体の信頼性が確保できない。高い回答率を望むなら従来の手書き方式に戻すべきである。このまま、ウェブ入力方式を続けることは大学側がアンケートを実施したかしないかを問うだけの根拠資料となるだけで、アンケートに対しせっかくまじめに回答してくれた学生の入力の苦労を無駄にしたことになりかねない。アンケート回答率の低さは、文化教育学部が教育内容の性格上、少人数クラスが多いことなどが考えられる。なにより教員による指導の徹底とは言うもののやはり学生の自主的な入力に期待しているのでこれ以上の回答率の向上は見込めないと思う。文化教育学部の学生は 29 年度で最終学年になるので改善しろと指摘するつもりはないが、本年度も同様な結果をもたらすであろう。

今後のため、教育学部の学生についての具体的改善策は挙げてみる。情報基礎演習Ｉでスマホやモバイルの登録を行っており、100%の学生が LiveCampus にアクセスが可能になっている。事務に尋ねてみると学生による授業評価アンケートもモバイルによる回答もできることがわかった。よって、各教員が期末の最終授業日においてアンケート回答の時間を裂いてモバイルによる入力をその場で行えば回答率 100％に近いデータが得られるため、今度の提案としたい。

アンケートの質問項目は、学生の受講態度についての自己評価に関するものと授業担当教員に対する評価に分かれる。学生自身の評価では、予習・復習の時間、授業の目的の把握、成績基準の把握、授業内容の理解、内容への興味、満足度などが項目として挙げられている。一方、教員への評価では、教材やＩＣＴ環境活用の適切性、シラバスの有効活用、適切な授業の進み方、質問への適切な対応などが項目に挙がっている。

平成 28 年度の文化教育学部における授業開講数は教育学部が始まり 1 年生対象科目がなくなったために、前期が 327（前年 434）科目、後期が 491（前年 541）科目とやや少なくなった。しかしながら回答率ゼロ％の科目は全科目中前期 60 科目(9%)、後期 140 科目(28%)もあった。50%以上の回答率は前期 36 科目（11%)、後期 70 科目(14%)しかない。まず、10 人以下の受講生の科目は対象から除外すると、前期後期ともに平均 23%の回答率しかない。かつ、回答を行う学生はまじめな決まった学生ということが考えられるので無作為抽出にもならない。これをもってデータ解析を行うことに統計的意味はほとんどないと思われる。教員はアンケート結果を受けて、授業点検・評価報告書を作成することを義務づけられているがこのことを考えると意見のみの対応のみでいいのではないだろうか？

上述したように昨年にひきつづきアンケート回答率が非常に低く、信頼するデータ数を確保できていないため統計的信頼度はないことを認識したうえで、データを読んでいることを了承していただき、以下に各質問項目についての結果のデータとそれにもとづく分析とコメントを行った結果を報告する。

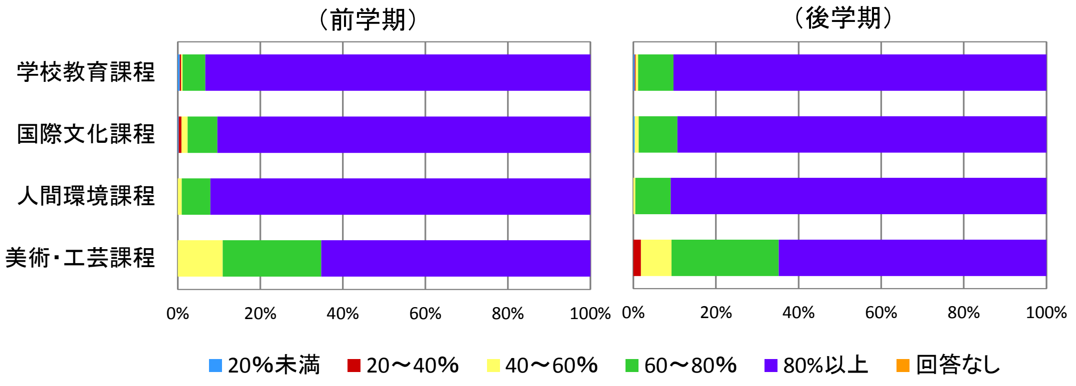
文化教育学部組織別授業評価分析

分析の仕方

文化教育学部には、学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程の４課程がある。本分析ではこれらの課程のアンケート結果を比較して、課程ごとの特徴を抽出した。課程ごとの差異が認められない場合はすべての課程に見られる特徴を述べた。必要に応じて、前年度のデータとの比較も試みた。

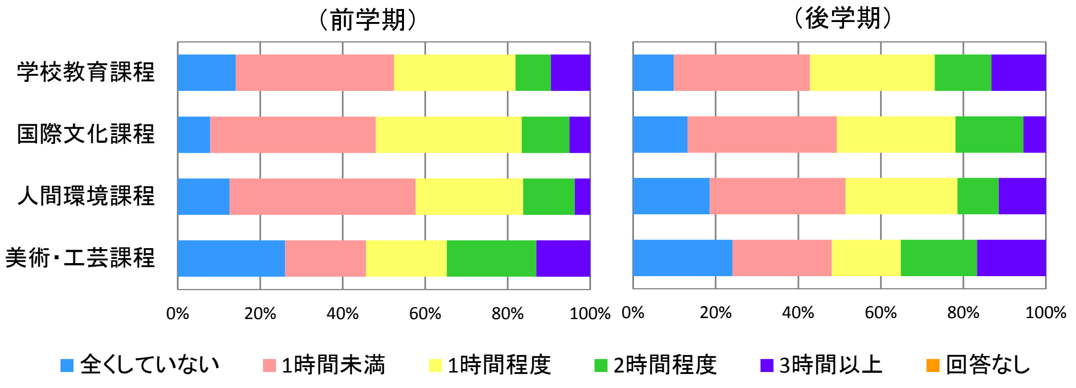
A。　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか



美術・工芸課程においては、他の 3 課程と比べて出席率が低く、これは前年度、前々年度と変わらぬ傾向である。毎年、同じような傾向があるのは美術作品の制作や卒業研究に時間を費やし、授業を犠牲にすることが考えられる。そういった内容であればこれも一つの特徴かと思う。回答率が低いにも関わらず課程ごとの特徴をよく示している。美術・工芸課程を除いては、後期も前期に遜色ない出席率を示している。

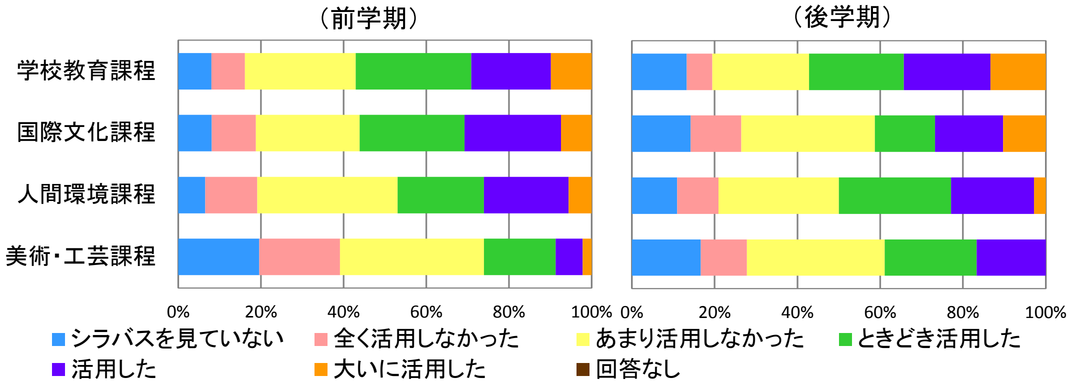
A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



学校教育課程と国際文化課程は昨年度実績とほぼ同じである。人間環境課程の昨年度の「全

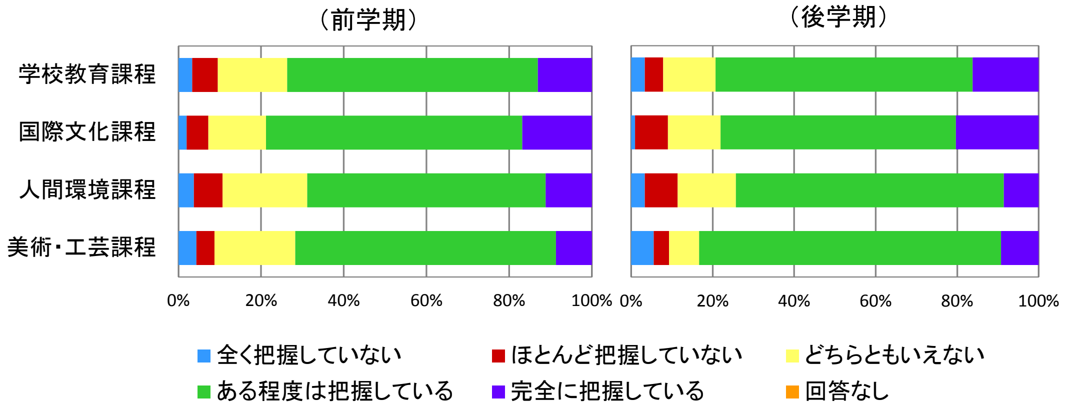
くしていない」の項目は前期、後期ともに 30%を超えていたが、今年度は 20%を切った結果となっている。美術工芸課程は同項目が 20%から 25%ととなっておりやや増加したことになる。厳密な比率を分析することに意味はなく、おおよそ 5 人に 1 人が全くしないと言う事実が読み取れる。対策として復習のための課題を出したりすればもう少し低減が可能になると思われるが、大学生の自主性に期待したい。

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



この設問の意味が不明であり、予習・復習にシラバスを活用する意味は何でしょうか？予習・復習の語句は削除でいいかと思う。学生のシラバス活用の頻度を聞いているので「シラバスを見ていない」項目を削除が必要。「シラバスを見ていない」の項目は授業の初回に教員がシラバスを説明すべきで、教員側からの対処でこの項目は０%にできる。

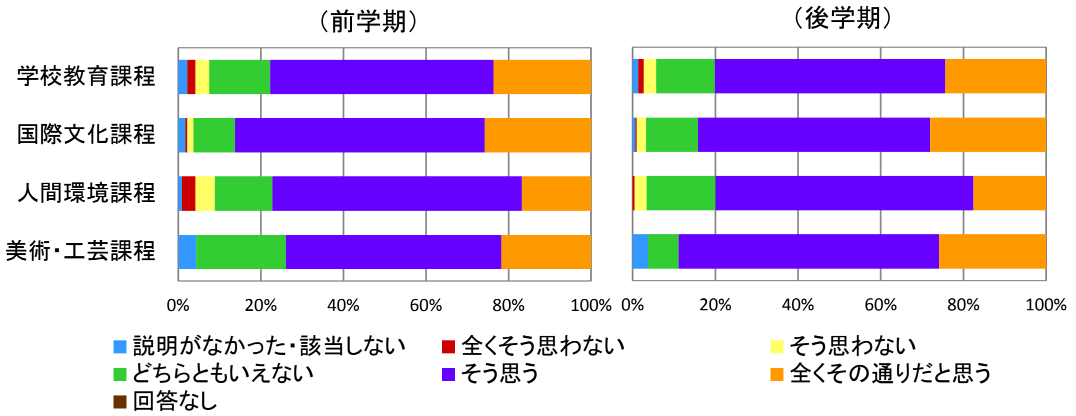
A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



７割から８割の学生が学習到達目標や成績評価基準を把握しており、シラバスを見た見ないに関わらず、そのことについて教員が説明したことが裏づけられている。

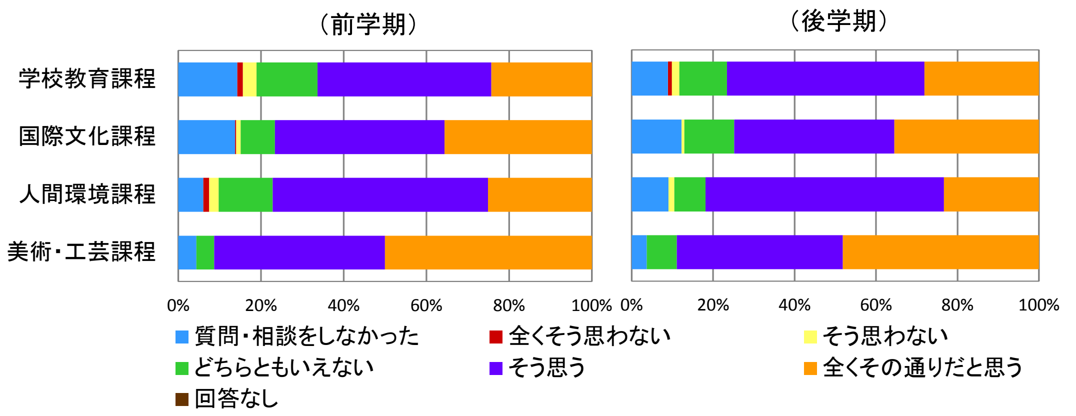
B。 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



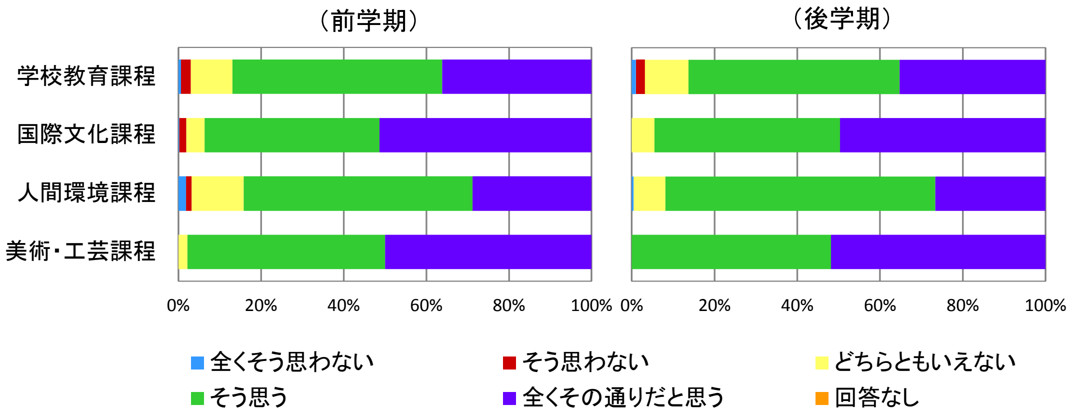
８割程度が肯定的意見であるが、教育理念に基づいた教育方法を学生に説明しているのかは疑問である。設問が成績評価方法の説明と並列になっているのでそちらに対して回答した可能性は高いと思われる。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



いずれの課程においても、7〜8 割が肯定的な回答が出されている。特に美術・工芸課程が、前・後期ともに 90%を超えて、昨年度に引き続き、高い割合を示している。これは美術・工芸課程の科目が実習としての性格が色濃く、教員と学生の関係が親密であるせいであろう。学校教育課程の前期が他に比べ肯定的回答が 70%を切っているがばらつきの範囲であるかもしれない。

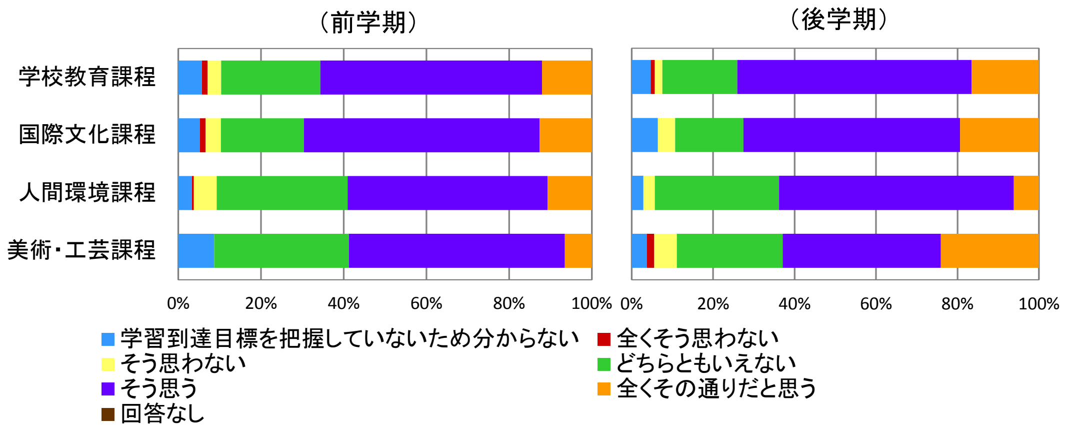
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



どの課程においても、肯定的回答が 80%を超えており、90%以上の課程もある。前項の設問に対応して、学生との対話が多い、美術・工芸課程は学生から高い評価を得ている。美術・工芸課程以外の中間的回答は別にしても良いと思うが、否定的回答が人間環境課程と学校教育課程に存在するのは問題がある。全体的には、教員の授業に対する意欲が高いものと認められる。

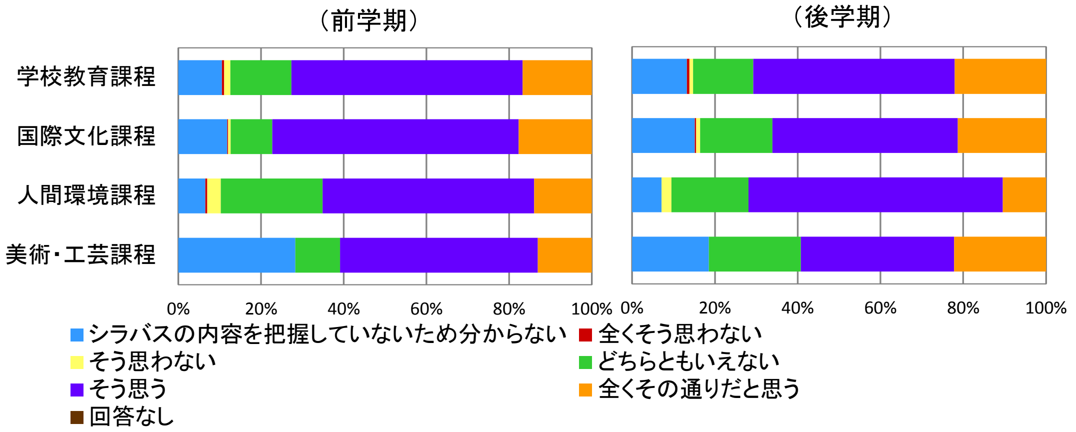
C。　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか



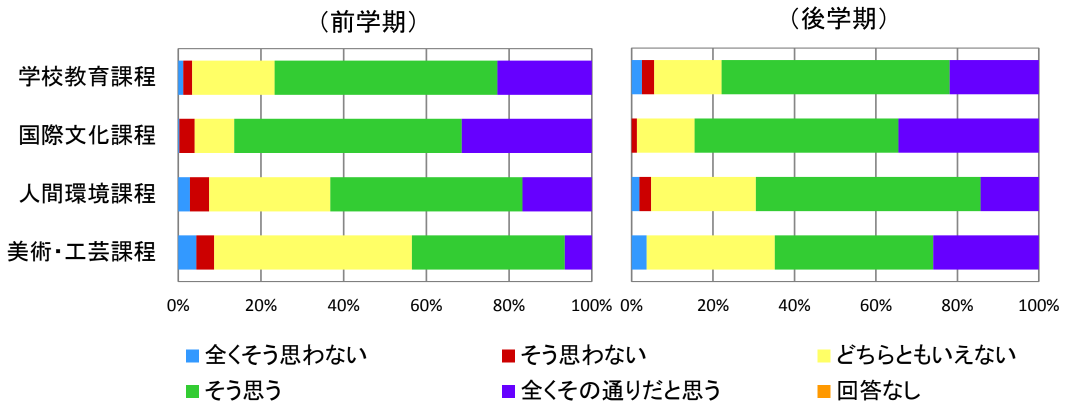
学生の昨年度の肯定的回答による達成度は 70～80%に対し、本年度は大体 60～70%で昨年度よりは低下している。学生自身の個々の評価なので数字をみて達成度を比較することはできない。やはりここで重要な項目は「学習到達目標を把握していないためわからない」のが 10%存在するところである。学習到達目標を把握しながら授業を受けていないということで学生への周知が望まれるところである。 学生の立場から見れば到達目標を把握していなくてもおもしろい授業はおもしろいと言うところか。

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



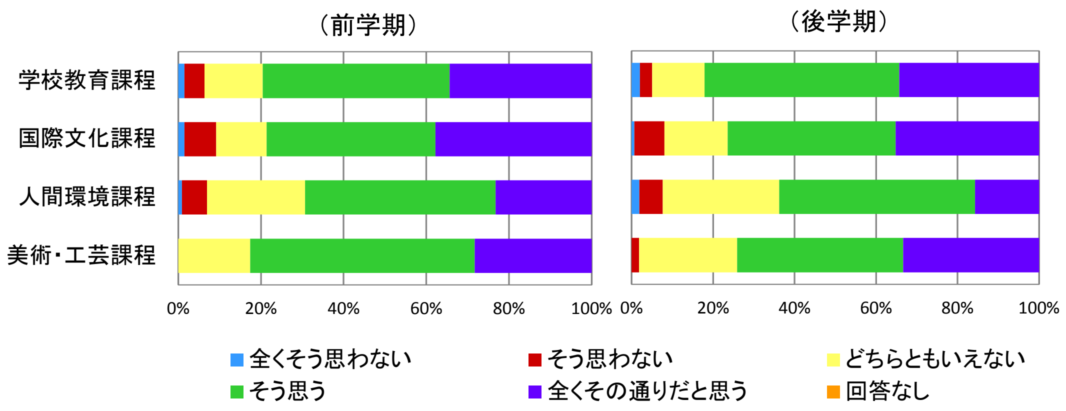
美術・工芸課程では、他課程に比べて、「シラバスの内容を把握していないため分からない」という回答が多い。美術・工芸課程の授業科目は、頭で理屈を理解するのではなく、感覚的な授業が多く、感性で学ぶという特性からシラバスをいちいち読まないという学生が多いというところだろう。そのデータを除いて考えるとはどれも 70%以上はシラバスに基づいていたことが分かる。今後このようなデータを集めるためにはシラバスの内容を把握していない学生は対象から外す必要がある。

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



この設問の回答が何を抽出しようとするものか理解できない。ICT 環境が授業理解に役立ったことを拾い出したいなら教科書を外すべきである。昨年度指摘したように ICT 環境が授業に役立ったか否かという問題以前に、ICT 環境が授業で利用されていないという現状もある。ICT 環境が必ずしも理解度を上げるものであると認識する教員も少なくない。この質問自体意味をなさないし、削除すべき項目である。

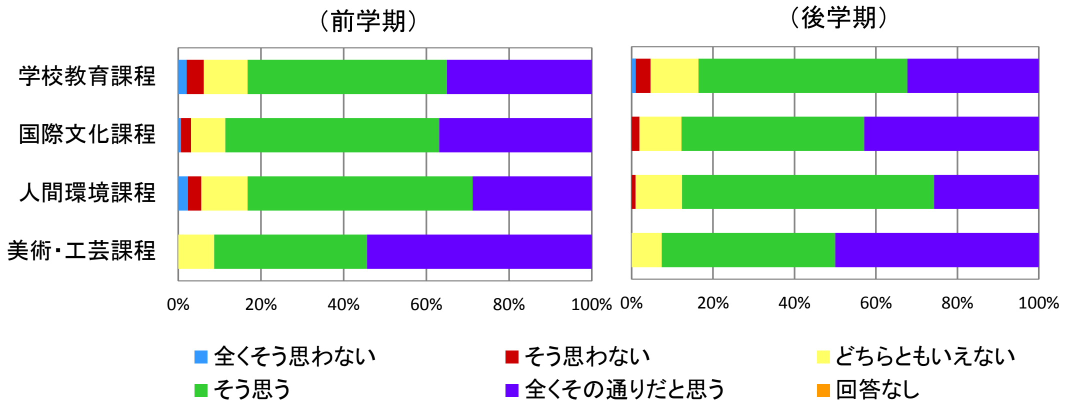
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



この質問項目はアクティブラーニング促進を意図しているところは昨年度指摘したとおりである。科目がすべてアクティブラーニングである必要ないし、授業科目により適する科目適さない科目とあるはずなのでこのデータからは良し悪しの判別はできないところである。ただし、人間環境課程では70%、その他の課程では80%程度の科目がアクティブラーニングの要素を持つ科目に該当していることが類推できる。

D。　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



昨年にひきつづき美術･工芸課程の学生が、特に高い満足度を感じていることが分かる。美術・工芸課程のアンケート結果は、学生到達目標の達成率が一番低く、出席率が一番低く、シラバスの内容を知らなかった、予習や復習の時間がワーストであったにもかかわらず、

１番の満足度を得ている。この事実は、良い授業とは教えて行く内容であろうし、学生自身がいかに考えたかが問題であり、目標を知っていたか知らなかったは問題ではないことは明らかであり、アンケートが授業を改善するための結果になっていないことを示唆している。

概して満足度は 80～90%の値を得ており教員側も満足を感じる結果となっていが、項目「まったくそう思わない」、「そう思わない」が 5%程度存在するのでこの点をつぶしていく必要があろうかと思う

佐賀大学大学院学校教育学研究科（教職大学院）

平成 28 年度「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

平成 29 年 7 月

佐賀大学大学院学校教育学研究科教育・学生専門部会

概要

大学院学校教育学研究科（教職大学院）は平成28年度に設置されたばかりであり、今回の報告書の対象となった授業は研究科としては１年目である。また、従来の大学院とは異なり専門職大学院ということで、教員も研究者教員と実務家教員から構成され、１人の教員単独で行われる授業もあるが、多くはティームティーチングを採用し、複数名の教員で担当している。また、近年の教育政策の動向や学びのスタイルの変容に伴って、学校教育学研究科でも多くの授業でアクティブ・ラーニングやICTの利活用を通した授業が行われている。つまり、新しもの尽くしの内容になっている。このような状況の中で教員も院生も手探り状態であった場面も少なからずあったが、次頁以下に示す評価内容を全体として見た場合、大変良好な結果を得たと解釈できる。

学校教育学研究科は、教育実践探究専攻の下、授業実践探究コース、子ども支援探究コース、教育経営探究コースの３つのコースから構成される。所属院生数は、一般院生（大学卒業後、教員になることなく大学院に進学した院生）が11名、佐賀県教育委員会より派遣された現職教員院生が10名、計21名であり、コースごとの内訳は授業実践探究コースが11名（うち現職院生が３名）、子ども支援探究コースが３名（現職院生１名）、教育経営探究コース６名（全員現職院生）である。１年生時の授業数は実習を除いて、共通必修科目が前学期６後学期４、授業実践探究コースの専門科目が前学期１後学期５、子ども支援探究コースが前学期４後学期３、教育経営探究コースが前学期１後学期４となっている。今回アンケートの対象としたのは所属する大学院１年生全員が必修の共通必修科目10科目である。アンケート回答率は、本報告書作成に際して提供された資料からは特定できないが、前学期の授業すべてで約76%、後学期の授業すべてで約62%、トータルで約70%であった。サンプル数の少なさや記名式回答であることへの拒否反応、ネット入力方式という煩雑さ等の事情を考慮すると、比較的高い回答率であったと思われる。

アンケートの質問項目は、学生の受講態度についての自己評価に関するものと授業担当教員に対する評価に分かれる。学生自身の評価では、予習・復習の時間、授業の目的の把握、成績基準の把握、授業内容の理解、内容への興味、満足度などが項目として挙げられている。一方、教員への評価では、教材やICT環境の使用の適切性、シラバスの有効活用、適切な授業の進み方、質問への適切な対応などが項目に挙がっている。以下の報告は、授業アンケートの各質問項目についての結果のデータとそれにもとづく分析とコメントである。

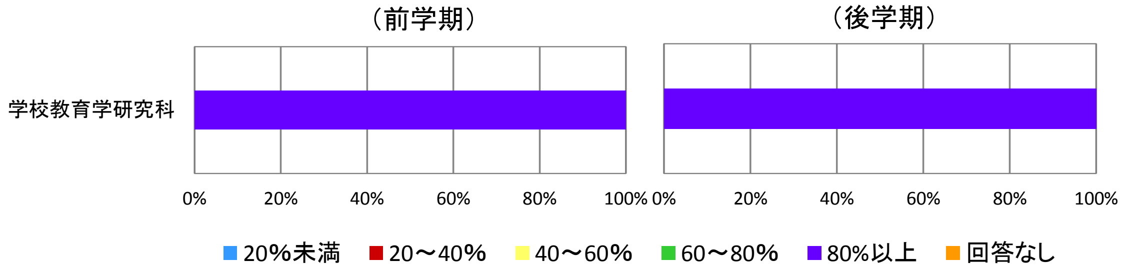
学校教育学研究科組織別授業評価分析

分析の仕方

上述の通り、学校教育学研究科は３つのコースから構成されるが、それらは「教育実践探究専攻」という形で同じ専攻組織に組み込まれている。院生数や授業数が学部や従来の教育学研究科に比べると非常に少ないため、報告書作成の際に提供された資料にコースごとの評価結果がなかったこともあり、ここでは教育実践探究専攻全体としての評価結果の分析を行った。

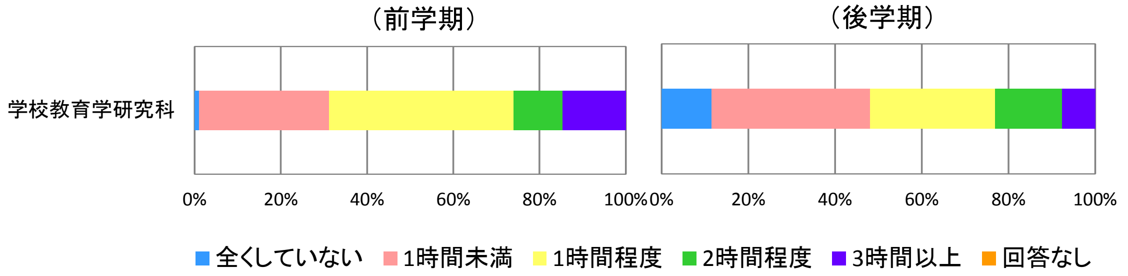
A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか



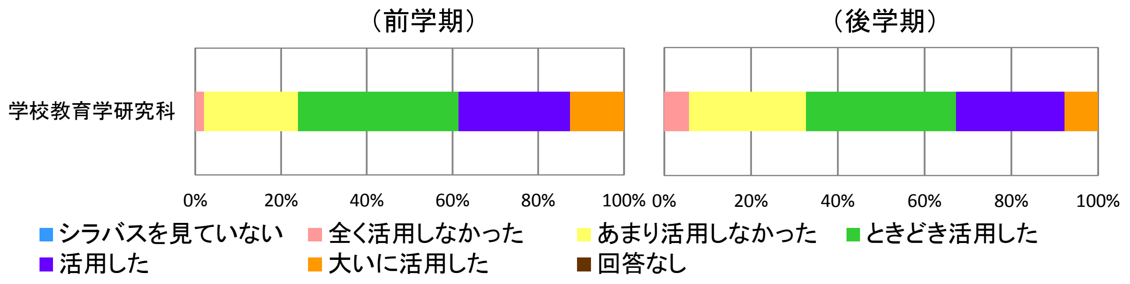
前後学期ともに回答者全員が 80%以上の出席率ということで、院生数が少ないということもあるが、大変良好な結果を得た。

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



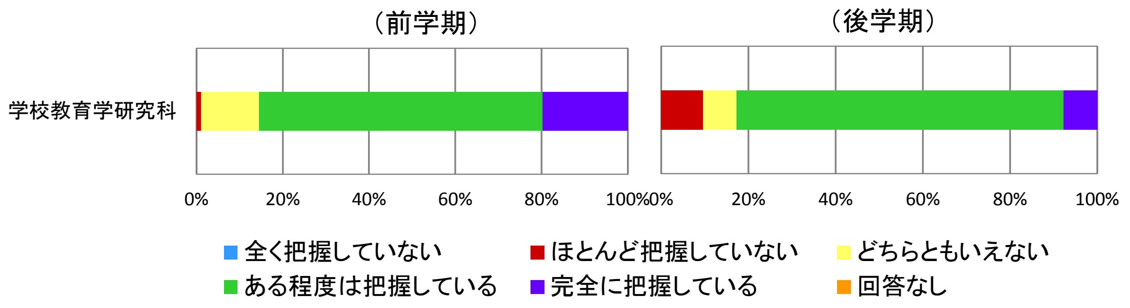
授業時間外学習時間としては前学期が１回の授業につき１時間未満が 30.2%、1 時間程度が 42.7%、２時間程度が 11.5%、3 時間以上が 14.6%であり、後学期がそれぞれ 36.5%、28.8%、15.4%、7.7%ということであった。従来の大学院としてはやや学習時間が短いようには感じられるため、今後この方面での指導に尽力したいと思う反面、従来の大学院よりは１年次で履修する授業数が多いため、バランスをとる必要がある。

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスの活用率に関しては、前学期が 80%近く、後学期が 70%近くの回答者が肯定的な回答をしている。後学期に若干割合が減少しているのは、大学院の授業にも慣れてきたということが理由として考えられるが、それでも良好な数値であると言えよう。

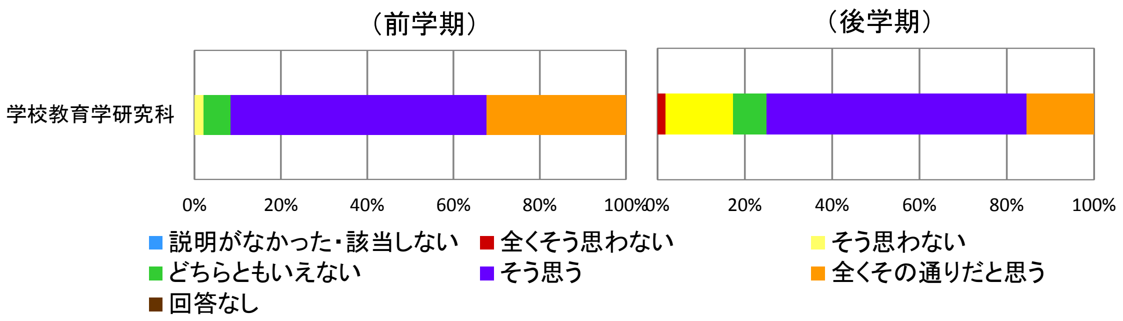
A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準の把握度としては、前後学期ともに 80%を超える回答者が肯定的な回答をしている。これは、教員が事前にシラバス等を利用して丁寧な説明を行っているためと考えられる。

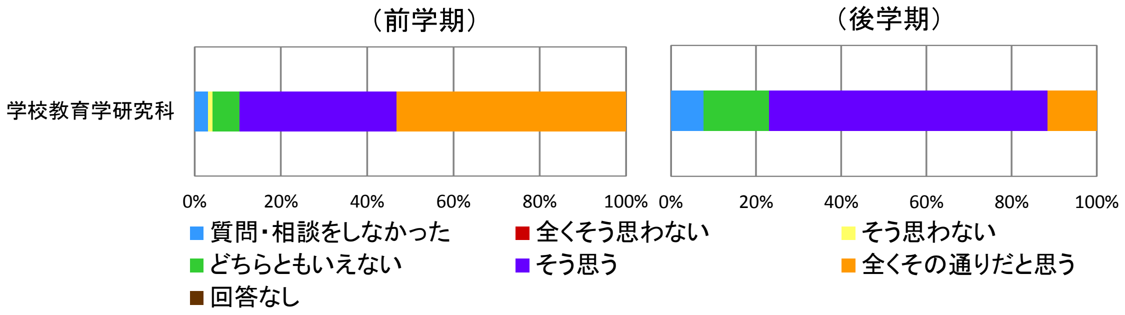
B.　教員の対応

B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



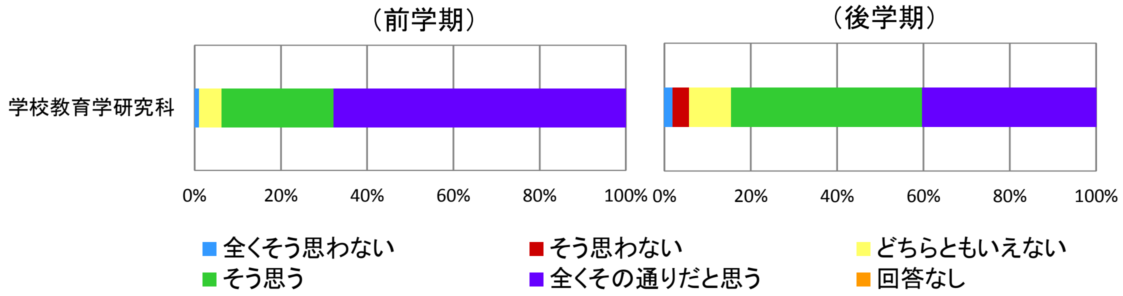
この質問項目に対しては、前学期で 90%以上、後学期でも 80%以上が肯定的な回答をしている。受講数が少ないということもあり、教員の説明が大人数の授業よりも行き渡ったという可能性もあるが、大変良好な数値を得たと感じられる。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



この質問についても、前学期で約 90%、後学期でも約 80%の回答者が肯定的な回答を寄せている。院生数が 21 名と少人数である反面、常勤教員数が 10 名、非常勤教員が３名、計 13 名による指導体制を採っているため、丁寧な対応が可能となったものと思われる。

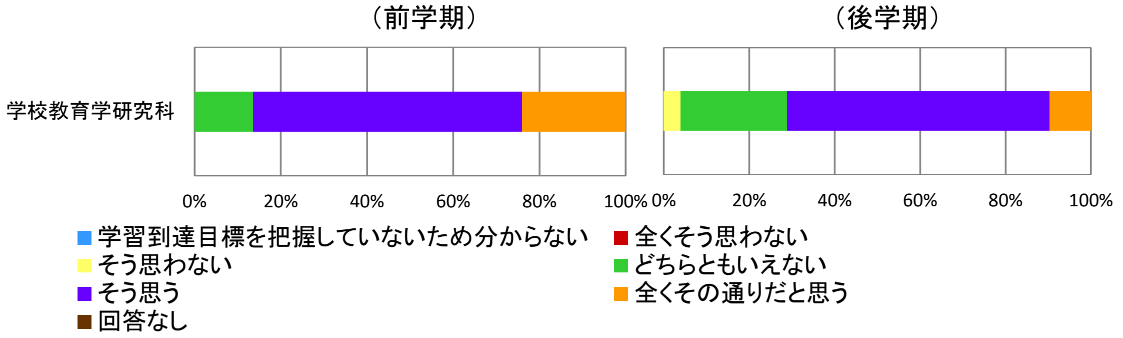
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



教員の意欲等については、前学期で 90%以上、後学期でも 80%以上が肯定的に回答している。教職大学院 1 年目ということで、教員の側の意欲は、手前みそではあるが、大変大きいものと感じているが、それが回答者に伝わっているということであろう。

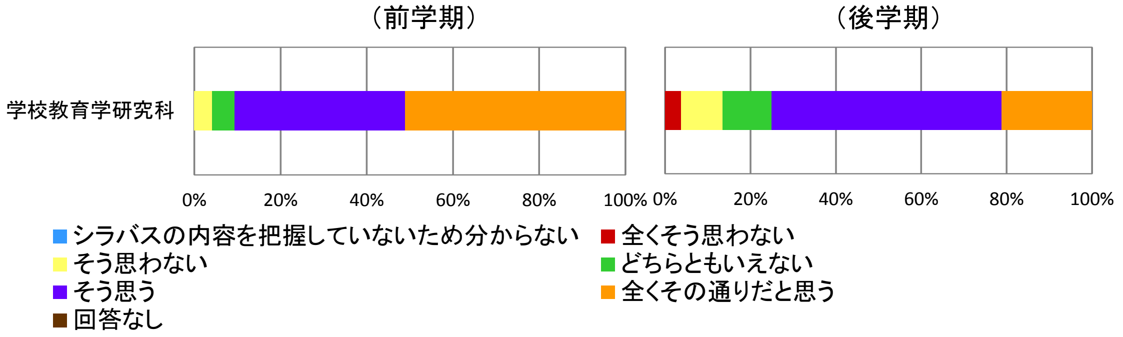
C.　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか



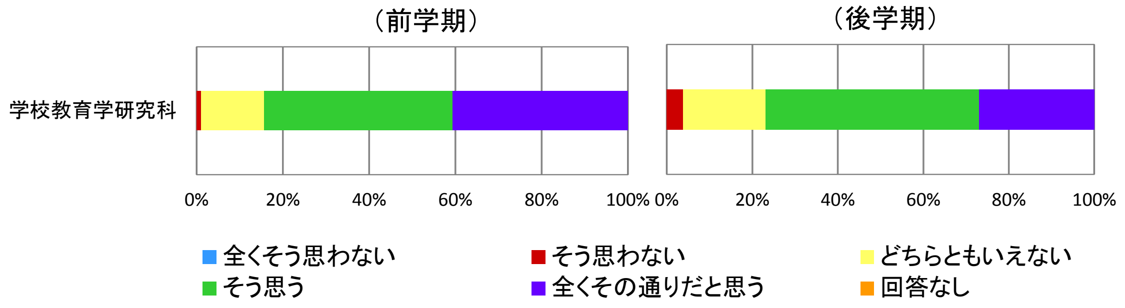
学習到達目標達成に関する自己認識として、肯定的な回答は前学期で 80%以上、後学期はやや減少して約 70%であった。後学期は共通必修科目よりもコース専門科目が主流となってくる。より高度な専門知識や深い思考が要求されるため、やや減少したものと思われる。

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



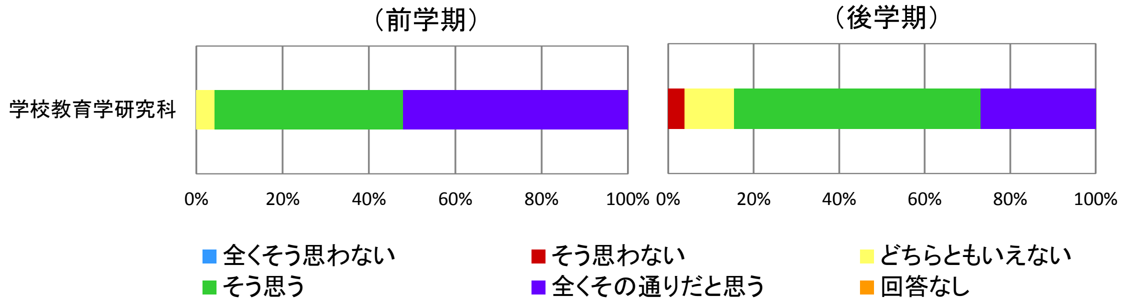
授業内容とシラバスの関係について、前学期では 90%以上、後学期はやや減少して 75%が肯定的な回答を寄せている。後学期授業はより専門性が高いということは上述したが、他方で院生の構成は教職経験がない一般院生とすでに 15 年以上の教職経験がある現職院生がともに授業を受けることになっているため、教員の側にはより柔軟な対応が求められる。この減少はこの理由によるものと思われるが、だとすると減少しているからと言って否定的に捉えられるものではなく、むしろ臨機応変に対応したとも解釈すべきだろう。

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材等の有効度については、前学期で 80%以上、後学期でも約 80%が肯定的に回答している。教職大学院ではスマートボード（電子黒板）や調べ学習のためのコンピュータやタブレット端末、スマートフォン等を活用した授業を多く行っている。受講者による発表でも ICT の活用を推進しているため、肯定的な回答を得たと思われる。

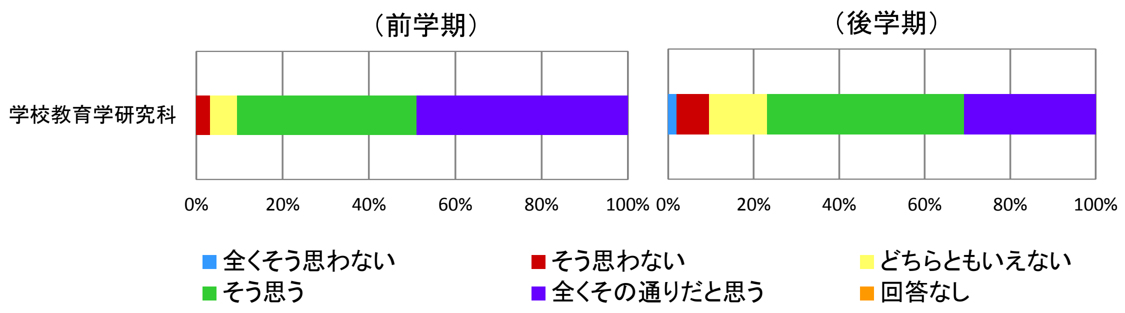
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



肯定的な回答は、前学期で 95%以上、後学期でも 80%以上と大変高率となっている。上述の通り教職大学院の授業ではアクティブ・ラーニングの手法を導入している場合が多いため、このような高い肯定的回答率を得たものとも割れる。なお、後学期にやや減少しているのは、上述の通り専門度の高い授業が増えるため、教員による説明調の授業の割合がやや増えたということであろう。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



満足度に関しては、前学期で 90%以上、後学期でも 80%に迫る割合の回答者が肯定的に答えた。特に「まったくその通りだと思う」は前学期で 49%、後学期でも 30%を超えており、高い評価を得たものと思われる。

概要

近年、学生による授業評価アンケートの回答率が減少する傾向にあるようであるが、すでに学生募集を停止し、開講科目数が大幅に減少した教育学研究科においては、その傾向はなおさら著しい。

平成 28 年度の教育学研究科における授業開講数は、前期が 33 科目、後期が 52 科目であったが、そのうちアンケートの回答があった科目の数は、前期が 11、後期 24 である。回答率で言えば、前期 33%、後期 46%となる。昨年度の回答率が、前期 75%、後期 55%であったのに比すると大幅な減少である。

そもそも大学院は、多くのクラスが１・2 名の少人数であり、学生の側からすれば、アンケートの回答者が特定されやすいという事情があり、このために、これまでもアンケートによる授業評価が積極的に行われて来なかったという状況がある。

これに加え、教育学研究科は平成 27 年度をもって学生募集を停止して、現在その解消が進んでおり、本年度開講された科目が次年度には開講されないという場合も多い。そのような科目については、学生も授業評価の意義を認め難かったという事情も、上記の回答率の大幅な減少の原因として考えられるところである。

とは言え、授業評価は最後まで実施されなければならないこと言うまでもない。この点、次年度以降に教育学研究科に残された課題としなければならないと考えられる。

上記のことを踏まえ、授業評価の全体を俯瞰してみると、評価はどの項目においてもかなり高い。少数の例を除けば、ほとんどの項目において「４」以上の評価がなされている。また後期のデータを見ると、アンケート回答のあった 24 科目のうちの 9 科目までが全項目において「５」の評価を得ている。

少人数科目の場合は、アンケート回答者が教員により容易に特定されてしまうので、教員の意向に沿わぬことは書かない傾向があることは想像されるところであった。今述べた高過ぎる評価はまさにそのことを裏付けるものであろう。従って、今回のアンケート結果をそのまま客観的な授業評価とすることはできない。ただし、その半面において、例外的に評価が低い科目もある。これについては確かな評価として冷静に受け止める必要があろう。

教員はアンケート結果を踏まえて、授業点検・評価報告書を作成することを義務づけられているが、このような偏向を有する評価だけを根拠として、次年度の授業改善目標を立てるのは問題があることを心しておく必要があること言うまでもない。

以下、授業アンケートの各質問項目についての結果と、それにもとづく分析とコメントを示すこととするが、そこにおいては、上述のように、授業評価はアンケート回答科目の大幅な減少、評価の偏向という問題があることを踏まえ、できる限り客観的な視点を保持することを心がけて行うこととする。

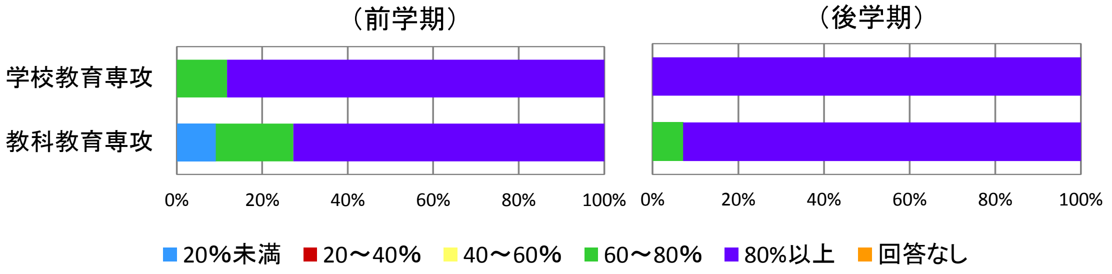
教育学研究科組織別授業評価分析

分析の仕方

教育学研究科には、学校教育専攻、教科教育専攻の 2 つの組織がある。本分析ではこれらの専攻のアンケート結果を必要に応じて比較して、専攻ごとの特徴を抽出し、また場合によっては前年度のデータとの比較も試みつつ、それぞれの専攻、または研究科全体の優れた点、課題とすべき点について言及した。

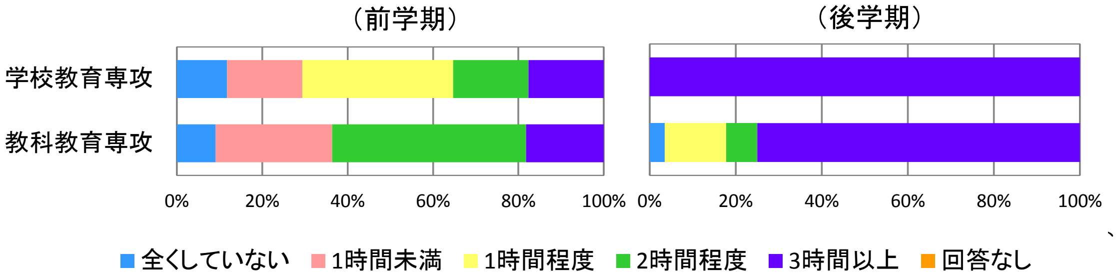
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



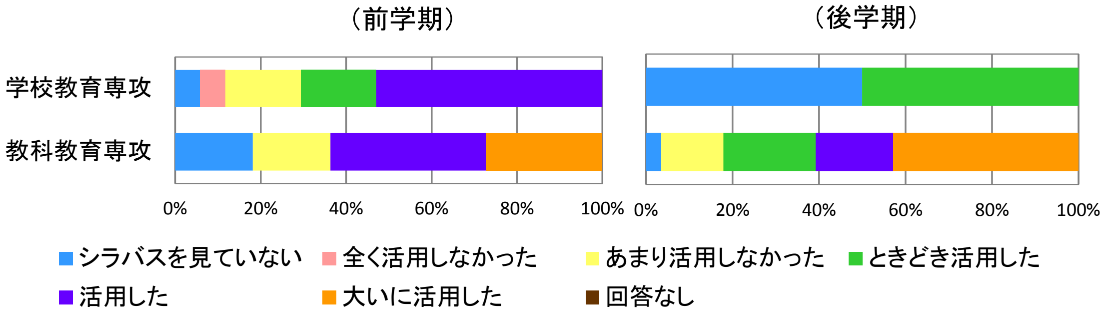
大学院は少人数クラスであるだけに、出席率は良好でなければならない。全体的には良好に見えるものの、教科教育前期は 80%未満が 30%近くおり、20%未満のものさえいる。とへ言え、実数で見ると、1、2 の教科に出席率の悪い学生がいるのみであり、それが分母の小さいこの統計（学校教育専攻 4 科目、教科教育専攻 7 科目）において、全体の割合を引き下げているのである。従って、全体的には良好な出席率と考えてよいと思われる。また、アンケートの回答率は低いが、これが恐らくは教育学研究科の全体の出席率を代表していると考えてよいと思う。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



アンケートの回答があった科目は、前期 11、後期 24 であるが、その中で、課題研究について回答した例が前期は 0、後期は 14 である。このことが回答結果と多いに関連しているようである。修士論文を仕上げるための科目が課題研究であるから、平均して一日 3 時間以上学習するのは当然である。課題研究は基本的に通年科目であり、前期のアンケートの対象とはならない。他方、アンケートの回答があった科目の前期と後期の差は 13 であるが、これは後期の課題研究の数とほぼ一致する。すなわち、アンケート回答が後期に増えたのは課題研究について回答する学生が増えたためである。このことは、アンケートに答える際に、自分自身を高く評価できるものについては答え、そうでないものは回答を避けたがる学生の傾向を示していると考えられる。また、前期 11 科目の内訳は、演習 1 科目、特論 10 科目である。後期 24 科目は、課題研究を除くと 10 科目であり、その内訳は、演習が 9 科目、特論が 1 科目である。つまり上の表は、特論科目が多いか少ないかによって色が変化しているのである。それが多ければ、緑と紫が減り、少なければ増えるという性質のものである。短時間のうちに高度なレベルの研究成果が求められる大学院の学生は、修論のために多くの時間を裂くわけであるから、講義科目についての自学時間のある程度の縮減はやむを得ない。その事情が、この表に反映していると言えるだろう。

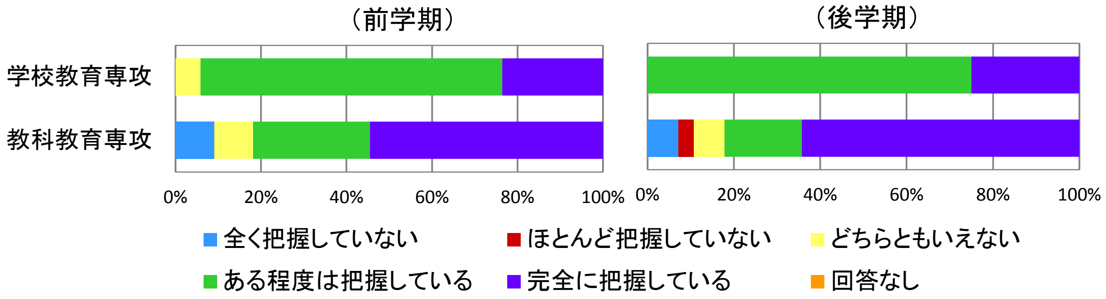
A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



この表についても、アンケート回答科目の種類と対応しているようである。上記のように、前期のアンケート回答科目 11 は、演習が 1 、特論 10 である。後期 24 科目は特論 1、演習 9、課題研究 14 である。更に後期のアンケート回答科目を専攻別に分けると、学校教育専攻が 3 でいずれも解題研究。教科教育専攻は特論 1、演習 9、課題研究 11 である。特論や演習はシラバスから得られる情報が多いが、課題研究は修論のための科目であり、教員の示すシラバスは究めて概括的で学生の研究のために直接役に立つ性質のものではない。よってアンケートの回答に課題研究が多ければ多いほど、「シラバスを見ていない」「あまり活用しなかった」等が増えることになる。上の表はそうした事情を反映するものと考えられる。ただ、学校教育前期に「全く活用しなかった」があるのは、ごく少数ながら学生

に主体性を欠くものがいたか、大学院の科目は多くの場合必修科目であり、選択の余地が少なく、そのことがシラバスを見る契機を減少させているという事情も考えられる。

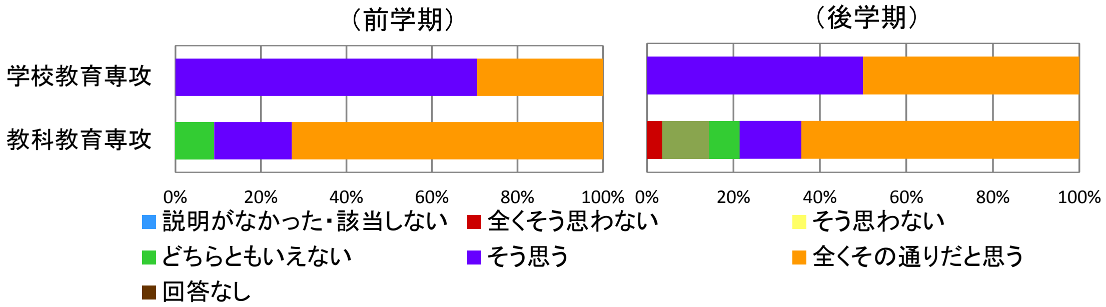
A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



両専攻ともに、学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」と回答している者が多く、大学院生として主体的に学習に取り組んでいると言えそうである。とは言え、教科教育専攻に、「全く把握していない」「ほとんど把握していない」と答えたものがいるのは、いかがなものか。具体的には 1 科目についての評価であるが、恐らく何らかの特殊な事情があると考えられる。これは担当者において掌握の上、改善の措置を講じることを期待するものである。

B.　教員の対応

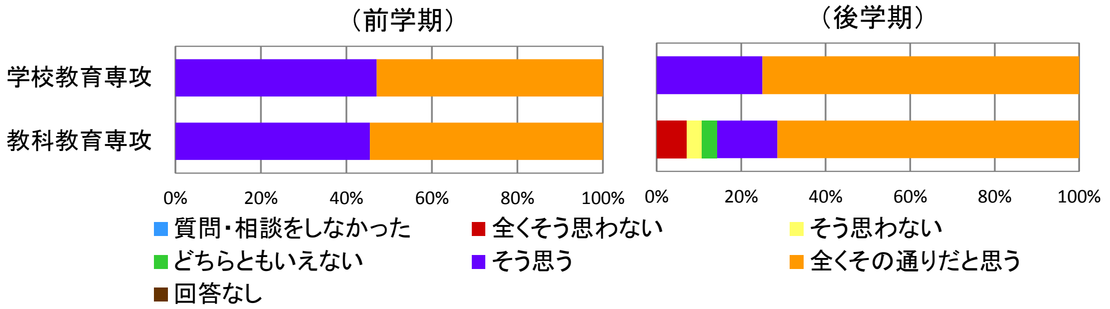
B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



このアンケート結果は、「全くその通りと思う」が全般的には多く、特に教科教育専攻の前期で 70%以上に達しており、さすがに大学院の授業科目と言うに十分のものであると言えるだろう。その中で、教科教育専攻後期には、例外的に「全くそう思わない」の回答があり、「回答なし」が少数ながら見える。「回答なし」は、このアンケート項目が昨年度か

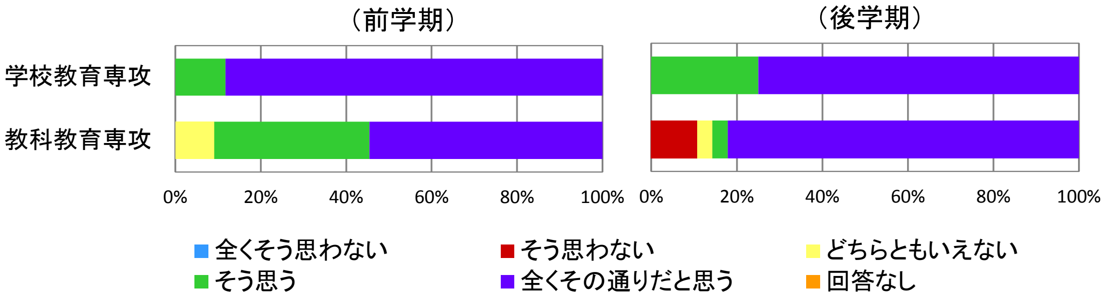
ら始まったため、学生にこの質問の趣旨の理解が行きわたらなかったことが考えられる。「全くそう思わない」については、やはり何らかの特殊事情が考えられる。前項目の例外と同様、担当者において、改善策が講じられることを期待する。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



この項目についても、全般的はかなり良好である。大学院は概して少人数クラスであるため、学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応しているとすることができると、全体的には言えるだろう。しかし、教科教育専攻後期に、「全くそう思わない」「そう思わない」が少数ながら見える。これも担当者による改善を期待するものである。

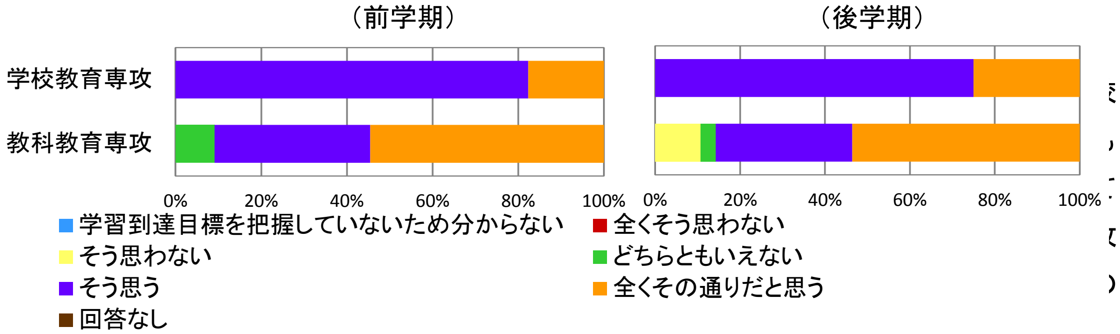
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



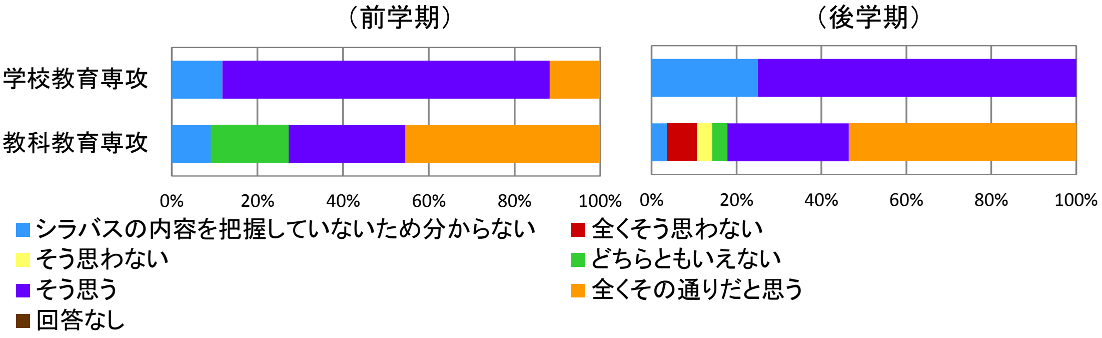
この項目についても、「全くその通りだと思う」が多数を占め、少数の事例ではあるが、教育学研究科教員の日頃の学生への熱意を象徴していると解してよいと思われる。ただ、残念なことに、この項目においても教科教育専攻後期に「全くそう思わない」が見えている。これについても担当者による改善を期待するものである。

C.　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか

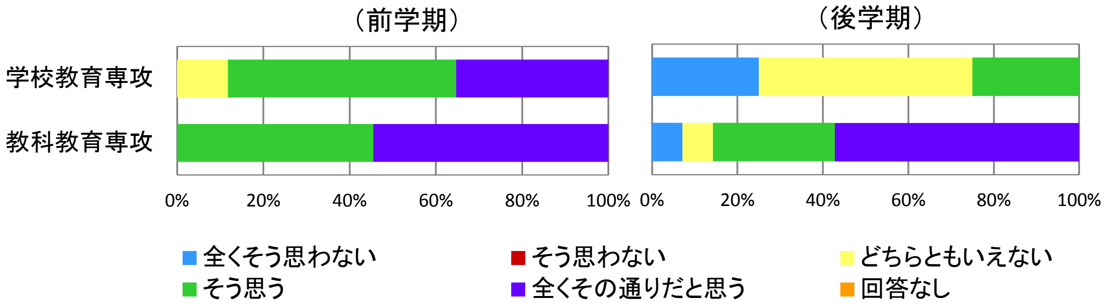


C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



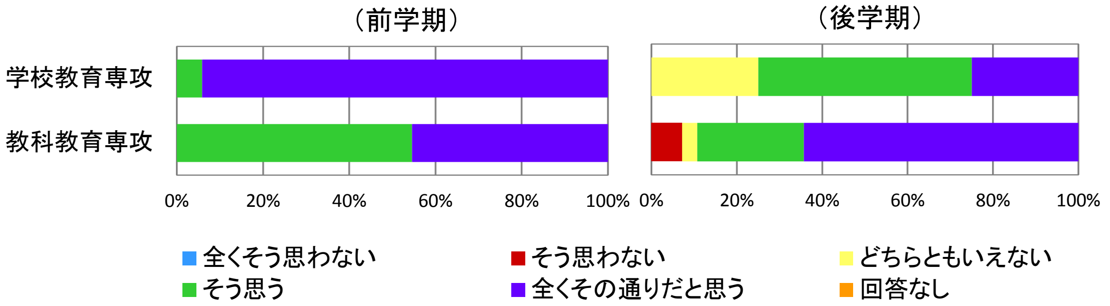
どの表においても、「シラバスを把握していない」とするものがおり、特に学校教育専攻の後期にその割合が増えている。これは大学院の授業が、学生とって概して必修科目であり、シラバスを調べた後に受講する科目を選択するという契機が少ないためであること、また特に学校教育の後期に「シラバスを把握していない」ものが多いのは、この場合のアンケート回答科目がすべて課題研究であり、この科目の性質上、シラバスから得られる情報が少なく、そのためシラバスを調べなかった学生がいたことなどによると考えられる。その中で、教科教育後期に「全くそう思わない」とするものが少数ながらいる。次年度以降の改善を望むものである。

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



昨年度は全くなかった「全くそう思わない」が、両専攻とも後期に見えている。また、学校教育専攻の後期に「どちらともいえない」の割合が増えている。これもやはりアンケート回答科目の中に占める課題研究の割合が増えた（両専攻ともに前期は０。後期学校教育専攻全３科目中３科目、教科教育専攻 21 科目中 11 科目）ためであると考えてよかろう。課題研究は学生が自ら問題解決を行うものであり、教員が教材等を提供したり、ＩＣＴを利用したりすることはあまりないからである。そのことを除いて考えれば、「そう思う」以上が大半であると言えるだろう。

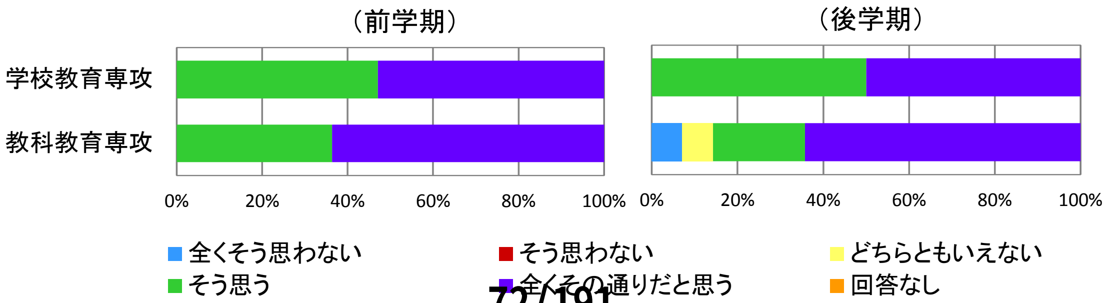
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



両専攻ともに前期は「そう思う」以上が 100%を占め、まことに良好な結果が示されていると言える。学校教育の後期に「どちらともいえない」が多いが、これはアンケート回答科目が、記述のようにすべて課題研究であり、課題研究は自主的に学習を進めるものであるから、この場合の「どちらとも言えない」は、回答しようがない、該当する回答がないという意思の表示であろうと思われる。そしてここにおいても、教科教育専攻後期に「そう思わない」が少数見える。担当教員には改善を期待するものである。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



この項目においては、教科教育専攻後期以外は100%の学生が両専攻とも高い満足度を示している。これは、そもそも回答数が少ないこのアンケートにおいて、あえて回答するほどの学生は、当該授業について好印象を持っているのであり、好印象を持たない学生は初めからアンケートに応じていないということかもれしない。穿って見ればそのように解釈することもできるが、その半面、教科教育専攻の後期においては授業に不満の学生がアンケートに応じてその意を示してもいる。このことからすれば、このような学生が存在しない学校教育専攻前後期、教科教育前後期に関しては、この評価を素直に受け容れてよいことになるだろう。また逆に、「全くそう思わない」とした学生は相当に強い反感を抱いていると見える。また「どちらとも言えない」の回答もここではかなり重い意味を持っていると言える。当該科目担当者には十分な分析と改善を期待するものである。

平成 28 年度　経済学部・経済学研究科組織別授業評価報告書

学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準

経済学部・経済学研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず，その選考基準も作成していない。

授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

（経済学部）

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は，第 1 に，4 年間の学習成果を測定することを目的とした「コア科目群確認試験」を平成 28 年 11 月 30 日に同年度卒業予定者を対象として実施したことである。経済学部では，専門教育を伝統的な経済学・経営学・法学の体系として教育すると同時に，そのような専門教育の入門科目を低学年次に受けさせ，高学年次では自らの進路希望に添ったコア科目群を履修させることによって，専門教育と総合教育のバランスのとれた教育を行っている。こうした学習成果の最終的な測定を 4 年次後学期に実施し，4 年演習の担当教員が測定結果を確認し，それを 4 年演習でのチューター指導において反映させることができた。「コア科目群確認試験」の実施により，学部改組時の計画を，改善点を残すとはいえひとまず達成できたことは，優れた点として評価できる。

第 2 に，学部全体・各学科を合わせて計 9 回の FD 活動を平成 28 年度に実施したことである。たとえば学部全体の FD 活動では「経済学部改組について」，「就職支援について」，「アクティブラーニングについて」をテーマとして，ほぼ全ての教員の参加の下で FD 会議が開催され，活発な意見交換および情報の共有化が行われた。

第 3 に，簡易版・標準版ティーチング・ポートフォリオ作成率の増加ならびに更新率 100%の維持である。平成 27 年度においては標準版 TP の作成率は 14%であったのに対して，平成 28 年度は作成率が 18%に上昇した。また簡易版 TP の作成率についても 100%を維持することができた。更新については，複数名の更新対象者を計画的に更新ワークショップへ参加者を派遣することにより，簡易版 TP および標準版 TP の更新率 100%を維持することができた。

改善すべき点としては，学部改組から 4 年が経過したことをふまえ，学部改組の成果の検証についてのより活発な FD 活動等が求められることである。これに付随して，上記の優れた点として学習成果の測定を目的とした「コア科目群確認試験」の実施が挙げられたが，同試験についても，平成 28 年度の同試験の結果をふまえた FD 活動等により，試験問題の範囲や難易度等について各教員間での調整や情報共有を行い，同試験がよりよく 4 年間の学習成果を測定できるものとなるように改善していく必要がある。

（経済学研究科）

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は，第 1 に学部でも取り上げた FD 活動と TP 作

成率の増加である。FD 活動および TP 作成は学部および研究科の全教員が参加しており，学部のみならず研究科においても，授業改善の促進につながっているといえよう。学部専門科目およびゼミにおける指導方法は，研究科においても相通ずるものがあり，FD 活動および TP 作成の効果は研究科の授業改善に資するものとなっている。

第 2 に，修士論文執筆を促進する取り組みとして総合セミナーを実施し，教員が論文執筆の基本的な考え方を講義するとともに, 修士 2 年次生全員に修士論文の中間報告をさせ，教員含む参加者全員でその内容について討論を行っている点である。平成 26 年度までは金融・経済政策専攻と企業経営専攻の各専攻で個別に行われていたが，平成 27 年度からは総合セミナーの実施体制が変更され，中間報告および討論に両専攻の全受講生が参加可能となっている。こうした変更により，中間報告および討論の機会が拡充し，他分野の研究に触れる場が確保された。各受講生にとって，総合セミナーにおける中間報告や多様な研究背景をもつ教員・受講生からの助言・批判が，修士論文の完成へ向けての大きなはずみとなったといえよう。

改善すべき点としては，　経済学研究科は平成 27 年度入学生の修了をもって廃止され，新研究科が平成 28 年度より開始されたため，円滑に新研究科への移行を整備することである。

次年度の授業改善目標

（経済学および経済学研究科）

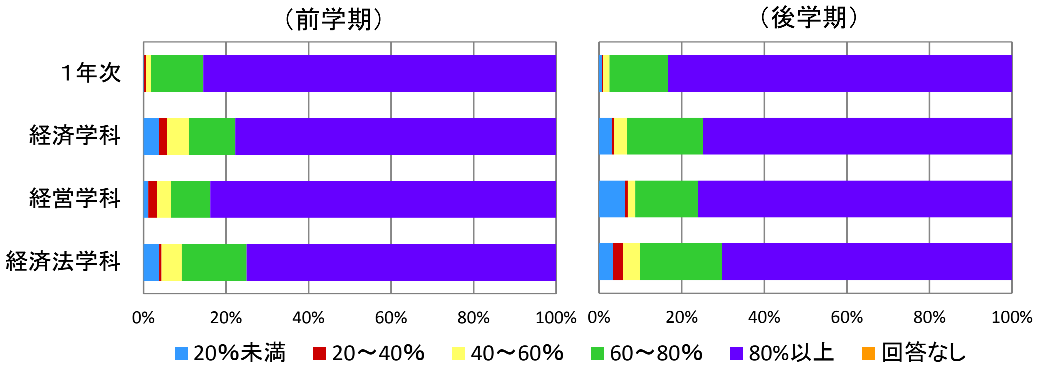
第 1 に，上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善を要する点の改善を目標とする。第 2 に，授業評価アンケートの入力率向上に取り組むとともに，学生および教員に対してラーニング・ポートフォリオのより積極的な活用を促す。第 3 に，標準版ティーチング・ポートフォリオの作成率向上を図りたい。

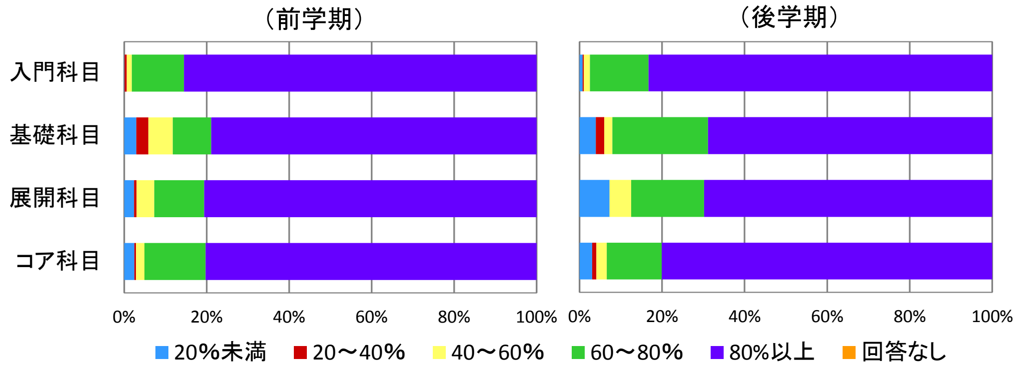
平成 28 年度　経済学部授業評価アンケート結果と分析

経済学部では，授業を学年および学科別に 1 年次科目（全学科），2 年次以上の科目（経済学科科目，経営学科科目，経済法学科科目）に分けるとともに，科目分類別に入門科目（1 年次科目），基礎科目（2 年次科目），展開科目（3,4 年次科目），コア科目（2 年次後学期以上の科目）に分けて，アンケートを集計している。全体的に見れば，学科別の集計結果は前・後学期において若干差異が見られるものの，前・後学期を平均すると差異はあまり見られず，科目分類別（学年別）ではやや大きな差異が見られた。以下，アンケート項目ごとに，平成 27 年度との比較を中心として分析を行う。

A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか

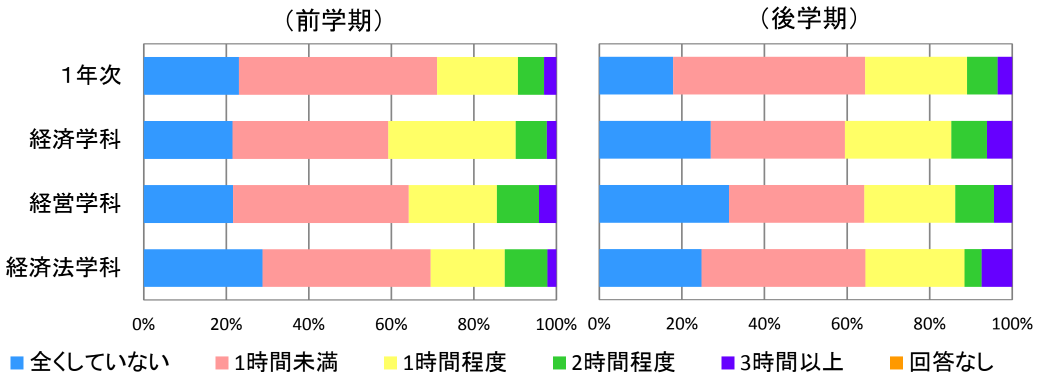


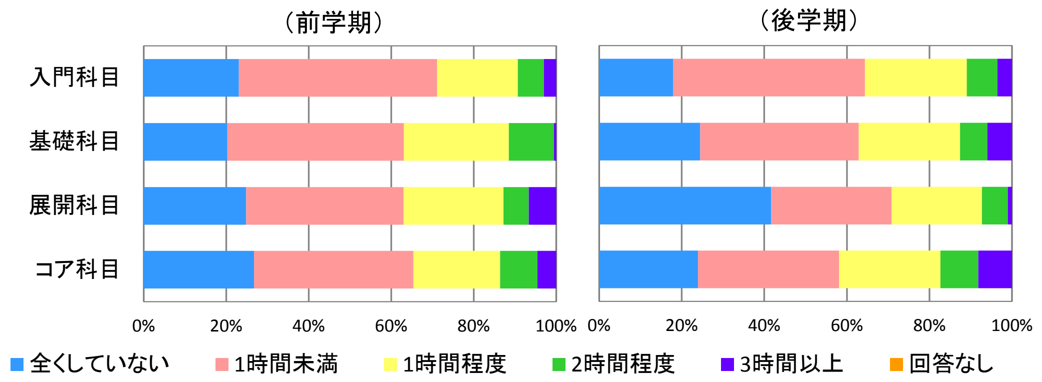


経済学部全体で前・後学期を平均すると約 8 割が「80%以上」の出席率となっている。平成 27 年度と比較すると，出席率の若干の低下が見られる。平成 27 年度と同様に，入門科目，基礎科目および経営学科では，後学期になると出席率が低下する傾向にあり，この低下傾向が平成 28 年度ではやや大きかった。他方，展開科目およびコア科目では，平成 27 年度と同様に，年間を通して出席率が相対的に高くなっている。とくにコア科目では出席率が 40%に満たない学生がほぼおらず，他の科目分類に比して高い出席率となっている。

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授

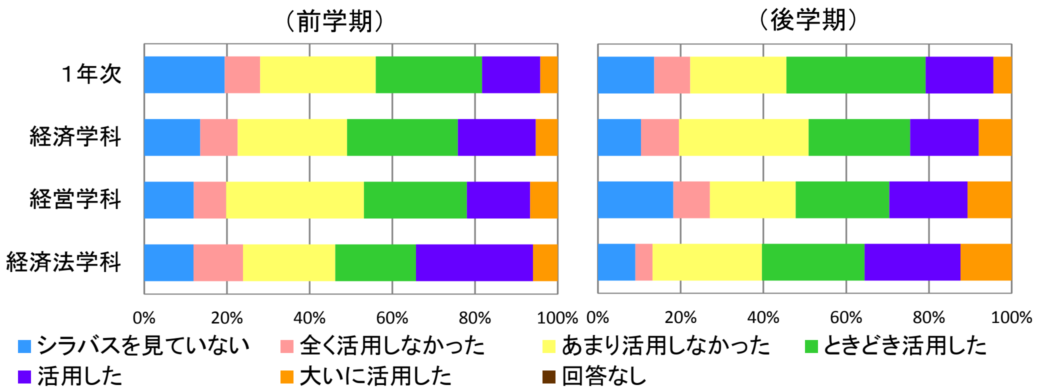
業ごとにどの程度しましたか

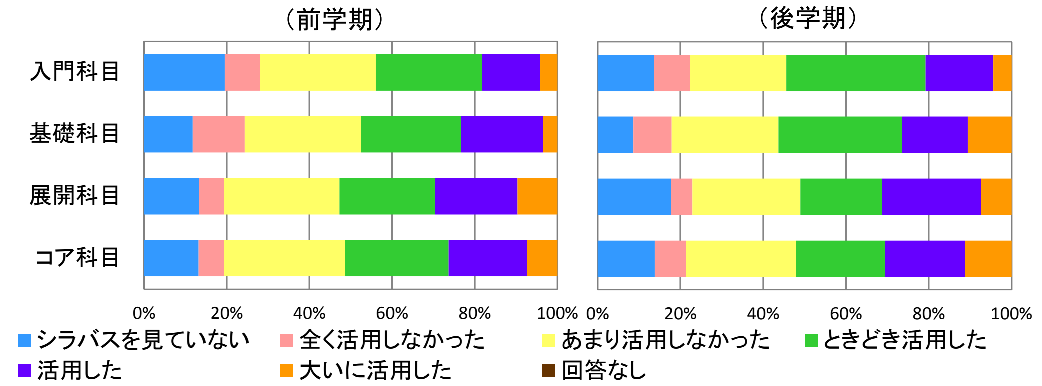




平成 27 年度は平均して時間外学習を「全くしていない」割合が 20%,「1 時間未満」が 42%,「1 時間程度」が 24%となっており，8 割の学生は何らかの時間外学習を行っていた。これに対して平成 28 年度は，平均して時間外学習を「全くしていない」割合が 23%となっており，時間外学習を行っていない学生が若干増加した。ただし 1 年次については時間外学習を行っている学生の割合に微増が見られた。平成 28 年度について，時間外学習の内訳は平均して「1 時間未満」が 31%,「1 時間程度」が 22%,「2 時間程度」と「3 時間以上」が合わせて 12%となっており，各項目の比率自体は平成 27 年度とほぼ同水準である。平成 27 年度と比較して，2 年次以上配当の各科目において，時間外学習を「全くしていない」割合が後期に増加している傾向が見られる。

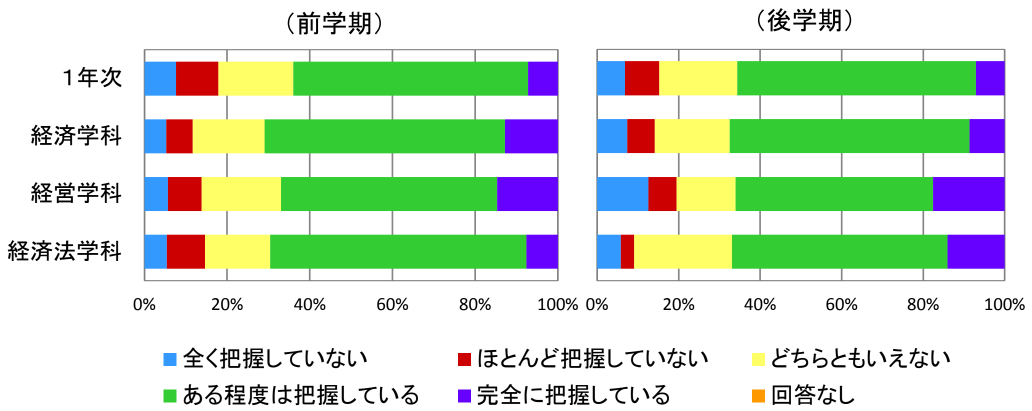
A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

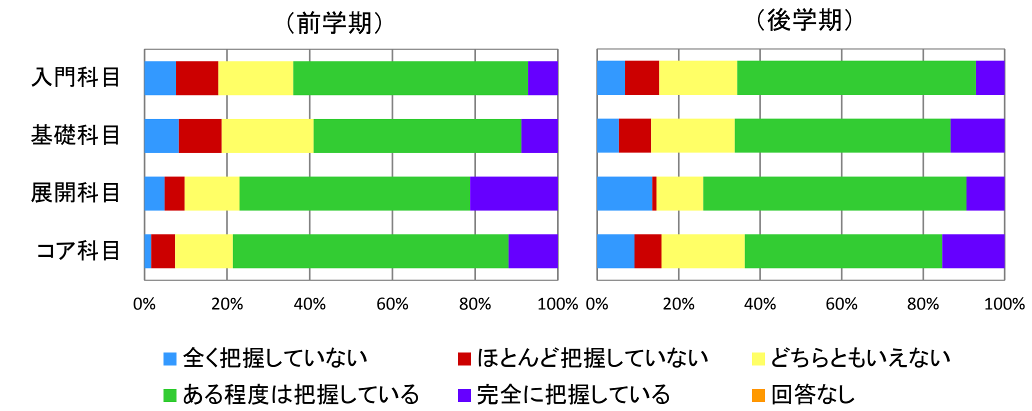




平成 28 年度は，全体を平均すると 14%の学生が「シラバスを見ていない」，9%の学生が「全く活用していない」状況にある。平成 27 年度は，「シラバスを見ていない」あるいは「全く活用していない」学生は，平均して 25%であったので，平成 27 年度と比較すると，平成 28 年度においてシラバスの活用度は若干改善している。とくに平成 27 年度と比較すると，1 年次および入門科目において，シラバスの活用度に改善が見られている。その反面，2 年次以上の経営学科において，シラバスの活用度に若干の低下が見られている。

A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

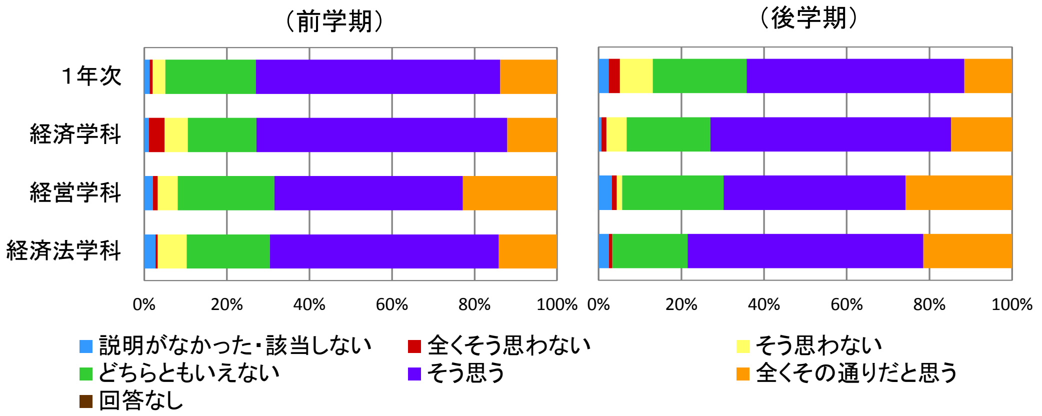


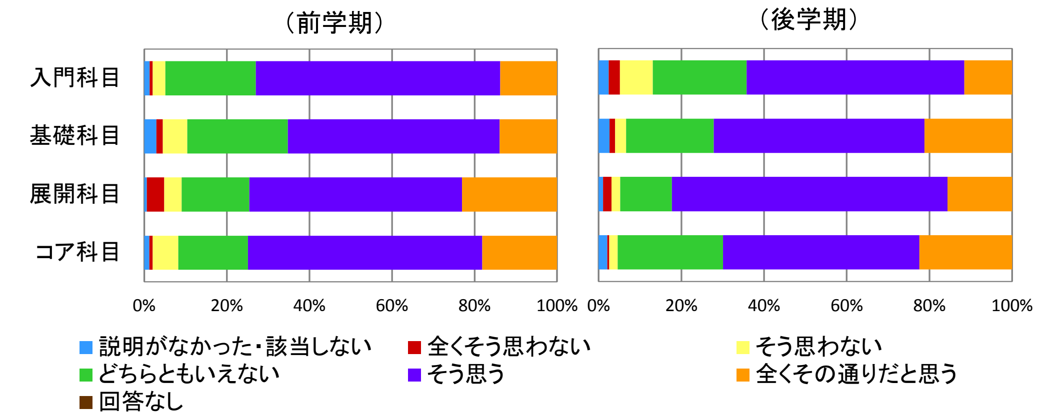


平成 28 年度においては，全体を平均して約 7 割の学生が授業の学習到達目標や成績評価基準を「ある程度」または「完全に把握している」と回答しており，平成 27 年度とほぼ同水準であった。平成 27 年度と比較すると，1 年次および入門科目については，学習到達目標および成績評価基準を把握している学生の割合に上昇が見られている。また平成 27 年度と同様に，年次が上がるにつれて学習到達目標および成績評価基準の把握度は上昇する傾向が見られる。ただし，平成 27 年度と比較すると，後期の経営学科およびコア科目（2,3 年次科目）において，把握度が若干低下している。

B.　教員の対応

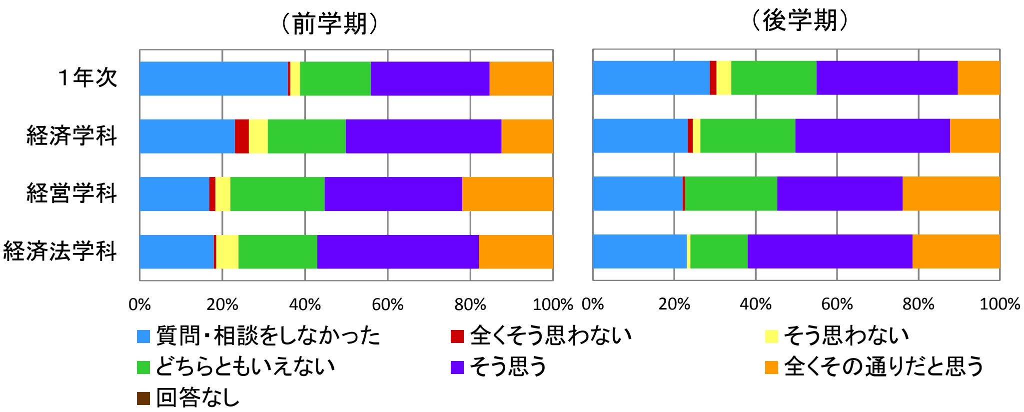
B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

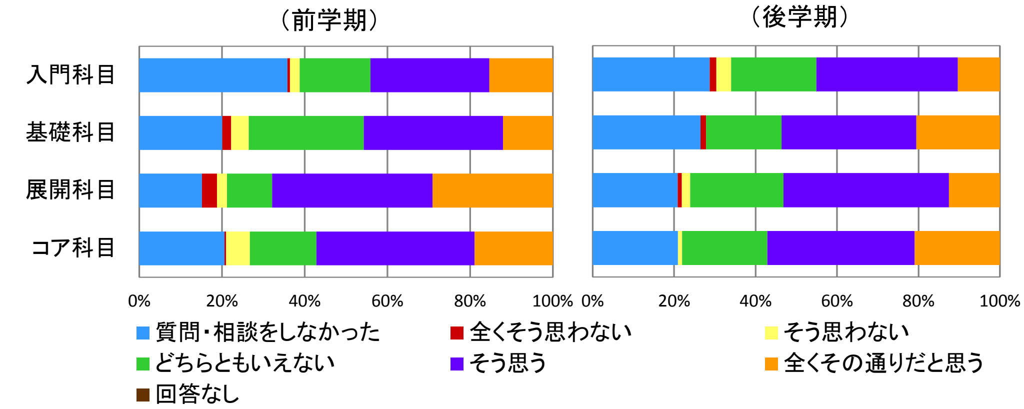




平成 28 年度は，全体を平均して 7 割以上の学生が，教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明が有益だと感じている。平成 27 年度と比較すると，全体の平均はほぼ同水準であったが，とくに 1 年次および入門科目において，有益と回答する割合が増加している。他方，コア科目においては，有益と回答する割合が，平成 27 年度よりも前期と後期ともに減少が見られている。

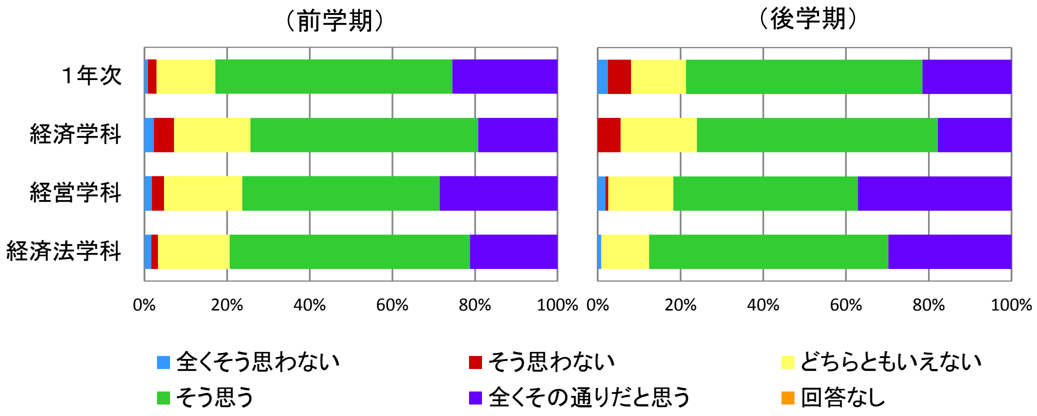
B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

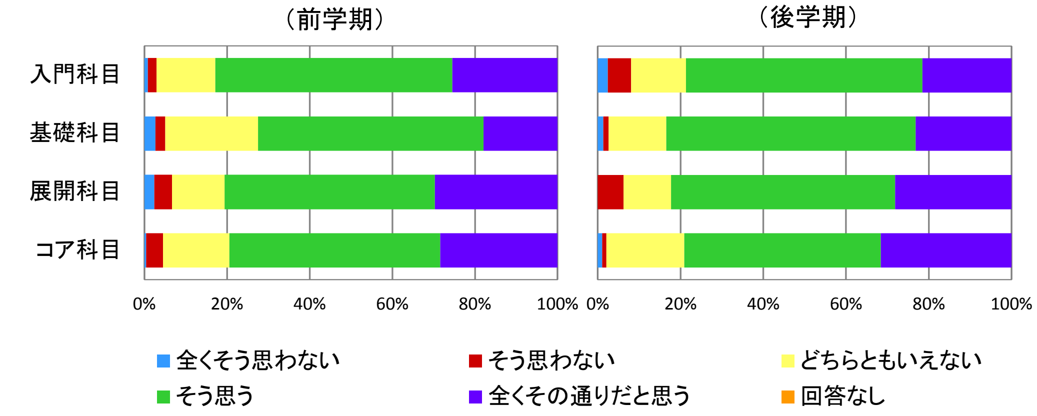




平成 28 年度は，全体を平均して「質問・相談をしなかった」割合が 23%であり，平成 27 年度よりも若干増加している。しかし平成 27 年度との比較では，1 年次および入門科目において「どちらともいえない」の割合は顕著に減少し，「そう思う」「まったくそのとおりだと思う」の割合が大きく増加している。他方，経営学科において「そう思う」「まったくその通り」の割合に減少が見られている。

B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

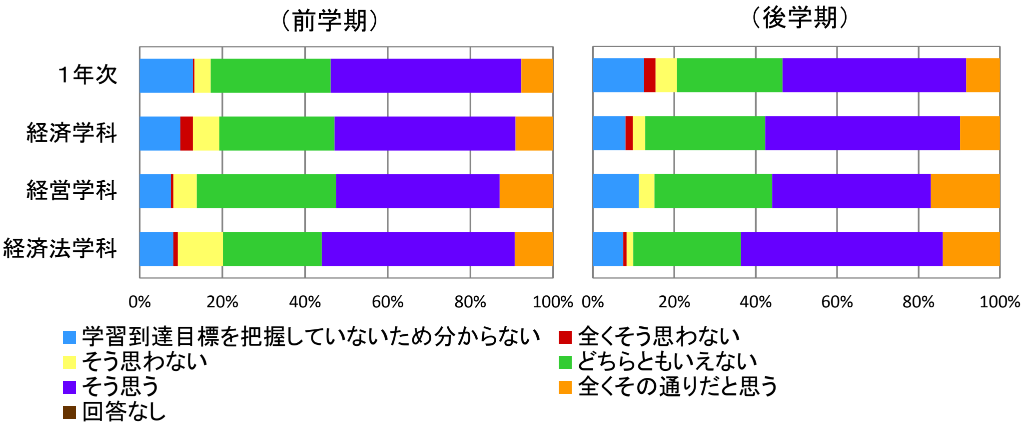


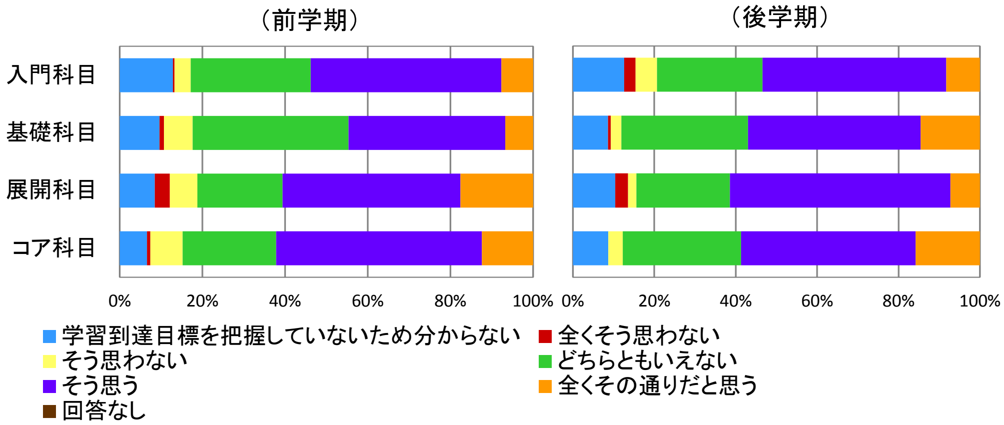


平成 28 年度は，全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が約 8 割，「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が約 5%となっている。数値としては平成 27 年度とほぼ同水準を維持しており，教員の意欲や熱意が充分に伝わっていることが窺える。平成 27 年度と比較すると，平成 28 年度において，とりわけ 1 年次および入門科目において，「そう思う」・「全くそのとおりだと思う」の割合が大きく増加している。

C.　授業内容および授業方法について

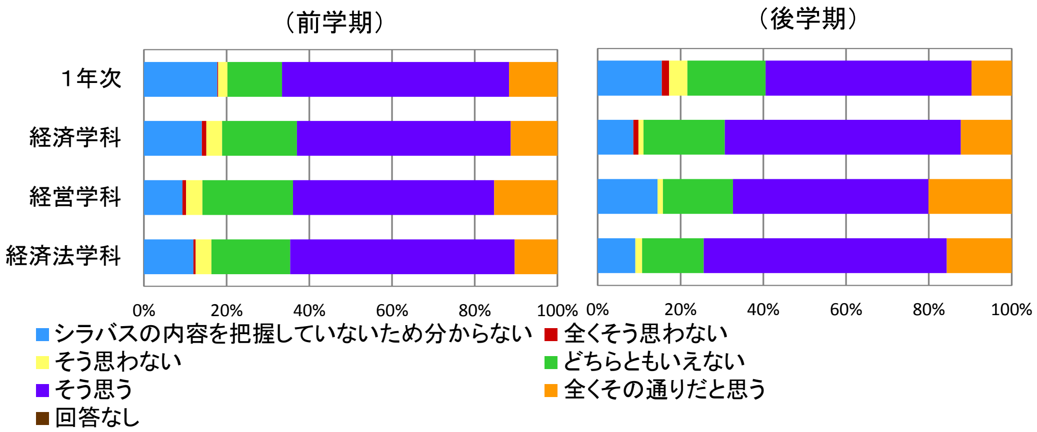
C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか

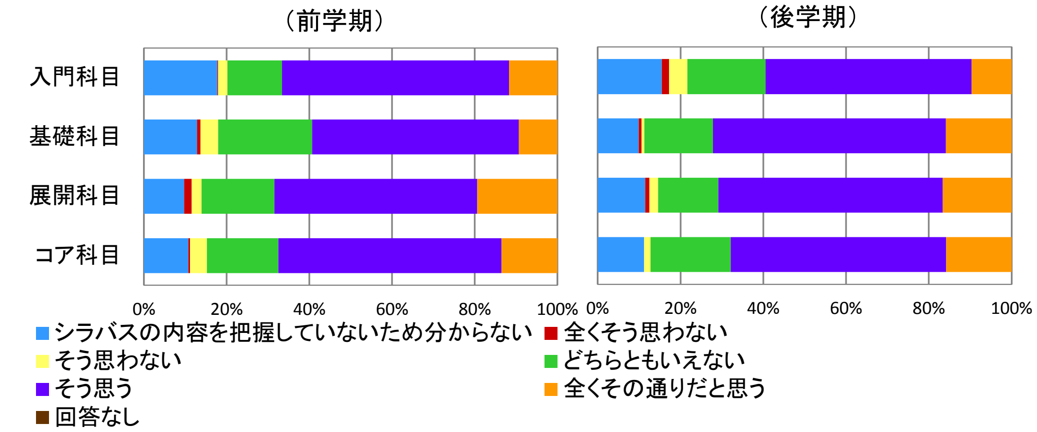




平成 28 年度は，全体の平均を見ると「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が約 6 割，「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が約 6.5%となっており，平成 27 年度とほぼ同水準となっている。しかし内訳を見ると，平成 27 年度と比較して，「そう思わない」の割合は減少したものの，「学習到達目標を把握していないため分からない」の割合が増加している。

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか

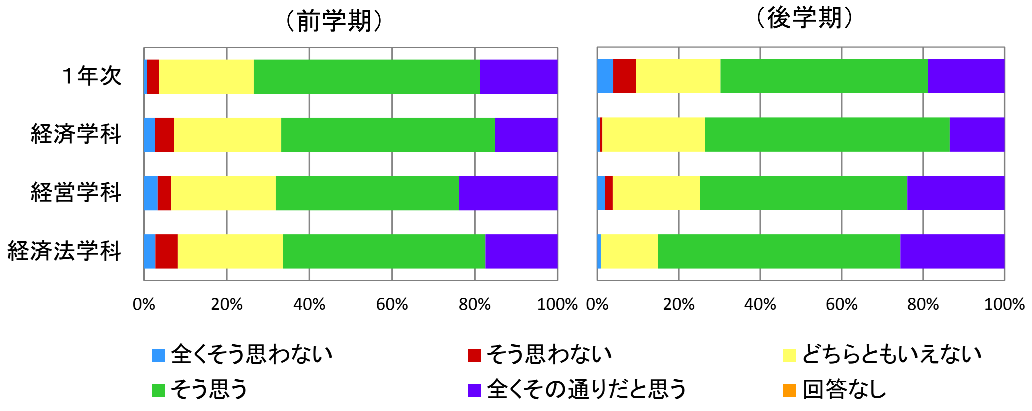


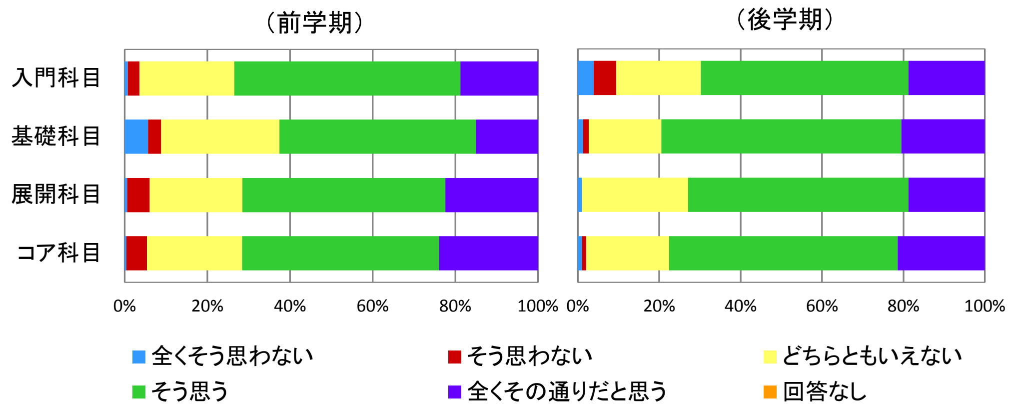


平成 28 年度は全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 66%となっており，平成 27 年度よりも 3 ポイント増加している。平成 27 年度と比較して「全くそう思わない」・「どちらともいえない」の割合はともに減少しているため，シラバス点検によりシラバス内容が拡充されたことが反映されているといえるだろう。ただし，「シラバスの内容を把握していないため分からない」の割合は，平成 27 年度よりも増加している。

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の

講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

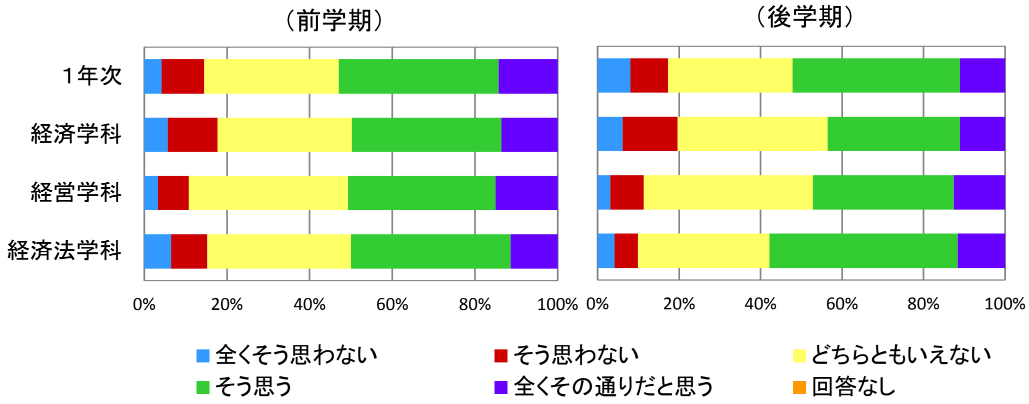


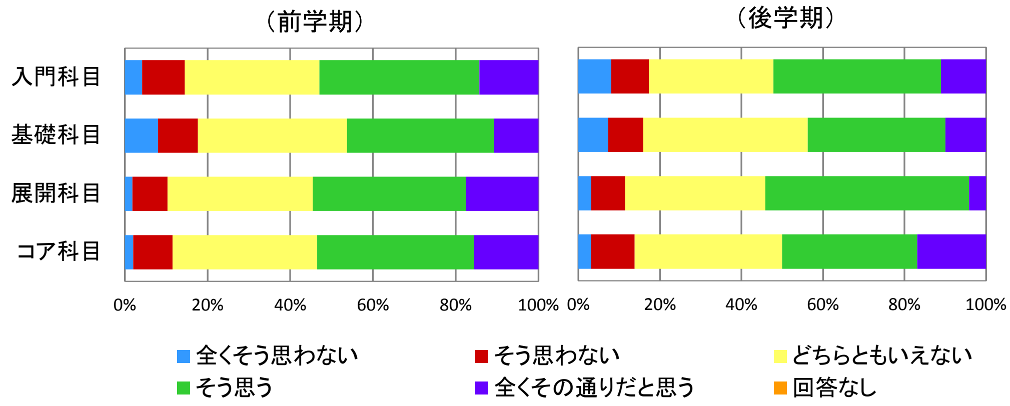


平成 28 年度は，全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合は 72%，「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合は 5%となっている。平成 27 年度と比較すると，前者は微増し，後者は微減している。総じて教材や ICT 環境が充実されて，理解度向上に貢献していることが窺える。

C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッシ

ョンを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

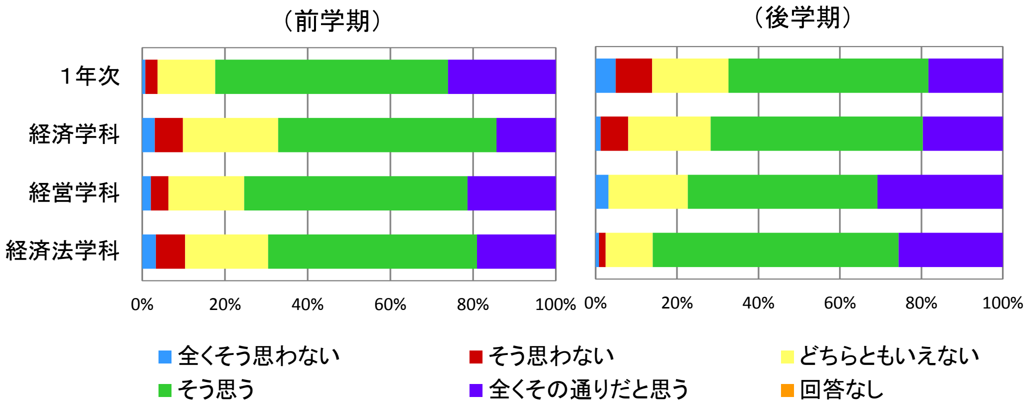


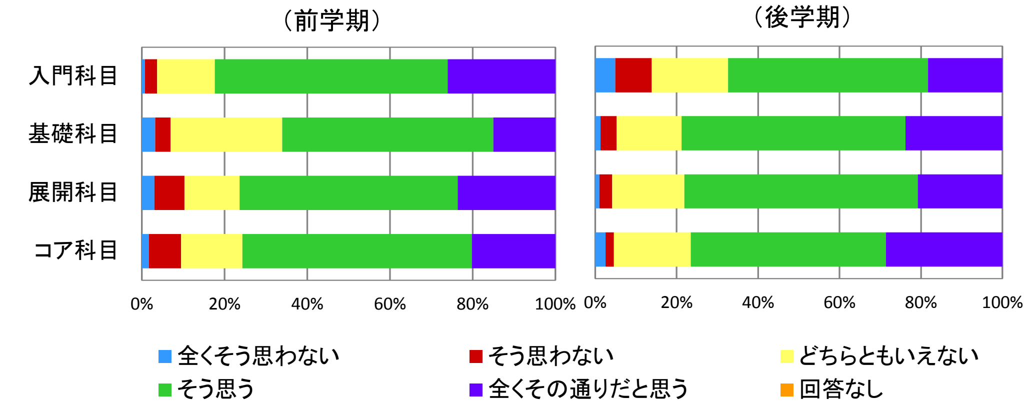


平成 28 年度は，全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が約 5 割，「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が 14.5%となっている。平成 27 年度と比較すると，前者はほぼ同水準，後者は 1.5 ポイント改善している。入門ゼミ・演習の少人数授業が集計結果から除外されていることに鑑みると，大人数の授業であっても学生の思考を促す取り組みがなされていることが窺える。ただし，内訳を見ると，平成 27 年度と比較して，入門科目では「そう思う」・「全くそのとおりだと思う」の割合が大きく増加しているのに対して，基礎科目およびコア科目において，これらの割合が低下している。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



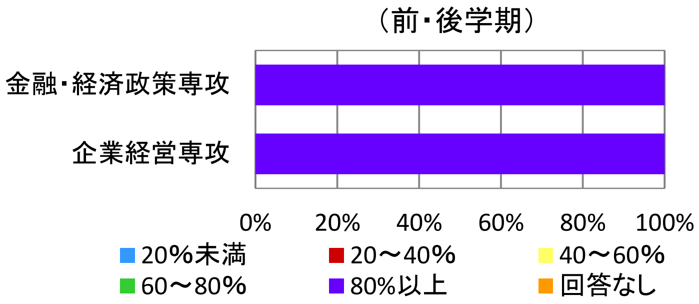


平成 28 年度は，全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 74.5%,「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合は 7.1%となっている。平成 27 年度と比較すると，前者は 0.5 ポイントの改善，後者は 1.9 ポイントの改善となっており，総じて満足度は改善の傾向にあるといえる。とくに，平成 27 年度は 1 年次および入門科目の満足度が前期・後期ともに相対的に低かったのに対して，平成 28 年度ではとりわけ前期において，これらに大きな改善が見られた。他方，後期の 1 年次および入門科目については，平成 27 年度と同様に相対的に満足度が低い状態が続いている。

経済学研究科では，専攻別に金融・経済政策専攻，企業経営専攻に分けて前・後学期を合算してアンケートを集計している。学生数・授業科目数が少ないため，異常値により大きく集計結果が影響されると考えられるが，以下，平成27年度との比較を中心としてアンケート項目ごとに分析を行う。

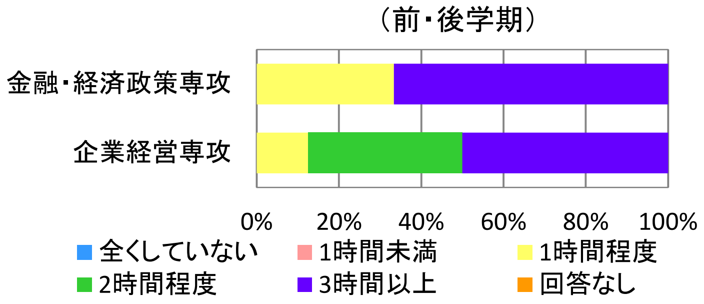
A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか



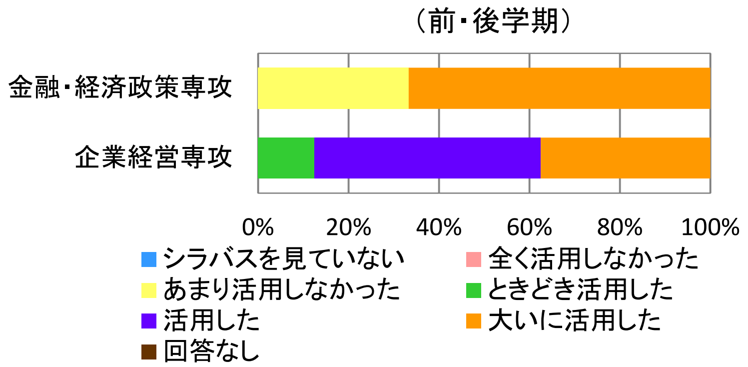
平成27年度同様，各専攻の全ての科目において全員が「80%以上」と回答しており，出席率は非常に高い。

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



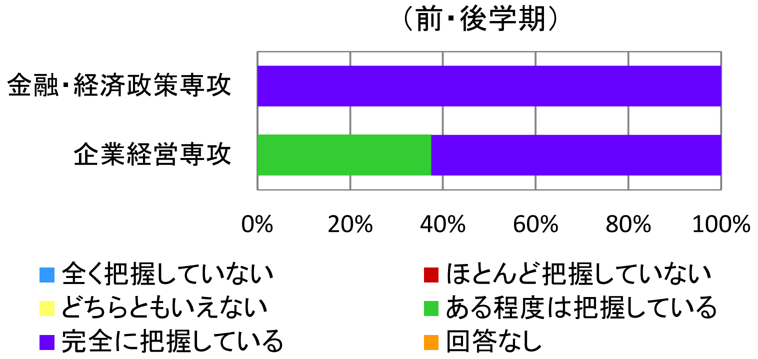
「全くしていない」の割合が，平成27年度は平均して4%であったのに対して，平成28年度は各専攻において0%になっている。授業時間外学習の時間も増加している。

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



「活用した」・「大いに活用した」の割合が平均して 51%，「全く活用しなかった」・「あまり活用しなかった」の割合が 33.3%となっている。平成 27 年度と比較すると，「シラバスを見ていない」学生が平成 27 年度には約 20%であったのに対して，平成 28 年度は 0%に低下しており，シラバスの活用状況は平成 27 年度よりも総じて改善されている。

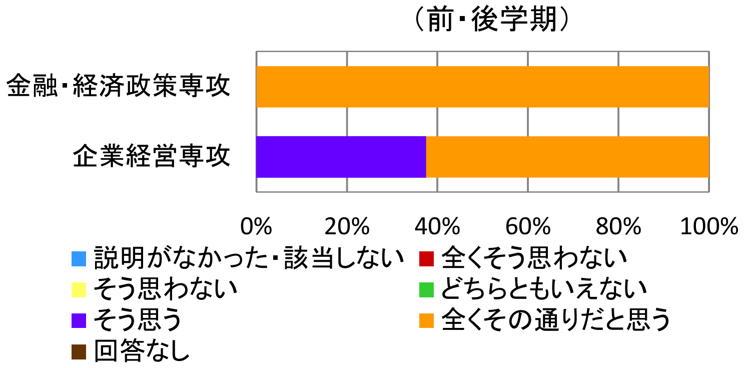
A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



「ある程度把握している」・「完全に把握している」の割合が，両専攻ともに 100%となっており，学習到達目標・成績評価基準を把握して授業に臨む姿勢が見られる。

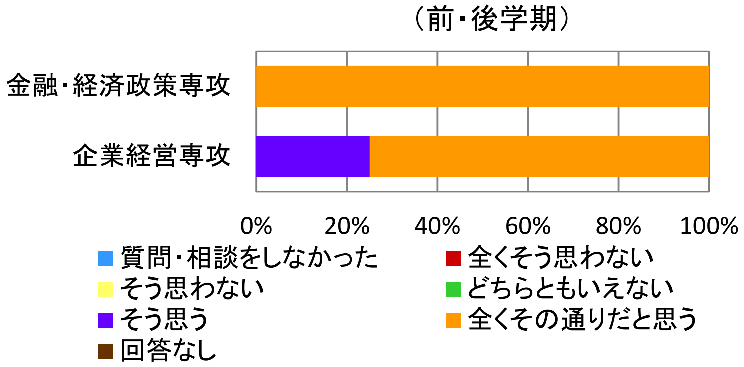
B.　教員の対応

B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



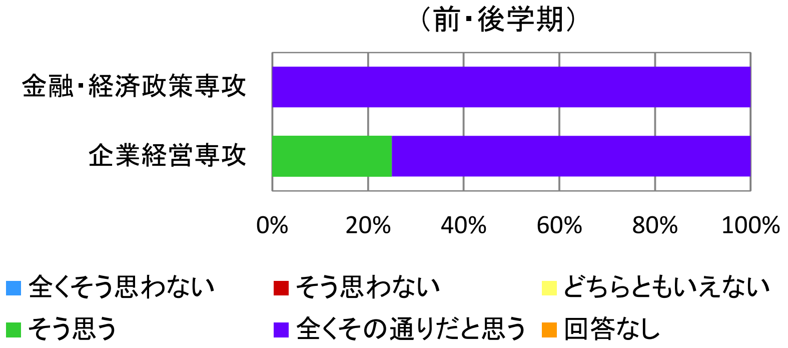
両専攻ともにすべての学生が教員の教育方法・成績評価方法の説明が有益だったと感じており，教員の懇切な説明を心掛ける姿勢が窺える。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



平成 27 年度と同様に，「そう思う」・「全くその通りだと思う」と回答した学生が 100%となっている。研究科では少人数教育となっていることもあり，学生が質問しやすい環境となっており，教員もそれに適切に対応している状況となっていると評価できる。

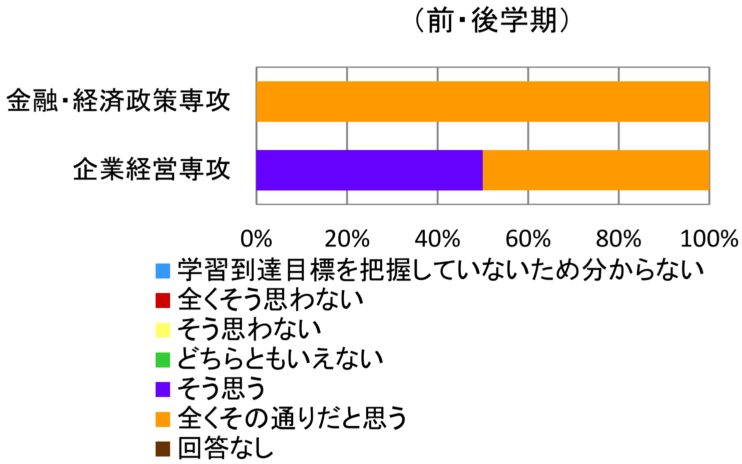
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 100%となっている。平成 27 年度と比較すると，両専攻ともに数値が改善されており，教員が授業に真摯に臨む姿勢が窺える。

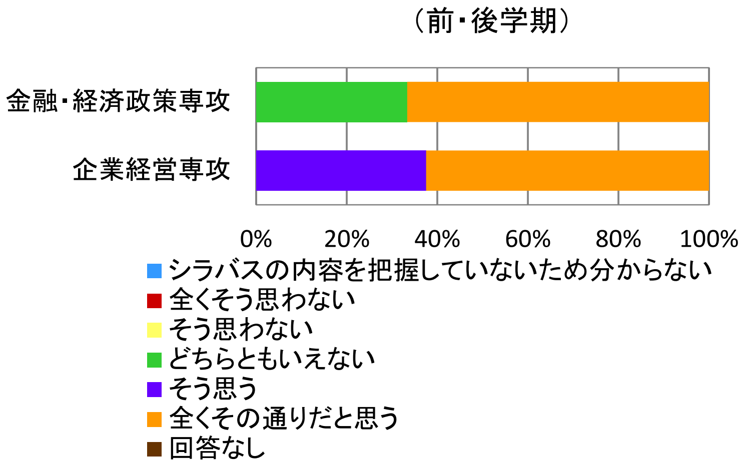
C.　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか



両専攻ともに「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 100%となっており，全学生が概ね学習到達目標を達成できていると評価できる。平成 27 年度はこれらの割合は 92%であったことから数値として改善されたといえる。

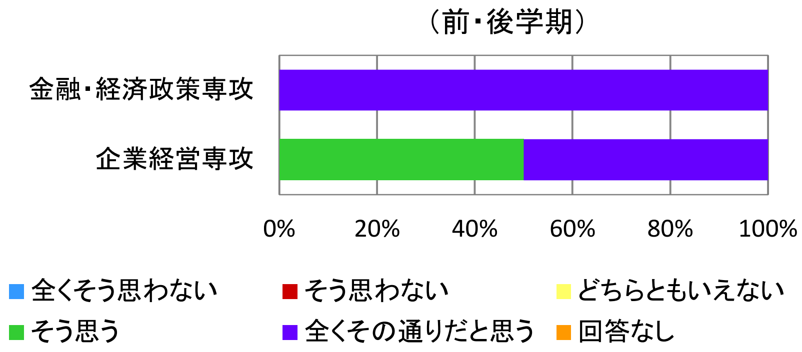
C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



平成 27 年度は「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が平均して 92%であったのに対して，平成 28 年度は 83%に低下している。平成 27 年度と比較すると「どちらともいえない」の割合が増加した。シラバス作成時の想定と実際の受講生の人数・専攻分野が異なっていたため，実際の受講生の志望に合わせて授業内容が変更されているのではないかと考えられる。他方「全くそう思わない」の割合は，平成 27 年度は 4%だったのに対して，平成 28 年度は 0%になっている。

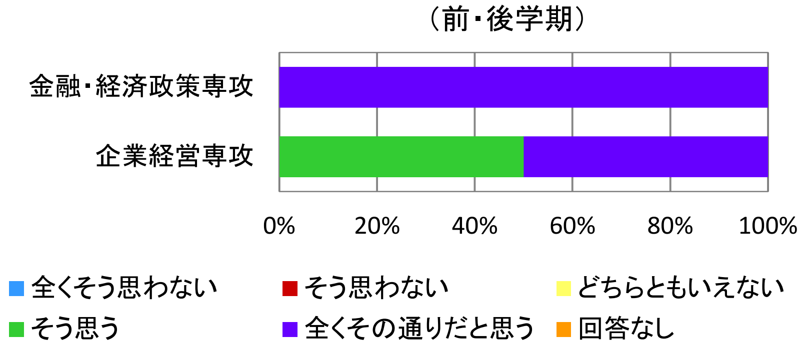
C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の

講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



両専攻ともに「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 100%となっており，平成 27 年度と同様に高水準にある。事前に教材や ICT 環境の準備を整えて授業に臨んでいる成果が表れているといえよう。

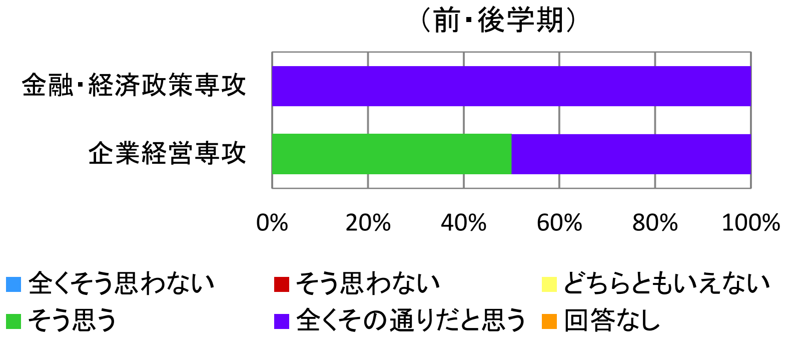
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



両専攻ともに「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 100%となっており，平成 27 年度よりも上昇している。少人数教育ならではのグループディスカッションや思考を促す取り組みが窺える。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



両専攻ともに「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 100%となっている。平成 27 年度においてはこれらは 94%であり，「そう思わない」と回答した割合は 6%であったことから，数値としては改善されたといえる。

平成 28 年度　理工学部・工学系研究科組織別授業評価報告書

平成２８年度組織別授業評価報告書

（1）学士課程

学生による授業評価は,「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に従い，共通のアンケート様式を用いて実施された．また，いくつかの科目では，共通のアンケート様式の使用が適さないとの判断から,独自様式でのアンケートが実施された.平成22年度後学期からは,Live Campusを活用した Web 形式を採用しているため，すべての科目で実施していることになる．平成 28 年度は，全開講科目 482 科目の中で学生が何らかの情報を投入したものは 453 科目であり，有効な回答を得た科目は全体の 94%であった． なお，受講登録学生数に対する回答数が過半数に満たないものは，86%を占めていた．したがって,回答数の改善が今後の課題である.

なお,教職科目は,除外して集計している.

各学科の状況は以下のとおりである.

数理科学科

学生による授業評価アンケート結果は，概ね学部平均相当の良好な結果が得られている。

物理科学科

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、良好な結果を得ている。科目によるばらつきもとくに見られない。

知能情報システム学科

授業評価の結果は，学生の満足度を含む多くの項目において概ね良好な回答が得られているように見える．学科内の教育改善委員会により教育の改善を図っている.

機能物質化学科

学生による授業評価アンケート結果は，満足度をはじめ，全ての項目で概ね良好な結果が得られている。予習・復習をしていない学生は学部平均より少なめである。別途，学生アンケートを実施しており，授業内容に対する要望等の情報を収集し，学科で共有している。さらに，学科内の教育 FD 委員会による点検と教育改善委員会による改善提案により,学習成果の向上に向けた継続的改善を図っている。

機械システム工学科

学生による授業評価では概ね学部平均相当となっており良好な結果といえる．学士課程は JABEE 認定のプログラムであり厳密な出席管理や成績評価が相応に評価されたものである．各

教員の FD レポートでは授業評価アンケート等の結果に基づきさらなる教育の改善が行われている.

電気電子工学科

(A-2) 授業時間外学習： 「1 時間未満」または「全くしていない」と答えた学生は、前期で38.3%であった。3 分の 1 の学生であり、多いと言える。

(B-2) 質問への対応： 「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で 55.3%であった。「どちらとも言えない」を含めれば 77.5%となり、「質問・相談をしなかった」が 19.2%であることを考慮すれば、おおむね教員の質問への対応は評価されていると言える。

(B-3) 教員の授業に対する意欲： 「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で 75.9%であり、H27 年度の 80.2%より若干下がっている。

(C-1) 目標の達成： 「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で H27 年度の 65.7%から 51.0%に低下している。「目標を把握していない」は H27 年度の 1.5%から 5.2%に増加しており、授業目標を達成できない学生が増加傾向にある。

(C-4) 発言の促進、グループワーク：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で 53.2%であり、評価されている授業は半数程度と考えられる。

(D-1) 満足度：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で H27 年度は 75.2%、H28 年度は 73.2%とほぼ同じであり、おおむね学生が授業に満足している状態は維持できていると言える。

都市工学科

学生による授業評価の満足度は,「そう思う」,「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合が前期で約 69%, 後期で約 83%となっており, 前期後期通算で約 75%と概ね高い評価を得ている. 学科内の教育システム委員会での基礎教育の内容の見直し等の成果が現れ始めている.

（2）博士前期課程

平成 28 年度は, 全開講科目 314 科目の中で学生が何らかの情報を投入したものは 252 科目であり, 前の項目と同じく, Live Campus を活用した共通のアンケート様式の授業評価が実施された. 有効な回答が得られた科目は全体の 80%であり、学士課程の 94%と比較して回答率は低かった。一方、過半数以上が回答を行った科目は全科目数の 36%であり、こちらは学士課程よりよい結果となっている。授業アンケートを WEB 入力化した後の学生が進学してきており、入力を行う習慣がついているものと思われる。ただ、いずれにせよ全体からすると回答数は少なく、回答数の改善が今後の課題である.

なお, 研究科共通科目は, 除外して集計している.

各専攻の状況は以下のとおりである.

数理科学専攻

学生による授業評価アンケート結果は，非常に高い評価を得ている。

物理科学専攻

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、概ね良好な結果を得ている。受講者数の少ない科目もあり科目ごとのデータの有効性は高くないが、科目による大きなばらつきは見られない。

知能情報システム学専攻

授業評価の結果は，学生の満足度を含む多くの項目において概ね良好な回答が得られているように見える．受講者数の少ない科目もあり科目ごとのデータの有効性は高くないように思われる．

循環物質化学専攻

基礎科目，専門科目を問わず，専攻開講科目の満足度は良好である。学生と教員の議論を中心とした指導形態の循環物質化学特別実習・演習等の科目を通じて，学生の要望等を組み入れた教育環境の改善に専攻独自で取り組んでいる。

機械システム工学専攻

学生による授業評価では，いずれの科目においても高い満足度が得られている．学部と大学院都の接続授業である機械設計特論および熱流体力学特論を必修としているため，基礎学力の充実を図ることができ，その後の専門科目の理解の充実度が上がったことを示している.

大学院生とは科目講義以外に各研究室で行われるゼミや研究指導で学部生以上に密接なコンタクトを取っており，これらで行なう学生との意見交換を通じ教育環境の改善に取り組んでいる.

電気電子工学専攻

満足度を見ると、「全くそう思う」または「そう思う」と答えた学生は前期で 87.7%であり、学生の満足度は高いと言える。

都市工学専攻

学生による授業評価の満足度は,「そう思う」,「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合が前期で約 88%，後期で約 89%となっており，前期後期通算で約 88%と概ね高い評価を得てい

る.

先端融合工学専攻

概ね講義科目に関しては授業に関する満足度が高く，良好な評価を得ている．ただ，電気系，機械系，化学系の学生の融合を目指して始めたプロジェクトスタディの満足度が他の講義科目に比較するとやや低く,減少傾向にある(一昨年度4.043(回答56%)､昨年度3.846(回答46%)、本年度3.667 (回答　45%))．専攻としては力をいれている科目であり，何らかの改善が必要であると考えられる.

（3）博士後期課程

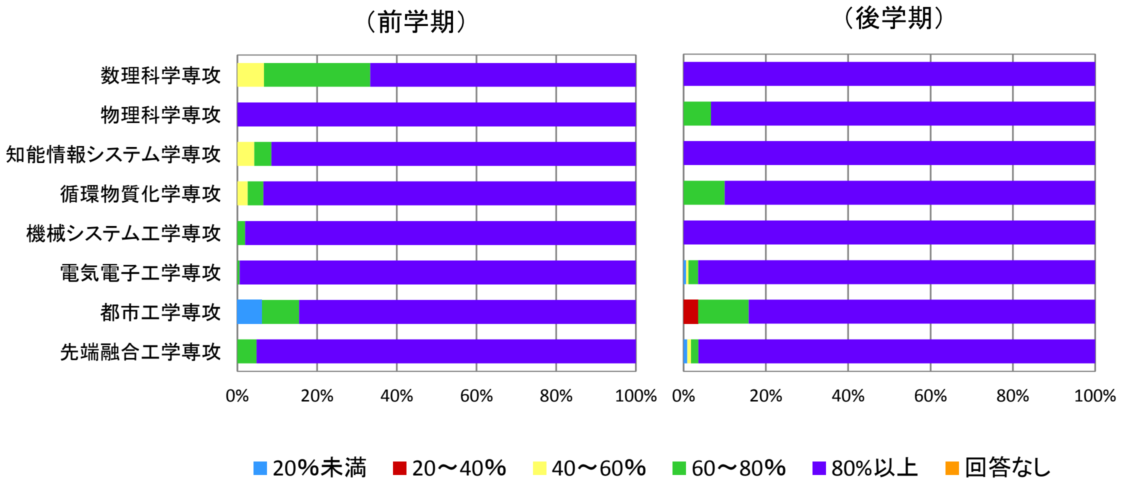
平成28年度は,全開講科目25科目の中で学生が何らかの情報を投入したものは13科目であり,前の項目と同じく,Live Campusを活用した共通のアンケート様式の授業評価が実施された.有効な回答が得られた科目は全体の 52%であった。これは受講者数1という科目が多く、授業アンケート入力についても、教員の指示が行き届いていないためではないかと考えられる。また、受講者数1の科目では学生の匿名性がないため、入力しにくいのではないかと考えられる。

工学系研究科の状況

授業評価アンケートが Live Campus を利用した Web 方式になって、提出率が思わしくない。今回も工学系研究科の提出率は、例えば前学期だと、1634 件（受講者の延べ人数）中 611 件（提出数）と、37%にとどまっている。また、178 科目中 42 科目は、回答率ゼロであり、これらの科目は評価されていない。学生全体を把握するには、いささか提出率が低くて心許ないが、以下、各項目について分析を行う。

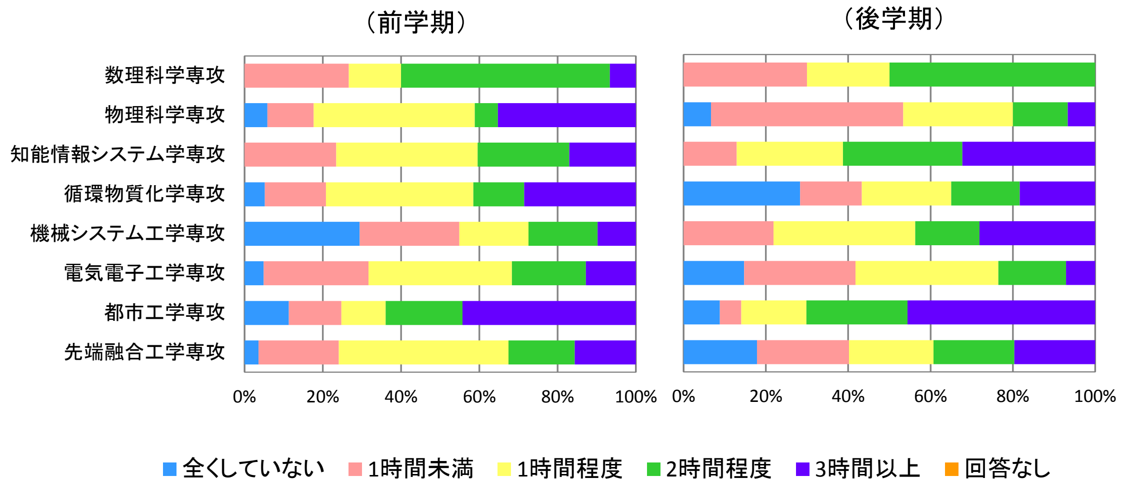
A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか



一部専攻を除き、9 割以上が 80%以上出席となっている。専攻によっては、出席率半分程度の授業もあり、専攻によって多少ばらつきがある。

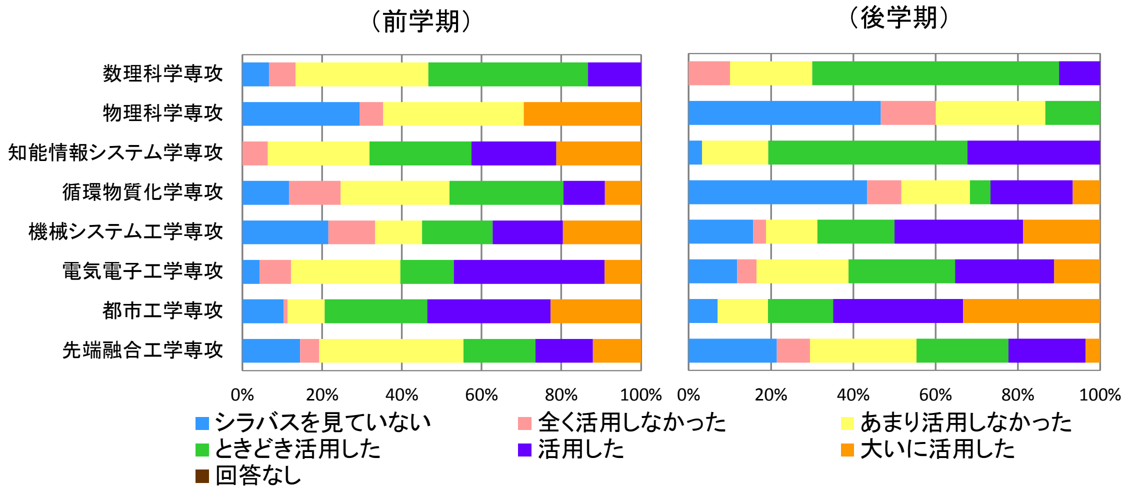
A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



時間外学習についても、専攻によってばらつきが大きいが、総じて理工学部と比較する

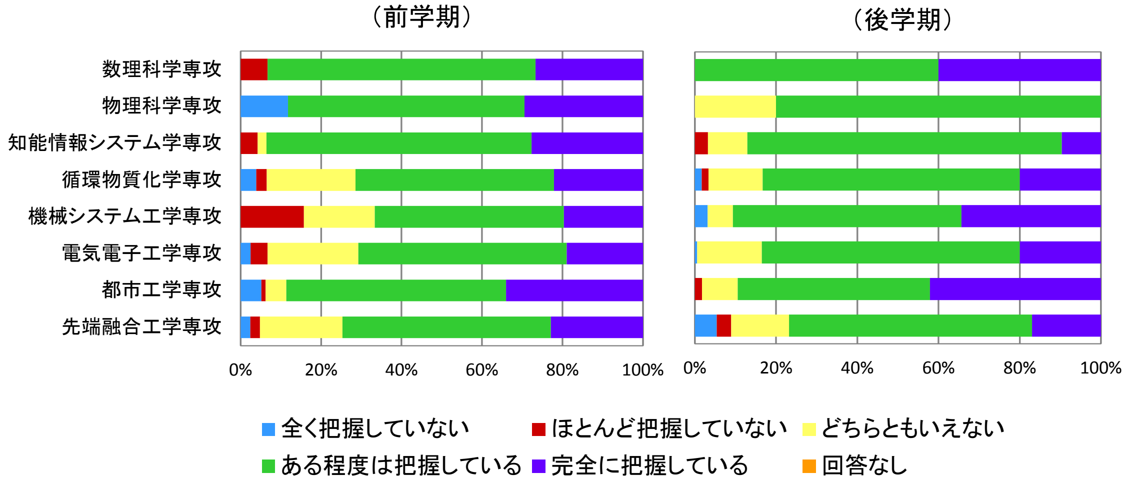
と、大学院生は学部生よりも時間外学習をしていないことが分かる。

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを活用しているかどうかの質問についても、専攻によって大きくばらついており、専攻によっては半数の学生がシラバスを見ていないなど、学部とは大きく隔たりがある。特別研究が主であろう大学院においては、授業は疎かにされているという印象を受ける。

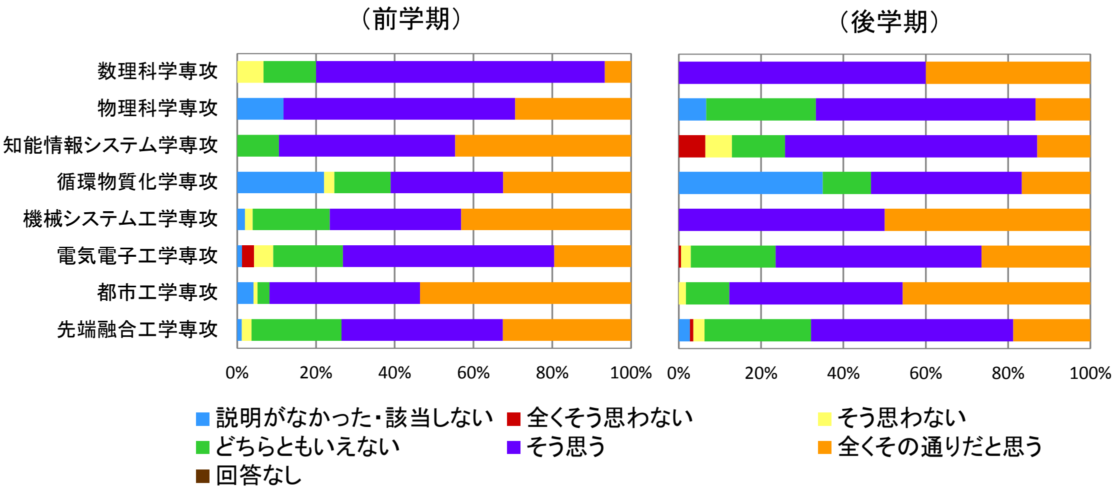
A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



シラバスはあまり活用されていないが、シラバスに書かれている学習到達目標や成績評価基準については、ある程度把握しているようである。

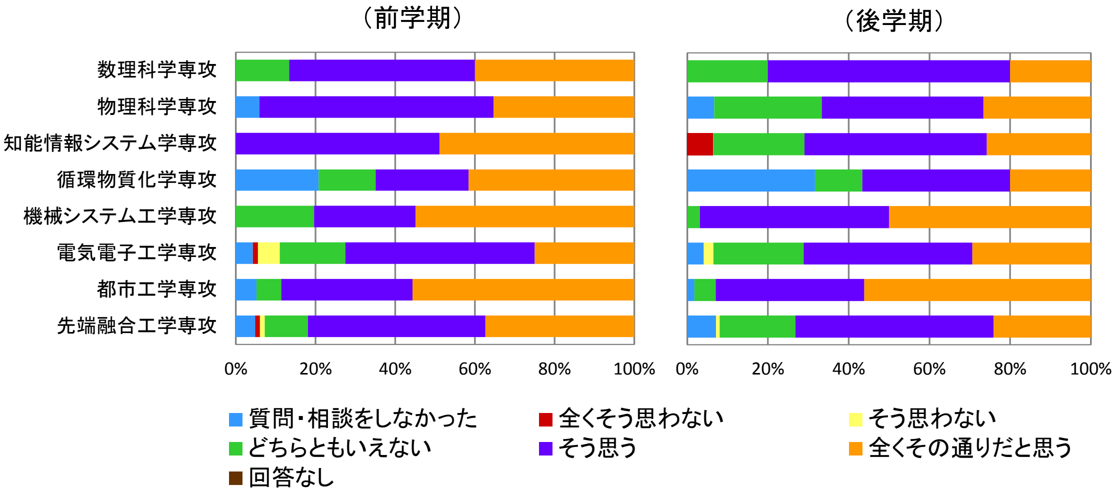
B.　教員の対応

B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



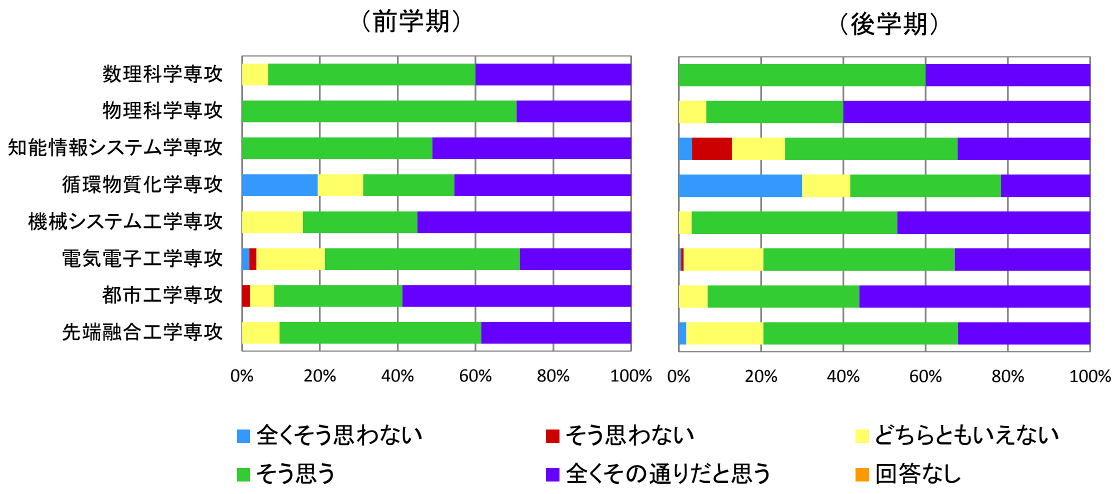
これも、専攻によってばらつきがある。「説明がなかった」というのは、授業としてあまり好ましくないと思われる。教員も大学院の授業を疎かにせず、きちんと学生に対して説明を行う必要があると思われる。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



全くそう思わない、そう思わない学生がほとんどいないのは、大学院の授業は指導教員が開講しているものを履修している場合が多く、教員と学生の距離が近いからであると思われる。

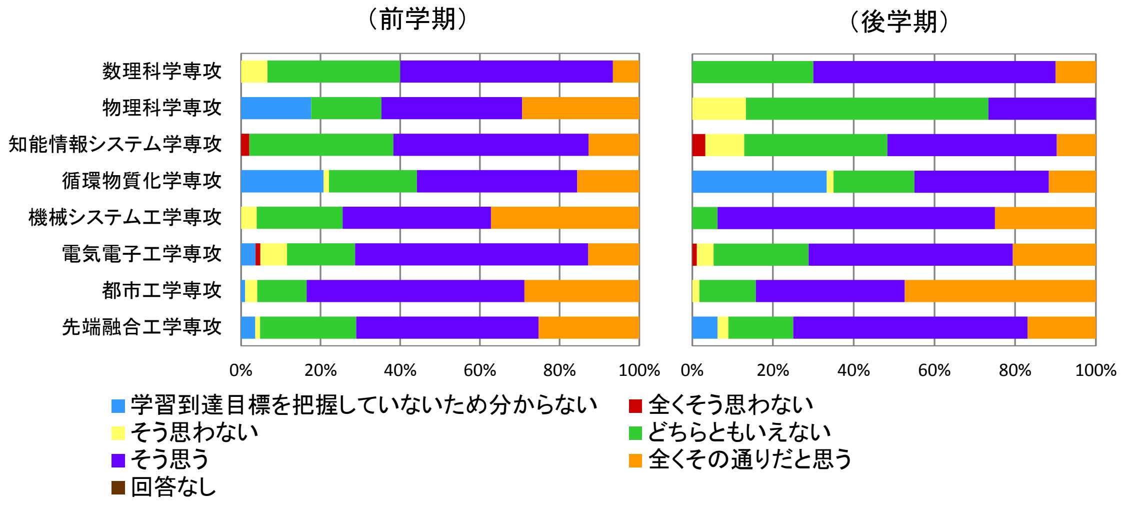
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



一部専攻において、意欲や熱意が全く感じられない教員が存在しているようである。学部ではほとんどなかったため、学生によって態度を変えていると言うことであろう。大学院の授業だからといって、手を抜いたりせずに、真摯な態度で授業に臨むべきである。

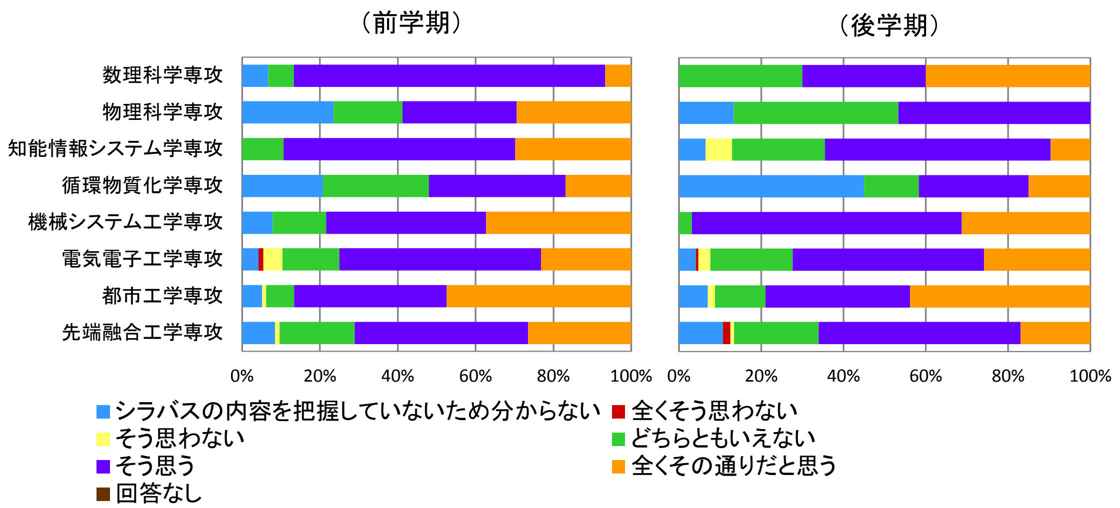
C.　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか



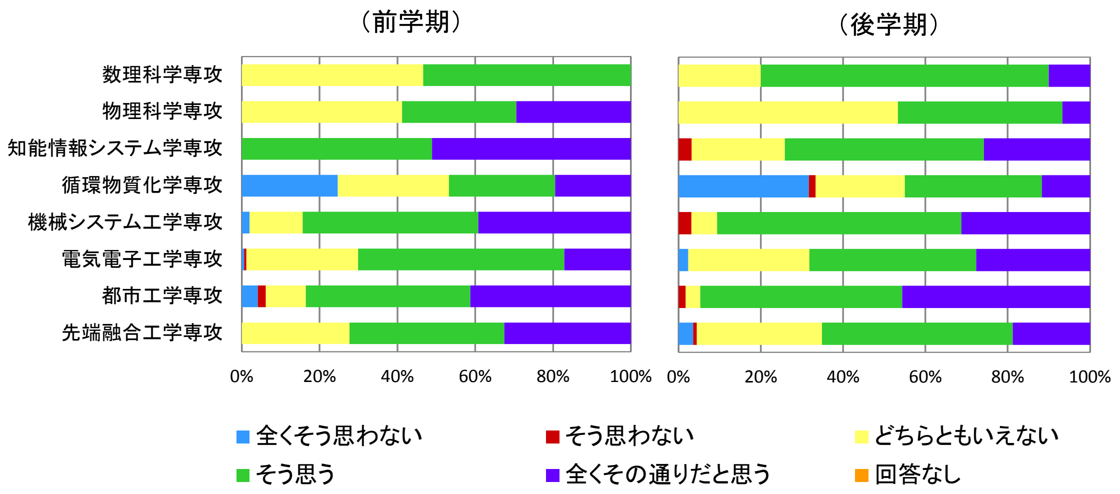
シラバスを読んでいない学生は、学習到達目標も知らないままであろうと推察される。そのため、一部の専攻では 30%の学生が分からないと答えている。授業の最初にシラバスを説明する等、大学院生にもシラバスを読むように促すべきであろう。

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



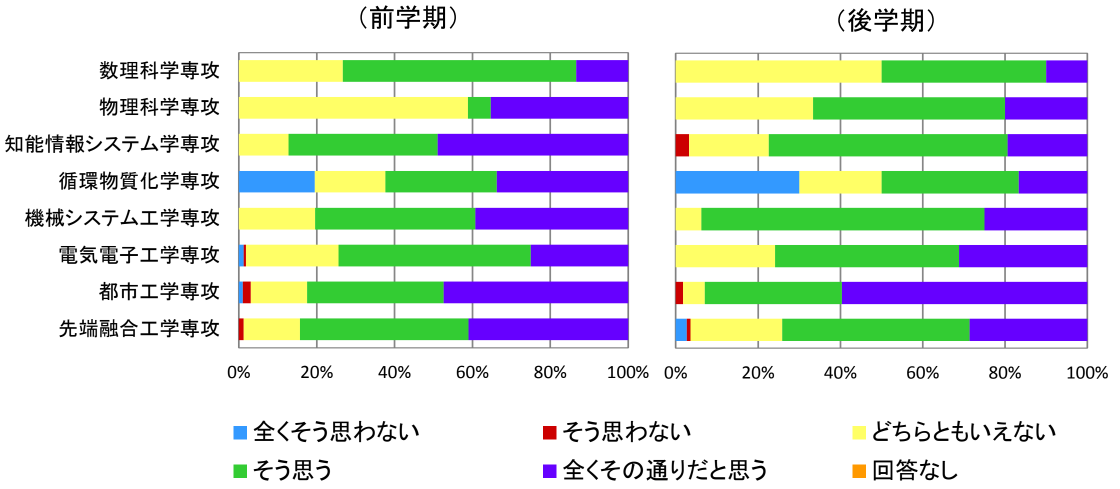
これも専攻によってばらつきが大きい。上述のように、学生にシラバスを説明する時間を取った方がいいと思われる専攻もある。

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



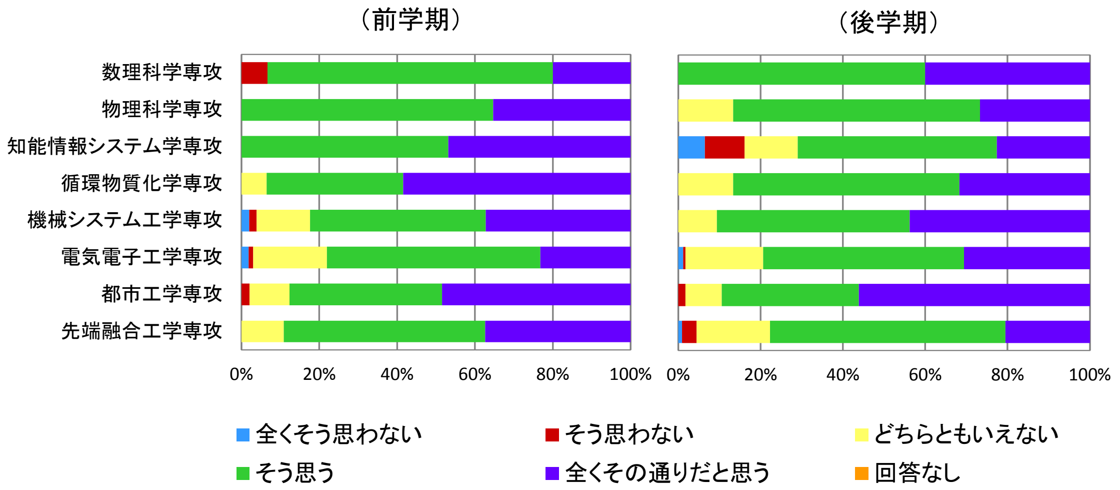
大学院ではテキストを使わない授業も多いためか、「全くそう思わない」学生も散見される。

C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



アクティブラーニングは比較的大学院の授業では用いられているようである。これは、学部のような受講者数が多い講義と異なり、コンパクトで教員と学生の距離が近いためであると分析している。

D.　満足度



一部を除いて「そう思う」以上が約８割以上を占めている。ただし、「満足度」は授業内容とも密接に関わる内容であり、表面的な評価だけでは不十分と考える。また、上述のように回収率が３０％程度であるため、全員の意見ではないことに注意を要する。

平成 28 年度　授業評価報告書

佐賀大学農学部

佐賀大学大学院農学研究科

平成 29 年 8 月

佐賀大学農学部 FD 委員会

佐賀大学大学院農学研究科 FD 委員会

はじめに

大学法人化後、佐賀大学は、高等教育機関としての機能を強化・充実することで社会的責任を果すことを求められてきた。その方策のひとつとして、教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するために、全ての授業科目について全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」とその集計結果をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善システムを構築し、運用を行ってきた。

農学部および農学研究科では、カリキュラムの見直しや単位実質化に関する改善など、教育改革や内部質保証のためのさまざまな取り組みとともに、平成18年度から授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への利活用を進めている。

本報告には、平成 28 年度農学部及び農学研究科の開講科目に関する授業評価アンケートの結果(学科・コース別)取り纏めと、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を記している。アンケートでは、学生側の課題として、学習到達目標や成績評価基準の理解度、出席率、授業時間外学習の時間、シラバスの活用度、満足度などについて調査し、分析した。教員側の課題としては、教育方法や成績評価方法の説明、シラバスに準拠した授業の実施、教材の満足度、アクティブラーニングへの配慮、質問や相談への対応などについて調査し、分析した。授業評価アンケートは、大学院農学研究科(修士課程)についても学部開講科目と同様の内容のアンケートを行い、取り纏めと結果の分析を行った。

以上の様な取り組みを通して、活力のある教育システムを構築・実践し、農学部・農学研究科で掲げる教育目標の実質化及び質の向上を達成することによって、教育・研究活動に貢献することを目指している。

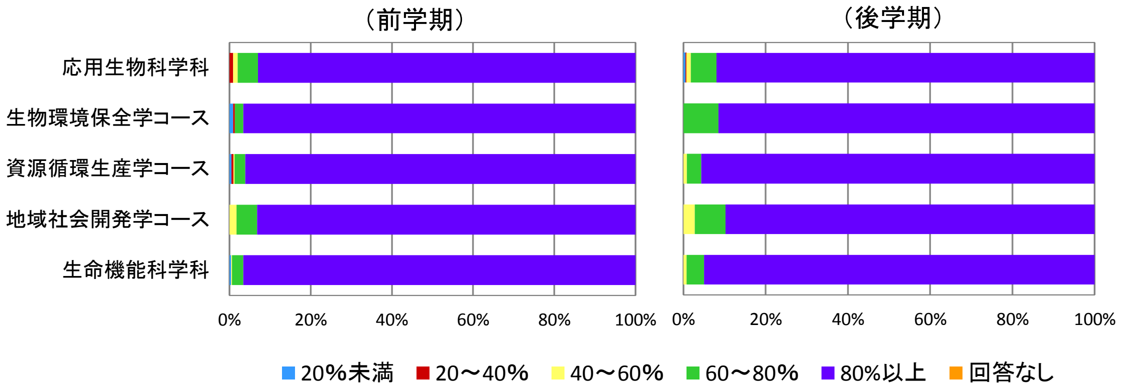
平成29年8月

農学部FD委員会
大学院農学研究科FD委員会

農学部組織別授業評価分析結果

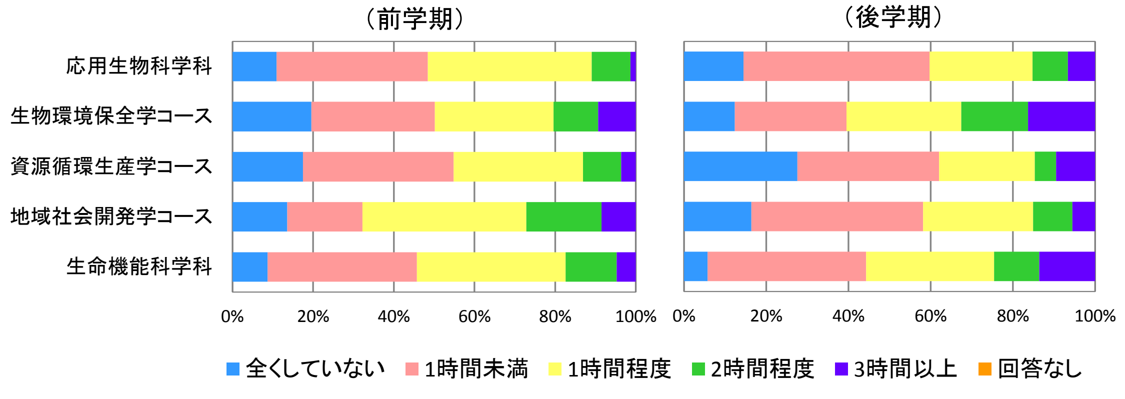
A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか



出席率が 80%以上の学生は、前期では、応用生物科学科が 93.0%、生物環境保全学コースが 96.6%、資源循環生産学コースが 96.1%、地域社会開発学コースが 93.2%、生命機能科学科が 96.6%であり、後期では、応用生物科学科が 91.9%、生物環境保全学コースが 91.5%、資源循環生産学コースが 95.7%、地域社会開発学コースが 89.7%、生命機能科学科が 95.0%であった。従って、全ての学科・コースで出席状況は良好であったと言える。

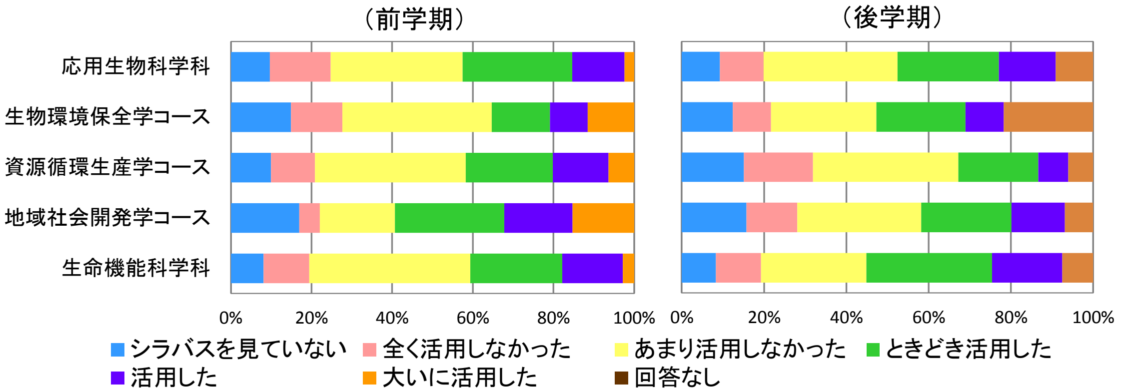
A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



全くしていないと答えた学生は、前期では、応用生物科学科が 11.0%、生物環境保全学コースが 19.6%、資源循環生産学コースが 17.5%、地域社会開発学コースが 13.6%、生命機能科学科が 8.7%であり、後期では、応用生物科学科が 14.5%、生物環境保全学コースが 12.4%、資源循環生産学コースが 27.6%、地域社会開発学コースが 16.4%、生命機能科

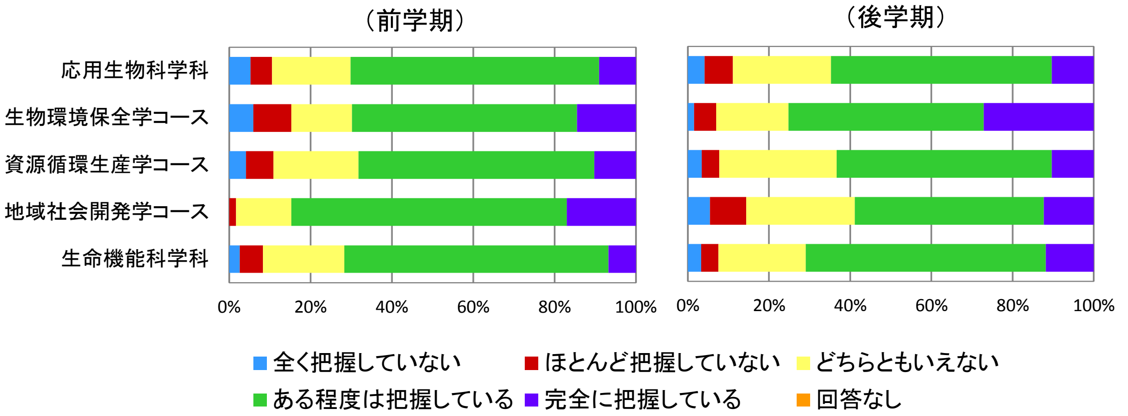
学科が 5.8%であった。これは平均すると、前年度とほぼ同じような割合である。一方で、今年度は、前学期に比べて後学期では、3 時間以上時間外学習をした学生の割合が大きく上昇した。これは、教員側から繰り返し予習・復習の重要性を説明している結果が出ているのかもしれない。今後とも、学生の授業時間外学習を促すような指導が重要である。

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」、と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 42.5%、生物環境保全学コースが 35.3%、資源循環生産学コースが 41.7%、地域社会開発学コースが 59.3%、生命機能科学科が 40.6%であり、後期では、応用生物科学科が 47.6%、生物環境保全学コースが 52.7%、資源循環生産学コースが 32.8%、地域社会開発学コースが 41.8%、生命機能科学科が 55.1%であった。これは、平均すると前年度とほぼ同じような割合である。この結果からは、シラバスの活用がまだ十分であるとは言い難い状況であり、学生に引き続きシラバスの活用を促していく必要があると考えられる。

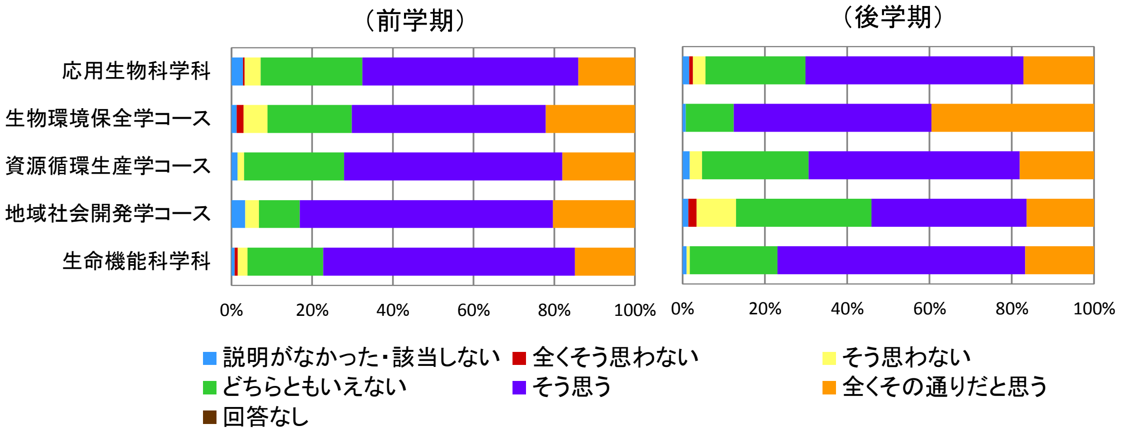
A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」、と答えた学生の合計は、前期では応用生物科学科が 70.2%、生物環境保全学コースが 69.8%、資源循環生産学コースが 68.2%、地域社会開発学コースが 84.7%、生命機能科学科が 71.7%、後期では、応用生物科学科が 64.8%、生物環境保全学コースが 75.2%、資源循環生産学コースが 63.4%、地域社会開発学コースが 58.9%、生命機能科学科が 70.9%であった。ある程度の学生は、学習到達目標や成績評価基準を把握していると考えられるが、教員が講義中に十分に周知をはかることで、より高い把握率を目指すことが必要である。

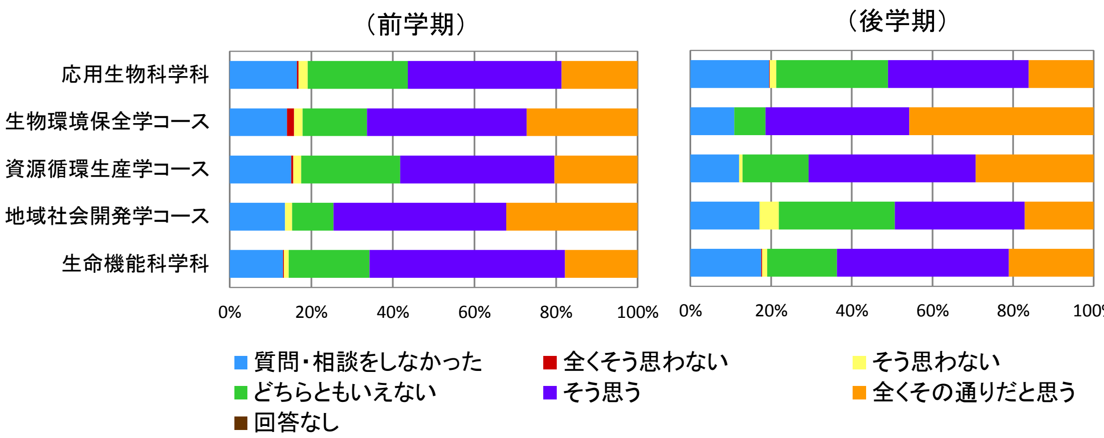
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



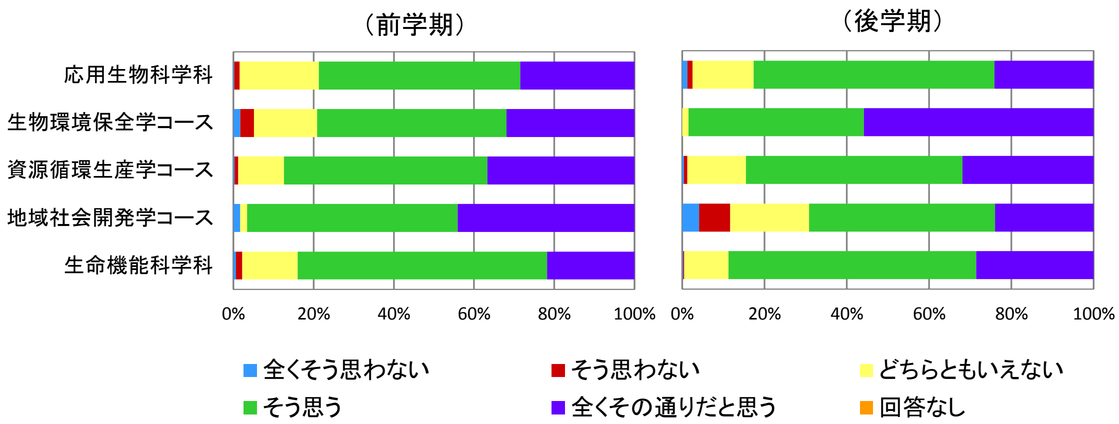
教育方法や成績評価方法等の説明が有益でしたかという問いに、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生の合計は、前期では応用生物科学科が 67.5%、生物環境保全学コースが 70.2%、資源循環生産学コースが 72.1%、地域社会開発学コースが 83.1%、生命機能科学科が 77.2%、後期では、応用生物科学科が 70.1%、生物環境保全学コースが 87.6%、資源循環生産学コースが 69.4%、地域社会開発学コースが 54.1%、生命機能科学科が 76.9%であり、ある程度の満足が得られていると考えられる。しかし、「全くそう思わない」、「そう思わない」、「どちらともいえない」と回答した学生も一定数いることから、今後、改善を図っていく必要がある。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



質問や相談に適切に対応してくれたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 56.4%、生物環境保全学コースが 66.4%、資源循環生産学コースが 58.3%、地域社会開発学コースが 74.6%、生命機能科学科が 65.7%、後期では、応用生物科学科が 51.0%、生物環境保全学コースが 81.4%、資源循環生産学コースが 70.7%、地域社会開発学コースが 49.3%、生命機能科学科が 63.7%であり、生物環境保全学コースで平均して高かった。但し、「質問・相談をしなかった」学生の割合が、前期では応用生物科学科が 16.4%、生物環境保全学コースが 14.0%、資源循環生産学コースが 15.0%、地域社会開発学コースが 13.6%、生命機能科学科が 13.1%、後期では、応用生物科学科が 19.5%、生物環境保全学コースが 10.9%、資源循環生産学コースが 12.1%、地域社会開発学コースが 17.1%、生命機能科学科が 17.5%おり、質問しやすい状況を作ることで、この割合を減らしていくことも重要である。

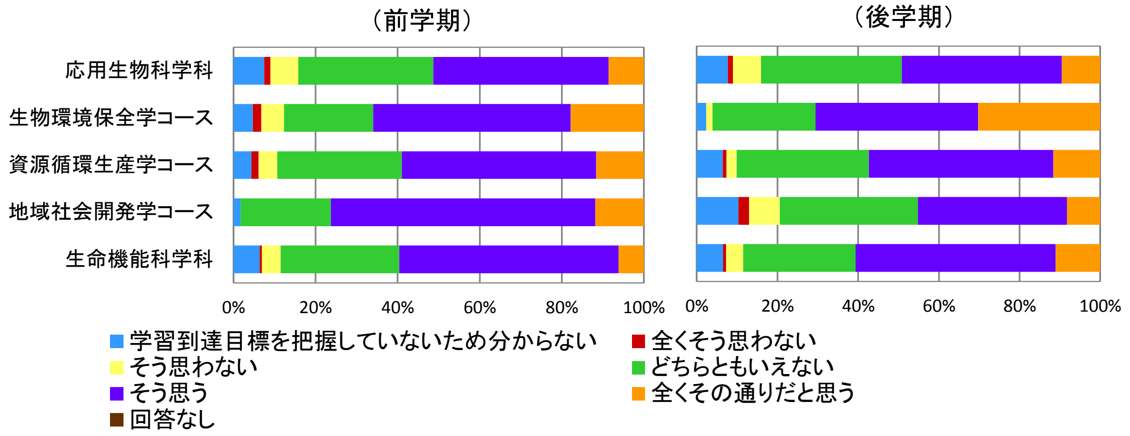
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



意欲や熱意が感じられたという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が78.7%、生物環境保全学コースが79.1%、資源循環生産学コースが87.4%、地域社会開発学コースが96.6%、生命機能科学科が84.0%、後期では、応用生物科学科が82.6%、生物環境保全学コースが98.4%、資源循環生産学コースが84.5%、地域社会開発学コースが69.2%、生命機能科学科が88.7%であり、前期の地域社会開発学コースと後期の生物環境保全学コースで特に高かった。一方で、「全くそう思わない」、「そう思わない」とした学生もごくわずかではあるが存在するため、厳しい評価となった科目に関しては改善が必要であろう。

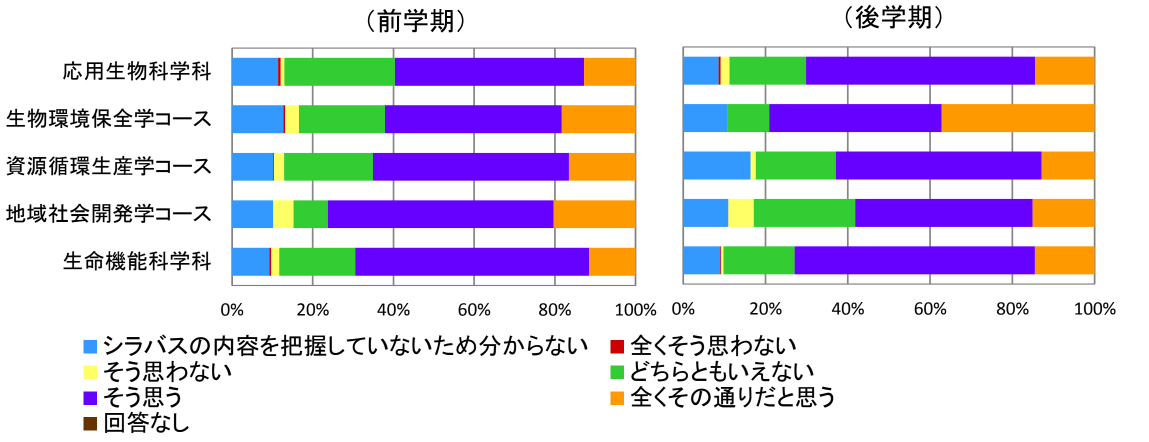
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



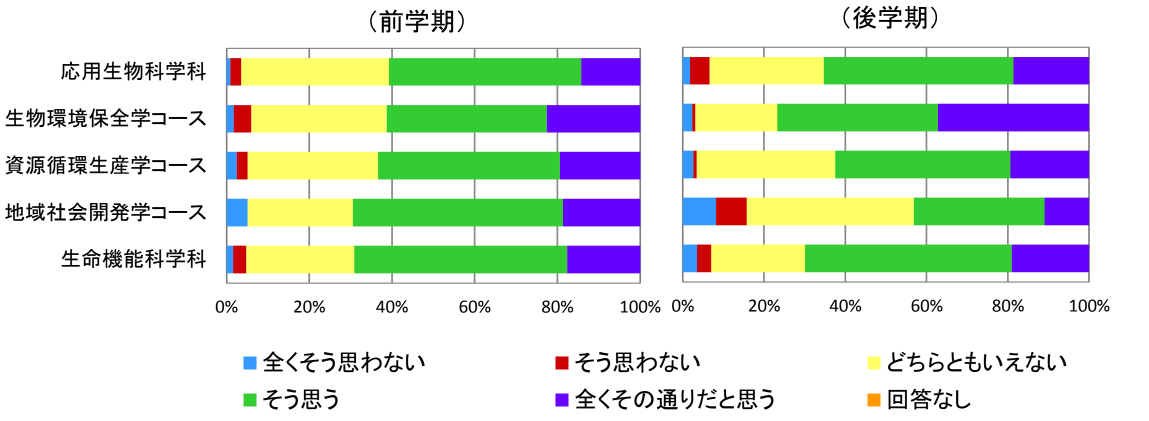
学習到達目標を達成できたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 51.3%、生物環境保全学コースが66.0%、資源循環生産学コースが59.0%、地域社会開発学コースが76.3%、生命機能科学科が59.6%、後期では、応用生物科学科が49.2%、生物環境保全学コースが70.5%、資源循環生産学コースが57.3%、地域社会開発学コースが45.2%、生命機能科学科が60.7%であり、年間を通して生物環境保全学コースが高かった。一方、「学習到達目標を把握していないため分からない」という回答も一定数見られ、目標の十分な周知も重要であると考えられる。

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



授業内容がシラバスに基づいていたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 59.6%、生物環境保全学コースが 62.1%、資源循環生産学コースが 65.0%、地域社会開発学コースが 76.3%、生命機能科学学科が 69.5%、後期では、応用生物科学科が 70.1%、生物環境保全学コースが 79.1%、資源循環生産学コースが 62.9%、地域社会開発学コースが 58.2%、生命機能科学学科が 72.9%であった。一方、「シラバスの内容を把握していないため分からない」と回答した学生も一定数いたことから、今後もシラバス活用の周知を一層図っていく必要がある。

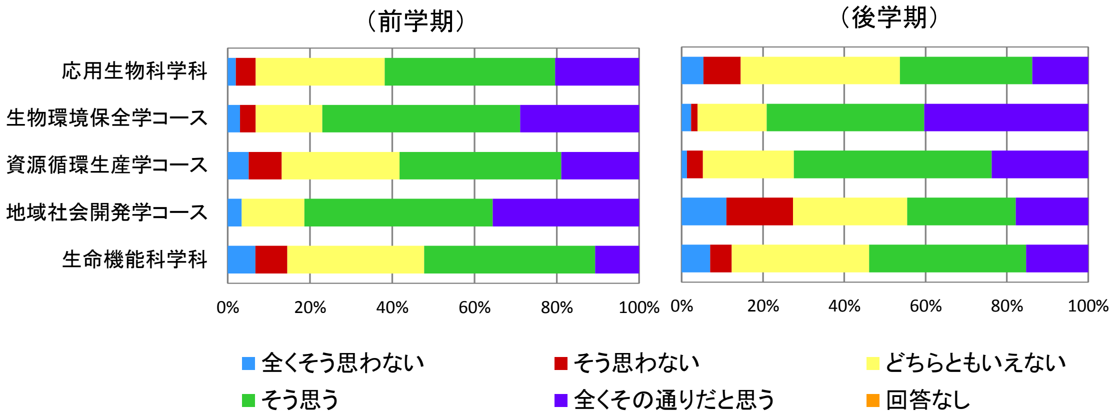
C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材や ICT 環境が授業の理解に役立ったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 60.7%、生物環境保全学コースが 61.3%、資源循環生産学コースが 63.3%、地域社会開発学コースが 69.5%、生

命機能科学科が 69.1%、後期では、応用生物科学科が 65.3%、生物環境保全学コースが 76.7%、資源循環生産学コースが 62.5%、地域社会開発学コースが 43.2%、生命機能科学科が 69.9%であった。後学期の地域社会開発学コースが若干低い他は、おおむね満足が得られているようであるが、配布資料の更なる充実などを各教員が引き続き意識する必要がある。

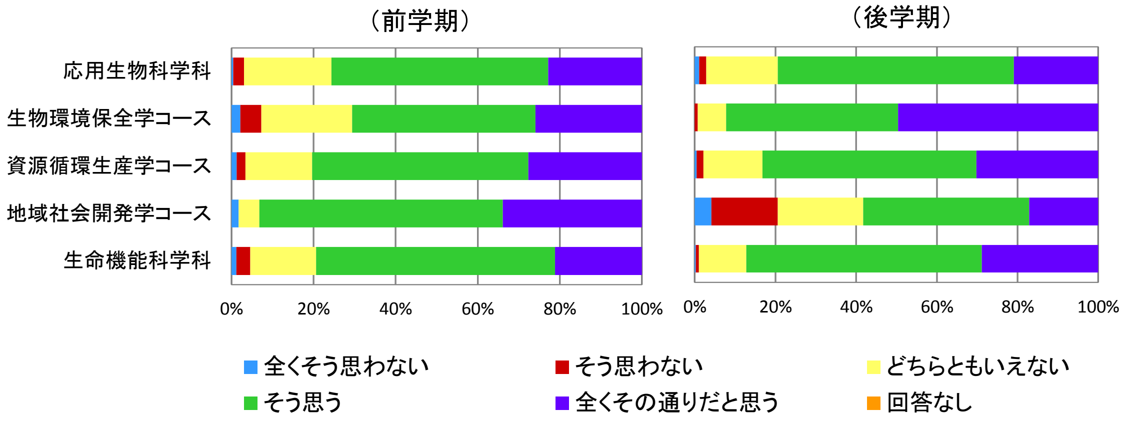
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 61.8%、生物環境保全学コースが 77.0%、資源循環生産学コースが 58.3%、地域社会開発学コースが 81.4%、生命機能科学科が 52.3%、後期では、応用生物科学科が 46.3%、生物環境保全学コースが 79.1%、資源循環生産学コースが 72.4%、地域社会開発学コースが 44.5%、生命機能科学科が 53.9%であり、全体として前年度よりも割合が高くなっていた。これは各教員がアクティブラーニングの積極的な導入を意識した結果ではないかと考えられる。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



授業に全体として満足できた（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）と答えた学生の割合は、前期では応用生物科学科が 75.7%、生物環境保全学コースが 70.6%、資源循環生産学コースが 80.3%、地域社会開発学コースが 93.2%、生命機能科学科が 79.4%、後期では、応用生物科学科が 79.4%、生物環境保全学コースが 92.2%、資源循環生産学コースが 83.2%、地域社会開発学コースが 58.2%、生命機能科学科が 87.2%であった。この結果から、一部低い値も見られるものの、大部分の学生が授業に満足していることが分かった。

総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

昨年度までの報告でも述べたとおりであるが、学部内・学科内における各学科の内容（必須科目・非必須科目の違いを含む）や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは現状では困難である。しかし、現状で入手できる資料を用いて基準を精査することは重要である。まずは、選考基準として、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問した、アンケートの質問事項 B～D で高い評価を得ている科目が挙げられる。次に、講義だけでなく、自学によって高度な知識や見識を身に付けたり、知的好奇心が満たされたりすることから得られる満足感を評価する必要があると考えられることから、授業時間外学習が確保されている科目も選考基準として挙げられる。また、学生によるアンケート入力率が高い科目も選考基準の一つとして考慮すべきであろう。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

出席率に関しては、出席率 80％以上の学生が前後期通じて 89.7％～96.6％となり、前年度に引き続き高い値を示した。授業時間外学習に関しては、全くしていないと回答した学生は、平均すると前年度とほぼ同じような少ない割合であり、各教員が予習復習の重要性を説明している結果がでていると考えられる。また、教員の授業に対する意欲や熱意に関する満足度も去年に引き続き良好であり、授業に全体として満足できたとする割合も高かったことは評価できると考えられる。しかし、一方で、シラバスの活用度に関しては、平均して前年度から特に向上していないことから、授業内でシラバスの積極的活用をより一層促すなどの改善を行う必要があると考えられる。なお、今年度は、授業内容について学生自身が考えることを促す配慮があったとする割合が前年度より増加しており、これは、各教員がアクティブラーニングの積極的導入を意識している結果だと考えられる。今後は、この割合を、より高めていくことが望まれる。

「次年度の授業改善目標」

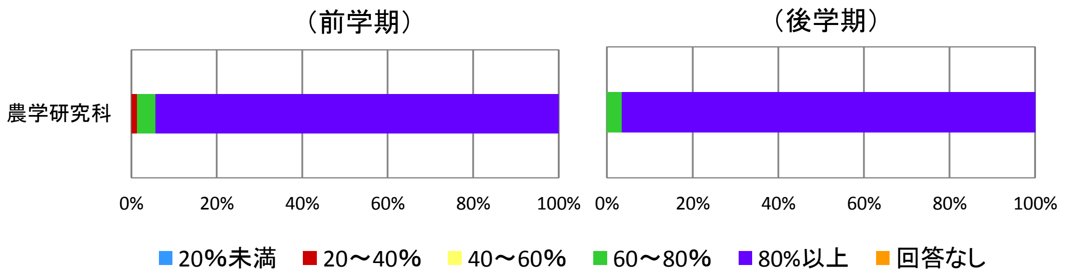
上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上に取り組み、学習管理を支援するラーニングポートフォリオの活用を促す。また、該当する科目について、ルーブリック評価の導入を図る。

大学院農学研究科授業評価分析結果

農学研究科は、応用生物科学、生物環境保全学、資源循環生産学、地域社会開発学、生命機能科学の 5 コースから構成される。授業評価アンケートは 5 コースの教員が担当する授業科目を一つに集約した結果に基づいて報告する。

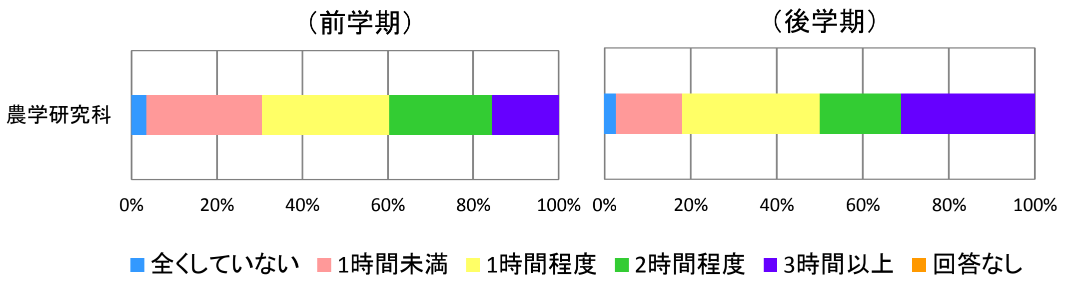
A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか



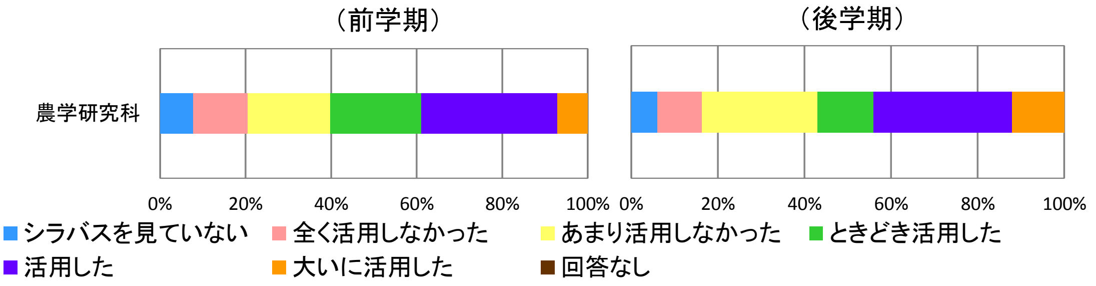
出席率が 80%以上の学生は、前期では 94.3%、後期では 96.6%であり、出席状況は良好であった。

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



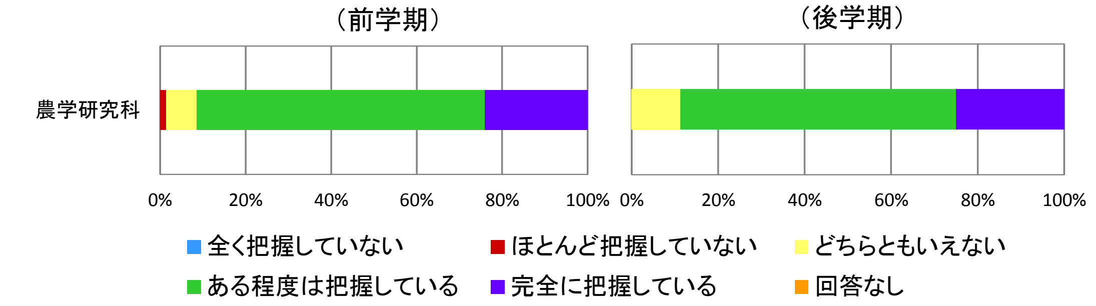
全くしていないと答えた学生は、前期では 3.5%、後期では 2.6%であった。また、1 時間未満と答えた学生は、前期では 27.0%、後期では 15.5%であった。従って、授業時間外学習が不足している学生が、若干数いることがわかった。一方で、3 時間以上と答えた学生も、前期では 15.6%、後期では 31.0%おり、前年度同様、学生によって授業時間外学習の幅に大きな違いがあることが明らかとなった。

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」、と回答した学生の合計は、前期では 60.3%、後期では 56.9%であり、十分とは言い難い。従って、学生に引き続きシラバスの活用を促していく必要がある。

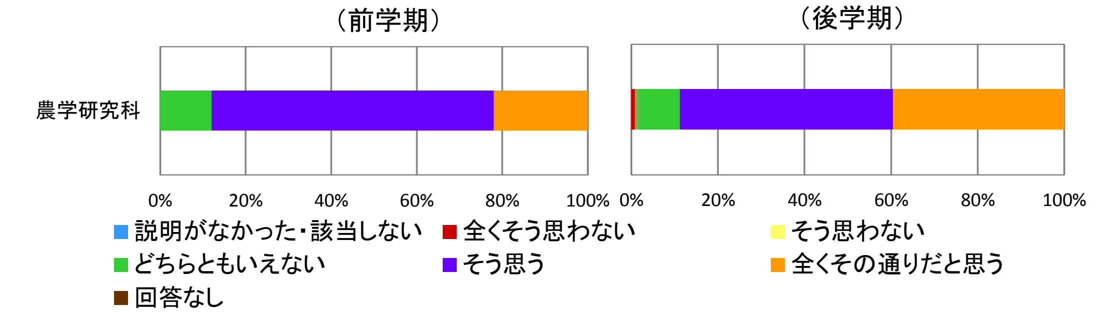
A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」、と答えた学生の合計は、前期では 91.5%、後期では 88.8%であったことから、大部分は把握していることが明らかとなった。

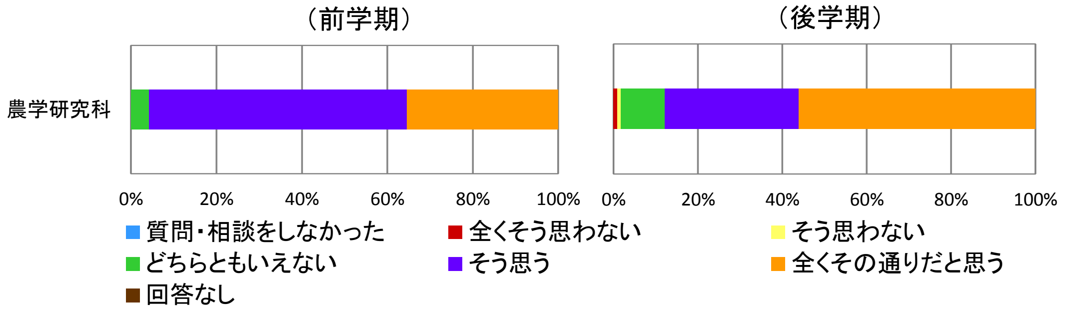
B.　教員の対応

B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



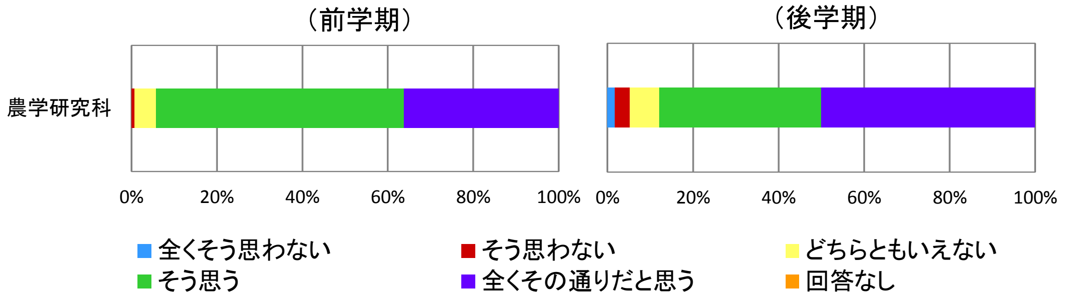
教育方法や成績評価方法等の説明が有益でしたかという問いに、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生の合計は、前期では 87.9%、後期では 88.8%であり、ほぼ満足が得られていることがわかった。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



質問や相談に適切に対応してくれたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 95.7%、後期では 87.9%であり、高い満足感が得られていることがわかった。なお、質問・相談をしなかった率は前期後期共に 0%であった。

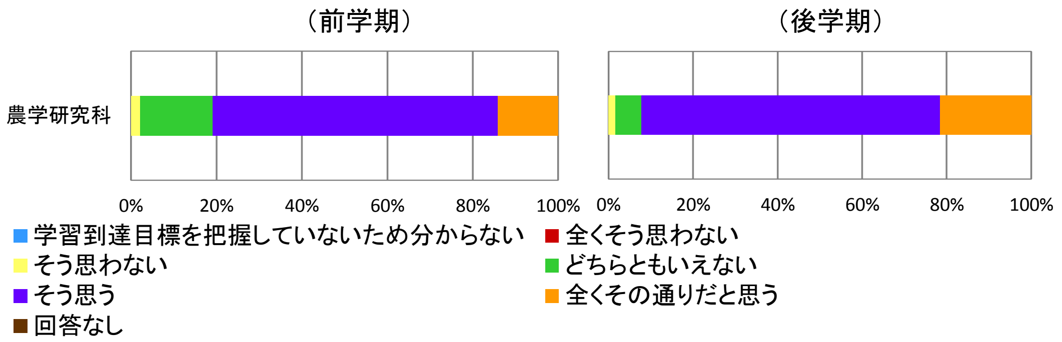
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



意欲や熱意が感じられたという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 94.3%、後期では 87.9%であり、高い満足感が得られていることがわかった。一方で、「全くそう思わない」、「そう思わない」とした学生もごくわずかであるが存在するため、厳しい評価となった科目に関しては改善が必要であると考えられる。

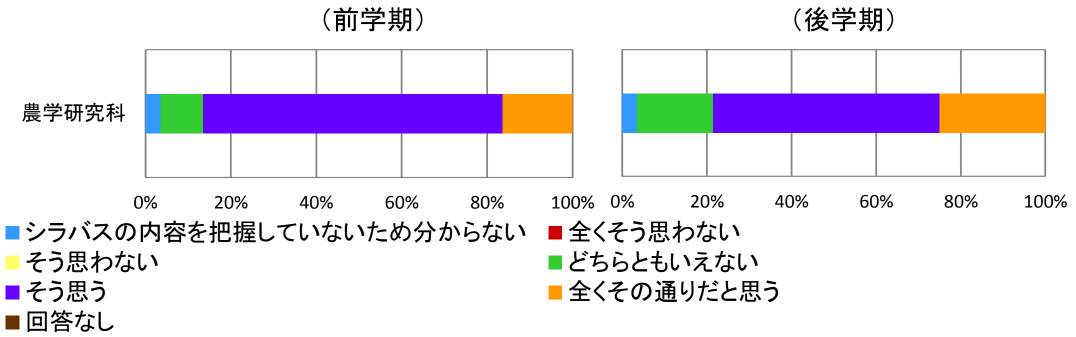
C.　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか



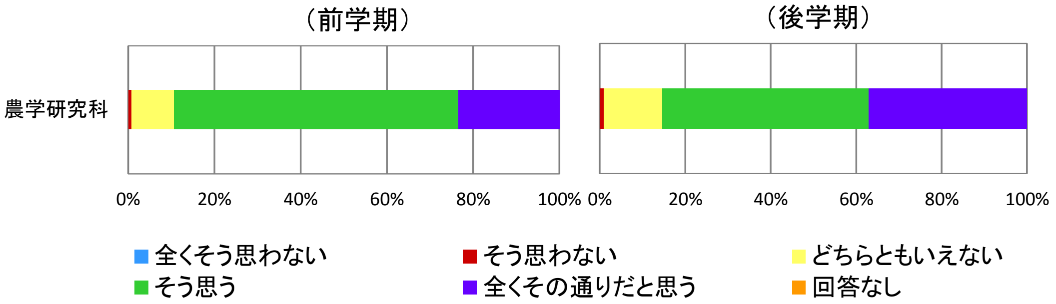
学習到達目標を達成できたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 80.9%、後期では 92.2%であり、大部分の学生が目標を達成できたと考えていることがわかった。

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



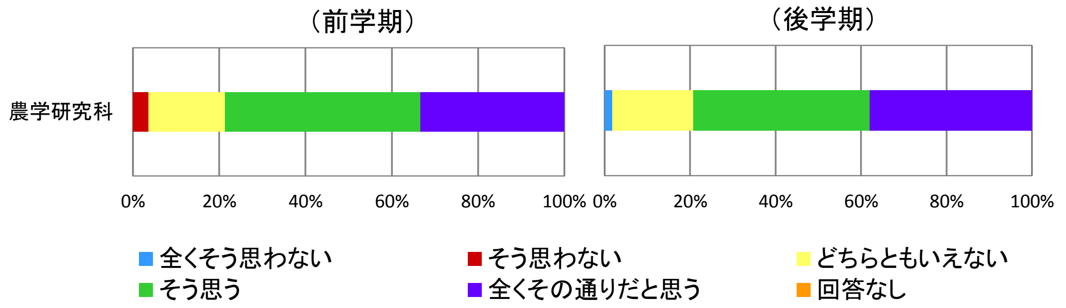
授業内容がシラバスに基づいていたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 86.5%、後期では 78.4%であり、前年度よりもシラバス活用の周知が行き届いていることがわかった。

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材や ICT 環境が授業の理解に役立ったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 89.4%、後期では 85.3%であり、かなり高い満足感が得られていることがわかった。

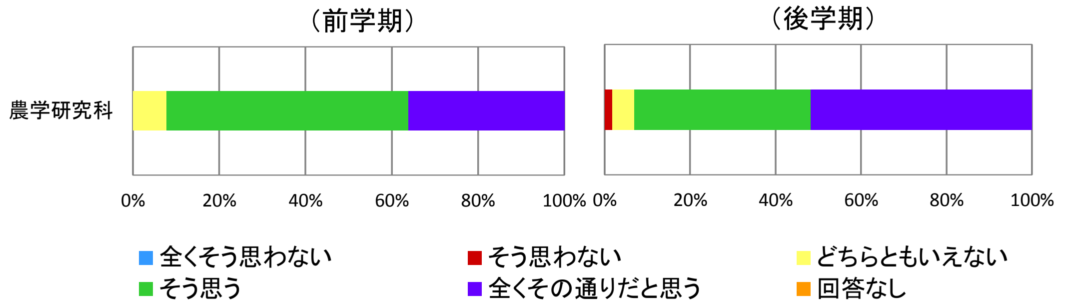
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 78.7%、後期では 79.3%であり、おおむね良好な結果だと考えられる。今後、一層、この割合を高める必要がある。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



授業に全体として満足できた（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）と答えた学生の割合は、前期では 92.2%、後期では 93.1%であり、ほとんどの学生が高い満足度を得ていることがわかった。

総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、学部の総括でも述べたとおり、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難であると判断した。特に、農学研究科では 1 科目の受講者数が少ないため、授業科目を選択することは適切ではないと考えられる。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

出席率は、出席率 80%以上の学生が、前期で 94.3%、後期で 96.6%と高く、教員の授業に対する意欲や熱意、並びに授業の全体としての満足度も良好であった。授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに関しては、比較的良好な結果が得られたが、アクティブラーニングをより浸透させる点から、この割合を一層高める努力が必要であると考えられる。一方、授業時間外学習については、全くしていない、あるいは 1 時間未満と答えた学生が、前期で合計 30.5%、後期で合計 18.1%という値を示した。これは、平均としては前年度よりは低い値であるが、大学院が自ら学ぶ場であることを考えた場合、満足できる値とは言い難いため、今後、指導を行っていく必要があると考えられる。また、シラバスの活用もまだ十分とは言い難いため、引き続き授業中などにシラバスを活用するように呼びかけ、改善を図ることが必要であると考えられる。

「次年度の授業改善目標」

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、ルーブリック評価の導入を図る。

平成２８年度 組織別授業評価報告書

平成２９年９月

佐賀大学全学教育機構

１．はじめに

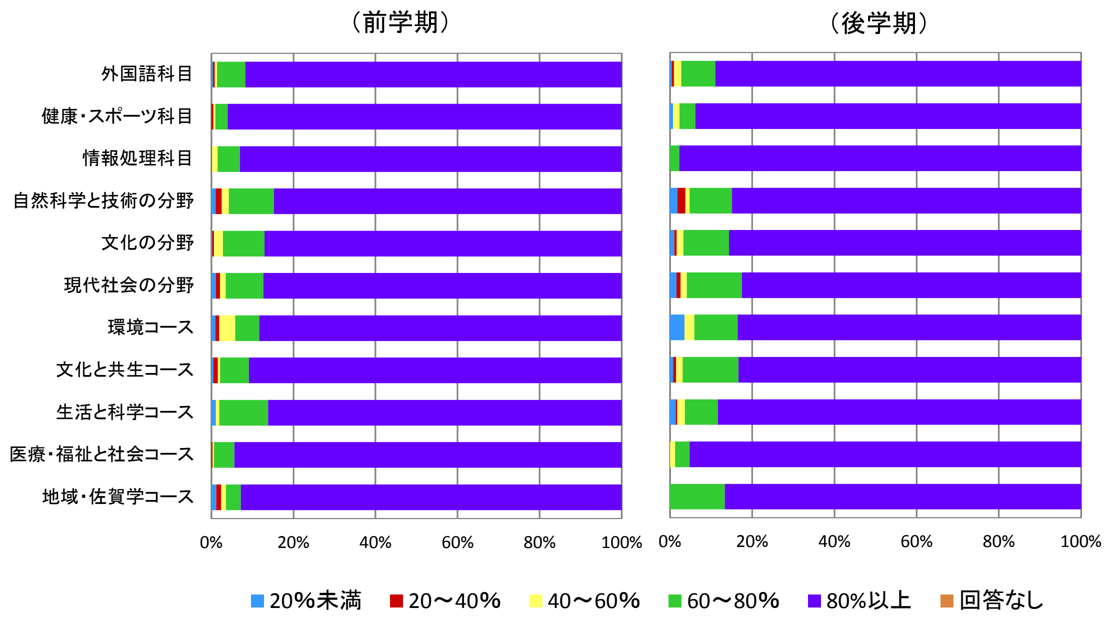
全学教育機構は、これまでの教養教育運営機構に代わり、平成 25 年度より、１年次生を対象に新しい教育カリキュラムを開始した。平成 27 年度には、完成年度を迎え、大学入門科目、外国語科目、健康・スポーツ科目、情報リテラシー科目、基本教養科目（「自然科学と技術の分野」、「文化の分野」、「現代社会の分野」）、インターフェース科目の全科目が開講された。

全学教育機構では、教員の授業改善とカリキュラム改善を目的として全ての授業科目において「学生による授業アンケート」を実施している。平成２８年度はLiveCampusによる共通アンケートシステムを利用した。ほとんどの科目で授業評価アンケートが実施され、その結果を用いた授業点検・改善報告が各教員により行われた。分野による特徴は見てとれるものの、いずれの分野・コースとも学生の授業への取り組みは良好であると思われる。具体的には、学生による「学習目標」および「成績評価基準」の把握、教員による教材および学生への対応などが良好である。しかしながら、学習到達目標の達成状況や満足度については分野の違いが現れていると思われ、授業時間外学習時間については、十分とはいえない。この点については、引き続き組織的なシラバス点検を通じたシラバスの継続的な見直しやティーチング・ポートフォリオを活用した教育情報の共有等による教育改善が必要だと思われる。

２．授業アンケート結果と分析

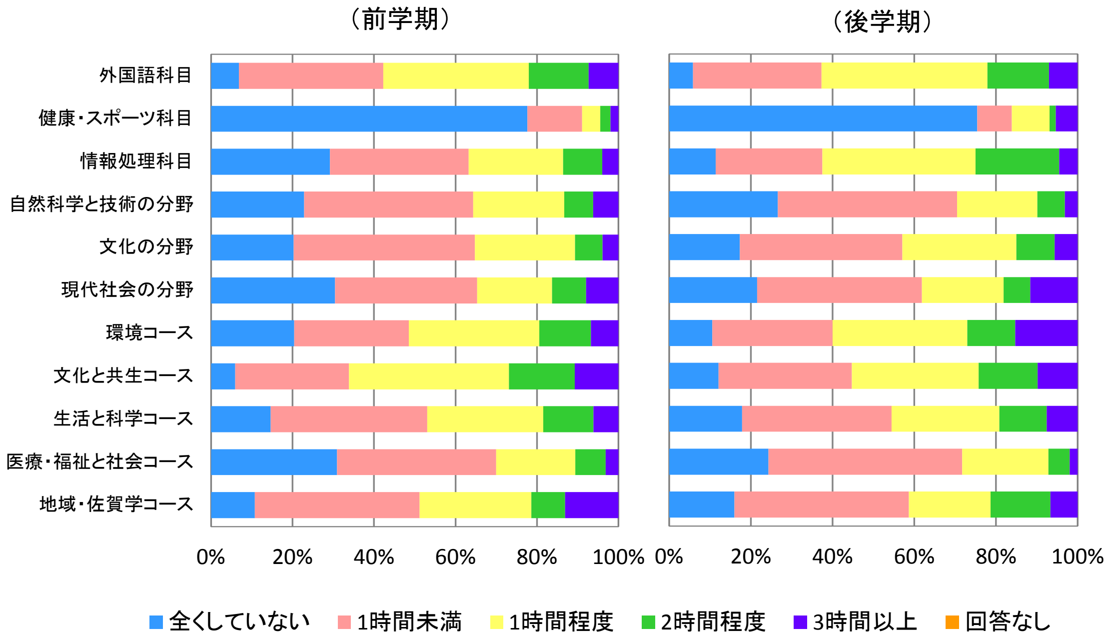
A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか



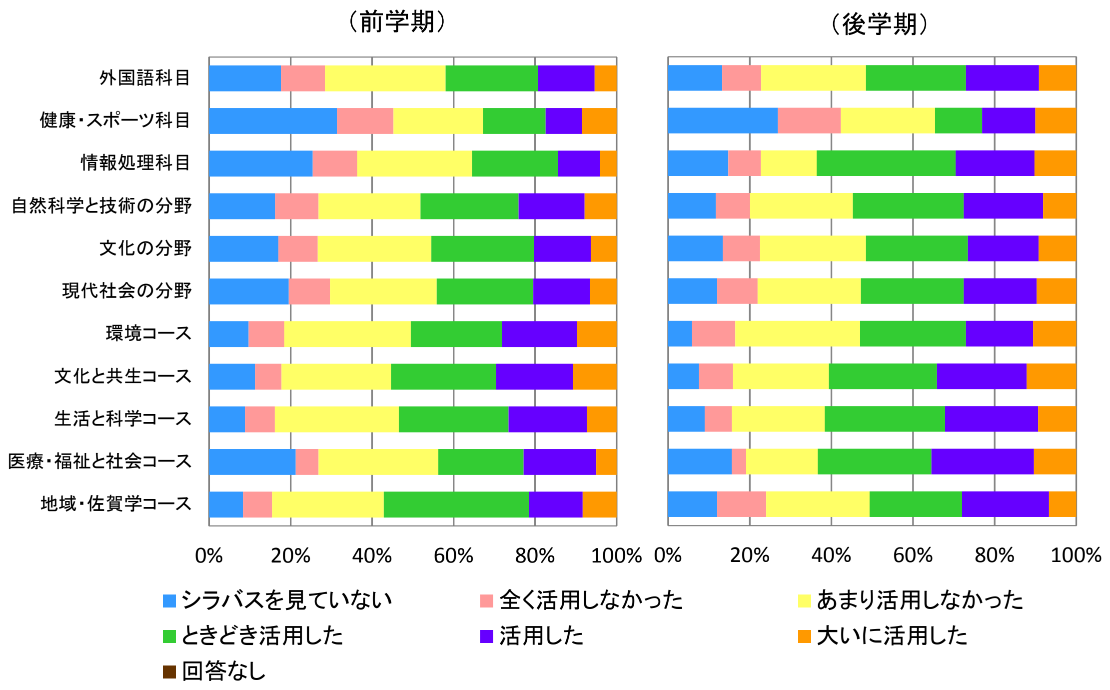
前期、後期とも、出席の状況は良好である。いずれも「80%以上」出席をした学生が最も多く、特に、「外国語科目」、「健康・スポーツ科目」、「情報処理科目」、インターフェース科目「生活と科学コース」「医療・福祉と社会コース」「地域・佐賀学コース」では「80%以上」の割合が約 90%である。分野間に差はあるものの、おおむね高い出席率となっている。

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



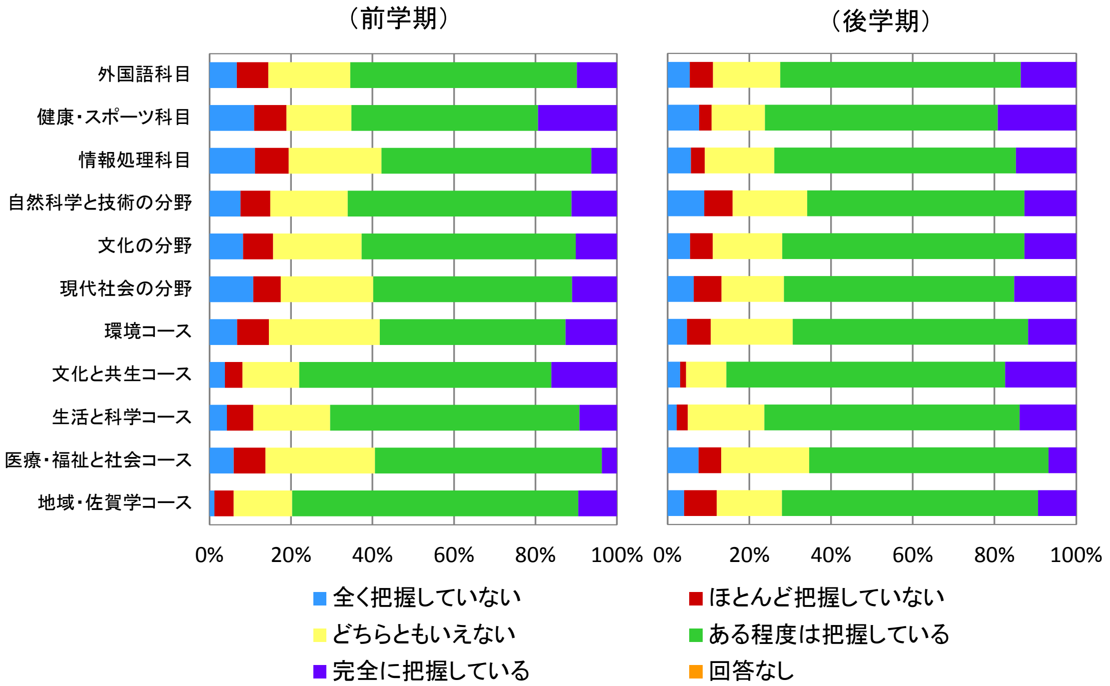
「1時間程度」以上でみた場合、「外国語科目」、「情報処理科目」、インターフェース科目「環境コース」、「文化と共生コース」、「生活と科学コース」の授業時間外学習時間が多い。これらの科目では、授業時間外学習に対する指導が適切に行われていることが伺える。しかしながら、時間数でみると約 8 割の学生が 1 時間未満の状態で、シラバスの組織的な点検以外にも、授業時間外学習を増やす取り組みが望まれる。

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



「健康・スポーツ科目」および「情報処理科目」除けば、いずれの分野・コースとも「大いに活用した」と「活用した」「ときどき活用した」の回答が 40～50%程度であり、「シラバスを見ていない・全く活用しなかった」の回答が 20%程度である。授業の第1回目において，授業担当者が，今まで以上にシラバスの説明を丁寧に行ったり，普段の授業において学生にシラバスを読ませるなど、シラバスを見る習慣をつける工夫が必要と思われる.

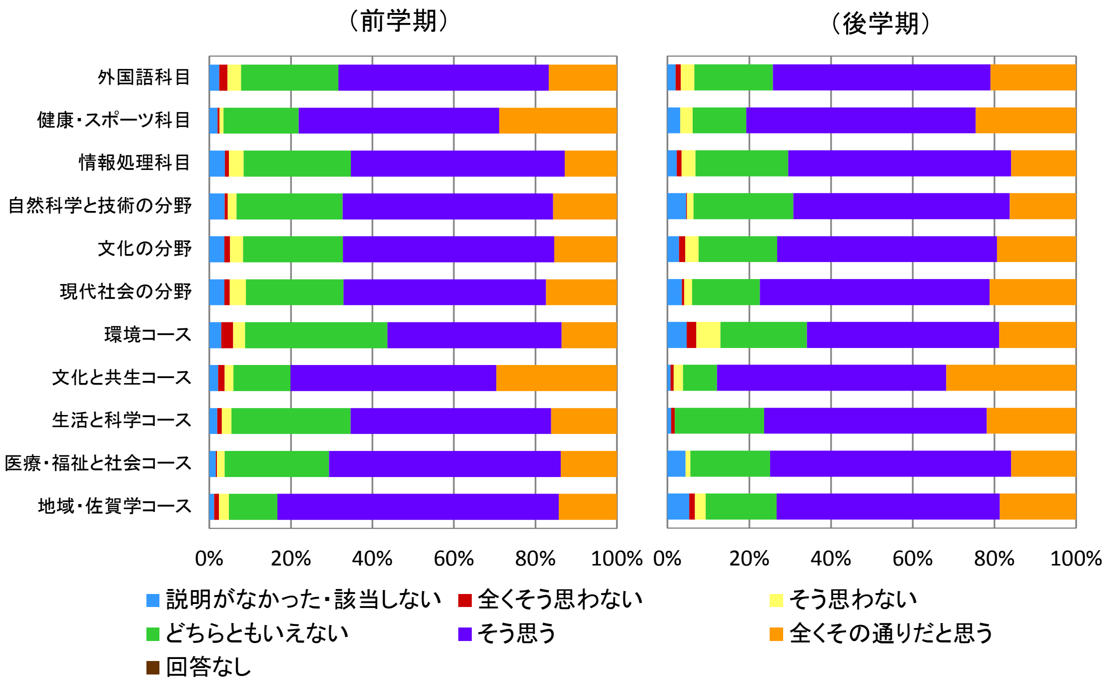
A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



後学期の「情報処理科目」を除けば、おおむね 60-70%の学生が授業の学習目標と成績評価基準を「完全に把握している」及び「ある程度は把握している」と答えており、全体的に、後学期よりも前学期の方が良好である。一方、「把握していない」「全く把握していない」と回答した学生は 10%～15%程度であった。全体としては、組織的なシラバス点検や授業でのシラバスの説明が有効に機能していると判断されるが、「情報処理科目」では、学習目標の把握度はやや低い。組織的なシラバス点検を継続し、授業において学習目標や成績評価基準をより丁寧に説明したりするなど、更なる改善に努めたい。

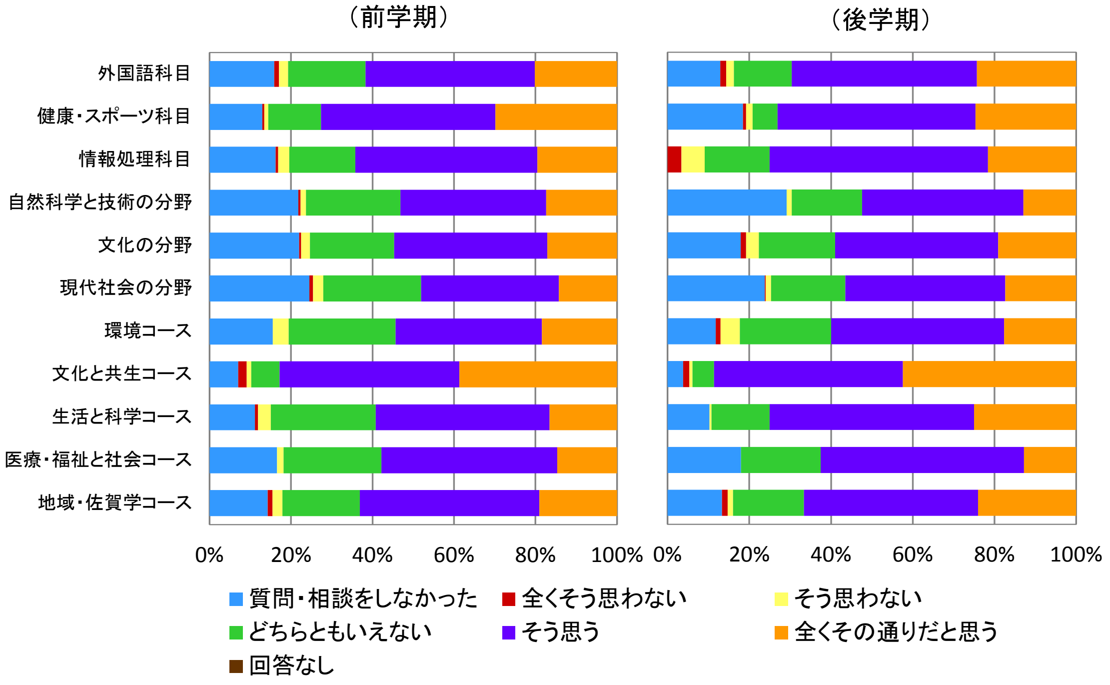
B.　教員の対応

B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



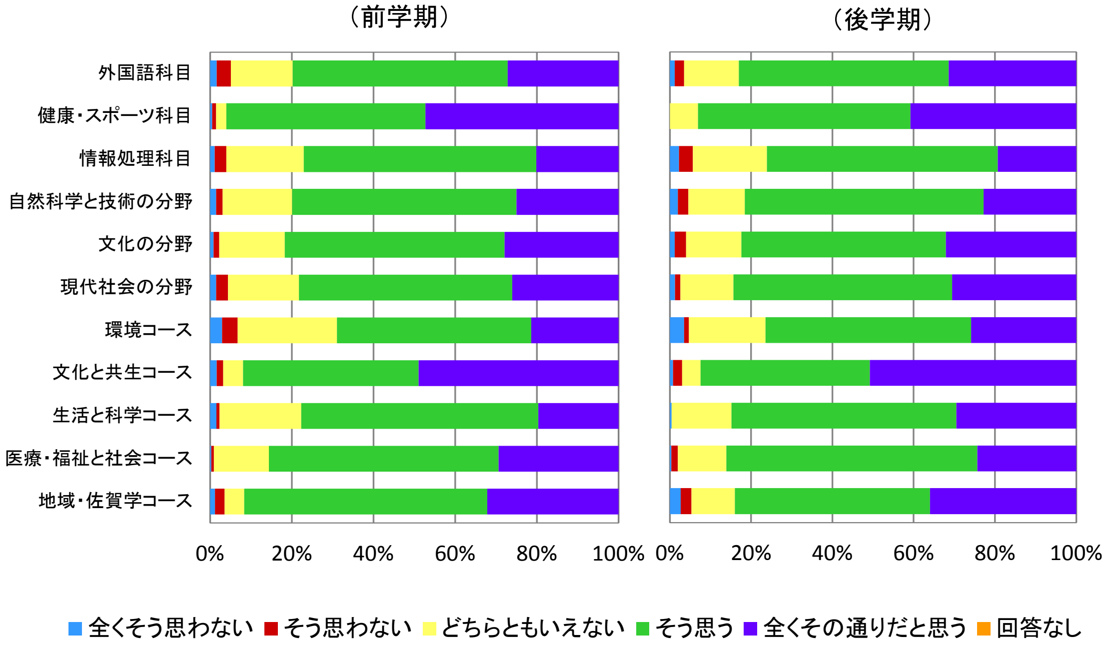
後期の「情報処理科目」を除けば、平均して７割程度が有益だと感じている。また、後学期よりも前学期の方が良好である。これは、今年から追加されたアンケート項目であるため、次年度以降の結果を注視したい。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



すべての分野・コースにおいて 50%以上の学生が肯定的に回答しており、概ね適切な対応が取られていると判断される．特に、インターフェース科目では、肯定的な回答が高い傾向にあり、おおむね 60%以上の学生が肯定的に回答している。一方で、「質問・相談をしなかった」との回答も一定数ある。これは、教員の指導力が向上して学生の理解度が増したのか、単に質問したくてもできない状況にあるのか、分からないが、このような現状を教員は把握しておくべきであろう。

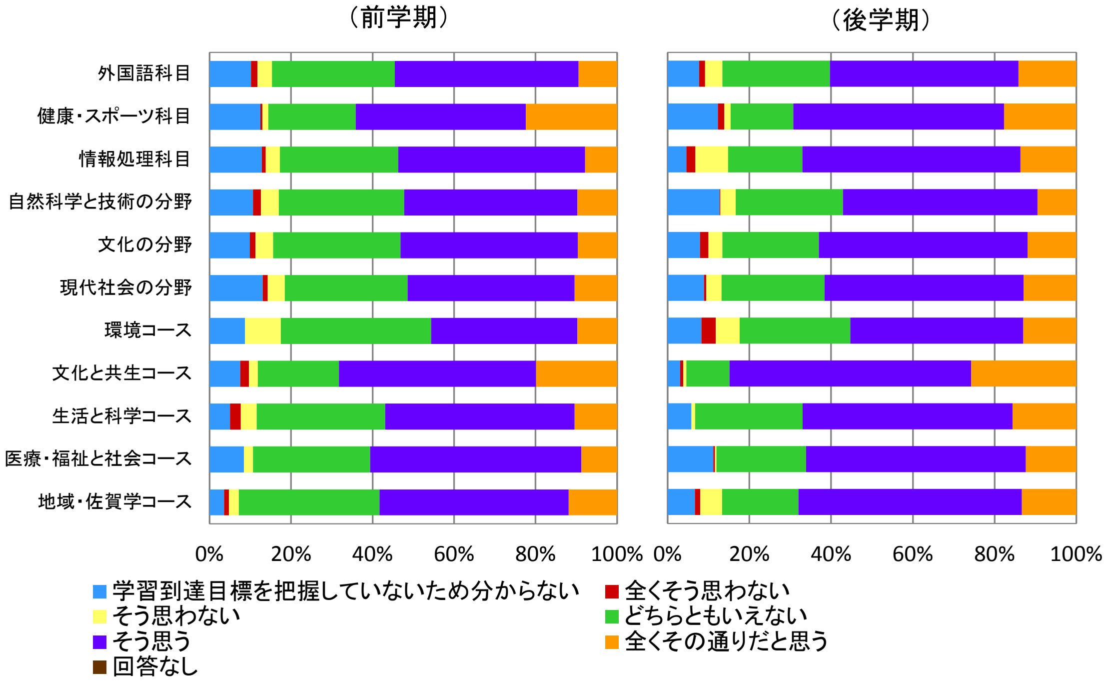
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



後学期の「情報処理科目」を除けば、「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が 80%前後あり、教員の授業への意欲や熱意が学生へ伝わっていると思われる。後学期の「情報処理科目」において、「全くそうは思わない」、「そうは思わない」の回答がやや高いが、これは B-1 の傾向と同じである。授業に対する意欲や熱意を学生に伝える上では、教員が自身の教育理念を語ることが大切であることを示しているのかもしれない。

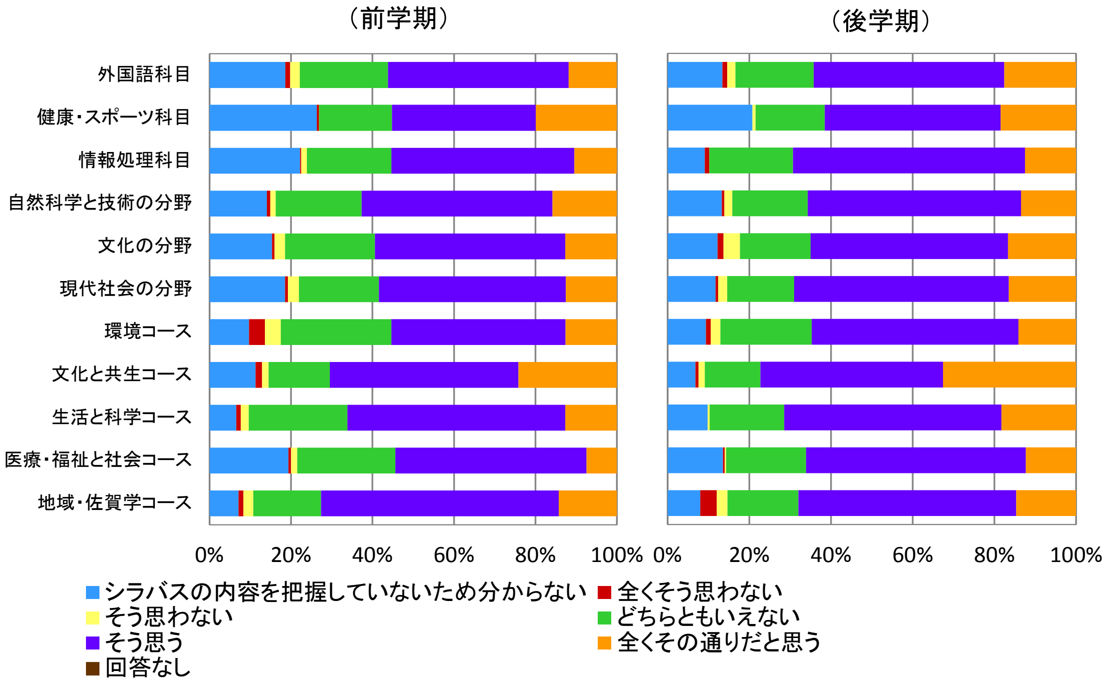
C.　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか



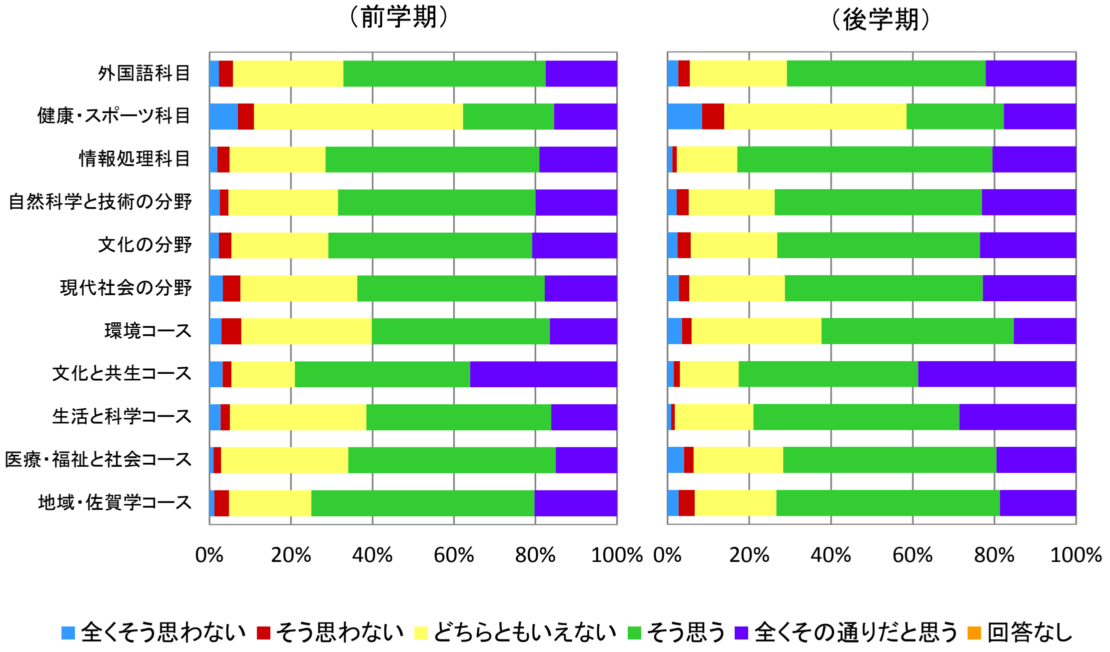
後ろ学期の「情報処理科目」を除けば、おおむね 60-70%の学生が「全くその通りだと思う」及び「そう思う」と答えており、全体的に、後学期よりも前学期の方がよい。一方、「学習到達目標を把握していないため分からない」との回答が 5%-10%あり、組織的なシラバス点検を継続し、授業においては学習到達目標を意識した授業展開を図るなど、更なる改善に努めたい。

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



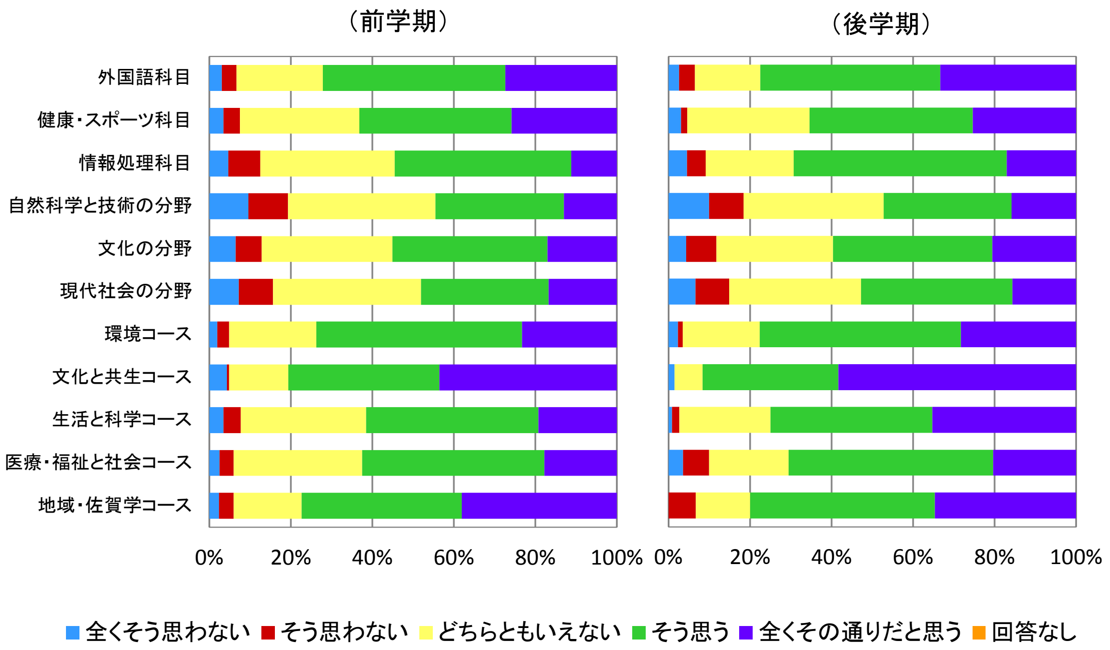
後学期の「情報処理科目」を除けば、いずれの分野・コースとも「全くその通りだと思う」と「そう思う」の回答 60～70%程度であり、「全くそう思わない」と「そう思わない」の回答が 10%程度であり、概ねシラバスに基づいた授業が行われていると判断できる．一方、「シラバスの内容を把握していないため分からない」との回答が一定数あり、A-3 と同様にシラバスを見る習慣を学生に付けさせる工夫が必要だと思われる。

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



「健康・スポーツ科目」と後学期の「情報処理科目」を除けば、「全くその通りだと思う」と「そう思う」の回答が、60%～70%あり、教材やＩＣＴ環境が授業の理解に役立っていると評価されている。一方、全体的に「どちらともいえない」との回答が 20%前後ある上、「健康・スポーツ科目」と後学期の「情報処理科目」では、20%以上ある。情報処理科目ではコンピューターについて学んでいるはずだが、そこでは ICT 環境を活用していると実感していないのかもしれない。今後は、これを踏まえ、学生に見える形での教材開発や ICT 環境の活用について検討したい。

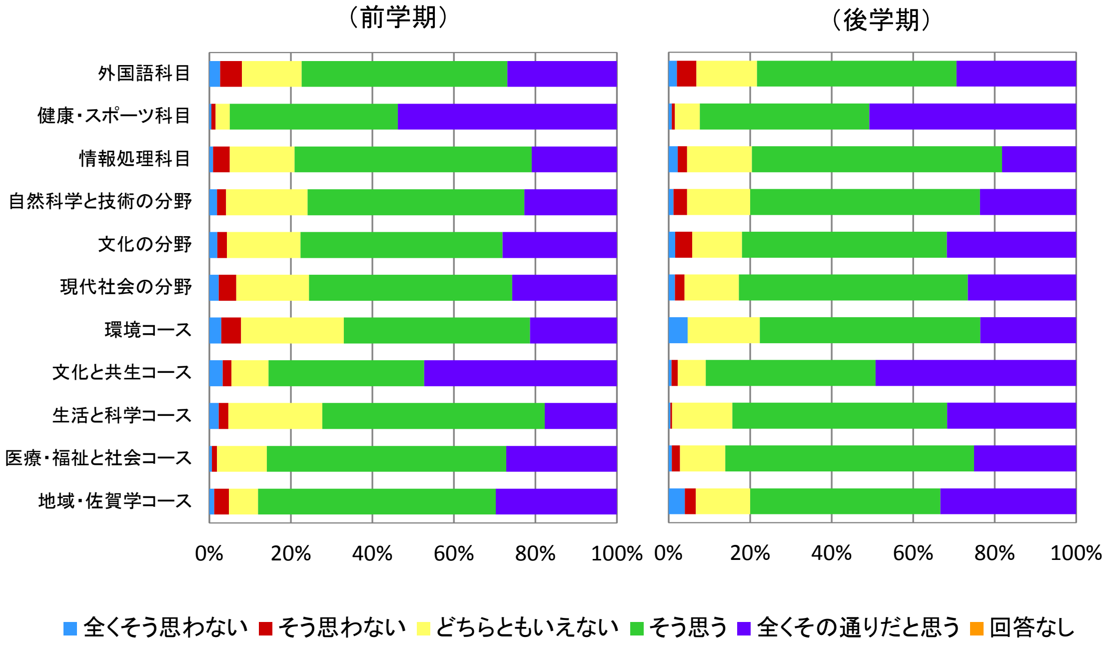
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



本項目は，アクティブ・ラーニングの全学的な導入を踏まえて本年度から授業アンケートに追加されたものである．インターフェース科目では、前学期の「生活と科学コース」を除けば、約80%の学生が肯定的に回答している。インターフェース科目はアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れており、この結果はそのことを示している。今後は、基本教養科目にもアクティブ・ラーニングを展開していきたい。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



後学期の「情報処理科目」を除き、いずれの分野・コースとも、「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が、70-80%であり、概ね満足のいく授業がなされていると判断されるが、後学期の「情報処理科目」においては、「全くそうは思わない」と「そうは思わない」という回答が約20%ある。後期の「情報処理科目」は難易度が上がるため、学生の満足度は低くなってくると推察されるが、引き続き授業点検・改善報告書の作成等を通じて、授業担当教員による検証が必要と思われる。

３．学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

全学教育機構では，この項目に対する明確な選考基準の確定に至っていないが，佐賀大学教育功績等表彰（２号表彰）の選考時には授業アンケート結果も利用している．

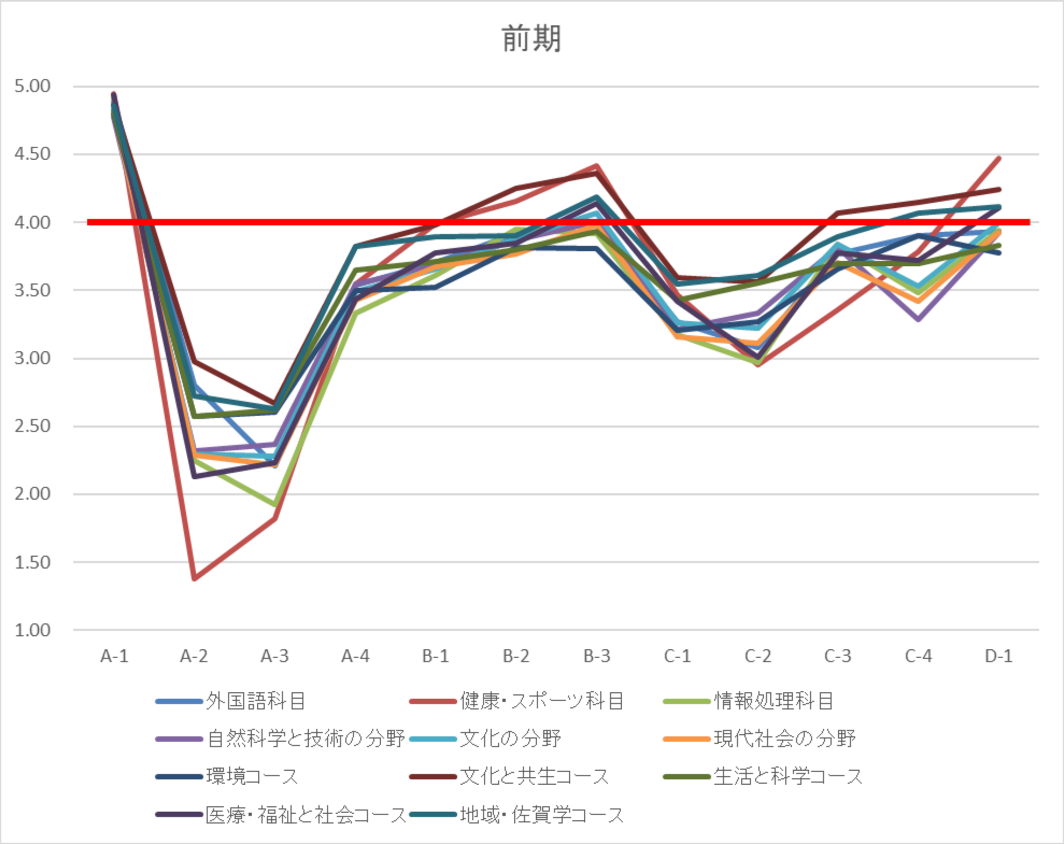
４．授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

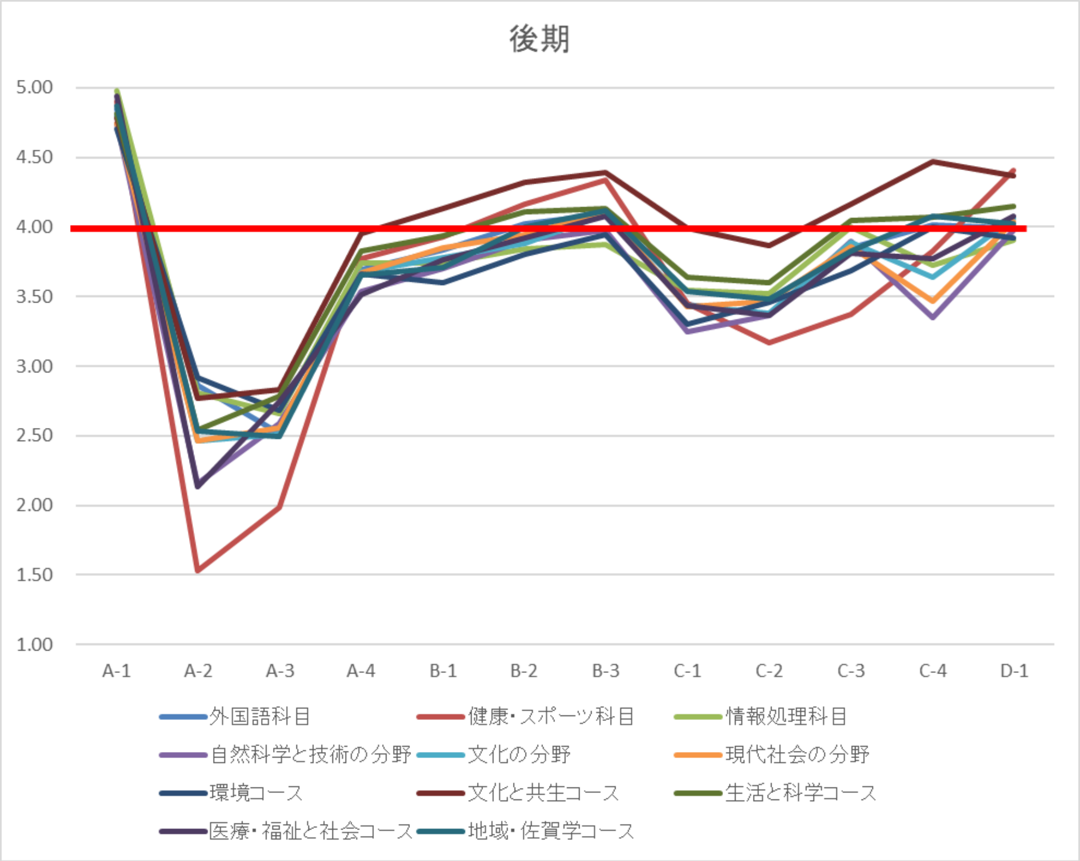
前期

	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1
外国語科目	4.89	2.80	2.21	3.54	3.70	3.92	4.00	3.27	3.08	3.77	3.90	3.94
健康・スポーツ科目	4.95	1.38	1.82	3.55	3.99	4.15	4.41	3.47	2.95	3.35	3.78	4.47
情報処理科目	4.91	2.25	1.92	3.33	3.61	3.95	3.92	3.18	2.97	3.84	3.49	3.94
自然科学と技術の分野	4.77	2.32	2.37	3.55	3.68	3.87	4.00	3.22	3.33	3.81	3.29	3.93
文化の分野	4.83	2.30	2.28	3.49	3.66	3.88	4.06	3.26	3.22	3.84	3.53	3.99
現代社会の分野	4.81	2.29	2.22	3.43	3.67	3.77	3.98	3.16	3.11	3.71	3.42	3.92
環境コース	4.80	2.57	2.60	3.50	3.52	3.82	3.81	3.20	3.27	3.66	3.90	3.78
文化と共生コース	4.87	2.98	2.67	3.82	3.98	4.25	4.36	3.59	3.56	4.06	4.15	4.24
生活と科学コース	4.82	2.57	2.62	3.65	3.71	3.80	3.93	3.43	3.55	3.70	3.70	3.83
医療・福祉と社会コース	4.93	2.13	2.23	3.43	3.77	3.85	4.14	3.42	3.01	3.77	3.72	4.11
地域・佐賀学コース	4.86	2.73	2.63	3.82	3.89	3.90	4.19	3.55	3.61	3.89	4.07	4.12

後期

	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1
外国語科目	4.85	2.86	2.52	3.69	3.83	4.02	4.10	3.44	3.37	3.85	4.02	3.99
健康・スポーツ科目	4.90	1.53	1.98	3.77	3.93	4.16	4.34	3.45	3.17	3.37	3.83	4.41
情報処理科目	4.98	2.81	2.66	3.74	3.74	3.84	3.88	3.55	3.52	4.00	3.73	3.91
自然科学と技術の分野	4.75	2.16	2.59	3.54	3.70	3.90	3.98	3.24	3.36	3.89	3.35	3.98
文化の分野	4.80	2.46	2.51	3.68	3.78	3.88	4.09	3.44	3.38	3.89	3.64	4.06
現代社会の分野	4.74	2.46	2.56	3.67	3.85	3.95	4.11	3.43	3.47	3.86	3.47	4.04
環境コース	4.71	2.92	2.68	3.66	3.60	3.80	3.94	3.31	3.46	3.68	4.00	3.92
文化と共生コース	4.78	2.77	2.83	3.95	4.14	4.32	4.39	3.99	3.86	4.17	4.47	4.37
生活と科学コース	4.82	2.54	2.79	3.83	3.94	4.11	4.13	3.64	3.60	4.05	4.07	4.15
医療・福祉と社会コース	4.94	2.13	2.75	3.51	3.76	3.92	4.08	3.44	3.37	3.81	3.77	4.08
地域・佐賀学コース	4.87	2.53	2.49	3.65	3.71	4.00	4.12	3.53	3.48	3.83	4.08	4.03


前期
5.00
4.50
4.00
3.50
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4
D-1
外国語科目
健康・スポーツ科目
情報処理科目
自然科学と技術の分野
文化の分野
現代社会の分野
環境コース
文化と共生コース
生活と科学コース
医療・福祉と社会コース
地域・佐賀学コース


後期
5.00
4.50
4.00
3.50
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
A-1
A-2
A-3
A-4
B-1
B-2
B-3
C-1
C-2
C-3
C-4
D-1
外国語科目
健康・スポーツ科目
情報処理科目
自然科学と技術の分野
文化の分野
現代社会の分野
環境コース
文化と共生コース
生活と科学コース
医療・福祉と社会コース
地域・佐賀学コース

優れた点：

インターフェース科目では，アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れており、アンケート項目 C-4「この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか」でも高い評価を得ている．また，インターフェース科目での満足度（項目 D-1）は．概ね評定平均 4 以上であり、学生の満足度は高い。

さらに、平成 27～28 年度にかけて 5 名の教員が標準版 TP を作成した。

改善すべき点：

授業改善に対する取り組みとして，シラバス組織的な点検，教員会議における FD 講演会の開催，授業評価アンケートの実施，TA 実施報告書の作成，および授業点検・改善報告書のオンライン入力を行った．これらの取り組みにも関わらず、項目 A-2「授業時間外学習時間」や A-3「シラバスの活用」については、学生からの評価は低い．

５．次年度の授業改善目標

引き続き、これまでの実績や教員の退職や異動などの状況を踏まえて，インターフェース科目を継続実施できるよう必要に応じて見直しを行う．また，標準版ティーチング・ポートフォリオを活用した教育改善活動を開始する。

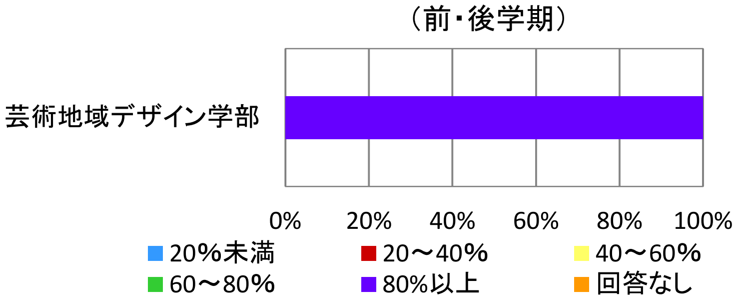
佐賀大学芸術地域デザイン学部
平成 28 年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

平成 29 年 9 月

佐賀大学芸術地域デザイン学部 FD 委員会

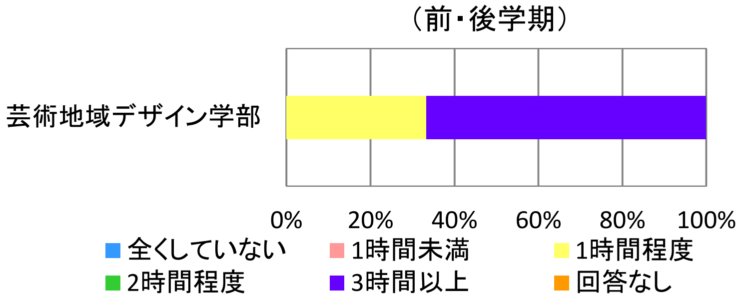
開設して 1 年目の学部であり、総論的に各科目の過去年度との比較はできない。また、アンケート回答数が少なく統計的に有意な点が見受けられるかが不安な面もあるが、ある程度の傾向はつかめたと考えられる。
次年度は過去年度の比較もできるよう、学生にも強くアンケート入力を勧める必要がある。

A.　あなた自身について
A-1　出席率はどのくらいですか



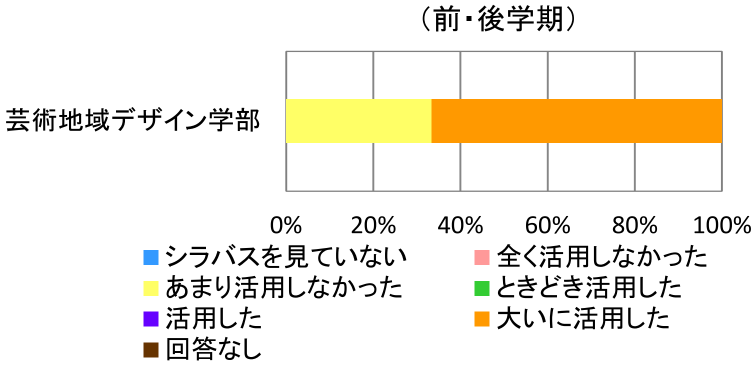
・概ね出席しており、良好である。

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



・概ね学習しており、良好である。

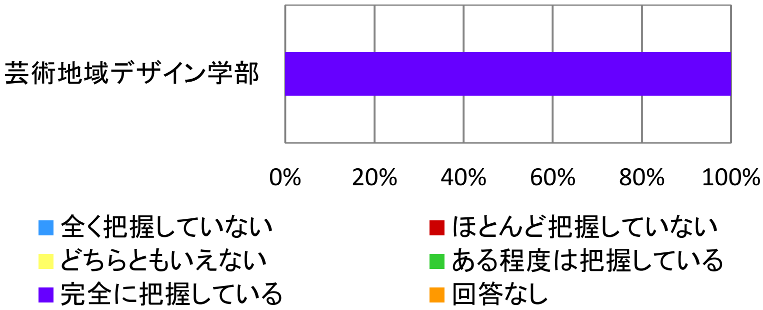
A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



・活用していない者も見受けられる。

A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

（前・後学期）

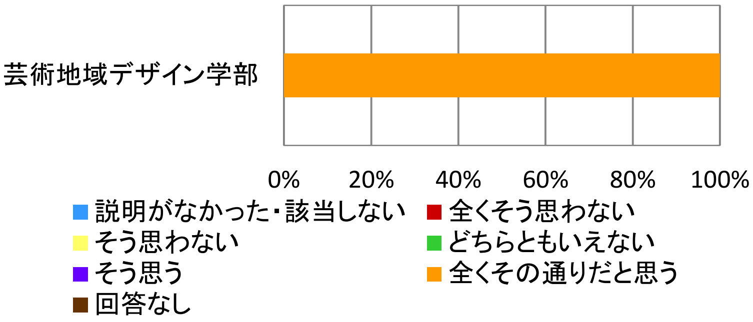


・概ね把握しており、良好である。

B.　教員の対応

B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

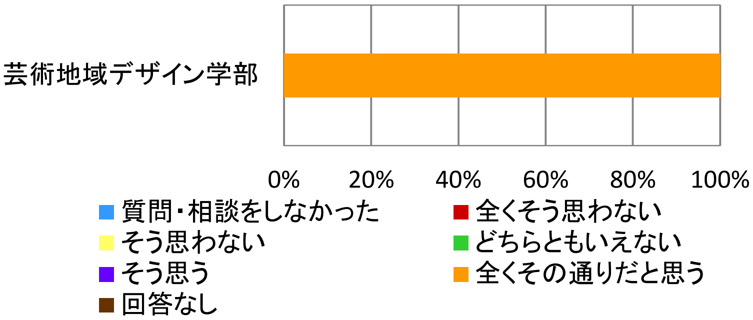
（後学期）



・概ね、有益としては良好である。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

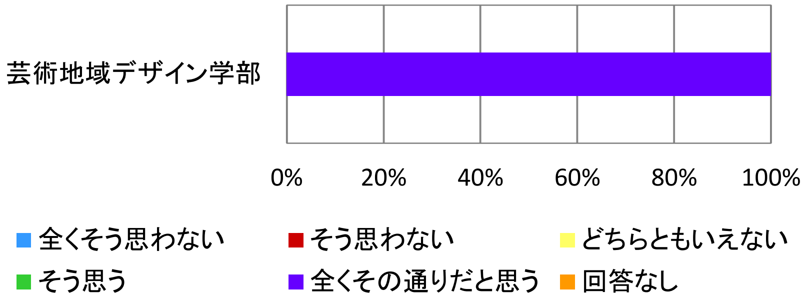
（後学期）



・概ね、対応としては良好である。

B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

（後学期）

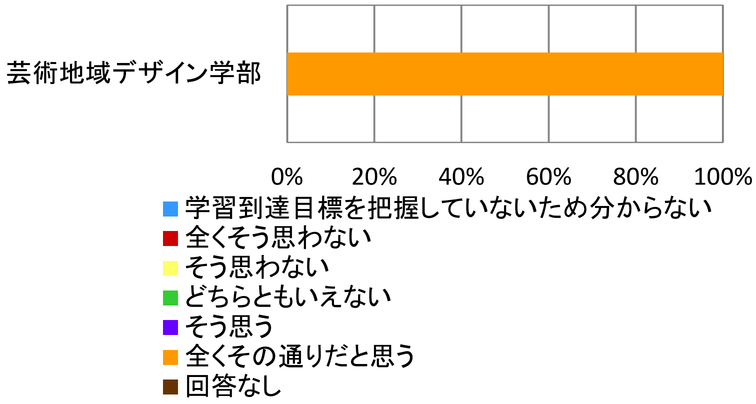


・概ね意欲や熱意については、良好である。

C.　授業内容および授業方法について

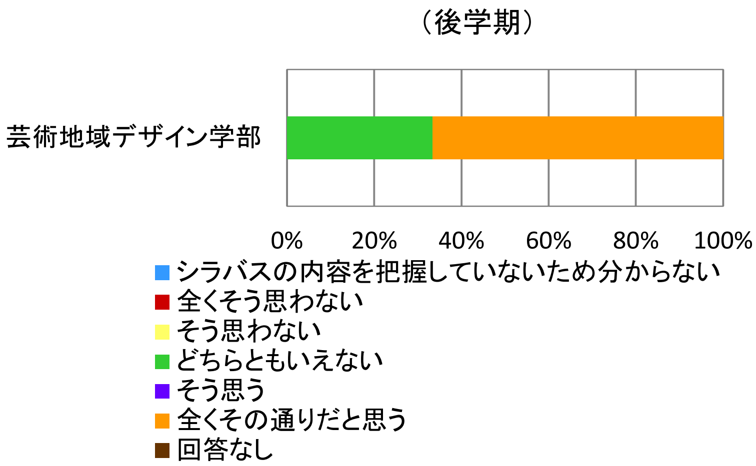
C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか

（後学期）



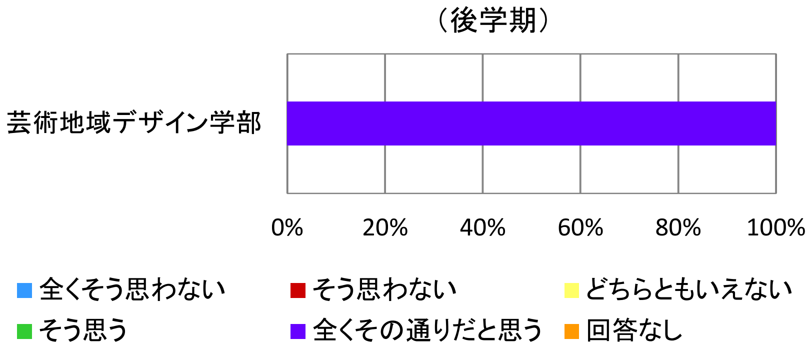
・概ね達成しており、良好である

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



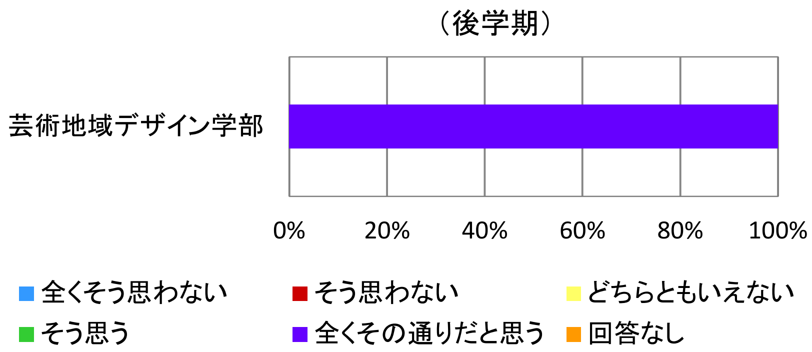
・概ね基づいており、良好である。

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



・概ね役立っており、良好である。

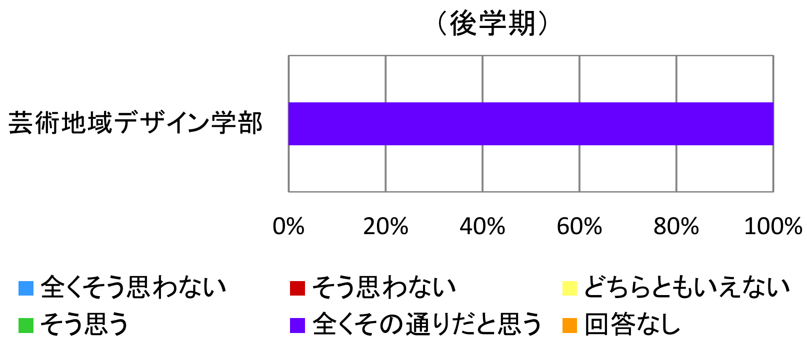
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



・概ね配慮しており、良好である。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



・概ね満足しており、良好である。

佐賀大学大学院地域デザイン研究科

平成 28 年度「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

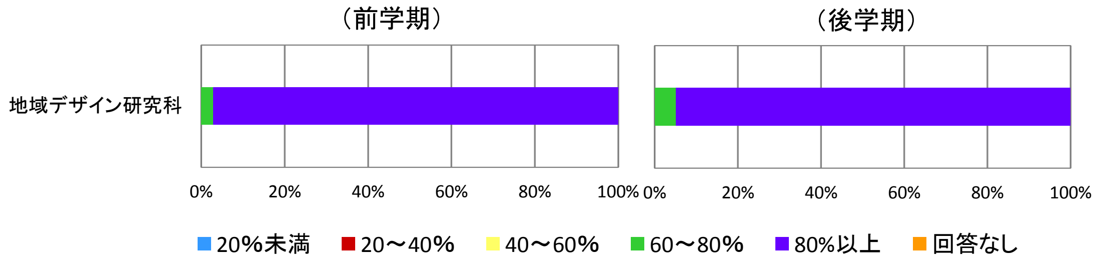
平成 29 年 9 月

佐賀大学大学院地域デザイン研究科 FD 委員会

開設して１年目の研究科であり、総論的に各科目の過去年度との比較はできない。また、アンケート回答数が少なく統計的に有意な点が見受けられるかが不安な面もあるが、ある程度の傾向はつかめたと考えられる。
次年度は過去年度の比較もできるよう、学生にも強くアンケート入力を勧める必要がある。

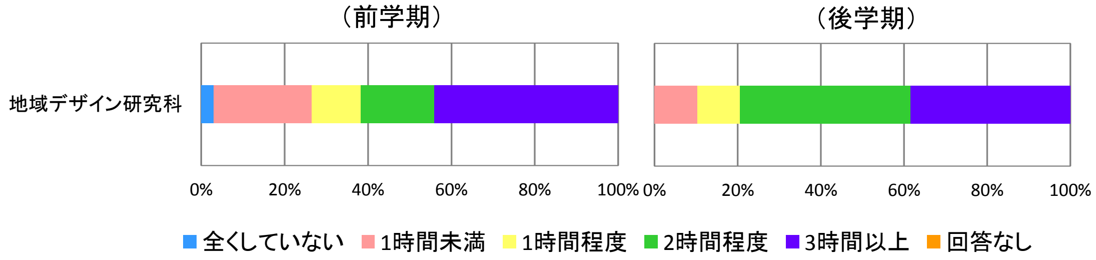
A.　あなた自身について

A-1　出席率はどのくらいですか



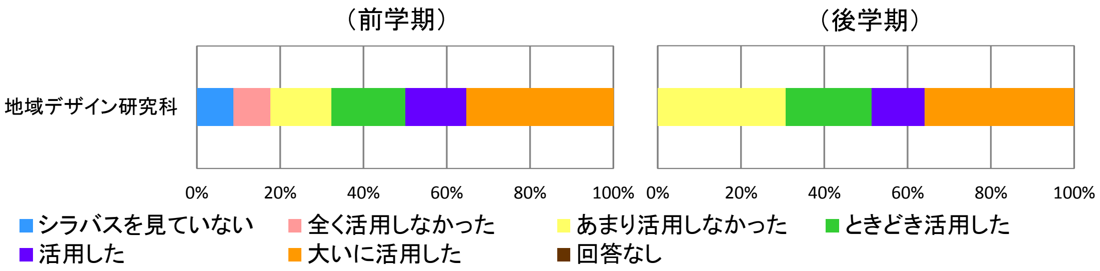
・概ね出席しており、良好である。

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、１ 回の授業ごとにどの程度しましたか



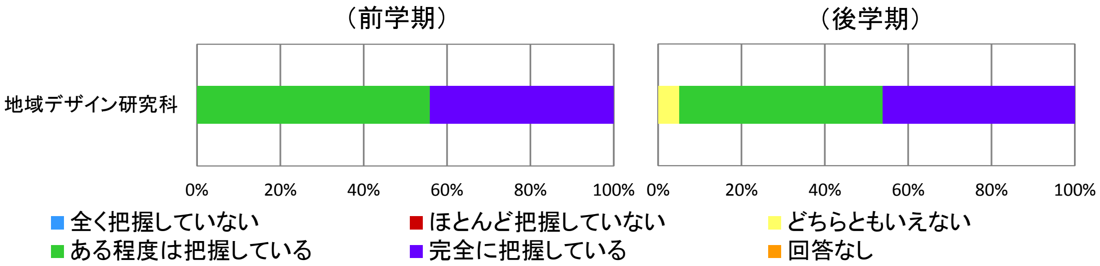
・概ね学習しており、良好である。

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



・活用していない者も見受けられるが後期は改善した。

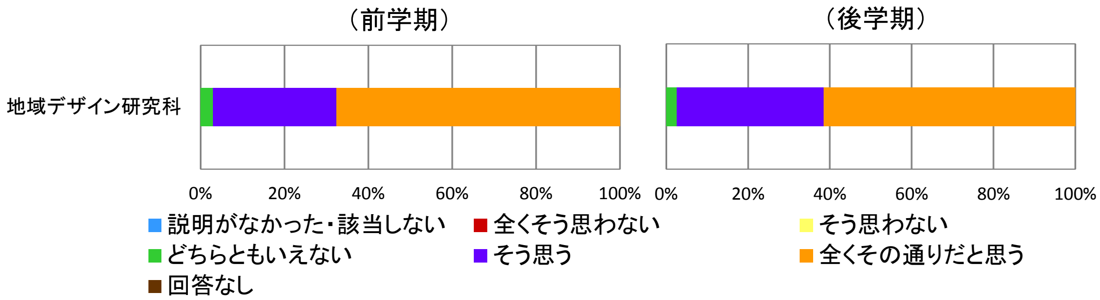
A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



・概ね把握しており、良好である。

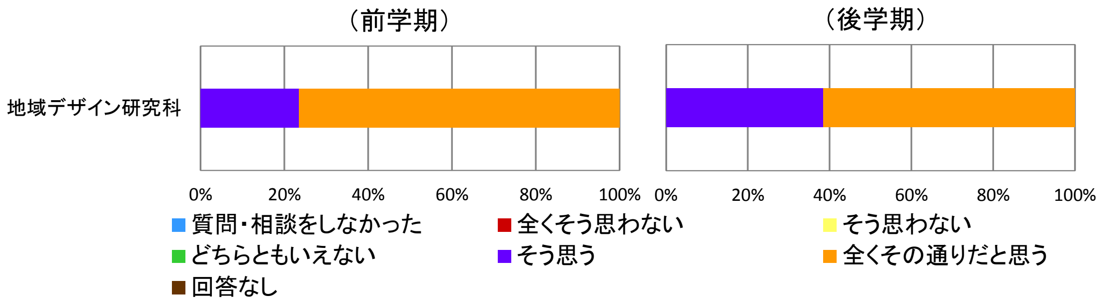
B.　教員の対応

B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



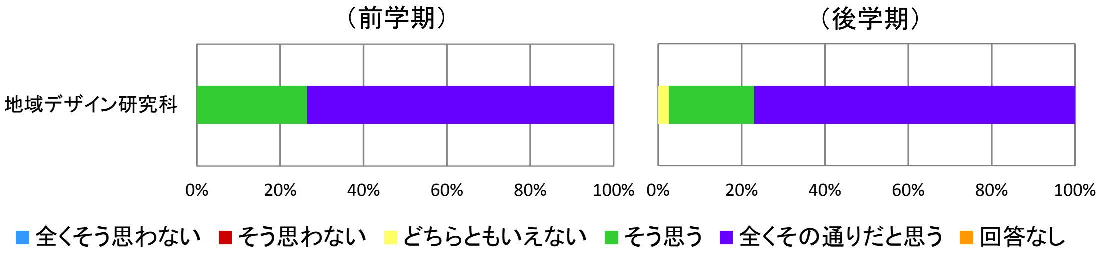
・概ね、有益としては良好である。

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



・概ね、対応としては良好である。

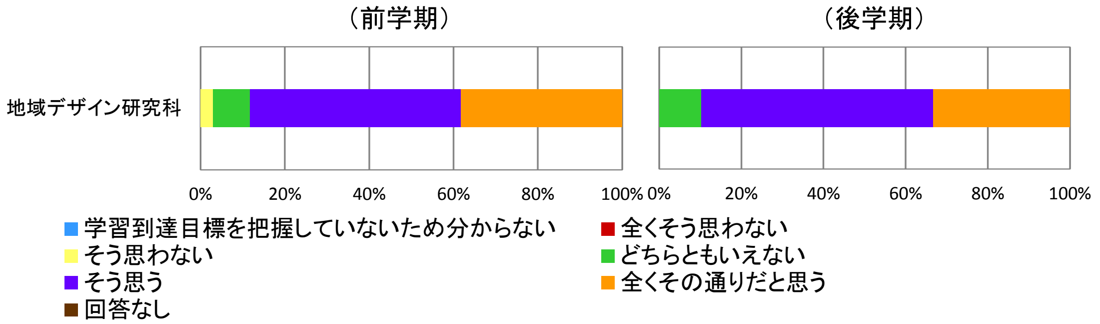
B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



・概ね意欲や熱意については、良好である。

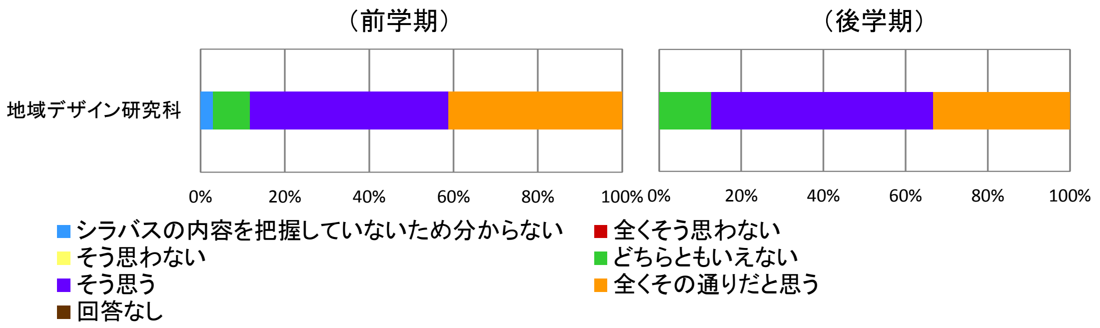
C.　授業内容および授業方法について

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか



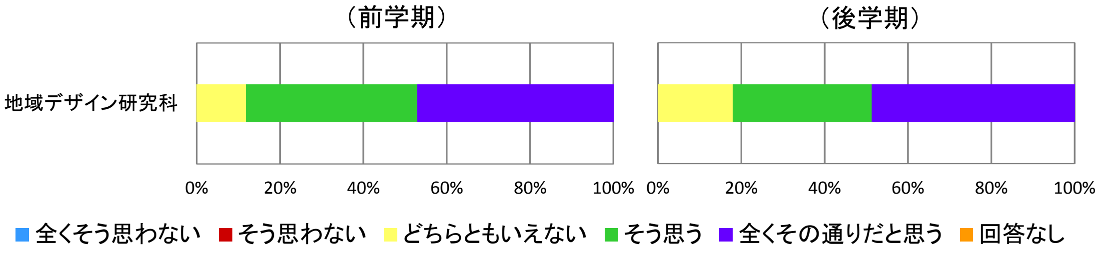
・概ね達成しており、良好である。

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか



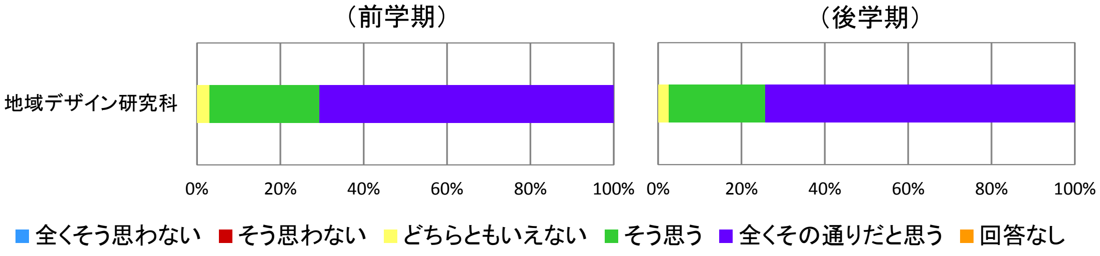
・概ね基づいており、良好である。

C-3　教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



・概ね役立っており、良好である。

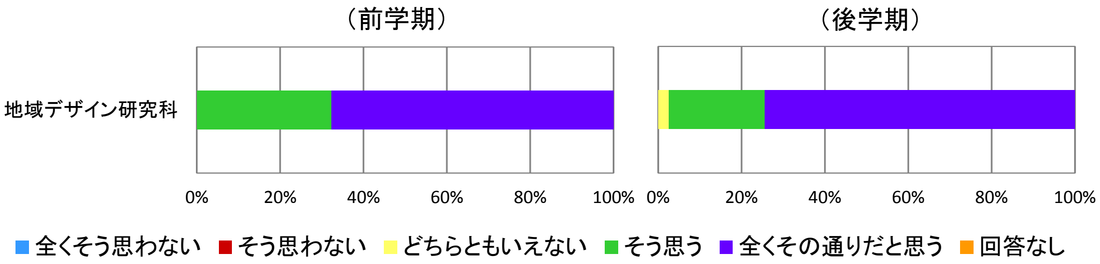
C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



・概ね配慮しており、良好である。

D.　満足度

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか



・概ね満足しており、良好である。

おわりに

平成 28 年の授業評価アンケートは LiveCampus による共通アンケートシステムを用いて実施された．今回は，満足度とそれ以外の項目に対する相関係数を始めて確認し，検討が望まれる項目は B1「理念に基づいた説明」、C3「教材や ICT 環境」、C4「主体的・対話的な学び」の 3 項目であることが明らかになった．

平成 20 年度から義務化された FD 活動も見直しの時期に来ており，本学でも平成 23 年度の佐賀大学ポートフォリオ学習統合システムの運用開始，平成 24 年度のティーチング・ポートフォリオ実施要項および実施要領の策定など，ＦＤ活動の改善を図っている．しかしながら，佐賀大学の全教員がその趣旨を理解し，授業改善に利用されているかと問われれば，まだまだ不十分であると言わざるを得ない．数字だけ見れば，簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成率については，平成 28 年度末時点で 100%を達成し,「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」に基づき実施されている「授業点検・評価報告書」の作成率はようやく 100%となった．今後は、これらの活動を有機的に結び付け、ルーブリック評価やアクティブ・ラーニングの全学的な導入と併せて，大学全体として教育力の向上を図る必要がある．

現に，認証評価基準において「教育の内部質保証」が重点項目になる見込みで、第３期中期目標・中期計画期間中は，これまで以上に教育の質保証が問われ，組織として，教育の質向上を図るための PDCA サイクルの実行が強く求められる.組織的な取り組みとしては,授業点検・改善報告書や簡易版ＴＰに加え，平成 26 年度開講科目より行った組織的なシラバスの点検や授業科目毎の成績分布の検証がある．これらの活動が，継続的に行われ，実を結び本学全体の教育力の向上につながることを切に願っている．

資料１　佐賀大学学生による授業評価実施要領

佐賀大学学生による授業評価実施要領

（趣旨）

第１条　授業改善を目的とする学生による授業評価（以下「授業評価」という。）の実施に関する事項は、この要領に定めるところによる。

（評価の実施）

第２条　授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目毎に授業評価（以下「個別授業評価」という。）を実施する。

２　学部及び学科等の教育組織（以下「教育組織」という。）は、前項の個別授業評価等を分析し、教育組織毎に授業評価（以下「組織別授業評価」という。）を実施する。

（評価の支援）

第３条　大学は、授業評価の実施に必要な全学共通のアンケートシステム（以下「授業評価アンケートシステム」という。）を提供し、集計を行うなどの方法により、前条の授業評価の実施を支援する。

（個別評価結果の利用）

第４条　個別授業評価の結果は、授業担当者に提供し、授業担当者は、個別授業評価の結果を授業の改善等に利用するものとする。

２　前項の規定は、各授業担当者による評価結果の公表又は提供及び組織別授業評価のための集計を妨げるものではない。

３　個別授業評価の結果は、教員個人の評価には用いない。

４　個別授業評価の結果は、学生個人の成績評価に利用してはならない。

（組織別評価結果の利用）

第５条　教育改善のための調査研究を行う組織は、大学教育委員会の了承を得て、授業評価の結果を利用することができる。

（調査方法）

第６条　大学教育委員会は、個別授業評価のための授業評価アンケートシステムを利用した調査方法等について定める。

２　前項の規定は、教員又は教育組織が調査項目等を追加することを妨げるものではない。

（調査対象）

第７条　個別授業評価の対象となる授業科目は、次の各号に掲げるものとする。

（１）　学部が開設する授業科目

（２）　全学教育機構が開設する授業科目

（３）研究科が開設する授業科目

２　授業科目を開設する学部等（全学教育機構及び研究科を含む。）の長が、授業科目の特性により、授業評価アンケートシステムを用いて調査することが適切でないと判断した場合は、他の方法により調査することができるものとする。この場合において、授業評

価アンケートシステムを用いない授業担当者は、大学教育委員会が指定する日までに当該授業科目名を教務課に届け出るものとする。

（実施方法）

第８条　個別授業評価の実施、集計及び集計結果の公表の方法については、大学教育委員会の議を経て、委員長が別に定める。

２　前項の規定は、教員又は教育組織が、独自の調査を実施することを妨げるものではない。

（雑則）

第９条　この要領に定めるものの他、授業評価の実施に関して必要な事項は、大学教育委員会の議を経て、委員長が定める。

附　則

１　この要領は、平成１８年１０月１日から実施する。

２　この要領は、当分の間、医学部・医学系研究科には適用しない。

附　則（平成２２年１１月２２日改正）

この要領は、平成２２年１１月２２日から実施する。

附　則（平成２５年２月５日改正）

この要領は、平成２５年４月１日から実施する。

附　則（平成２６年２月１８日改正）

この要領は、平成２６年４月１日から実施する。

資料２　佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要領

佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要領

（平成１８年１２月２２日制定）

（趣旨）

第１条 佐賀大学学生による授業評価実施要領（平成１８年６月２７日制定。以下「授業評価実施要領」という。）第２条に定める個別授業評価及び組織別授業評価の結果は，授業評価実施要領に定めるもののほか，この要領の定めるところにより，授業の改善を通じて教育の質の向上に利用する。

（報告）

第２条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は，授業科目ごとに実施する授業評価の結果及び授業の改善目標について，学期ごとに，ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して，授業全体について又は授業科目別に報告する。

２ 前項の規定にかかわらず，非常勤講師については，同項中「ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して」とあるのを「別紙様式に定める授業点検・評価報告書に準じて」と読み替えて適用する。

３ 学部又は学科等（以下「教育組織」という。）は，個別授業評価及び組織別授業評価の結果に基づき，次に掲げる事項について組織別授業点検・評価報告書を作成する。

(1) 各種アンケートの学科等別及び授業科目別の集計結果

(2) 各種アンケートの結果から総合的に判断して，学生から高い評価を得ていると教育組織が認定する授業科目

(3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

(4) 教育組織の授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点

(5) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

（報告書等の利用）

第３条 教育組織の長は，前条第３項に定める組織別授業点検・評価報告書に基づき，必要に応じて教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策を講じる。

２ 前条第１項及び第２項の規定による個別授業点検・評価報告書及び同条第３項の組織別授業点検・評価報告書は，教育組織が実施する研修会等に利用し，オンラインで公表する。

３ 前条第３項第２号に該当する授業科目における取組は，授業の改善に広く資するよう，教育組織が実施する研修会等又は公開授業により周知する。

附 則

１ この要領は，平成１８年１２月２２日から実施する。

２ この要領は，当分の間，医学部及び医学系研究科において実施される授業評価には適用しない。

附 則

この要領は，平成２０年２月８日から実施する。

附 則（平成２５年９月１２日改正）

この要領は，平成２５年９月１２日から実施する。

資料３学生による授業アンケート様式

FAQ検索　検索

鶴田　博信さん　前回ログイン： 2018年5月16日 19時43分　ログアウト

ホーム　スケジュール　連絡通知　施設予約　教務・就職・図書館他へはこちら　FAQ　リンク　アンケート　レポート　授業カードダウンロード

ホーム > 授業評価アンケートメニュー > 授業評価アンケート管理メニュー > 授業評価アンケート詳細 > 授業評価アンケート設問一覧 > 授業評価アンケートプレビュー

アンケート　授業評価アンケートプレビュー

一覧へ戻る

結果公開中

平成28年度前学期「学生による授業アンケート」

提出有効期限　2016/07/29 【 12:00 】 - 2016/09/02 【 00:00 】　匿名区分　実名

プレビュー

このアンケートは授業改善に役立てることを目的としています。回答は、成績評価に影響することは一切ありません。This survey is used to improve the classes. This survey is never connected with your granding.

参考資料

A　あなた自身について

A-1 ※ 出席率はどのくらいですか。/ What is the percentage of your own class attendance during the whole class?

◯ ２０%未満 (under 20%)	◯ 20～40%未満 (20～40%)	◯ 40～60%未満 (40～60%)	◯ 60～80%未満 (60～80%)	◯ 80%以上 (more than80%)

A-2 ※ 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。/How many hours did you spend doing your homework (the preparation and review of lessons, the writing of research papers, etc.) for each lesson?

◯ 全くしていない (0 hours)	◯ 1時間未満 (under 1 hour)	◯ 1時間程度 (about 1 hour)	◯ 2時間程度 (about 2 hours)	◯ 3時間以上 (more than 3 hours)

A-3 ※ この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。/ Did you make use of a syllabus to choose this class or to prepare and review the lessons?

◯ シラバスを見ていない (no idea)	◯ 全く活用しなかった (never)	◯ あまり活用しなかっ た (little)	◯ ときどき活用した (sometimes)	◯ 活用した (to some extent)	◯ 大いに活用した (much)

A-4 ※ この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。/ I understand the objectives and assessment of academic achievement of this class.

◯ 全く把握していない (Strongly Disagree)完全	◯ ほとんど把握していない (Disagree)	◯ どちらともいえない (Neutral)	◯ ある程度は把握している (Agree)	◯ 完全に把握している (Strongly Agree)

B　教員の対応

B-1 ※ 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。/The teacher's explanation of his/her teaching methods and information about the assessment based on his/her teaching philosophy was useful.

◯ 説明がなかった・該当しない (no idea)	◯ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	◯ そう思わない (Disagree)	◯ どちらともいえない (Neutral)	◯ そう思う (Agree)	◯ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

B-2 ※ 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。/ The teacher's responsiveness to students' questions and concerns was appropriate.

◯ 質問・相談をしなかった (no idea)	◯ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	◯ そう思わない (Disagree)	◯ どちらともいえない (Neutral)	◯ そう思う (Agree)	◯ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

B-3 ※ 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。/ The teacher appeared enthusiastic and interested.

◯ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	◯ そう思わない (Disagree)	◯ どちらともいえない (Neutral)	◯ そう思う (Agree)	◯ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

C　授業内容および授業方法について

C-1 ※ この授業の学習到達目標を達成できましたか。/ I reached the class objectives.

◯ 学習到達目標を把握していないため分からない (no idea)	◯ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	◯ そう思わない (Disagree)	◯ どちらともいえない (Neutral)	◯ そう思う (Agree)	◯ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

C-2 ※ 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。/ The class was conducted based on the syllabus.

◯ シラバスの内容を把握していないため分からない (no idea)	◯ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	◯ そう思わない (Disagree)	◯ どちらともいえない (Neutral)	◯ そう思う (Agree)	◯ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

C-3 ※ 教材（教科書、配布資料）やＩＣＴ環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。/The learning materials (textbooks, handouts, etc.) and the ICT environment (LiveCampus, Web pages for each class, e-learning, etc.) were useful.

◯ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	◯ そう思わない (Disagree)	◯ どちらともいえない (Neutral)	◯ そう思う (Agree)	◯ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

C-4 ※ この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。/The teacher

stimulated critical thinking and analysis using a variety of instructional methods (e.g. group works, class discussions, etc.).

○ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	○ そう思わない (Disagree)	○ どちらともいえない (Neutral)	○ そう思う (Agree)	○ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

D 満足度

この授業は全体として満足できるものでしたか。/ Overall, the class was satisfactory.

D-1 ※

○ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	○ そう思わない (Disagree)	○ どちらともいえない (Neutral)	○ そう思う (Agree)	○ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

E 指定項目①

指定項目①（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-1

○ 該当しない・わからない（no idea)	○ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	○ そう思わない (Disagree)	○ どちらともいえない (Neutral)	○ そう思う (Agree)	○ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

指定項目①（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-2

○ 該当しない・わからない（no idea)	○ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	○ そう思わない (Disagree)	○ どちらともいえない (Neutral)	○ そう思う (Agree)	○ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

指定項目①（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-3

○ 該当しない・わからない（no idea)	○ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	○ そう思わない (Disagree)	○ どちらともいえない (Neutral)	○ そう思う (Agree)	○ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

指定項目①（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-4

○ 該当しない・わからない（no idea)	○ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	○ そう思わない (Disagree)	○ どちらともいえない (Neutral)	○ そう思う (Agree)	○ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

指定項目①（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-5

○ 該当しない・わからない（no idea)	○ 全くそう思わない (Strongly Disagree)	○ そう思わない (Disagree)	○ どちらともいえない (Neutral)	○ そう思う (Agree)	○ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

F 指定項目②

指定項目②（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-1

○ 0	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5

指定項目②（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-2

○ 0	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5

指定項目②（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-3

○ 0	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5

指定項目②（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-4

○ 0	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5

指定項目②（この部分は教員の指示に従って記入してください。）/ Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-5

○ 0	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5

この授業科目について気づいたことがあれば、何でもお書き下さい。/ Please give your comments about this class freely.

自由記述欄

※999文字以内で入力してください。
※スペースや改行（Enterキー）も文字としてカウントされます。

一覧へ戻る

各種設定 ▶

Copyright (c) 2015 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

資料４　共通様式以外のアンケート様式
〈医学部アンケート様式〉

学生による授業評価アンケート１（講義科目）

実施年月日：平成　　年　　月　　日

氏　名

授　業 科目名	

※学籍番号（８ケタ）を記入し、
鉛筆で数字をマークしてください。

※ 学 籍 番 号							
0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9

〔 注 意 事 項 〕
(1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
(2) 記入にはＨＢの黒鉛筆を使用して下さい。
(3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
(4) ⊂ ⊃ の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。

良い例　　悪い例

１．この授業に関して，あなた自身を５段階（５高い・４やや高い・３中間・２やや低い・１低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高い	やや高い	中間	やや低い	低い
１）講義に対する出席の程度	5	4	3	2	1
２）復習や関連事項の自己学習の程度（１回あたり，5［3時間以上］4［2時間程度］3［1時間程度］2［1時間未満］1［全くしていない］）	5	4	3	2	1
３）授業内容の修得，理解度	5	4	3	2	1

２−１．この授業科目全般の内容について５段階（５高い・４やや高い・３中間・２やや低い・１低い）で評価した数値をマークして下さい。	高い	やや高い	中間	やや低い	低い
１）この授業に対する総合的満足度	5	4	3	2	1
２）あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	5	4	3	2	1
３）授業内容に対して抱いた興味の程度	5	4	3	2	1
４）講義の編成や内容における一貫性，統合性の程度	5	4	3	2	1
５）講義の工夫，講義資料等の活用・有効性の程度	5	4	3	2	1
６）この授業に対する配分時間の妥当性	5	4	3	2	1

２−２．上記の評価に関連して，以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可），その記号をマークして下さい。

A 学習要項（シラバス）と講義の内容が一致していない	B 講義の内容がばらばらである	C 講義内容に無意味な重複がある
D 一方的な講義で追い付いていけない	E 講義資料が分かりにくい	F スライド，ＯＨＰなどが分かりにくい
G 講義内容が多すぎる	H 授業時間が多すぎる	I もっと授業時間を増やして欲しい
J 現行より早い時期に開講して欲しい	K 現行より遅い時期に開講して欲しい	

２−３．この授業科目について，上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

２−４．この授業科目について，よかったと思うことを書いて下さい。

※このアンケートと成績は関係ありません。

学生による授業評価アンケートII（実習科目）

実施年月日：平成　　年　　月　　日

氏名	
授業科目名	

※学籍番号（8ケタ）を記入し、
鉛筆で数字をマークしてください。

※学籍番号							
0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9

〔注意事項〕
(1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
(2) 記入にはＨＢの黒鉛筆を使用して下さい。
(3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
(4) ⊂ ⊃ の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。

良い例　悪い例

1．この実習に関して，あなた自身を５段階（５高い・４やや高い・３中間・２やや低い・１低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高い	やや高い	中間	やや低い	低い
１）実習に対する出席の程度	5	4	3	2	1
２）復習や関連事項の自己学習の程度（1回あたり，5［3時間以上］4［2時間程度］3［1時間程度］2［1時間未満］1［全くしていない］）	5	4	3	2	1
３）実習内容の修得，理解度	5	4	3	2	1

2－1．この実習全般の内容について５段階（５高い・４やや高い・３中間・２やや低い・１低い）で評価した数値をマークして下さい。	高い	やや高い	中間	やや低い	低い
１）この実習に対する総合的満足度	5	4	3	2	1
２）あなたが感じたこの実習の重要性の程度	5	4	3	2	1
３）実習内容に対して抱いた興味の程度	5	4	3	2	1
４）実習の編成や内容における一貫性，統合性の程度	5	4	3	2	1
５）実習の工夫，実習書や配布資料の活用・有効性の程度	5	4	3	2	1
６）この実習に対する配分時間の妥当性	5	4	3	2	1
７）実習環境の充実性	5	4	3	2	1

2－2．上記の評価に関連して，以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可），その記号をマークして下さい。

- A 学習要項（シラバス）と実習の内容が一致していない
- B 実習内容が多すぎる
- C 実習時間が多すぎる
- D もっと実習時間を増やして欲しい
- E 現行より早い時期に開講して欲しい
- F もっと遅い時期に開講して欲しい
- G もっと指導教員の数を増やして欲しい
- H 実習書が分かりにくい
- I 機材が不足している
- J グループの人数が多すぎる

2－3．この実習について，上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

2－4．この実習について，よかったと思うことを書いて下さい。

※このアンケートと成績は関係ありません。

学生による授業評価アンケートⅢ（PhaseⅢ授業科目）

※学籍番号（8ケタ）を記入し、
鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成　　年　　月　　日

氏　名	
授　業 科目名	

※　学　籍　番　号							
0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9

〔注意事項〕
(1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
(2) 記入にはＨＢの黒鉛筆を使用して下さい。
(3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
(4) ⊂ ⊃ の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。

良い例　　悪い例

1．この授業に関して，あなた自身を５段階（５高い・４やや高い・３中間・２やや低い・１低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高い	やや高い	中間	やや低い	低い
1）講義に対する出席の程度	5	4	3	2	1
2）復習や関連事項の自己学習の程度（1回あたり，5［3時間以上］4［2時間程度］3［1時間程度］2［1時間未満］1［全くしていない］）	5	4	3	2	1
3）授業内容の修得，理解度	5	4	3	2	1

2－1．この授業科目全般の内容について５段階（５高い・４やや高い・３中間・２やや低い・１低い）で評価した数値をマークして下さい。	高い	やや高い	中間	やや低い	低い
1）この授業に対する総合的満足度	5	4	3	2	1
2）あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	5	4	3	2	1
3）授業内容に対して抱いた興味の程度	5	4	3	2	1
4）講義の編成や内容における統一性，統合性の程度	5	4	3	2	1
5）シナリオに対する興味の程度	5	4	3	2	1
6）この授業に対する配分時間の妥当性	5	4	3	2	1

2－2．上記の評価に関連して，以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可），その記号をマークして下さい。

- A 講義の内容がばらばらである
- B 講義内容に重複がある
- C 講義内容が少なすぎる
- D 講義分担教員が多すぎる
- E シラバスが統一されていない
- F シナリオが複雑すぎる
- G シナリオが単純すぎる
- H もっと授業時間を増やして欲しい
- I もっと実習時間を増やして欲しい
- J 現行より早い時期に開講して欲しい
- K もっと遅い時期に開講して欲しい

2－3．この授業科目について，上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

2－4．この授業科目について，よかったと思うことを書いて下さい。

※このアンケートと成績は関係ありません。

資料５項目の基礎集計表

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
文化教育学部	0.3%	0.4%	1.2%	7.1%	91.1%	0.0%
教育学部	0.5%	0.4%	0.8%	6.7%	91.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	1.2%	1.0%	2.6%	12.2%	82.9%	0.0%
理工学部	0.6%	0.2%	0.5%	6.2%	92.5%	0.0%
農学部	0.4%	0.4%	0.5%	3.4%	95.4%	0.0%
全学教育機構	0.6%	0.6%	1.2%	7.8%	89.8%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
文化教育学部	12.2%	39.3%	30.6%	10.8%	7.1%	0.0%
教育学部	20.5%	36.6%	28.2%	10.1%	4.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	23.2%	44.7%	21.5%	7.7%	3.0%	0.0%
理工学部	8.2%	30.3%	35.1%	15.8%	10.6%	0.0%
農学部	13.2%	35.7%	35.8%	11.0%	4.3%	0.0%
全学教育機構	21.9%	36.1%	25.6%	10.3%	6.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
文化教育学部	8.2%	10.2%	27.7%	25.5%	20.5%	8.0%	0.0%
教育学部	20.7%	10.2%	29.0%	19.4%	15.0%	5.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	16.4%	8.9%	28.1%	25.1%	16.5%	5.0%	0.0%
理工学部	12.5%	10.2%	28.3%	26.5%	14.8%	7.7%	0.0%
農学部	10.3%	12.2%	36.2%	22.7%	13.4%	5.2%	0.0%
全学教育機構	19.1%	10.1%	27.7%	23.0%	14.0%	6.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
文化教育学部	3.0%	5.9%	16.5%	60.7%	13.9%	0.0%
教育学部	6.8%	11.5%	20.1%	48.6%	13.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	6.7%	9.1%	18.0%	56.6%	9.5%	0.0%
理工学部	4.9%	5.9%	19.2%	56.9%	13.2%	0.0%
農学部	4.1%	6.2%	19.1%	60.9%	9.7%	0.0%
全学教育機構	8.3%	7.4%	21.1%	53.3%	9.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.9%	1.6%	2.8%	13.2%	57.4%	23.1%	0.0%
教育学部	0.9%	0.6%	2.4%	16.2%	55.3%	24.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	1.6%	1.2%	4.2%	21.2%	56.5%	15.3%	0.0%
理工学部	2.1%	1.7%	4.5%	26.2%	49.9%	15.5%	0.0%
農学部	1.7%	0.6%	3.2%	22.0%	55.9%	16.6%	0.0%
全学教育機構	3.1%	1.3%	3.1%	24.5%	51.5%	16.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	12.4%	0.9%	2.3%	11.8%	43.2%	29.4%	0.0%
教育学部	11.9%	0.1%	2.0%	11.4%	46.8%	27.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	28.4%	1.2%	3.2%	18.7%	32.1%	16.4%	0.0%
理工学部	13.4%	1.2%	2.6%	22.0%	42.3%	18.5%	0.0%
農学部	14.6%	0.5%	1.8%	21.3%	41.2%	20.5%	0.0%
全学教育機構	18.3%	0.8%	2.2%	20.1%	39.8%	18.7%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.7%	1.9%	8.2%	48.4%	40.8%	0.0%
教育学部	0.5%	1.3%	8.2%	52.1%	37.9%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	1.3%	2.7%	16.1%	55.3%	24.7%	0.0%
理工学部	2.7%	3.7%	20.1%	52.0%	21.5%	0.0%
農学部	0.6%	1.6%	14.7%	53.6%	29.5%	0.0%
全学教育機構	1.3%	2.4%	16.1%	53.9%	26.3%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	5.2%	1.1%	3.7%	24.1%	54.0%	11.8%	0.0%
教育学部	11.5%	0.4%	3.3%	22.3%	50.0%	12.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	10.9%	0.9%	5.3%	29.2%	44.6%	9.0%	0.0%
理工学部	7.1%	1.8%	6.9%	29.1%	44.7%	10.4%	0.0%
農学部	5.8%	1.3%	5.2%	29.1%	48.7%	10.0%	0.0%
全学教育機構	10.8%	1.4%	3.7%	29.7%	44.2%	10.2%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	11.0%	0.4%	1.4%	14.6%	56.2%	16.5%	0.0%
教育学部	24.4%	0.3%	1.1%	17.3%	43.7%	13.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	15.0%	0.5%	3.0%	16.2%	53.2%	12.2%	0.0%
理工学部	13.1%	0.9%	2.1%	19.6%	49.9%	14.5%	0.0%
農学部	10.6%	0.4%	2.1%	22.0%	50.6%	14.3%	0.0%
全学教育機構	17.9%	0.9%	2.0%	21.0%	45.5%	12.7%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.2%	3.2%	18.9%	52.5%	24.2%	0.0%
教育学部	2.4%	1.9%	21.2%	52.7%	21.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	1.7%	3.5%	24.1%	51.7%	19.0%	0.0%
理工学部	3.5%	3.7%	27.6%	48.0%	17.3%	0.0%
農学部	1.7%	2.9%	31.0%	46.4%	17.9%	0.0%
全学教育機構	2.5%	3.3%	27.2%	48.1%	18.9%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.4%	5.8%	15.2%	44.1%	33.5%	0.0%
教育学部	2.5%	2.5%	18.8%	45.5%	30.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

経済学部	4.5%	9.9%	33.9%	37.7%	14.0%	0.0%
理工学部	7.4%	7.5%	33.1%	38.3%	13.7%	0.0%
農学部	4.4%	6.2%	28.6%	42.1%	18.8%	0.0%
全学教育機構	5.3%	6.2%	30.3%	39.0%	19.1%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.5%	3.3%	9.8%	50.0%	35.4%	0.0%
教育学部	0.6%	1.8%	7.3%	50.8%	39.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経済学部	1.6%	4.2%	16.8%	54.8%	22.6%	0.0%
理工学部	2.6%	4.7%	18.8%	55.1%	18.7%	0.0%
農学部	1.1%	3.0%	18.0%	53.5%	24.4%	0.0%
全学教育機構	1.9%	3.7%	16.0%	52.1%	26.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
文化教育学部	0.3%	0.2%	1.0%	9.5%	89.1%	0.0%
教育学部	0.3%	0.2%	0.7%	7.3%	91.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	2.3%	7.9%	89.8%	0.0%
経済学部	2.0%	0.6%	2.0%	15.4%	80.0%	0.0%
理工学部	0.4%	0.3%	1.0%	7.9%	90.3%	0.0%
農学部	0.2%	0.1%	1.0%	5.6%	93.1%	0.0%
全学教育機構	1.0%	0.7%	1.5%	9.6%	87.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
文化教育学部	12.9%	33.5%	28.7%	13.9%	11.0%	0.0%
教育学部	13.5%	31.8%	34.3%	11.1%	9.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	33.0%	32.7%	20.1%	8.3%	5.9%	0.0%
経済学部	21.5%	42.2%	24.4%	7.5%	4.4%	0.0%
理工学部	7.2%	27.1%	34.4%	16.6%	14.7%	0.0%
農学部	14.3%	40.0%	26.9%	9.3%	9.5%	0.0%
全学教育機構	17.5%	36.5%	28.5%	10.4%	7.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
文化教育学部	13.2%	8.7%	27.3%	21.4%	19.4%	10.1%	0.0%
教育学部	20.4%	6.6%	24.0%	26.1%	15.7%	7.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	20.5%	19.8%	28.1%	18.8%	9.6%	3.3%	0.0%
経済学部	13.3%	8.3%	24.3%	30.2%	17.4%	6.5%	0.0%
理工学部	8.8%	7.5%	25.8%	27.8%	19.5%	10.5%	0.0%
農学部	10.8%	11.7%	30.2%	25.0%	13.2%	9.1%	0.0%
全学教育機構	12.9%	9.0%	24.6%	25.4%	18.7%	9.4%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
文化教育学部	2.8%	6.0%	12.9%	62.7%	15.6%	0.0%
教育学部	8.7%	6.1%	15.1%	58.5%	11.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	10.9%	16.8%	7.3%	54.8%	10.2%	0.0%
経済学部	7.5%	7.5%	18.9%	56.8%	9.3%	0.0%
理工学部	2.8%	4.4%	16.1%	59.7%	16.9%	0.0%
農学部	3.7%	5.9%	23.9%	54.1%	12.4%	0.0%
全学教育機構	6.0%	5.6%	16.7%	58.3%	13.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.0%	0.9%	2.6%	13.9%	57.4%	24.2%	0.0%
教育学部	4.0%	1.4%	3.1%	14.5%	50.5%	26.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	7.9%	1.3%	0.0%	12.2%	62.7%	15.8%	0.0%
経済学部	2.3%	2.2%	5.9%	22.2%	52.7%	14.8%	0.0%
理工学部	1.6%	1.3%	3.3%	18.8%	55.2%	19.8%	0.0%
農学部	1.4%	0.5%	2.8%	23.5%	52.7%	19.1%	0.0%
全学教育機構	2.9%	0.9%	2.5%	19.1%	54.4%	20.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	9.5%	0.5%	1.4%	10.9%	47.6%	30.1%	0.0%
教育学部	19.7%	0.9%	3.3%	10.7%	35.3%	30.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	18.2%	0.3%	1.0%	7.3%	53.8%	19.5%	0.0%
経済学部	26.6%	1.3%	2.7%	20.8%	35.2%	13.4%	0.0%
理工学部	9.4%	1.2%	2.0%	16.1%	47.5%	23.8%	0.0%
農学部	16.9%	0.1%	1.6%	21.5%	37.9%	22.1%	0.0%
全学教育機構	17.4%	0.9%	1.8%	16.0%	43.4%	20.6%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.6%	1.1%	8.2%	51.8%	38.3%	0.0%
教育学部	0.5%	1.7%	9.9%	44.3%	43.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.3%	5.0%	56.4%	38.3%	0.0%
経済学部	1.9%	4.4%	14.1%	55.8%	23.8%	0.0%
理工学部	1.7%	1.7%	13.6%	56.2%	26.9%	0.0%
農学部	1.0%	1.4%	12.9%	55.4%	29.3%	0.0%
全学教育機構	1.3%	2.0%	13.1%	53.2%	30.4%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	4.8%	0.6%	2.8%	20.4%	55.5%	15.8%	0.0%
教育学部	9.5%	1.4%	2.9%	26.8%	44.3%	15.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	17.8%	0.3%	3.3%	24.8%	42.2%	11.6%	0.0%
経済学部	11.3%	2.1%	4.4%	26.8%	45.1%	10.2%	0.0%
理工学部	4.3%	1.8%	5.5%	22.2%	51.4%	14.8%	0.0%
農学部	7.0%	1.1%	5.1%	31.9%	43.1%	11.9%	0.0%
全学教育機構	8.6%	1.1%	3.5%	24.2%	49.1%	13.4%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	12.9%	0.4%	1.1%	16.4%	49.4%	19.8%	0.0%
教育学部	20.8%	1.2%	2.6%	18.2%	39.4%	17.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	26.7%	0.7%	2.0%	11.9%	46.2%	12.5%	0.0%
経済学部	13.8%	1.3%	3.3%	18.4%	51.3%	12.0%	0.0%
理工学部	7.8%	0.8%	2.2%	16.7%	53.6%	18.9%	0.0%
農学部	10.4%	0.3%	1.7%	18.2%	53.2%	16.2%	0.0%
全学教育機構	12.5%	1.0%	2.1%	18.1%	49.7%	16.8%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.8%	2.4%	18.2%	53.5%	24.1%	0.0%
教育学部	3.8%	3.1%	18.3%	45.0%	29.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	3.0%	8.3%	28.1%	43.6%	17.2%	0.0%
経済学部	2.9%	3.9%	20.8%	53.0%	19.4%	0.0%
理工学部	2.0%	3.0%	24.6%	49.5%	20.8%	0.0%
農学部	3.0%	3.6%	28.4%	45.2%	19.8%	0.0%
全学教育機構	2.7%	2.8%	22.8%	48.8%	23.0%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.5%	4.6%	16.9%	45.9%	31.1%	0.0%
教育学部	2.8%	4.8%	18.2%	45.2%	29.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.3%	4.0%	29.0%	52.5%	14.2%	0.0%

経済学部	6.8%	9.3%	33.0%	39.6%	11.3%	0.0%
理工学部	3.4%	5.1%	25.0%	45.2%	21.3%	0.0%
農学部	5.5%	7.3%	32.2%	36.6%	18.4%	0.0%
全学教育機構	4.4%	5.7%	24.1%	40.4%	25.4%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.5%	2.6%	11.1%	51.0%	34.8%	0.0%
教育学部	1.4%	3.5%	9.9%	44.3%	41.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.3%	0.7%	5.0%	51.2%	42.9%	0.0%
経済学部	3.8%	6.8%	18.4%	50.3%	20.8%	0.0%
理工学部	1.9%	3.1%	14.4%	55.2%	25.5%	0.0%
農学部	1.0%	2.8%	15.0%	54.7%	26.5%	0.0%
全学教育機構	1.6%	3.2%	13.5%	52.1%	29.5%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
全体	0.5%	0.4%	0.8%	6.7%	91.7%	0.0%
幼小連携教育コース	0.7%	0.0%	1.0%	4.8%	93.6%	0.0%
小中連携教育コース	0.7%	0.5%	0.9%	7.3%	90.6%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	20.5%	36.6%	28.2%	10.1%	4.7%	0.0%
幼小連携教育コース	22.6%	39.9%	23.8%	8.8%	5.0%	0.0%
小中連携教育コース	23.6%	34.0%	25.3%	11.0%	6.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	20.7%	10.2%	29.0%	19.4%	15.0%	5.6%	0.0%
幼小連携教育コース	20.9%	10.0%	29.9%	20.9%	13.1%	5.2%	0.0%
小中連携教育コース	20.6%	9.9%	27.6%	19.5%	16.4%	5.9%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
全体	6.8%	11.5%	20.1%	48.6%	13.0%	0.0%
幼小連携教育コース	8.6%	14.3%	22.3%	43.9%	10.9%	0.0%
小中連携教育コース	7.3%	8.2%	19.0%	49.7%	15.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.9%	0.6%	2.4%	16.2%	55.3%	24.6%	0.0%
幼小連携教育コース	1.2%	0.2%	2.4%	19.7%	56.1%	20.4%	0.0%
小中連携教育コース	1.2%	0.9%	2.4%	14.0%	54.3%	27.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	11.9%	0.1%	2.0%	11.4%	46.8%	27.8%	0.0%
幼小連携教育コース	15.9%	0.2%	1.2%	11.9%	47.7%	23.0%	0.0%
小中連携教育コース	10.3%	0.2%	1.7%	9.8%	47.5%	30.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.5%	1.3%	8.2%	52.1%	37.9%	0.0%
幼小連携教育コース	0.5%	1.4%	9.0%	53.7%	35.4%	0.0%
小中連携教育コース	0.7%	1.0%	7.2%	52.2%	38.9%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	11.5%	0.4%	3.3%	22.3%	50.0%	12.5%	0.0%
幼小連携教育コース	15.9%	0.5%	2.9%	23.8%	47.3%	9.7%	0.0%
小中連携教育コース	9.2%	0.5%	3.8%	23.0%	49.4%	14.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	24.4%	0.3%	1.1%	17.3%	43.7%	13.3%	0.0%
幼小連携教育コース	27.3%	0.2%	1.0%	20.4%	40.6%	10.5%	0.0%
小中連携教育コース	21.5%	0.3%	1.2%	15.9%	46.6%	14.5%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.4%	1.9%	21.2%	52.7%	21.8%	0.0%
幼小連携教育コース	2.6%	1.4%	23.3%	51.1%	21.6%	0.0%
小中連携教育コース	3.1%	1.6%	20.1%	53.2%	22.0%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.5%	2.5%	18.8%	45.5%	30.7%	0.0%
幼小連携教育コース	2.9%	3.6%	24.2%	44.9%	24.5%	0.0%
小中連携教育コース	3.0%	2.1%	18.8%	46.6%	29.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.6%	1.8%	7.3%	50.8%	39.5%	0.0%
幼小連携教育コース	1.0%	1.2%	9.0%	52.5%	36.3%	0.0%
小中連携教育コース	0.9%	2.1%	7.7%	48.2%	41.2%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
全体	0.3%	0.2%	0.7%	7.3%	91.5%	0.0%
幼小連携教育コース	0.0%	0.3%	1.0%	8.2%	90.5%	0.0%
小中連携教育コース	0.5%	0.0%	1.1%	5.9%	92.6%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	13.5%	31.8%	34.3%	11.1%	9.3%	0.0%
幼小連携教育コース	16.2%	32.2%	32.2%	10.3%	9.0%	0.0%
小中連携教育コース	11.4%	30.6%	34.0%	13.0%	10.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	8.3%	30.2%	32.8%	19.8%	8.9%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	21.1%	7.0%	24.5%	28.1%	13.4%	5.9%	0.0%
小中連携教育コース	21.0%	8.2%	23.1%	25.0%	14.9%	7.7%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
全体	8.7%	6.1%	15.1%	58.5%	11.8%	0.0%
幼小連携教育コース	8.2%	8.8%	16.0%	57.0%	10.1%	0.0%
小中連携教育コース	8.5%	6.1%	14.1%	58.5%	12.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.4%	3.2%	15.1%	52.6%	27.6%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	3.6%	1.8%	3.9%	16.5%	52.3%	21.9%	0.0%
小中連携教育コース	4.0%	0.8%	2.7%	13.6%	51.9%	27.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.1%	4.1%	13.4%	44.0%	37.5%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	21.4%	1.0%	4.1%	12.1%	35.1%	26.3%	0.0%
小中連携教育コース	16.8%	0.5%	1.9%	10.4%	36.7%	33.8%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.5%	1.7%	9.9%	44.3%	43.6%	0.0%
幼小連携教育コース	0.8%	2.6%	11.3%	48.7%	36.6%	0.0%
小中連携教育コース	0.0%	1.9%	8.0%	44.9%	45.2%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.5%	3.3%	29.6%	48.9%	16.6%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	9.3%	1.5%	3.1%	29.6%	41.2%	15.2%	0.0%
小中連携教育コース	9.3%	1.3%	3.7%	25.8%	43.9%	16.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.5%	3.3%	22.9%	49.8%	22.5%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	20.6%	1.5%	2.8%	20.4%	37.9%	16.8%	0.0%
小中連携教育コース	22.3%	1.1%	2.9%	16.8%	39.6%	17.3%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	3.8%	3.1%	18.3%	45.0%	29.8%	0.0%
幼小連携教育コース	3.6%	3.6%	19.8%	47.4%	25.5%	0.0%
小中連携教育コース	4.8%	2.9%	20.2%	43.9%	28.2%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.8%	4.8%	18.2%	45.2%	29.1%	0.0%
幼小連携教育コース	3.4%	6.2%	19.8%	45.6%	25.0%	0.0%
小中連携教育コース	2.1%	4.3%	11.7%	46.8%	35.1%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.4%	3.5%	9.9%	44.3%	41.0%	0.0%
幼小連携教育コース	1.8%	4.4%	11.1%	46.9%	35.8%	0.0%
小中連携教育コース	1.1%	3.2%	8.8%	44.7%	42.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育課程	0.5%	0.3%	0.3%	5.5%	93.3%	0.0%
国際文化課程	0.2%	0.7%	1.5%	7.2%	90.4%	0.0%
人間環境課程	0.0%	0.0%	0.9%	7.0%	92.1%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	10.9%	23.9%	65.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育課程	14.1%	38.4%	29.5%	8.5%	9.5%	0.0%
国際文化課程	7.9%	40.2%	35.4%	11.6%	5.0%	0.0%
人間環境課程	12.6%	45.1%	26.0%	12.6%	3.7%	0.0%
美術・工芸課程	26.1%	19.6%	19.6%	21.7%	13.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育課程	8.0%	8.0%	26.8%	28.0%	19.3%	9.9%	0.0%
国際文化課程	8.1%	10.7%	25.1%	25.3%	23.4%	7.4%	0.0%
人間環境課程	6.5%	12.6%	34.0%	20.9%	20.5%	5.6%	0.0%
美術・工芸課程	19.6%	19.6%	34.8%	17.4%	6.5%	2.2%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育課程	3.4%	6.2%	16.8%	60.6%	13.1%	0.0%
国際文化課程	2.0%	5.2%	14.0%	62.0%	16.8%	0.0%
人間環境課程	3.7%	7.0%	20.5%	57.7%	11.2%	0.0%
美術・工芸課程	4.3%	4.3%	19.6%	63.0%	8.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.2%	2.0%	3.4%	14.7%	54.1%	23.6%	0.0%
国際文化課程	1.7%	0.4%	1.5%	10.0%	60.5%	25.8%	0.0%
人間環境課程	0.9%	3.3%	4.7%	14.0%	60.5%	16.7%	0.0%
美術・工芸課程	4.3%	0.0%	0.0%	21.7%	52.2%	21.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	14.2%	1.3%	3.4%	14.7%	42.0%	24.3%	0.0%
国際文化課程	13.8%	0.2%	1.1%	8.3%	41.0%	35.6%	0.0%
人間環境課程	6.0%	1.4%	2.3%	13.0%	52.1%	25.1%	0.0%
美術・工芸課程	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%	41.3%	50.0%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.7%	2.3%	10.1%	50.8%	36.2%	0.0%
国際文化課程	0.2%	1.7%	4.4%	42.4%	51.3%	0.0%
人間環境課程	1.9%	1.4%	12.6%	55.3%	28.8%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	2.2%	47.8%	50.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	5.7%	1.3%	3.4%	24.0%	53.6%	12.1%	0.0%
国際文化課程	5.2%	1.3%	3.7%	20.1%	57.0%	12.7%	0.0%
人間環境課程	3.3%	0.5%	5.6%	31.6%	48.4%	10.7%	0.0%
美術・工芸課程	8.7%	0.0%	0.0%	32.6%	52.2%	6.5%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	10.6%	0.5%	1.5%	14.7%	55.9%	16.8%	0.0%
国際文化課程	11.8%	0.2%	0.7%	10.0%	59.6%	17.7%	0.0%
人間環境課程	6.5%	0.5%	3.3%	24.7%	51.2%	14.0%	0.0%
美術・工芸課程	28.3%	0.0%	0.0%	10.9%	47.8%	13.0%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.2%	2.2%	19.9%	53.9%	22.8%	0.0%
国際文化課程	0.2%	3.7%	9.6%	55.0%	31.4%	0.0%
人間環境課程	2.8%	4.7%	29.3%	46.5%	16.7%	0.0%
美術・工芸課程	4.3%	4.3%	47.8%	37.0%	6.5%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.5%	4.9%	14.1%	45.2%	34.3%	0.0%
国際文化課程	1.5%	7.6%	12.2%	40.8%	37.8%	0.0%
人間環境課程	0.9%	6.0%	23.7%	46.0%	23.3%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	17.4%	54.3%	28.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.0%	4.2%	10.6%	48.2%	35.0%	0.0%
国際文化課程	0.7%	2.4%	8.3%	51.7%	36.9%	0.0%
人間環境課程	2.3%	3.3%	11.2%	54.4%	28.8%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	8.7%	37.0%	54.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育課程	0.3%	0.2%	0.7%	8.5%	90.3%	0.0%
国際文化課程	0.3%	0.0%	1.0%	9.4%	89.4%	0.0%
人間環境課程	0.0%	0.0%	0.5%	8.6%	91.0%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	1.9%	7.4%	25.9%	64.8%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育課程	9.9%	32.9%	30.3%	13.7%	13.2%	0.0%
国際文化課程	13.2%	36.1%	28.7%	16.5%	5.5%	0.0%
人間環境課程	18.6%	32.9%	27.1%	10.0%	11.4%	0.0%
美術・工芸課程	24.1%	24.1%	16.7%	18.5%	16.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育課程	13.2%	6.2%	23.4%	22.9%	20.9%	13.4%	0.0%
国際文化課程	14.2%	12.3%	32.3%	14.5%	16.5%	10.3%	0.0%
人間環境課程	11.0%	10.0%	29.0%	27.1%	20.0%	2.9%	0.0%
美術・工芸課程	16.7%	11.1%	33.3%	22.2%	16.7%	0.0%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育課程	3.3%	4.5%	12.9%	63.0%	16.2%	0.0%
国際文化課程	1.0%	8.1%	12.9%	57.7%	20.3%	0.0%
人間環境課程	3.3%	8.1%	14.3%	65.7%	8.6%	0.0%
美術・工芸課程	5.6%	3.7%	7.4%	74.1%	9.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.3%	1.3%	3.0%	14.2%	55.7%	24.4%	0.0%
国際文化課程	0.6%	0.3%	2.3%	12.6%	56.1%	28.1%	0.0%
人間環境課程	0.0%	0.5%	2.9%	16.7%	62.4%	17.6%	0.0%
美術・工芸課程	3.7%	0.0%	0.0%	7.4%	63.0%	25.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	8.9%	1.0%	1.8%	11.7%	48.5%	28.1%	0.0%
国際文化課程	12.3%	0.0%	0.6%	12.3%	39.4%	35.5%	0.0%
人間環境課程	9.0%	0.0%	1.4%	7.6%	58.6%	23.3%	0.0%
美術・工芸課程	3.7%	0.0%	0.0%	7.4%	40.7%	48.1%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.0%	2.2%	10.5%	51.0%	35.3%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	5.5%	44.8%	49.7%	0.0%
人間環境課程	0.5%	0.0%	7.6%	65.2%	26.7%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	0.0%	48.1%	51.9%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	4.7%	1.0%	1.8%	18.4%	57.5%	16.6%	0.0%
国際文化課程	6.5%	0.0%	4.2%	16.8%	53.2%	19.4%	0.0%
人間環境課程	2.9%	0.0%	2.9%	30.5%	57.6%	6.2%	0.0%
美術・工芸課程	3.7%	1.9%	5.6%	25.9%	38.9%	24.1%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	13.2%	0.7%	0.8%	14.5%	48.7%	22.1%	0.0%
国際文化課程	15.2%	0.3%	1.0%	17.4%	44.8%	21.3%	0.0%
人間環境課程	7.1%	0.0%	2.4%	18.6%	61.4%	10.5%	0.0%
美術・工芸課程	18.5%	0.0%	0.0%	22.2%	37.0%	22.2%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.5%	3.0%	16.6%	56.0%	21.9%	0.0%
国際文化課程	0.0%	1.3%	14.2%	50.0%	34.5%	0.0%
人間環境課程	1.9%	2.9%	25.7%	55.2%	14.3%	0.0%
美術・工芸課程	3.7%	0.0%	31.5%	38.9%	25.9%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.0%	3.0%	12.9%	47.8%	34.3%	0.0%
国際文化課程	0.6%	7.4%	15.5%	41.3%	35.2%	0.0%
人間環境課程	1.9%	5.7%	28.6%	48.1%	15.7%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	1.9%	24.1%	40.7%	33.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.0%	3.7%	11.7%	51.3%	32.3%	0.0%
国際文化課程	0.0%	1.9%	10.3%	44.8%	42.9%	0.0%
人間環境課程	0.0%	1.0%	11.4%	61.9%	25.7%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	7.4%	42.6%	50.0%	0.0%

A−1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20〜40%	40〜60%	60〜80%	80%以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A−2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%

A−3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%

A−4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

B−1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

B−2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

B−3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C−1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C−2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%

C−3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C−4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

D−1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次	0.1%	0.5%	1.2%	12.7%	85.5%	0.0%
経済学科	3.8%	1.9%	5.3%	11.3%	77.7%	0.0%
経営学科	1.2%	2.1%	3.3%	9.6%	83.8%	0.0%
経済法学科	3.8%	0.5%	4.9%	15.8%	75.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次	23.1%	48.1%	19.6%	6.3%	3.0%	0.0%
経済学科	21.5%	37.7%	30.9%	7.5%	2.3%	0.0%
経営学科	21.6%	42.6%	21.3%	10.2%	4.2%	0.0%
経済法学科	28.8%	40.8%	17.9%	10.3%	2.2%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次	19.5%	8.6%	28.0%	25.7%	14.1%	4.2%	0.0%
経済学科	13.6%	9.1%	26.4%	26.8%	18.9%	5.3%	0.0%
経営学科	12.0%	7.8%	33.3%	24.9%	15.3%	6.6%	0.0%
経済法学科	12.0%	12.0%	22.3%	19.6%	28.3%	6.0%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次	7.7%	10.2%	18.2%	56.7%	7.2%	0.0%
経済学科	5.3%	6.4%	17.4%	58.1%	12.8%	0.0%
経営学科	5.7%	8.1%	19.2%	52.3%	14.7%	0.0%
経済法学科	5.4%	9.2%	15.8%	62.0%	7.6%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	1.3%	0.7%	3.1%	21.9%	59.2%	13.8%	0.0%
経済学科	1.1%	3.8%	5.7%	16.6%	60.8%	12.1%	0.0%
経営学科	2.1%	1.2%	4.8%	23.4%	45.6%	22.8%	0.0%
経済法学科	2.7%	0.5%	7.1%	20.1%	55.4%	14.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	35.8%	0.6%	2.3%	17.1%	28.8%	15.3%	0.0%
経済学科	23.0%	3.4%	4.5%	18.9%	37.7%	12.5%	0.0%
経営学科	16.8%	1.5%	3.6%	22.8%	33.3%	21.9%	0.0%
経済法学科	17.9%	0.5%	5.4%	19.0%	39.1%	17.9%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	0.8%	2.1%	14.2%	57.3%	25.5%	0.0%
経済学科	2.3%	4.9%	18.5%	55.1%	19.2%	0.0%
経営学科	1.8%	3.0%	18.9%	47.7%	28.5%	0.0%
経済法学科	1.6%	1.6%	17.4%	58.2%	21.2%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	12.9%	0.4%	3.9%	29.1%	46.1%	7.7%	0.0%
経済学科	9.8%	3.0%	6.4%	27.9%	43.8%	9.1%	0.0%
経営学科	7.5%	0.6%	5.7%	33.6%	39.6%	12.9%	0.0%
経済法学科	8.2%	1.1%	10.9%	23.9%	46.7%	9.2%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	17.8%	0.2%	2.2%	13.2%	54.9%	11.7%	0.0%
経済学科	14.0%	1.1%	3.8%	18.1%	51.7%	11.3%	0.0%
経営学科	9.3%	0.9%	3.9%	21.9%	48.6%	15.3%	0.0%
経済法学科	12.0%	0.5%	3.8%	19.0%	54.3%	10.3%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	0.7%	2.9%	23.0%	54.7%	18.8%	0.0%
経済学科	2.6%	4.5%	26.0%	51.7%	15.1%	0.0%
経営学科	3.3%	3.3%	25.2%	44.4%	23.7%	0.0%
経済法学科	2.7%	5.4%	25.5%	48.9%	17.4%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	4.2%	10.3%	32.6%	38.7%	14.3%	0.0%
経済学科	5.7%	12.1%	32.5%	36.2%	13.6%	0.0%
経営学科	3.3%	7.5%	38.4%	35.7%	15.0%	0.0%
経済法学科	6.5%	8.7%	34.8%	38.6%	11.4%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	0.7%	3.0%	14.0%	56.3%	26.0%	0.0%
経済学科	3.0%	6.8%	23.0%	52.8%	14.3%	0.0%
経営学科	2.1%	4.2%	18.3%	54.1%	21.3%	0.0%
経済法学科	3.3%	7.1%	20.1%	50.5%	19.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次	0.8%	0.3%	1.5%	14.2%	83.2%	0.0%
経済学科	3.1%	0.6%	3.1%	18.4%	74.8%	0.0%
経営学科	6.3%	0.6%	1.9%	15.1%	76.1%	0.0%
経済法学科	3.3%	2.5%	4.1%	19.8%	70.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次	17.9%	46.5%	24.7%	7.4%	3.5%	0.0%
経済学科	27.0%	32.5%	25.8%	8.6%	6.1%	0.0%
経営学科	31.4%	32.7%	22.0%	9.4%	4.4%	0.0%
経済法学科	24.8%	39.7%	24.0%	4.1%	7.4%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次	13.6%	8.7%	23.3%	33.6%	16.4%	4.4%	0.0%
経済学科	10.4%	9.2%	31.3%	24.5%	16.6%	8.0%	0.0%
経営学科	18.2%	8.8%	20.8%	22.6%	18.9%	10.7%	0.0%
経済法学科	9.1%	4.1%	26.4%	24.8%	23.1%	12.4%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次	6.8%	8.4%	19.1%	58.6%	7.1%	0.0%
経済学科	7.4%	6.7%	18.4%	58.9%	8.6%	0.0%
経営学科	12.6%	6.9%	14.5%	48.4%	17.6%	0.0%
経済法学科	5.8%	3.3%	24.0%	52.9%	14.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	2.4%	2.8%	7.9%	22.7%	52.6%	11.6%	0.0%
経済学科	0.6%	1.2%	4.9%	20.2%	58.3%	14.7%	0.0%
経営学科	3.1%	1.3%	1.3%	24.5%	44.0%	25.8%	0.0%
経済法学科	2.5%	0.8%	0.0%	18.2%	57.0%	21.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	28.7%	1.6%	3.7%	20.9%	34.8%	10.3%	0.0%
経済学科	23.3%	1.2%	1.8%	23.3%	38.0%	12.3%	0.0%
経営学科	22.0%	0.6%	0.0%	22.6%	30.8%	23.9%	0.0%
経済法学科	23.1%	0.0%	0.8%	14.0%	40.5%	21.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	2.4%	5.7%	13.2%	57.2%	21.5%	0.0%
経済学科	0.0%	5.5%	18.4%	58.3%	17.8%	0.0%
経営学科	1.9%	0.6%	15.7%	44.7%	37.1%	0.0%
経済法学科	0.8%	0.0%	11.6%	57.9%	29.8%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	12.6%	2.8%	5.3%	25.9%	45.1%	8.3%	0.0%
経済学科	8.0%	1.8%	3.1%	29.4%	47.9%	9.8%	0.0%
経営学科	11.3%	0.0%	3.8%	28.9%	39.0%	17.0%	0.0%
経済法学科	7.4%	0.8%	1.7%	26.4%	49.6%	14.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	15.5%	1.8%	4.4%	18.9%	49.7%	9.7%	0.0%
経済学科	8.6%	1.2%	1.2%	19.6%	57.1%	12.3%	0.0%
経営学科	14.5%	0.0%	1.3%	17.0%	47.2%	20.1%	0.0%
経済法学科	9.1%	0.0%	1.7%	14.9%	58.7%	15.7%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	3.9%	5.5%	20.8%	51.0%	18.8%	0.0%
経済学科	0.6%	0.6%	25.2%	60.1%	13.5%	0.0%
経営学科	1.9%	1.9%	21.4%	50.9%	23.9%	0.0%
経済法学科	0.8%	0.0%	14.0%	59.5%	25.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	8.1%	9.2%	30.6%	41.1%	11.1%	0.0%
経済学科	6.1%	13.5%	36.8%	32.5%	11.0%	0.0%
経営学科	3.1%	8.2%	41.5%	34.6%	12.6%	0.0%
経済法学科	4.1%	5.8%	32.2%	46.3%	11.6%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	4.9%	8.9%	18.8%	49.1%	18.3%	0.0%
経済学科	1.2%	6.7%	20.2%	52.1%	19.6%	0.0%
経営学科	3.1%	0.0%	19.5%	46.5%	30.8%	0.0%
経済法学科	0.8%	1.7%	11.6%	60.3%	25.6%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数理科学科	2.2%	1.1%	2.2%	11.4%	83.2%	0.0%
物理科学科	1.4%	1.4%	0.7%	4.1%	92.5%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.3%	0.3%	10.2%	89.2%	0.0%
機能物質化学科	0.2%	0.0%	0.4%	5.9%	93.5%	0.0%
機械システム工学科	0.1%	0.0%	0.0%	2.2%	97.7%	0.0%
電気電子工学科	0.5%	0.0%	0.3%	6.7%	92.5%	0.0%
都市工学科	1.1%	0.2%	0.8%	5.4%	92.4%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	7.6%	28.8%	39.1%	13.6%	10.9%	0.0%
物理科学科	7.5%	29.9%	37.4%	17.0%	8.2%	0.0%
知能情報システム学科	4.9%	30.5%	34.2%	20.3%	10.0%	0.0%
機能物質化学科	5.6%	21.7%	33.6%	18.8%	20.3%	0.0%
機械システム工学科	7.3%	34.9%	39.4%	11.6%	6.7%	0.0%
電気電子工学科	5.2%	33.1%	39.6%	13.4%	8.6%	0.0%
都市工学科	15.2%	30.3%	28.8%	15.9%	9.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	13.0%	14.1%	33.2%	24.5%	2.2%	13.0%	0.0%
物理科学科	19.7%	17.0%	32.0%	24.5%	2.0%	4.8%	0.0%
知能情報システム学科	13.3%	7.6%	31.4%	26.9%	14.9%	5.8%	0.0%
機能物質化学科	10.6%	9.7%	28.6%	24.3%	15.8%	11.0%	0.0%
機械システム工学科	12.8%	9.8%	32.2%	24.6%	14.4%	6.3%	0.0%
電気電子工学科	7.2%	11.7%	26.8%	29.0%	17.5%	7.8%	0.0%
都市工学科	15.2%	9.8%	22.1%	28.0%	17.3%	7.6%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学科	4.9%	1.6%	16.3%	51.6%	25.5%	0.0%
物理科学科	10.2%	7.5%	24.5%	42.9%	15.0%	0.0%
知能情報システム学科	4.6%	5.4%	21.7%	56.4%	12.0%	0.0%
機能物質化学科	3.3%	5.6%	14.5%	61.9%	14.7%	0.0%
機械システム工学科	3.8%	6.7%	22.3%	56.2%	11.1%	0.0%
電気電子工学科	4.1%	5.5%	16.5%	58.7%	15.2%	0.0%
都市工学科	6.5%	6.6%	19.4%	57.0%	10.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	1.1%	1.1%	4.9%	23.4%	50.5%	19.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.7%	1.4%	19.0%	60.5%	18.4%	0.0%
知能情報システム学科	1.9%	2.2%	5.1%	27.2%	45.4%	18.1%	0.0%
機能物質化学科	4.6%	0.6%	3.3%	20.3%	48.7%	22.5%	0.0%
機械システム工学科	0.7%	2.5%	5.2%	26.6%	51.8%	13.1%	0.0%
電気電子工学科	1.1%	1.3%	3.8%	26.8%	53.5%	13.5%	0.0%
都市工学科	3.1%	2.2%	5.2%	30.2%	48.0%	11.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	16.8%	0.0%	0.0%	16.8%	35.3%	31.0%	0.0%
物理科学科	9.5%	0.0%	2.0%	14.3%	48.3%	25.9%	0.0%
知能情報システム学科	11.7%	2.1%	2.7%	22.0%	38.7%	22.9%	0.0%
機能物質化学科	11.7%	0.4%	2.0%	18.0%	44.1%	23.8%	0.0%
機械システム工学科	7.6%	1.0%	3.3%	22.0%	49.8%	16.3%	0.0%
電気電子工学科	19.2%	1.0%	2.3%	22.2%	43.9%	11.4%	0.0%
都市工学科	16.0%	1.7%	3.2%	26.9%	37.6%	14.6%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	1.1%	2.7%	17.4%	52.2%	26.6%	0.0%
物理科学科	0.7%	1.4%	18.4%	51.0%	28.6%	0.0%
知能情報システム学科	3.6%	4.8%	20.6%	46.8%	24.2%	0.0%
機能物質化学科	4.3%	2.0%	15.4%	49.6%	28.6%	0.0%
機械システム工学科	1.7%	4.4%	19.9%	53.9%	20.1%	0.0%
電気電子工学科	0.5%	3.1%	20.6%	59.9%	16.0%	0.0%
都市工学科	4.2%	4.2%	23.4%	50.6%	17.7%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	7.1%	3.3%	6.0%	28.8%	41.8%	13.0%	0.0%
物理科学科	9.5%	4.1%	13.6%	23.8%	41.5%	7.5%	0.0%
知能情報システム学科	6.6%	1.5%	6.0%	25.4%	48.7%	11.8%	0.0%
機能物質化学科	7.1%	0.7%	6.5%	24.7%	46.8%	14.1%	0.0%
機械システム工学科	5.5%	1.6%	7.1%	29.1%	45.9%	10.8%	0.0%
電気電子工学科	5.2%	1.0%	6.9%	35.9%	43.2%	7.8%	0.0%
都市工学科	9.5%	2.8%	6.6%	30.7%	41.7%	8.6%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	10.3%	0.5%	0.5%	20.7%	53.3%	14.7%	0.0%
物理科学科	26.5%	0.0%	1.4%	21.1%	44.2%	6.8%	0.0%
知能情報システム学科	12.3%	0.7%	2.8%	18.5%	42.8%	22.9%	0.0%
機能物質化学科	11.3%	0.2%	1.5%	15.4%	56.1%	15.4%	0.0%
機械システム工学科	14.8%	1.2%	2.6%	19.2%	49.1%	13.1%	0.0%
電気電子工学科	6.7%	0.5%	0.3%	21.2%	58.2%	13.1%	0.0%
都市工学科	16.3%	1.6%	3.3%	21.5%	46.5%	10.8%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	7.6%	1.1%	29.9%	45.1%	16.3%	0.0%
物理科学科	0.7%	4.8%	21.8%	51.0%	21.8%	0.0%
知能情報システム学科	2.8%	5.2%	25.9%	41.9%	24.2%	0.0%
機能物質化学科	4.8%	1.9%	23.2%	50.6%	19.5%	0.0%
機械システム工学科	4.5%	4.5%	31.1%	46.0%	13.8%	0.0%
電気電子工学科	0.7%	2.9%	27.9%	52.5%	16.0%	0.0%
都市工学科	4.1%	3.9%	28.9%	49.5%	13.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	10.3%	4.3%	38.0%	29.9%	17.4%	0.0%
物理科学科	4.1%	12.2%	32.7%	37.4%	13.6%	0.0%
知能情報システム学科	7.8%	8.2%	26.3%	39.0%	18.7%	0.0%

機能物質化学科	6.1%	3.9%	32.0%	40.5%	17.5%	0.0%
機械システム工学科	4.5%	8.0%	37.4%	38.4%	11.6%	0.0%
電気電子工学科	5.1%	6.4%	35.4%	43.6%	9.6%	0.0%
都市工学科	11.7%	9.3%	33.1%	34.5%	11.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4.3%	2.7%	14.7%	57.6%	20.7%	0.0%
物理科学科	2.0%	0.7%	21.8%	57.8%	17.7%	0.0%
知能情報システム学科	3.1%	5.5%	19.4%	47.1%	24.8%	0.0%
機能物質化学科	1.7%	3.0%	16.0%	55.9%	23.4%	0.0%
機械システム工学科	1.5%	5.5%	16.7%	59.1%	17.2%	0.0%
電気電子工学科	1.0%	4.6%	21.2%	59.5%	13.7%	0.0%
都市工学科	4.6%	5.7%	20.5%	53.6%	15.5%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数理科学科	1.2%	0.0%	2.4%	14.1%	82.4%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.5%	0.5%	5.2%	93.7%	0.0%
知能情報システム学科	0.5%	0.8%	1.0%	8.2%	89.6%	0.0%
機能物質化学科	0.3%	0.0%	0.5%	4.5%	94.7%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.3%	3.2%	96.4%	0.0%
電気電子工学科	0.2%	0.2%	1.4%	11.1%	87.1%	0.0%
都市工学科	1.1%	0.5%	1.3%	8.7%	88.5%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	7.6%	20.0%	31.2%	31.8%	9.4%	0.0%
物理科学科	5.8%	31.4%	40.3%	9.9%	12.6%	0.0%
知能情報システム学科	6.4%	27.1%	29.4%	20.4%	16.8%	0.0%
機能物質化学科	4.8%	18.1%	34.6%	20.2%	22.3%	0.0%
機械システム工学科	8.9%	22.6%	41.7%	14.4%	12.5%	0.0%
電気電子工学科	5.6%	31.5%	37.1%	13.3%	12.5%	0.0%
都市工学科	10.3%	30.9%	27.7%	15.5%	15.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	12.4%	10.0%	32.4%	25.3%	11.8%	8.2%	0.0%
物理科学科	18.8%	4.7%	32.5%	29.8%	9.4%	4.7%	0.0%
知能情報システム学科	11.6%	6.5%	26.6%	25.0%	19.9%	10.4%	0.0%
機能物質化学科	10.6%	9.8%	18.4%	28.5%	19.9%	12.8%	0.0%
機械システム工学科	8.2%	7.5%	29.2%	27.7%	17.9%	9.4%	0.0%
電気電子工学科	4.7%	7.7%	25.7%	29.3%	23.2%	9.5%	0.0%
都市工学科	7.1%	7.1%	22.8%	28.4%	20.5%	14.3%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学科	3.5%	2.4%	15.9%	62.4%	15.9%	0.0%
物理科学科	7.9%	8.4%	18.3%	54.5%	11.0%	0.0%
知能情報システム学科	3.3%	4.9%	19.7%	55.8%	16.3%	0.0%
機能物質化学科	3.2%	7.2%	10.1%	65.7%	13.8%	0.0%
機械システム工学科	3.8%	3.1%	21.9%	58.3%	13.0%	0.0%
電気電子工学科	0.8%	3.8%	15.0%	61.4%	19.1%	0.0%
都市工学科	2.4%	3.7%	11.9%	59.9%	22.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	2.9%	23.5%	61.2%	12.4%	0.0%
物理科学科	3.7%	1.6%	1.0%	17.8%	47.1%	28.8%	0.0%
知能情報システム学科	0.7%	2.3%	4.6%	18.4%	54.2%	19.9%	0.0%
機能物質化学科	6.1%	0.8%	1.6%	13.8%	55.3%	22.3%	0.0%
機械システム工学科	0.9%	2.4%	5.5%	23.8%	47.5%	20.0%	0.0%
電気電子工学科	0.8%	1.1%	3.3%	18.5%	56.5%	19.8%	0.0%
都市工学科	1.3%	0.2%	2.1%	16.8%	62.3%	17.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	3.5%	0.0%	1.2%	21.2%	47.1%	27.1%	0.0%
物理科学科	7.3%	1.6%	2.1%	13.1%	40.8%	35.1%	0.0%
知能情報システム学科	7.2%	1.8%	2.4%	16.2%	44.2%	28.2%	0.0%
機能物質化学科	7.4%	0.8%	0.5%	11.4%	52.9%	26.9%	0.0%
機械システム工学科	5.6%	2.2%	3.4%	18.3%	47.0%	23.4%	0.0%
電気電子工学科	15.2%	0.9%	2.2%	16.2%	46.2%	19.3%	0.0%
都市工学科	10.4%	0.3%	1.3%	16.2%	51.9%	19.9%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	1.8%	16.5%	60.0%	21.8%	0.0%
物理科学科	1.6%	2.1%	11.0%	46.1%	39.3%	0.0%
知能情報システム学科	1.6%	1.8%	16.6%	50.1%	29.9%	0.0%
機能物質化学科	4.0%	1.6%	8.0%	56.4%	30.1%	0.0%
機械システム工学科	2.6%	1.5%	19.1%	50.9%	25.8%	0.0%
電気電子工学科	1.0%	1.8%	13.4%	58.9%	24.9%	0.0%
都市工学科	1.0%	1.4%	9.0%	65.2%	23.4%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	6.5%	0.6%	1.8%	32.4%	51.2%	7.6%	0.0%
物理科学科	5.8%	3.1%	4.2%	27.7%	42.9%	16.2%	0.0%
知能情報システム学科	6.0%	2.0%	6.4%	20.7%	48.6%	16.3%	0.0%
機能物質化学科	6.6%	2.1%	4.0%	19.9%	53.5%	13.8%	0.0%
機械システム工学科	5.0%	1.9%	7.4%	21.0%	47.9%	16.9%	0.0%
電気電子工学科	1.4%	1.9%	5.5%	24.1%	52.8%	14.3%	0.0%
都市工学科	3.5%	1.1%	5.1%	19.2%	56.9%	14.1%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	7.6%	1.2%	0.0%	15.9%	65.3%	10.0%	0.0%
物理科学科	11.5%	1.0%	2.1%	17.8%	46.1%	21.5%	0.0%
知能情報システム学科	11.9%	0.8%	2.4%	15.5%	48.9%	20.4%	0.0%
機能物質化学科	11.4%	0.5%	0.8%	14.1%	55.3%	17.8%	0.0%
機械システム工学科	8.4%	1.2%	2.7%	20.7%	46.7%	20.3%	0.0%
電気電子工学科	3.3%	1.0%	3.4%	17.5%	55.3%	19.4%	0.0%
都市工学科	6.1%	0.3%	1.4%	14.3%	60.3%	17.6%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.6%	7.6%	28.8%	46.5%	16.5%	0.0%
物理科学科	2.1%	2.6%	22.0%	44.5%	28.8%	0.0%
知能情報システム学科	2.0%	2.9%	20.7%	50.9%	23.5%	0.0%
機能物質化学科	4.5%	2.7%	20.2%	50.8%	21.8%	0.0%
機械システム工学科	1.4%	5.0%	28.0%	43.4%	22.2%	0.0%
電気電子工学科	1.1%	1.4%	25.8%	51.8%	19.9%	0.0%
都市工学科	2.9%	2.7%	25.6%	52.4%	16.3%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	5.3%	5.9%	30.0%	40.0%	18.8%	0.0%
物理科学科	1.6%	10.5%	28.3%	37.7%	22.0%	0.0%
知能情報システム学科	2.1%	4.4%	20.6%	49.1%	23.8%	0.0%

機能物質化学科	5.6%	4.0%	18.1%	48.7%	23.7%	0.0%
機械システム工学科	2.7%	7.2%	29.9%	40.2%	20.0%	0.0%
電気電子工学科	3.4%	4.6%	23.9%	45.6%	22.5%	0.0%
都市工学科	3.8%	3.5%	27.9%	47.1%	17.6%	0.0%

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	2.9%	15.9%	57.6%	23.5%	0.0%
物理科学科	1.6%	3.1%	12.0%	46.1%	37.2%	0.0%
知能情報システム学科	3.4%	3.4%	15.8%	51.4%	25.9%	0.0%
機能物質化学科	1.6%	2.4%	10.4%	56.6%	29.0%	0.0%
機械システム工学科	1.9%	2.7%	17.3%	55.2%	22.9%	0.0%
電気電子工学科	1.6%	2.4%	15.5%	56.1%	24.3%	0.0%
都市工学科	1.4%	4.5%	11.2%	59.1%	23.7%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.9%	1.1%	5.0%	93.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.9%	0.4%	0.0%	2.1%	96.6%	0.0%
資源循環生産学コース	0.5%	0.5%	0.2%	2.7%	96.1%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	1.7%	5.1%	93.2%	0.0%
生命機能科学科	0.4%	0.0%	0.2%	2.8%	96.6%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	11.0%	37.5%	40.6%	9.6%	1.3%	0.0%
生物環境保全学コース	19.6%	30.6%	29.4%	11.1%	9.4%	0.0%
資源循環生産学コース	17.5%	37.4%	32.0%	9.5%	3.6%	0.0%
地域社会開発学コース	13.6%	18.6%	40.7%	18.6%	8.5%	0.0%
生命機能科学科	8.7%	37.0%	36.8%	12.7%	4.8%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	9.6%	15.1%	32.7%	27.2%	12.9%	2.4%	0.0%
生物環境保全学コース	14.9%	12.8%	37.0%	14.5%	9.4%	11.5%	0.0%
資源循環生産学コース	10.0%	10.9%	37.4%	21.6%	13.8%	6.3%	0.0%
地域社会開発学コース	16.9%	5.1%	18.6%	27.1%	16.9%	15.3%	0.0%
生命機能科学科	8.1%	11.3%	40.0%	22.8%	15.0%	2.8%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
応用生物科学科	5.3%	5.3%	19.3%	61.2%	9.0%	0.0%
生物環境保全学コース	6.0%	9.4%	14.9%	55.3%	14.5%	0.0%
資源循環生産学コース	4.1%	6.8%	20.9%	58.0%	10.2%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	1.7%	13.6%	67.8%	16.9%	0.0%
生命機能科学科	2.6%	5.7%	20.0%	65.0%	6.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	2.9%	0.4%	3.9%	25.2%	53.5%	14.0%	0.0%
生物環境保全学コース	1.3%	1.7%	6.0%	20.9%	48.1%	22.1%	0.0%
資源循環生産学コース	1.5%	0.0%	1.7%	24.8%	54.1%	18.0%	0.0%
地域社会開発学コース	3.4%	0.0%	3.4%	10.2%	62.7%	20.3%	0.0%
生命機能科学科	0.8%	0.8%	2.4%	18.8%	62.4%	14.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	16.4%	0.4%	2.2%	24.6%	37.7%	18.6%	0.0%
生物環境保全学コース	14.0%	1.7%	2.1%	15.7%	39.1%	27.2%	0.0%
資源循環生産学コース	15.0%	0.5%	1.9%	24.3%	37.9%	20.4%	0.0%
地域社会開発学コース	13.6%	0.0%	1.7%	10.2%	42.4%	32.2%	0.0%
生命機能科学科	13.1%	0.2%	1.2%	19.8%	47.9%	17.8%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.2%	1.3%	19.7%	50.2%	28.5%	0.0%
生物環境保全学コース	1.7%	3.4%	15.7%	47.2%	31.9%	0.0%
資源循環生産学コース	0.2%	1.0%	11.4%	50.7%	36.7%	0.0%
地域社会開発学コース	1.7%	0.0%	1.7%	52.5%	44.1%	0.0%
生命機能科学科	0.6%	1.6%	13.9%	62.2%	21.8%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	7.5%	1.5%	6.8%	32.9%	42.8%	8.6%	0.0%
生物環境保全学コース	4.7%	2.1%	5.5%	21.7%	48.1%	17.9%	0.0%
資源循環生産学コース	4.4%	1.7%	4.6%	30.3%	47.3%	11.7%	0.0%
地域社会開発学コース	1.7%	0.0%	0.0%	22.0%	64.4%	11.9%	0.0%
生命機能科学科	6.3%	0.6%	4.6%	28.9%	53.5%	6.1%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	11.4%	0.7%	0.9%	27.4%	46.9%	12.7%	0.0%
生物環境保全学コース	12.8%	0.4%	3.4%	21.3%	43.8%	18.3%	0.0%
資源循環生産学コース	10.2%	0.2%	2.4%	22.1%	48.5%	16.5%	0.0%
地域社会開発学コース	10.2%	0.0%	5.1%	8.5%	55.9%	20.3%	0.0%
生命機能科学科	9.3%	0.4%	2.0%	18.8%	58.0%	11.5%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.9%	2.6%	35.7%	46.5%	14.3%	0.0%
生物環境保全学コース	1.7%	4.3%	32.8%	38.7%	22.6%	0.0%
資源循環生産学コース	2.4%	2.7%	31.6%	43.9%	19.4%	0.0%
地域社会開発学コース	5.1%	0.0%	25.4%	50.8%	18.6%	0.0%
生命機能科学科	1.6%	3.2%	26.1%	51.5%	17.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	2.0%	4.8%	31.4%	41.4%	20.4%	0.0%
生物環境保全学コース	3.0%	3.8%	16.2%	48.1%	28.9%	0.0%
資源循環生産学コース	5.1%	8.0%	28.6%	39.3%	18.9%	0.0%
地域社会開発学コース	3.4%	0.0%	15.3%	45.8%	35.6%	0.0%
生命機能科学科	6.7%	7.7%	33.3%	41.6%	10.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.4%	2.6%	21.3%	52.9%	22.8%	0.0%
生物環境保全学コース	2.1%	5.1%	22.1%	44.7%	26.0%	0.0%
資源循環生産学コース	1.2%	2.2%	16.3%	52.7%	27.7%	0.0%
地域社会開発学コース	1.7%	0.0%	5.1%	59.3%	33.9%	0.0%
生命機能科学科	1.2%	3.4%	16.0%	58.2%	21.2%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	0.5%	0.2%	1.1%	6.3%	91.9%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%	91.5%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.9%	3.4%	95.7%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	2.7%	7.5%	89.7%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.8%	4.3%	95.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	14.5%	45.3%	25.0%	8.6%	6.6%	0.0%
生物環境保全学コース	12.4%	27.1%	27.9%	16.3%	16.3%	0.0%
資源循環生産学コース	27.6%	34.5%	23.3%	5.2%	9.5%	0.0%
地域社会開発学コース	16.4%	41.8%	26.7%	9.6%	5.5%	0.0%
生命機能科学科	5.8%	38.6%	31.1%	11.0%	13.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	9.3%	10.6%	32.6%	24.7%	13.8%	9.1%	0.0%
生物環境保全学コース	12.4%	9.3%	25.6%	21.7%	9.3%	21.7%	0.0%
資源循環生産学コース	15.1%	16.8%	35.3%	19.4%	7.3%	6.0%	0.0%
地域社会開発学コース	15.8%	12.3%	30.1%	21.9%	13.0%	6.8%	0.0%
生命機能科学科	8.3%	11.0%	25.6%	30.6%	17.0%	7.5%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
応用生物科学科	4.1%	7.0%	24.2%	54.4%	10.4%	0.0%
生物環境保全学コース	1.6%	5.4%	17.8%	48.1%	27.1%	0.0%
資源循環生産学コース	3.4%	4.3%	28.9%	53.0%	10.3%	0.0%
地域社会開発学コース	5.5%	8.9%	26.7%	46.6%	12.3%	0.0%
生命機能科学科	3.3%	4.3%	21.6%	59.1%	11.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	1.6%	0.9%	3.0%	24.3%	53.0%	17.2%	0.0%
生物環境保全学コース	0.8%	0.0%	0.0%	11.6%	48.1%	39.5%	0.0%
資源循環生産学コース	1.7%	0.0%	3.0%	25.9%	51.3%	18.1%	0.0%
地域社会開発学コース	1.4%	2.1%	9.6%	32.9%	37.7%	16.4%	0.0%
生命機能科学科	1.0%	0.0%	0.8%	21.3%	60.2%	16.8%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	19.5%	0.2%	1.6%	27.7%	34.9%	16.1%	0.0%
生物環境保全学コース	10.9%	0.0%	0.0%	7.8%	35.7%	45.7%	0.0%
資源循環生産学コース	12.1%	0.0%	0.9%	16.4%	41.4%	29.3%	0.0%
地域社会開発学コース	17.1%	0.0%	4.8%	28.8%	32.2%	17.1%	0.0%
生命機能科学科	17.5%	0.3%	1.3%	17.3%	42.6%	21.1%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	1.3%	1.3%	14.8%	58.5%	24.2%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	1.6%	42.6%	55.8%	0.0%
資源循環生産学コース	0.4%	0.9%	14.2%	52.6%	31.9%	0.0%
地域社会開発学コース	4.1%	7.5%	19.2%	45.2%	24.0%	0.0%
生命機能科学科	0.3%	0.3%	10.8%	60.2%	28.6%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	7.7%	1.3%	7.0%	34.9%	39.7%	9.5%	0.0%
生物環境保全学コース	2.3%	0.0%	1.6%	25.6%	40.3%	30.2%	0.0%
資源循環生産学コース	6.5%	0.9%	2.6%	32.8%	45.7%	11.6%	0.0%
地域社会開発学コース	10.3%	2.7%	7.5%	34.2%	37.0%	8.2%	0.0%
生命機能科学科	6.5%	0.8%	4.3%	27.8%	49.6%	11.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	8.6%	0.5%	2.1%	18.6%	55.6%	14.5%	0.0%
生物環境保全学コース	10.9%	0.0%	0.0%	10.1%	41.9%	37.2%	0.0%
資源循環生産学コース	16.4%	0.0%	1.3%	19.4%	50.0%	12.9%	0.0%
地域社会開発学コース	11.0%	0.0%	6.2%	24.7%	43.2%	15.1%	0.0%
生命機能科学科	9.0%	0.3%	0.5%	17.3%	58.4%	14.5%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	1.8%	4.8%	28.1%	46.7%	18.6%	0.0%
生物環境保全学コース	2.3%	0.8%	20.2%	39.5%	37.2%	0.0%
資源循環生産学コース	2.6%	0.9%	34.1%	43.1%	19.4%	0.0%
地域社会開発学コース	8.2%	7.5%	41.1%	32.2%	11.0%	0.0%
生命機能科学科	3.5%	3.5%	23.1%	50.9%	19.0%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	5.4%	9.1%	39.2%	32.6%	13.8%	0.0%
生物環境保全学コース	2.3%	1.6%	17.1%	38.8%	40.3%	0.0%
資源循環生産学コース	1.3%	3.9%	22.4%	48.7%	23.7%	0.0%
地域社会開発学コース	11.0%	16.4%	28.1%	26.7%	17.8%	0.0%
生命機能科学科	7.0%	5.3%	33.8%	38.6%	15.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	1.1%	1.8%	17.7%	58.5%	20.9%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.8%	7.0%	42.6%	49.6%	0.0%
資源循環生産学コース	0.4%	1.7%	14.7%	53.0%	30.2%	0.0%
地域社会開発学コース	4.1%	16.4%	21.2%	41.1%	17.1%	0.0%
生命機能科学科	0.3%	0.8%	11.8%	58.4%	28.8%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.4%	0.5%	0.5%	6.9%	91.7%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.0%	0.5%	0.5%	3.0%	96.0%	0.0%
情報処理科目	0.1%	0.1%	1.4%	5.4%	93.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.1%	1.5%	1.7%	11.0%	84.7%	0.0%
文化の分野	0.3%	0.4%	2.2%	10.2%	87.1%	0.0%
現代社会の分野	1.1%	1.0%	1.4%	9.2%	87.3%	0.0%
環境コース	1.0%	1.0%	3.9%	5.8%	88.3%	0.0%
文化と共生コース	0.5%	1.1%	0.5%	7.0%	90.9%	0.0%
生活と科学コース	1.2%	0.0%	0.8%	11.9%	86.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.3%	0.3%	5.0%	94.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.2%	1.2%	1.2%	3.6%	92.9%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	6.9%	35.4%	35.7%	14.7%	7.3%	0.0%
健康・スポーツ科目	77.6%	13.4%	4.5%	2.5%	2.0%	0.0%
情報処理科目	29.2%	34.0%	23.2%	9.6%	4.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	22.9%	41.5%	22.3%	7.0%	6.3%	0.0%
文化の分野	20.3%	44.4%	24.6%	6.7%	3.9%	0.0%
現代社会の分野	30.4%	34.9%	18.3%	8.4%	8.0%	0.0%
環境コース	20.4%	28.2%	32.0%	12.6%	6.8%	0.0%
文化と共生コース	5.9%	28.0%	39.2%	16.1%	10.8%	0.0%
生活と科学コース	14.6%	38.5%	28.5%	12.3%	6.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	30.9%	39.1%	19.4%	7.5%	3.1%	0.0%
地域・佐賀学コース	10.7%	40.5%	27.4%	8.3%	13.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	17.6%	10.8%	29.6%	22.7%	13.9%	5.4%	0.0%
健康・スポーツ科目	31.3%	13.9%	21.9%	15.4%	9.0%	8.5%	0.0%
情報処理科目	25.4%	10.9%	28.1%	21.1%	10.4%	4.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	16.2%	10.6%	25.0%	24.1%	16.2%	7.8%	0.0%
文化の分野	17.0%	9.6%	27.9%	25.1%	14.0%	6.3%	0.0%
現代社会の分野	19.6%	10.1%	26.2%	23.7%	13.9%	6.5%	0.0%
環境コース	9.7%	8.7%	31.1%	22.3%	18.4%	9.7%	0.0%
文化と共生コース	11.3%	6.5%	26.9%	25.8%	18.8%	10.8%	0.0%
生活と科学コース	8.8%	7.3%	30.4%	26.9%	19.2%	7.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	21.3%	5.6%	29.4%	20.9%	17.8%	5.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	8.3%	7.1%	27.4%	35.7%	13.1%	8.3%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
外国語科目	6.7%	7.7%	20.1%	55.6%	9.8%	0.0%
健康・スポーツ科目	10.9%	8.0%	15.9%	45.8%	19.4%	0.0%
情報処理科目	11.2%	8.3%	22.8%	51.5%	6.3%	0.0%
自然科学と技術の分野	7.6%	7.3%	19.0%	54.9%	11.2%	0.0%
文化の分野	8.2%	7.4%	21.7%	52.5%	10.2%	0.0%
現代社会の分野	10.7%	6.7%	22.7%	48.8%	11.0%	0.0%
環境コース	6.8%	7.8%	27.2%	45.6%	12.6%	0.0%
文化と共生コース	3.8%	4.3%	14.0%	61.8%	16.1%	0.0%
生活と科学コース	4.2%	6.5%	18.8%	61.2%	9.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	5.9%	7.8%	26.9%	55.6%	3.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.2%	4.8%	14.3%	70.2%	9.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.4%	2.0%	3.4%	23.9%	51.6%	16.7%	0.0%
健康・スポーツ科目	2.0%	0.5%	1.0%	18.4%	49.3%	28.9%	0.0%
情報処理科目	3.8%	1.0%	3.6%	26.3%	52.5%	12.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	3.7%	0.8%	2.1%	26.1%	51.6%	15.7%	0.0%
文化の分野	3.7%	1.4%	3.2%	24.5%	51.9%	15.4%	0.0%
現代社会の分野	3.7%	1.4%	3.9%	23.9%	49.7%	17.4%	0.0%
環境コース	2.9%	2.9%	2.9%	35.0%	42.7%	13.6%	0.0%
文化と共生コース	2.2%	1.6%	2.2%	14.0%	50.5%	29.6%	0.0%
生活と科学コース	1.9%	1.2%	2.3%	29.2%	49.2%	16.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	1.6%	0.3%	1.9%	25.6%	56.9%	13.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.2%	1.2%	2.4%	11.9%	69.0%	14.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	15.9%	1.2%	2.2%	19.0%	41.6%	20.2%	0.0%
健康・スポーツ科目	12.9%	0.5%	1.0%	12.9%	42.8%	29.9%	0.0%
情報処理科目	16.2%	0.6%	2.7%	16.2%	44.7%	19.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	21.8%	0.5%	1.3%	23.1%	35.8%	17.4%	0.0%
文化の分野	22.0%	0.5%	2.2%	20.7%	37.6%	17.1%	0.0%
現代社会の分野	24.5%	0.9%	2.5%	24.0%	33.8%	14.3%	0.0%
環境コース	15.5%	0.0%	3.9%	26.2%	35.9%	18.4%	0.0%
文化と共生コース	7.0%	2.2%	1.1%	7.0%	44.1%	38.7%	0.0%
生活と科学コース	11.2%	0.8%	3.1%	25.8%	42.7%	16.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	16.6%	0.0%	1.6%	24.1%	43.1%	14.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	14.3%	1.2%	2.4%	19.0%	44.0%	19.0%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.6%	3.4%	15.1%	52.6%	27.2%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.5%	1.0%	2.5%	48.8%	47.3%	0.0%
情報処理科目	1.1%	2.8%	19.0%	57.0%	20.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.5%	1.6%	17.0%	54.9%	25.0%	0.0%
文化の分野	0.9%	1.4%	16.0%	53.8%	27.9%	0.0%
現代社会の分野	1.5%	2.9%	17.4%	52.2%	26.0%	0.0%
環境コース	2.9%	3.9%	24.3%	47.6%	21.4%	0.0%
文化と共生コース	1.6%	1.6%	4.8%	43.0%	48.9%	0.0%
生活と科学コース	1.5%	0.8%	20.0%	58.1%	19.6%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.3%	0.6%	13.4%	56.3%	29.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.2%	2.4%	4.8%	59.5%	32.1%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	10.1%	1.6%	3.6%	30.1%	45.1%	9.5%	0.0%
健康・スポーツ科目	12.4%	0.5%	1.5%	21.4%	41.8%	22.4%	0.0%
情報処理科目	12.8%	1.0%	3.5%	29.0%	45.9%	7.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	10.6%	2.0%	4.4%	30.7%	42.6%	9.7%	0.0%
文化の分野	9.9%	1.4%	4.3%	31.2%	43.5%	9.6%	0.0%

現代社会の分野	13.0%	1.2%	4.2%	30.1%	41.0%	10.4%	0.0%
環境コース	8.7%	0.0%	8.7%	36.9%	35.9%	9.7%	0.0%
文化と共生コース	7.5%	2.2%	2.2%	19.9%	48.4%	19.9%	0.0%
生活と科学コース	5.0%	2.7%	3.8%	31.5%	46.5%	10.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	8.4%	0.0%	2.2%	28.8%	51.9%	8.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	3.6%	1.2%	2.4%	34.5%	46.4%	11.9%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	18.6%	1.2%	2.4%	21.7%	44.3%	11.9%	0.0%
健康・スポーツ科目	26.4%	0.5%	0.0%	17.9%	35.3%	19.9%	0.0%
情報処理科目	22.2%	0.3%	1.4%	20.7%	44.9%	10.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	14.1%	0.8%	1.3%	21.1%	46.8%	15.8%	0.0%
文化の分野	15.4%	0.6%	2.5%	22.1%	46.7%	12.7%	0.0%
現代社会の分野	18.6%	0.7%	2.7%	19.6%	45.9%	12.5%	0.0%
環境コース	9.7%	3.9%	3.9%	27.2%	42.7%	12.6%	0.0%
文化と共生コース	11.3%	1.6%	1.6%	15.1%	46.2%	24.2%	0.0%
生活と科学コース	6.5%	1.2%	1.9%	24.2%	53.5%	12.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	19.4%	0.6%	1.6%	24.1%	46.9%	7.5%	0.0%
地域・佐賀学コース	7.1%	1.2%	2.4%	16.7%	58.3%	14.3%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.3%	3.5%	27.0%	49.7%	17.5%	0.0%
健康・スポーツ科目	7.0%	4.0%	51.2%	22.4%	15.4%	0.0%
情報処理科目	1.9%	3.1%	23.5%	52.5%	19.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.5%	2.1%	26.9%	48.5%	19.9%	0.0%
文化の分野	2.3%	3.0%	23.9%	50.0%	20.8%	0.0%
現代社会の分野	3.3%	4.3%	28.7%	46.0%	17.8%	0.0%
環境コース	2.9%	4.9%	32.0%	43.7%	16.5%	0.0%
文化と共生コース	3.2%	2.2%	15.6%	43.0%	36.0%	0.0%
生活と科学コース	2.7%	2.3%	33.5%	45.4%	16.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.9%	1.9%	31.3%	50.9%	15.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.2%	3.6%	20.2%	54.8%	20.2%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	3.1%	3.6%	21.2%	44.8%	27.4%	0.0%
健康・スポーツ科目	3.5%	4.0%	29.4%	37.3%	25.9%	0.0%
情報処理科目	4.6%	7.9%	33.0%	43.4%	11.2%	0.0%
自然科学と技術の分野	9.6%	9.7%	36.2%	31.5%	13.0%	0.0%
文化の分野	6.5%	6.3%	32.1%	38.1%	17.0%	0.0%
現代社会の分野	7.2%	8.4%	36.3%	31.3%	16.8%	0.0%
環境コース	1.9%	2.9%	21.4%	50.5%	23.3%	0.0%
文化と共生コース	4.3%	0.5%	14.5%	37.1%	43.5%	0.0%
生活と科学コース	3.5%	4.2%	30.8%	42.3%	19.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	2.5%	3.4%	31.6%	44.7%	17.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.4%	3.6%	16.7%	39.3%	38.1%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.7%	5.3%	14.7%	50.5%	26.9%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.5%	1.0%	3.5%	41.3%	53.7%	0.0%
情報処理科目	0.9%	4.1%	15.9%	58.2%	20.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.9%	2.3%	19.9%	53.2%	22.7%	0.0%
文化の分野	1.9%	2.4%	18.0%	49.6%	28.0%	0.0%
現代社会の分野	2.3%	4.3%	17.8%	49.9%	25.7%	0.0%
環境コース	2.9%	4.9%	25.2%	45.6%	21.4%	0.0%
文化と共生コース	3.2%	2.2%	9.1%	38.2%	47.3%	0.0%
生活と科学コース	2.3%	2.3%	23.1%	54.6%	17.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.6%	1.3%	12.2%	58.8%	27.2%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.2%	3.6%	7.1%	58.3%	29.8%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.4%	0.5%	1.8%	8.3%	89.0%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.8%	0.0%	1.5%	3.8%	93.8%	0.0%
情報処理科目	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	97.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.8%	2.0%	1.0%	10.3%	84.9%	0.0%
文化の分野	1.0%	0.6%	1.6%	11.0%	85.7%	0.0%
現代社会の分野	1.6%	1.0%	1.4%	13.4%	82.5%	0.0%
環境コース	3.5%	0.0%	2.4%	10.6%	83.5%	0.0%
文化と共生コース	0.8%	0.8%	1.5%	13.6%	83.3%	0.0%
生活と科学コース	1.3%	0.4%	1.8%	8.0%	88.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	1.2%	3.6%	95.2%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	86.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	5.9%	31.4%	40.6%	15.0%	7.0%	0.0%
健康・スポーツ科目	75.4%	8.5%	9.2%	1.5%	5.4%	0.0%
情報処理科目	11.4%	26.1%	37.5%	20.5%	4.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	26.6%	43.8%	19.6%	6.7%	3.2%	0.0%
文化の分野	17.3%	39.8%	27.9%	9.4%	5.7%	0.0%
現代社会の分野	21.5%	40.3%	20.0%	6.5%	11.6%	0.0%
環境コース	10.6%	29.4%	32.9%	11.8%	15.3%	0.0%
文化と共生コース	12.1%	32.6%	31.1%	14.4%	9.8%	0.0%
生活と科学コース	17.9%	36.6%	26.3%	11.6%	7.6%	0.0%
医療・福祉と社会コース	24.3%	47.4%	21.1%	5.2%	2.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	16.0%	42.7%	20.0%	14.7%	6.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	13.2%	9.6%	25.7%	24.5%	17.9%	9.2%	0.0%
健康・スポーツ科目	26.9%	15.4%	23.1%	11.5%	13.1%	10.0%	0.0%
情報処理科目	14.8%	8.0%	13.6%	34.1%	19.3%	10.2%	0.0%
自然科学と技術の分野	11.7%	8.3%	25.2%	27.2%	19.4%	8.1%	0.0%
文化の分野	13.4%	9.1%	25.9%	25.0%	17.3%	9.2%	0.0%
現代社会の分野	12.0%	9.9%	25.3%	25.2%	17.9%	9.7%	0.0%
環境コース	5.9%	10.6%	30.6%	25.9%	16.5%	10.6%	0.0%
文化と共生コース	7.6%	8.3%	23.5%	26.5%	22.0%	12.1%	0.0%
生活と科学コース	8.9%	6.7%	22.8%	29.5%	22.8%	9.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	15.5%	3.6%	17.5%	27.9%	25.1%	10.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	12.0%	12.0%	25.3%	22.7%	21.3%	6.7%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
外国語科目	5.4%	5.7%	16.4%	58.9%	13.5%	0.0%
健康・スポーツ科目	7.7%	3.1%	13.1%	56.9%	19.2%	0.0%
情報処理科目	5.7%	3.4%	17.0%	59.1%	14.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	8.9%	6.9%	18.3%	53.2%	12.7%	0.0%
文化の分野	5.5%	5.5%	17.0%	59.3%	12.7%	0.0%
現代社会の分野	6.4%	6.8%	15.3%	56.4%	15.1%	0.0%
環境コース	4.7%	5.9%	20.0%	57.6%	11.8%	0.0%
文化と共生コース	3.0%	1.5%	9.8%	68.2%	17.4%	0.0%
生活と科学コース	2.2%	2.7%	18.8%	62.5%	13.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	7.6%	5.6%	21.5%	58.6%	6.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	4.0%	8.0%	16.0%	62.7%	9.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.0%	1.3%	3.4%	19.2%	53.2%	21.0%	0.0%
健康・スポーツ科目	3.1%	0.0%	3.1%	13.1%	56.2%	24.6%	0.0%
情報処理科目	2.3%	1.1%	3.4%	22.7%	54.5%	15.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	4.6%	0.2%	1.6%	24.4%	53.0%	16.3%	0.0%
文化の分野	2.8%	1.5%	3.3%	19.2%	53.8%	19.4%	0.0%
現代社会の分野	3.5%	0.5%	2.0%	16.6%	56.3%	21.1%	0.0%
環境コース	4.7%	2.4%	5.9%	21.2%	47.1%	18.8%	0.0%
文化と共生コース	0.8%	0.8%	2.3%	8.3%	56.1%	31.8%	0.0%
生活と科学コース	0.9%	0.9%	0.0%	21.9%	54.5%	21.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	4.4%	0.0%	1.2%	19.5%	59.0%	15.9%	0.0%
地域・佐賀学コース	5.3%	1.3%	2.7%	17.3%	54.7%	18.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	12.9%	1.4%	1.9%	14.2%	45.3%	24.3%	0.0%
健康・スポーツ科目	18.5%	0.8%	1.5%	6.2%	48.5%	24.6%	0.0%
情報処理科目	0.0%	3.4%	5.7%	15.9%	53.4%	21.6%	0.0%
自然科学と技術の分野	29.2%	0.0%	1.2%	17.3%	39.5%	12.9%	0.0%
文化の分野	17.9%	1.3%	3.1%	18.6%	39.9%	19.1%	0.0%
現代社会の分野	23.8%	0.3%	1.3%	18.1%	39.2%	17.4%	0.0%
環境コース	11.8%	1.2%	4.7%	22.4%	42.4%	17.6%	0.0%
文化と共生コース	3.8%	1.5%	0.8%	5.3%	46.2%	42.4%	0.0%
生活と科学コース	10.3%	0.0%	0.4%	14.3%	50.0%	25.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	17.9%	0.0%	0.0%	19.5%	49.8%	12.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	13.3%	1.3%	1.3%	17.3%	42.7%	24.0%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.2%	2.3%	13.5%	51.6%	31.4%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.0%	0.0%	6.9%	52.3%	40.8%	0.0%
情報処理科目	2.3%	3.4%	18.2%	56.8%	19.3%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.0%	2.6%	13.9%	58.7%	22.8%	0.0%
文化の分野	1.2%	2.8%	13.6%	50.4%	32.0%	0.0%
現代社会の分野	1.3%	1.3%	13.1%	53.8%	30.5%	0.0%
環境コース	3.5%	1.2%	18.8%	50.6%	25.9%	0.0%
文化と共生コース	0.8%	2.3%	4.5%	41.7%	50.8%	0.0%
生活と科学コース	0.4%	0.0%	14.7%	55.4%	29.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.4%	1.6%	12.0%	61.8%	24.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.7%	2.7%	10.7%	48.0%	36.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	7.7%	1.5%	4.2%	26.3%	46.1%	14.2%	0.0%
健康・スポーツ科目	12.3%	1.5%	1.5%	15.4%	51.5%	17.7%	0.0%
情報処理科目	4.5%	2.3%	8.0%	18.2%	53.4%	13.6%	0.0%
自然科学と技術の分野	12.7%	0.2%	3.8%	26.2%	47.6%	9.5%	0.0%
文化の分野	7.9%	2.1%	3.4%	23.5%	51.1%	11.9%	0.0%

現代社会の分野	8.9%	0.5%	3.8%	25.2%	48.7%	12.9%	0.0%
環境コース	8.2%	3.5%	5.9%	27.1%	42.4%	12.9%	0.0%
文化と共生コース	3.0%	0.8%	0.8%	10.6%	59.1%	25.8%	0.0%
生活と科学コース	5.8%	0.0%	0.9%	26.3%	51.3%	15.6%	0.0%
医療・福祉と社会コース	11.2%	0.4%	0.4%	21.9%	53.8%	12.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	6.7%	1.3%	5.3%	18.7%	54.7%	13.3%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	13.4%	1.2%	2.0%	19.2%	46.6%	17.6%	0.0%
健康・スポーツ科目	20.8%	0.0%	0.8%	16.9%	43.1%	18.5%	0.0%
情報処理科目	9.1%	1.1%	0.0%	20.5%	56.8%	12.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	13.3%	0.6%	2.0%	18.5%	52.2%	13.5%	0.0%
文化の分野	12.2%	1.5%	4.0%	17.3%	48.3%	16.7%	0.0%
現代社会の分野	11.7%	0.7%	2.2%	16.3%	52.6%	16.4%	0.0%
環境コース	9.4%	1.2%	2.4%	22.4%	50.6%	14.1%	0.0%
文化と共生コース	6.8%	0.8%	1.5%	13.6%	44.7%	32.6%	0.0%
生活と科学コース	9.8%	0.0%	0.4%	18.3%	53.1%	18.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	13.5%	0.4%	0.4%	19.5%	53.8%	12.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	8.0%	4.0%	2.7%	17.3%	53.3%	14.7%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.6%	2.9%	23.7%	48.6%	22.2%	0.0%
健康・スポーツ科目	8.5%	5.4%	44.6%	23.8%	17.7%	0.0%
情報処理科目	1.1%	1.1%	14.8%	62.5%	20.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.2%	3.0%	21.0%	50.8%	23.0%	0.0%
文化の分野	2.4%	3.3%	21.2%	49.6%	23.5%	0.0%
現代社会の分野	2.7%	2.6%	23.4%	48.4%	22.8%	0.0%
環境コース	3.5%	2.4%	31.8%	47.1%	15.3%	0.0%
文化と共生コース	1.5%	1.5%	14.4%	43.9%	38.6%	0.0%
生活と科学コース	0.9%	0.9%	19.2%	50.4%	28.6%	0.0%
医療・福祉と社会コース	4.0%	2.4%	21.9%	52.2%	19.5%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.7%	4.0%	20.0%	54.7%	18.7%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.6%	3.9%	16.1%	44.1%	33.4%	0.0%
健康・スポーツ科目	3.1%	1.5%	30.0%	40.0%	25.4%	0.0%
情報処理科目	4.5%	4.5%	21.6%	52.3%	17.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	9.9%	8.5%	34.3%	31.3%	15.9%	0.0%
文化の分野	4.3%	7.5%	28.6%	39.0%	20.6%	0.0%
現代社会の分野	6.7%	8.2%	32.4%	37.1%	15.7%	0.0%
環境コース	2.4%	1.2%	18.8%	49.4%	28.2%	0.0%
文化と共生コース	1.5%	0.0%	6.8%	33.3%	58.3%	0.0%
生活と科学コース	0.9%	1.8%	22.3%	39.7%	35.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	3.6%	6.4%	19.5%	50.2%	20.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	6.7%	13.3%	45.3%	34.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.0%	4.8%	14.9%	48.9%	29.4%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.8%	0.8%	6.2%	41.5%	50.8%	0.0%
情報処理科目	2.3%	2.3%	15.9%	61.4%	18.2%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.2%	3.4%	15.5%	56.3%	23.6%	0.0%
文化の分野	1.6%	4.2%	12.2%	50.2%	31.7%	0.0%
現代社会の分野	1.6%	2.3%	13.3%	56.1%	26.6%	0.0%
環境コース	4.7%	0.0%	17.6%	54.1%	23.5%	0.0%
文化と共生コース	0.8%	1.5%	6.8%	41.7%	49.2%	0.0%
生活と科学コース	0.4%	0.4%	14.7%	52.7%	31.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.8%	2.0%	11.2%	61.0%	25.1%	0.0%
地域・佐賀学コース	4.0%	2.7%	13.3%	46.7%	33.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	1.0%	30.2%	42.7%	11.5%	14.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	2.1%	21.9%	37.5%	26.0%	12.5%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	1.0%	13.5%	65.6%	19.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	2.1%	6.3%	59.4%	32.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	3.1%	0.0%	1.0%	6.3%	36.5%	53.1%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	1.0%	0.0%	5.2%	26.0%	67.7%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	13.5%	62.5%	24.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	4.2%	5.2%	39.6%	51.0%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	1.0%	14.6%	43.8%	40.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	4.2%	43.8%	52.1%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	3.1%	6.3%	41.7%	49.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	11.5%	36.5%	28.8%	15.4%	7.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	5.8%	26.9%	34.6%	25.0%	7.7%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	9.6%	7.7%	75.0%	7.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	1.9%	15.4%	7.7%	59.6%	15.4%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	65.4%	11.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	1.9%	3.8%	9.6%	44.2%	40.4%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	3.8%	25.0%	61.5%	9.6%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	3.8%	9.6%	11.5%	53.8%	21.2%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	3.8%	19.2%	50.0%	26.9%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	3.8%	11.5%	57.7%	26.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	1.9%	7.7%	13.5%	46.2%	30.8%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	88.2%	0.0%
教科教育専攻	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	72.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育専攻	11.8%	17.6%	35.3%	17.6%	17.6%	0.0%
教科教育専攻	9.1%	27.3%	0.0%	45.5%	18.2%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育専攻	5.9%	5.9%	17.6%	17.6%	52.9%	0.0%	0.0%
教科教育専攻	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	36.4%	27.3%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	5.9%	70.6%	23.5%	0.0%
教科教育専攻	9.1%	0.0%	9.1%	27.3%	54.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	70.6%	29.4%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	72.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	47.1%	52.9%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.5%	54.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	88.2%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	54.5%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	82.4%	17.6%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	54.5%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	76.5%	11.8%	0.0%
教科教育専攻	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	27.3%	45.5%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	11.8%	52.9%	35.3%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	45.5%	54.5%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	94.1%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	47.1%	52.9%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	63.6%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
教科教育専攻	3.6%	0.0%	14.3%	7.1%	75.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育専攻	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教科教育専攻	3.6%	0.0%	14.3%	21.4%	17.9%	42.9%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
教科教育専攻	7.1%	3.6%	7.1%	17.9%	64.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	3.6%	10.7%	7.1%	14.3%	64.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	7.1%	3.6%	3.6%	14.3%	71.4%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	10.7%	3.6%	3.6%	82.1%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	0.0%	10.7%	3.6%	32.1%	53.6%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
教科教育専攻	3.6%	7.1%	3.6%	3.6%	28.6%	53.6%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
教科教育専攻	7.1%	0.0%	7.1%	28.6%	57.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
教科教育専攻	0.0%	7.1%	3.6%	25.0%	64.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
教科教育専攻	7.1%	0.0%	7.1%	21.4%	64.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	97.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	2.9%	23.5%	11.8%	17.6%	44.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	8.8%	8.8%	14.7%	17.6%	14.7%	35.3%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	55.9%	44.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	29.4%	67.6%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%	76.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	26.5%	73.5%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.9%	8.8%	50.0%	38.2%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	2.9%	0.0%	0.0%	8.8%	47.1%	41.2%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	11.8%	41.2%	47.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.9%	26.5%	70.6%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	32.4%	67.6%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	94.9%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	10.3%	10.3%	41.0%	38.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	30.8%	20.5%	12.8%	35.9%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	5.1%	48.7%	46.2%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	35.9%	61.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	61.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.6%	20.5%	76.9%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	56.4%	33.3%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	12.8%	53.8%	33.3%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	17.9%	33.3%	48.7%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.6%	23.1%	74.4%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.6%	23.1%	74.4%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
金融・経済政策専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
企業経営専攻	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	6.7%	26.7%	66.7%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	91.5%	0.0%
循環物質化学専攻	0.0%	0.0%	2.6%	3.9%	93.5%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	98.0%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	99.4%	0.0%
都市工学専攻	6.2%	0.0%	0.0%	9.3%	84.5%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	95.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学専攻	0.0%	26.7%	13.3%	53.3%	6.7%	0.0%
物理科学専攻	5.9%	11.8%	41.2%	5.9%	35.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	23.4%	36.2%	23.4%	17.0%	0.0%
循環物質化学専攻	5.2%	15.6%	37.7%	13.0%	28.6%	0.0%
機械システム工学専攻	29.4%	25.5%	17.6%	17.6%	9.8%	0.0%
電気電子工学専攻	4.9%	26.8%	36.6%	18.9%	12.8%	0.0%
都市工学専攻	11.3%	13.4%	11.3%	19.6%	44.3%	0.0%
先端融合工学専攻	3.6%	20.5%	43.4%	16.9%	15.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学専攻	6.7%	6.7%	33.3%	40.0%	13.3%	0.0%	0.0%
物理科学専攻	29.4%	5.9%	35.3%	0.0%	0.0%	29.4%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	6.4%	25.5%	25.5%	21.3%	21.3%	0.0%
循環物質化学専攻	11.7%	13.0%	27.3%	28.6%	10.4%	9.1%	0.0%
機械システム工学専攻	21.6%	11.8%	11.8%	17.6%	17.6%	19.6%	0.0%
電気電子工学専攻	4.3%	7.9%	27.4%	13.4%	37.8%	9.1%	0.0%
都市工学専攻	10.3%	1.0%	9.3%	25.8%	30.9%	22.7%	0.0%
先端融合工学専攻	14.5%	4.8%	36.1%	18.1%	14.5%	12.0%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学専攻	0.0%	6.7%	0.0%	66.7%	26.7%	0.0%
物理科学専攻	11.8%	0.0%	0.0%	58.8%	29.4%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	4.3%	2.1%	66.0%	27.7%	0.0%
循環物質化学専攻	3.9%	2.6%	22.1%	49.4%	22.1%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	15.7%	17.6%	47.1%	19.6%	0.0%
電気電子工学専攻	2.4%	4.3%	22.6%	51.8%	18.9%	0.0%
都市工学専攻	5.2%	1.0%	5.2%	54.6%	34.0%	0.0%
先端融合工学専攻	2.4%	2.4%	20.5%	51.8%	22.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	73.3%	6.7%	0.0%
物理科学専攻	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	58.8%	29.4%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	10.6%	44.7%	44.7%	0.0%
循環物質化学専攻	22.1%	0.0%	2.6%	14.3%	28.6%	32.5%	0.0%
機械システム工学専攻	2.0%	0.0%	2.0%	19.6%	33.3%	43.1%	0.0%
電気電子工学専攻	1.2%	3.0%	4.9%	17.7%	53.7%	19.5%	0.0%
都市工学専攻	4.1%	0.0%	1.0%	3.1%	38.1%	53.6%	0.0%
先端融合工学専攻	1.2%	0.0%	2.4%	22.9%	41.0%	32.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	46.7%	40.0%	0.0%
物理科学専攻	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	58.8%	35.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.1%	48.9%	0.0%
循環物質化学専攻	20.8%	0.0%	0.0%	14.3%	23.4%	41.6%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	19.6%	25.5%	54.9%	0.0%
電気電子工学専攻	4.3%	1.2%	5.5%	16.5%	47.6%	25.0%	0.0%
都市工学専攻	5.2%	0.0%	0.0%	6.2%	33.0%	55.7%	0.0%
先端融合工学専攻	4.8%	1.2%	1.2%	10.8%	44.6%	37.3%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	6.7%	53.3%	40.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	70.6%	29.4%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	48.9%	51.1%	0.0%
循環物質化学専攻	19.5%	0.0%	11.7%	23.4%	45.5%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	15.7%	29.4%	54.9%	0.0%
電気電子工学専攻	1.8%	1.8%	17.7%	50.0%	28.7%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	2.1%	6.2%	33.0%	58.8%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	9.6%	51.8%	38.6%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	6.7%	33.3%	53.3%	6.7%	0.0%
物理科学専攻	17.6%	0.0%	0.0%	17.6%	35.3%	29.4%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	2.1%	0.0%	36.2%	48.9%	12.8%	0.0%
循環物質化学専攻	20.8%	0.0%	1.3%	22.1%	40.3%	15.6%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	3.9%	21.6%	37.3%	37.3%	0.0%
電気電子工学専攻	3.7%	1.2%	6.7%	17.1%	58.5%	12.8%	0.0%
都市工学専攻	1.0%	0.0%	3.1%	12.4%	54.6%	28.9%	0.0%
先端融合工学専攻	3.6%	0.0%	1.2%	24.1%	45.8%	25.3%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	80.0%	6.7%	0.0%
物理科学専攻	23.5%	0.0%	0.0%	17.6%	29.4%	29.4%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	10.6%	59.6%	29.8%	0.0%
循環物質化学専攻	20.8%	0.0%	0.0%	27.3%	35.1%	16.9%	0.0%
機械システム工学専攻	7.8%	0.0%	0.0%	13.7%	41.2%	37.3%	0.0%
電気電子工学専攻	4.3%	1.2%	4.9%	14.6%	51.8%	23.2%	0.0%
都市工学専攻	5.2%	0.0%	1.0%	7.2%	39.2%	47.4%	0.0%
先端融合工学専攻	8.4%	0.0%	1.2%	19.3%	44.6%	26.5%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	41.2%	29.4%	29.4%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	48.9%	51.1%	0.0%
循環物質化学専攻	24.7%	0.0%	28.6%	27.3%	19.5%	0.0%

機械システム工学専攻	2.0%	0.0%	13.7%	45.1%	39.2%	0.0%
電気電子工学専攻	0.6%	0.6%	28.7%	53.0%	17.1%	0.0%
都市工学専攻	4.1%	2.1%	10.3%	42.3%	41.2%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	27.7%	39.8%	32.5%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	26.7%	60.0%	13.3%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	58.8%	5.9%	35.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	12.8%	38.3%	48.9%	0.0%
循環物質化学専攻	19.5%	0.0%	18.2%	28.6%	33.8%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	19.6%	41.2%	39.2%	0.0%
電気電子工学専攻	1.2%	0.6%	23.8%	49.4%	25.0%	0.0%
都市工学専攻	1.0%	2.1%	14.4%	35.1%	47.4%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	1.2%	14.5%	43.4%	41.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	6.7%	0.0%	73.3%	20.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	64.7%	35.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	53.2%	46.8%	0.0%
循環物質化学専攻	0.0%	0.0%	6.5%	35.1%	58.4%	0.0%
機械システム工学専攻	2.0%	2.0%	13.7%	45.1%	37.3%	0.0%
電気電子工学専攻	1.8%	1.2%	18.9%	54.9%	23.2%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	2.1%	10.3%	39.2%	48.5%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	10.8%	51.8%	37.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	93.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
循環物質化学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学専攻	0.6%	0.0%	0.6%	2.4%	96.5%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	3.5%	0.0%	12.3%	84.2%	0.0%
先端融合工学専攻	0.9%	0.0%	0.9%	1.8%	96.4%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学専攻	0.0%	30.0%	20.0%	50.0%	0.0%	0.0%
物理科学専攻	6.7%	46.7%	26.7%	13.3%	6.7%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	12.9%	25.8%	29.0%	32.3%	0.0%
循環物質化学専攻	28.3%	15.0%	21.7%	16.7%	18.3%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	21.9%	34.4%	15.6%	28.1%	0.0%
電気電子工学専攻	14.7%	27.1%	34.7%	16.5%	7.1%	0.0%
都市工学専攻	8.8%	5.3%	15.8%	24.6%	45.6%	0.0%
先端融合工学専攻	17.9%	22.3%	20.5%	19.6%	19.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学専攻	0.0%	10.0%	20.0%	60.0%	10.0%	0.0%	0.0%
物理科学専攻	46.7%	13.3%	26.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	3.2%	0.0%	16.1%	48.4%	32.3%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	43.3%	8.3%	16.7%	5.0%	20.0%	6.7%	0.0%
機械システム工学専攻	15.6%	3.1%	12.5%	18.8%	31.3%	18.8%	0.0%
電気電子工学専攻	11.8%	4.7%	22.4%	25.9%	24.1%	11.2%	0.0%
都市工学専攻	7.0%	0.0%	12.3%	15.8%	31.6%	33.3%	0.0%
先端融合工学専攻	21.4%	8.0%	25.9%	22.3%	18.8%	3.6%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	3.2%	9.7%	77.4%	9.7%	0.0%
循環物質化学専攻	1.7%	1.7%	13.3%	63.3%	20.0%	0.0%
機械システム工学専攻	3.1%	0.0%	6.3%	56.3%	34.4%	0.0%
電気電子工学専攻	0.6%	0.0%	15.9%	63.5%	20.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	1.8%	8.8%	47.4%	42.1%	0.0%
先端融合工学専攻	5.4%	3.6%	14.3%	59.8%	17.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
物理科学専攻	6.7%	0.0%	0.0%	26.7%	53.3%	13.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	6.5%	6.5%	12.9%	61.3%	12.9%	0.0%
循環物質化学専攻	35.0%	0.0%	0.0%	11.7%	36.7%	16.7%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.6%	2.4%	20.6%	50.0%	26.5%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	1.8%	10.5%	42.1%	45.6%	0.0%
先端融合工学専攻	2.7%	0.9%	2.7%	25.9%	49.1%	18.8%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
物理科学専攻	6.7%	0.0%	0.0%	26.7%	40.0%	26.7%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	6.5%	0.0%	22.6%	45.2%	25.8%	0.0%
循環物質化学専攻	31.7%	0.0%	0.0%	11.7%	36.7%	20.0%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	46.9%	50.0%	0.0%
電気電子工学専攻	4.1%	0.0%	2.4%	22.4%	41.8%	29.4%	0.0%
都市工学専攻	1.8%	0.0%	0.0%	5.3%	36.8%	56.1%	0.0%
先端融合工学専攻	7.1%	0.0%	0.9%	18.8%	49.1%	24.1%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	6.7%	33.3%	60.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	3.2%	9.7%	12.9%	41.9%	32.3%	0.0%
循環物質化学専攻	30.0%	0.0%	11.7%	36.7%	21.7%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	3.1%	50.0%	46.9%	0.0%
電気電子工学専攻	0.6%	0.6%	19.4%	46.5%	32.9%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	7.0%	36.8%	56.1%	0.0%
先端融合工学専攻	1.8%	0.0%	18.8%	47.3%	32.1%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	13.3%	60.0%	26.7%	0.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	3.2%	9.7%	35.5%	41.9%	9.7%	0.0%
循環物質化学専攻	33.3%	0.0%	1.7%	20.0%	33.3%	11.7%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	68.8%	25.0%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	1.2%	4.1%	23.5%	50.6%	20.6%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	1.8%	14.0%	36.8%	47.4%	0.0%
先端融合工学専攻	6.3%	0.0%	2.7%	16.1%	58.0%	17.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%
物理科学専攻	13.3%	0.0%	0.0%	40.0%	46.7%	0.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	6.5%	0.0%	6.5%	22.6%	54.8%	9.7%	0.0%
循環物質化学専攻	45.0%	0.0%	0.0%	13.3%	26.7%	15.0%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	65.6%	31.3%	0.0%
電気電子工学専攻	4.1%	0.6%	2.9%	20.0%	46.5%	25.9%	0.0%
都市工学専攻	7.0%	0.0%	1.8%	12.3%	35.1%	43.9%	0.0%
先端融合工学専攻	10.7%	1.8%	0.9%	20.5%	49.1%	17.0%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	53.3%	40.0%	6.7%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	3.2%	22.6%	48.4%	25.8%	0.0%
循環物質化学専攻	31.7%	1.7%	21.7%	33.3%	11.7%	0.0%

機械システム工学専攻	0.0%	3.1%	6.3%	59.4%	31.3%	0.0%
電気電子工学専攻	2.4%	0.0%	29.4%	40.6%	27.6%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	1.8%	3.5%	49.1%	45.6%	0.0%
先端融合工学専攻	3.6%	0.9%	30.4%	46.4%	18.8%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	33.3%	46.7%	20.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	3.2%	19.4%	58.1%	19.4%	0.0%
循環物質化学専攻	30.0%	0.0%	20.0%	33.3%	16.7%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	6.3%	68.8%	25.0%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	24.1%	44.7%	31.2%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	1.8%	5.3%	33.3%	59.6%	0.0%
先端融合工学専攻	2.7%	0.9%	22.3%	45.5%	28.6%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	13.3%	60.0%	26.7%	0.0%
知能情報システム学専攻	6.5%	9.7%	12.9%	48.4%	22.6%	0.0%
循環物質化学専攻	0.0%	0.0%	13.3%	55.0%	31.7%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	9.4%	46.9%	43.8%	0.0%
電気電子工学専攻	1.2%	0.6%	18.8%	48.8%	30.6%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	1.8%	8.8%	33.3%	56.1%	0.0%
先端融合工学専攻	0.9%	3.6%	17.9%	57.1%	20.5%	0.0%

A-1　出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	0.0%	1.4%	0.0%	4.3%	94.3%	0.0%

A-2　授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	3.5%	27.0%	29.8%	24.1%	15.6%	0.0%

A-3　この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	7.8%	12.8%	19.1%	21.3%	31.9%	7.1%	0.0%

A-4　この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
農学研究科	0.0%	1.4%	7.1%	67.4%	24.1%	0.0%

B-1　教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	12.1%	66.0%	22.0%	0.0%

B-2　担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	60.3%	35.5%	0.0%

B-3　教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.7%	5.0%	58.2%	36.2%	0.0%

C-1　この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	2.1%	17.0%	66.7%	14.2%	0.0%

C-2　授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3.5%	0.0%	0.0%	9.9%	70.2%	16.3%	0.0%

C-3　教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.7%	9.9%	66.0%	23.4%	0.0%

C-4　この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	3.5%	17.7%	45.4%	33.3%	0.0%

D-1　この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	7.8%	56.0%	36.2%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	2.6%	15.5%	31.9%	19.0%	31.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	6.0%	10.3%	26.7%	12.9%	31.9%	12.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	11.2%	63.8%	25.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.9%	0.9%	9.5%	49.1%	39.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.9%	0.9%	10.3%	31.9%	56.0%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1.7%	3.4%	6.9%	37.9%	50.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	1.7%	6.0%	70.7%	21.6%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3.4%	0.0%	0.0%	18.1%	53.4%	25.0%	0.0%

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.9%	13.8%	48.3%	37.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1.7%	0.0%	19.0%	41.4%	37.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	1.7%	5.2%	41.4%	51.7%	0.0%